

(文部科学省委託事業)

平成25年度免許更新制高度化のための調査研究事業

## 報 告 書

### 研究課題

- I. 教員免許更新制の需要把握及び効果検証に関する調査研究事業
  - (1) 教員免許更新制及び免許状更新講習の実績調査・分析事業
  - (2) 平成25年度の免許状更新講習の場を活用した需要調査・分析事業
  
- II. 現代的な教育課題に対応するための実践的な講習内容・方法の研究開発事業

平成26年3月

信州大学

# も く じ

I. 免許更新制高度化のための調査研究の内容・方法・組織	1
II. 教員免許更新制の需要把握及び効果検証に関する調査研究	6
1. 文部科学省設定アンケートから	6
(1) アンケート結果の概要	
(2) アンケート結果からの提言	
2. 受講後実施する通常のアンケートと講座担当者からのアンケートから	9
(1) アンケート結果の概要	
(2) 必修講座に関する主だった意見	
(ア) 講義について	
(イ) 運営について	
(ウ) その他	
(3) 選択講座に関する主だった意見	
(ア) 講義について	
(イ) 運営について (実施者が検討すべき事項)	
(ウ) 制度について	
(エ) その他	
(4) アンケート結果からの提言	
3. 大学が独自に実施した任意のアンケートから	18
(1) アンケートについて	
(2) アンケート結果の概要	
(ア) 必修講習について	
① 講習内容	
i 課題にふれ教職の使命感等の再認識について	
ii 新しい教育観や視野を広げる契機について	
iii 新しい理論にふれ、教科指導・生徒指導改善の契機について	
iv 新しい学校作りへの意欲について	
v 最新の知見にふれ、人間力を求め続ける必要性について	
② 講師について	
i 目標が明確で、構成が適切かについて	
ii 要約、説明が適切で、わかりやすいかについて	
iii 資料の内容・分量が適切について	
(イ) 選択講習について	
① 内容に興味・関心があり、教養を高められる	

- ② 専門を深められる内容
- ③ 勤務等の関係で期日・会場を重視

(3) アンケート結果からの考察

(ア) 必修講習について

- ① 性別の観点について
- ② 年齢別の観点について
- ③ 学校種別の観点について
- ④ その他全体について

(イ) 選択講習について

- ① 選択の講習の枠組みについて
- ② 教養と専門に共通している事項
- ③ 校務・期日・場所の観点について
- ④ その他

(4) アンケート結果からの高度化に向けての提言

- ① 必修講座について
- ② 選択講座について

4. 平成25年度教員免許更新講習からみた高度化に向けての分析のまとめ 40

- (1) 講座名と講習の概要に関して
- (2) 年代別講習の必要性について
- (3) 教養を高める講習にするために
- (4) 専門性を深める講習にするために

Ⅲ. 現代的な教育課題に対応するための実践的な講習内容・方法の研究開発 44

- 1. 教師として知っておきたい子どもの健康管理 アレルギー疾患 編 44
- 2. 教師として知っておきたい子どもの健康管理 感染症 編 55

資料編

- (資料 1) 平成25年度教員免許状更新講習受講者アンケート (文部科学省)
- (資料 2) 「文部科学省免許更新講習受講者アンケート」基本データ
- (資料 3) 講座選択における受講者の居住地との関係
- (資料 4) 「免許更新講習信州大学任意アンケート調査用紙」
- (資料 5) 「免許更新講習信州大学任意アンケート」集計表
- (資料 6) 「信州大学任意アンケート」自由記述データ
- (資料 7) 専門学部開講の講座に関する基本情報
- (資料 8) 専門学部開講の講座における受講評価の自由記述
- (資料 9) 教職教育部と医学部の共同開講の必修講座(G講座)における受講評価の自由記述
- (資料 10) 専門学部開設講座お受講者評価の平成24年度と平成25年度比較

## I. 免許更新制高度化のための調査研究の内容・方法・組織

### (1) 調査研究の概要

平成21年度から実施している信州大学教員免許状更新講習では、人文・教育・経済・理・医・工・農・繊維の各学部と全学教育機構のすべてが講習を開講しており、それぞれの講習内容や教育方法については、教員免許更新支援センターが、各担当教員に対して、個別の支援を行うことで、現職教員の意識と大学での講習との間に発生するであろうミスマッチを最小限に抑える努力をしてくれている。また、年を追うごとに本講習に対する受講者の意識の高まりに対応すべく、昨年度より事前・事後のアンケート分析をシラバスや使用教材の分析も連動させて行い、分析結果等を担当教員にフィードバックする作業を充実させてきている。

そこで、本研究では、これまでのデータ分析等では、見えてこない受講者自身の「教員としての資質向上に関する学びの意識」、講習担当大学教員の「授業力向上」、「現代的な教育課題への対応」等について、本年度実施する必修ならびに選択講習において、通常のアンケートに加えて文部科学省が設定する調査項目及び大学等が独自に設定する調査項目について、可能な限り必修領域・選択領域それぞれ5講習以上を対象に、受講教員に対するアンケート調査を行う。

また、免許状更新講習の担当講師及び事務局に対し、文部科学省及び大学等が独自に設定する調査項目について、アンケート調査を行い、①免許更新製の制度全般及び②免許状更新講習の内容等に関する受講者の具体的な要望等を抽出・分析し、制度や講習の効果及び課題を整理するとともに、免許更新制に関する改善策の提案を行う。

さらに、現代的な課題であり、本学の講習でも需要の高い特別支援教育に関わる講習の充実と、教員としてきちんと理解していなければならない子どもの健康管理に関する内容（感染症対策・アレルギー対策・若年性生活習慣病予防）等について、これまで本学の医学部が中心となって実施してきた講習内容を再検討し、最新の情報を盛り込んだデジタル教材を作成し、全国どこで利用できるようにweb上等で公開するなど、新たな内容として提言していく。

### (2) 調査研究の実施方法

#### ① 方針の決定（7月上旬）

事務局において有識者による検討委員会を設置及び委員を任命し、アンケート項目等について検討。

#### ② 現状における課題の洗い出し及び既存のアンケートデータを活用した分析を実施

（7月中旬～8月頃）

教員免許更新支援センター員を中心とする「制度・内容」調査チームにおいて、過去4年間の必修領域講習受講者6,000人分並びに選択領域講習受講者18,000人分の教員のデータを利用し、課題を洗い出す。

③ 平成25年度の受講者並びに担当教員にアンケート調査の実施（7月中旬～10月）

受講者自身の教員としての資質向上に関する学びの意識について、必修領域講習3講習と選択領域講習20講習（専門学部担当分）、講習担当教員（教育学部以外）の授業に関わる意識についてのアンケートを実施する。

※文部科学省からのアンケート内容は資料1

信州大学独自のアンケート内容は資料4

④ 調査の分析（10月中旬～12月）

教員免許更新支援センター員を中心とする「制度・内容」調査チームにおいて、調査結果について分析を行い、制度並びに内容の課題と効果を洗い出す。

※文部科学省からのアンケート結果のデータは資料2

講座別受講者居住地域分布表は資料3

信州大学独自のアンケート結果のデータは資料5

⑤ 現代的な教育課題に対応した講習内容の開発（7月中旬～11月）

教員免許更新支援センター員を中心とする「現代的な教育課題」研究開発チームにおいて、特別支援教育と子どもの健康（アレルギー対策・若年性生活習慣病等）の講習開発を行う。

⑥ 有識者による検討委員会を開催（12月、2月）

有識者による検討委員会を3回開催。進捗状況の確認と、研究のまとめに対する提言。

**（3）調査研究に関する実施体制**

① 検討委員会（外部有識者による委員会）

谷田部 玲生 桐蔭横浜大学 スポーツ健康政策学部 教授

田部 俊充 日本女子大学 人間社会学部 教授

二川 正浩 東京家政大学 家政学部 准教授

渡部 竜也 東京学芸大学 教育学部 講師

宇佐美 信 長野市教育センター所長

**【活動内容について】**

- ・ 第1回委員会（7月最終週）

実施方法の検討及び調査方法ならびに講習開発方法の検討

- ・ 第2回委員会（12月11日）

調査・分析結果の確認と開発講習内容の検討

- ・ 第3回委員会（2月19日）

分析結果の確認、研究成果の提言に向けての確認

② 調査チーム

主査 赤羽 貞幸 信州大学副学長（教員免許更新支援センター長）  
小山 茂喜 信州大学教授（教員免許更新支援センター員）  
土井 進 信州大学教授（教員免許更新支援副センター長）  
庄司 和史 信州大学教授（教員免許更新支援センター員）  
荒井英治郎 信州大学准教授（教員免許更新支援センター員）  
小池 浩子 信州大学准教授（教員免許更新支援センター員）  
田村 徳至 信州大学講師（教員免許更新支援センター員）  
宮地弘一郎 信州大学助教（教員免許更新支援センター員）

## Ⅱ. 教員免許更新制の需要把握及び効果検証に関する調査研究

### 1. 文部科学省設定アンケートから

#### (1) アンケート結果の概要

○免許状更新講習の受講に際しての声掛けや注意喚起については、8割を越える受講者が受けており、その多くが勤務先などの身近な人からということで、校長等の直属の上司からの声掛けが有効に働いていると考えられる。なお、教育委員会からの声掛けや注意喚起がなかったとしている受講者が6割を超えていることは、人事権を持つ県教育委員会の問題というより、特に義務教育における学校設置者である市町村教育委員会の規模によって対応が大きく異なっていることが予想される。

今後、学校現場の責任者である学校長などからの声掛けや注意喚起が、同僚性という視点からも重要であるといえる。

○更新講習の受講が必要であること、自分の講習受講対象期間、更新講習修了確認期限・手続等一連の制度内容については、半数近い受講者が実施大学のホームページから情報を収集している。続いて、文部科学省のホームページからということで、ネット上から個人的に情報を収集していることが伺える。声掛けや注意喚起同様に、教育委員会からの通知やリーフレットから情報を収集した受講者は1割程度で、受講者にとって教育委員会との関わりは本講習については、薄いと考えられる。

なお、管理職等からの連絡とした受講生が18.7%2割弱いることから、管理職からの声掛けと同時に、きちんとした説明等がなされることも、管理運営面から考えたときには、重要な方策とも考えられる。

○免許状更新講習を受講する大学、講習の内容については、66%の受講者が実施大学のホームページから情報収集をしていた。文部科学省のホームページから情報収集している受講者も12%おり、移動の時間や距離以外に、内容や期日等で選択している受講者もいることが伺える。

なお、信州大学の場合、内容等の情報については、教育委員会の指導の下、各学校にリーフレットを配布しているが、リーフレットから情報を得たとする受講者が7.8%ということを見ると、周知の仕方に再度工夫を施す等の検討が必要かもしれない。もしくは、経費等のことを考えるとホームページのみの運用でも受講者としても、問題はないのかもしれない。

○更新講習修了確認申請手続については、制度や講習内容の情報収集と同様、半数近い受講者が実施大学のホームページで収集しており、続いて文部科学省のホームページからが1割強、教育委員会からのリーフレットからが1割弱となっている。

更新手続きについては、その他と回答している受講生もおり、これまでに更新した同僚

などから情報を得ていると考えられる。

以上のことから、制度・内容・更新手続きについては、文部科学省のホームページ同様に、実施大学のホームページできちんと情報発信することが重要といえる。

○全講習修了までの予定をみると、7割近い受講者が1年で修了させたいと考えており、2年かけてと考えている受講者が2割程度、さらに、2年目にすべて受講するとした受講者は1割もなく、受講者の心理としては、集中的に受講して早く修了させたいと考えているのではないだろうか・

○全講習修了までに受講に費やす予定の日数は、88%の受講者が5日と回答しており、選択受講に費やす予定も8割の受講者が3日と回答していることから、必修科目2日、選択科目3日の最短の日数を予定している。分割型の講習が少ないこともあるが、極力講習に費やす時間を抑えたいという意識が垣間みることができる。

○全講習修了までに講習を受講する予定の大学数をみると、76%の受講生が1大学で、残りの受講生もほぼ2大学としている。選択科目の講習についても、1大学で修了する予定の受講者が82%、残りの受講生もほぼ2大学としており、長野県内で講習を修了させようとする、受講者にとっては選択肢が限られてしまっているというデメリットがみられる。

○受講大学の選択基準をみると、自宅から近いということを挙げている受講者が48%で最も多く、次いで興味のある講習、開設時期という順になっていて、とにかくいそがしい時間を割いての受講ということから考えると。交通費も時間も最小限対象限抑え近くで済ませたいという意識が強いと考えられる。

他の教員からの良い評判を聞いたからが3%ほどみられるが、講習料が発生する講習という観点から選択基準を考えるならば、本来は内容を重視し、既習の同僚などから情報を収集して、選択するということが想定されるが、距離と時間に比べて選択基準としての内容のウェイトが低いという意識がみられ、講習内容と受講者との意識のずれが発生してしまう一因かと考えられる。

○選択講習の選択基準については、免許教科に関する内容を挙げている受講者が37%でもっとも多く、次いで最新の知見が学べる(19.8%)現在職務で直面しているもの(13%)と、おおむね自己課題に則した選択がなされていると考えられる。

しかし、忙しくてその日しか受講できなかったと回答している受講生が17%おり、受講することが目的となってしまっている受講者が少なからず発生していることは、今後の運営での課題である。

○受講する講座の検索に費やす日数は、4日以内には終わっている。また、受講申し込みもほぼ4日以内には完了している。

○受講者については、アンケートを必修講座で実施したということと、アンケートの実施



時期、長野県という特性もあり、77%が公立学校の教員で、校種別では小学校が37%と最も多く、次いで高等学校（23%）、中学校（18.9%）、幼稚園（6.5%）という順であった。

○勤務年数については、アンケート実施の時期的な特性もあり、10年程度が最も多く40%、次いで20年程度が14.8%、20年から30年が14.2%、15年程度が11.2%の順であった。ただし、無回答が18.9%いることから、ほぼ長野県の教員の年齢構成と関連しているといえる。

○受講期間についてみると、9割弱の受講者が、夏季休暇を利用しての受講で、そのうち職専免が認められた受講者が32%、認められなかった受講者が14.1%で、53.8%の受講者が無回答ということを見ると、資格認定の自己責任で受講する講習という意識を受講者は持っていて、年休対応で受講しているものと推察される。

○管理職への更新終了の報告については、求められていると回答した受講者は4割弱、それ以外の受講者は求められていない、もしくは無回答ということで、職専免同様、自己責任の講習という意識でいると考えられる。

## （2）アンケート結果からの提言

免許更新講習に係わる制度等の情報については、かなり学校現場にも周知されてきており、更新対象となる教員も改めて制度等について、確認するという意識は低くなっていると考えられる。また、更新手続きについても、同僚性が発揮され、これまでに更新した同僚からの情報でおおむね進めていると考えられる。

しかし、制度等については、年度当初きちんと確認しておくことの必要から、アンケートの結果から、管理職等からの声かけや注意喚起がうまく機能していることがうかがえるので、一步踏み込んで校長等の管理職から、きちんと説明することが重要であるといえる。

さらに、長野県の地域性もあるが、免許更新講習の事業を国立大学法人信州大学が、主になって長野県教育委員会との連携の中で実施していることから、大学のホームページを頼りに手続き完了までの流れを確認している受講者が多いことが明確になったことから、ホームページの作りも受講対象者にわかりやすい構造に改善していく必要がある。

講座選択に当たっては、本アンケート加えて、受講者の居住地と受講場所との関連についても見たところ、ほとんどの講座で、居住地との相関が高いことがわかったことから、距離と開講時期が選択基準において大きなウェイトを占めており、本来重視しなければならない内容が二の次になってしまっているという課題が明らかになった。

講習を高度化するには、まずこの物理的障害をどのように改善するかが大きな課題である。

## 2. 受講後実施する通常のアナケートと講座担当者からのアナケートから

### (1) アナケート結果の概要

○必修講座については、開設場所も選択の大きな要因になっているが、扱われる内容が固定されていることから、担当者で選択している受講者も多い。信州大学の場合、講座案内には、担当可能な教員名が記載されているが、実際の講座ではその中の数名が講義を行っていることから、担当教員をみて内容を期待した受講者にとって、期待した担当者が担当しなかった場合、期待外れということになり、学習意欲を減退させている場合があった。

○必修講座については、信州大学の場合、教育学部が担当する講座と専門学部の教職課程を担当している教職教育部が担当する講座との2系統で運営しており、内容は文部科学省から示されている範囲内で独自性を発揮していることから、受講者の反応が大きく異なる。特に、教職教育部の講座では、子ども健康管理に関する内容について医学部の教員が担当することから、受講者のほとんどが、これまでにこのような研修を受講したことがなく、有益だったとする回答が多くみられた。

○必修講座は、すべての校種のすべての教員を対象として受け入れているために、校種によって内容に対するミスマッチがみられた。特に、幼稚園教諭の受講者にとっては、学校教育主体の内容となっていたことから、内容に対する不満がみられた。

○文部科学省のアナケートにもみられた内容であるが、居住地との関係で選択講座を選択している傾向があり、受講者の選択の余地が狭い（興味関心の持てる講座が少ない）という不満がみられる。

○「研修」との制度の違いが理解されていないことから、講習を受講する意義をみいだしていない受講者もいる。

○受講者自身のキャリア形成という意識が薄い場合、講習で受講者自身が、何を学び、そして学んだことを教育実践にどのように活用するかという発想が持てずに状況がみられた。

○1講座6時間を1日で実施していることに対して、学習効果が低いので分割して開講してほしいという希望もあった。

○教師の資質向上に係わる教養の概念が、明日の授業にすぐ活かせるものという発想の受講者がかなり存在する。

○講習で学んだ内容を受講者が、自分なりの観点で咀嚼して自身の授業実践に活用すると

いう意識が薄く、明日の授業に生かせる講習に期待している受講者が多い。

○専門学部の講座内容については、実務経験者による事前チェックと支援を行っているが、学習指導要領等について、大学の教員の理解不足等から、1講座の講習内容が多岐にわたってしまい、系統性が受講者に理解されていないケースがある。

○選択講座の場合、学校種を絞り込まずに開講している場合、受講者のレベルの幅が大きく、担当者としてもどのレベルで対応してよいか困惑している。

○専門学部の選択講座について、実務経験者による事前チェックと支援を行い、それぞれの学校種の教員のレベルについても伝えているが、逆にそのことにより、高いレベルを求めてきた受講者からの不満を講習担当者が受けた場合もみられた。

○24～25年度継続して開講した専門学部での開講講座について、受講者の満足度をみると、ほとんどの講座で改善がみられ、実務経験者による事前チェックと支援が成果を上げていると考えられる。

○自然科学分野（数学を含む）の講座数が多いことにより、一つの講習の受講率が低くなっている。また、養護教諭対象の講座は、更新講習の対象者が少ないため、受講率が低くなっている。

○「講習内容・方法の総合評価」が、「あまり十分でない」「不十分」と評価割合が低い講座については、講習内容と「学校現場が直面する状況、教員の課題意識の反映」の食い違いの問題がある。講師にとっても受講者にとってもその両者にどのような繋がりがあるのかが分からなかったり、講師がそんなことを意識していなかったりということがある。

## （２）必修講座に関する主だった意見

### （ア）講義について

#### ① 内容

- ・発達障害（特別支援）は希望者多い。実践に役立つ内容を（G4）
- ・環境教育の立場に問題あり（G3）
- ・子供の病気、怪我の内容よい（G2）
- ・サイエンスマップ、指導案作成よい（G3）
- ・提案：（内容として）教育政策、情報モラルを（G!）
- ・知らない単語ばかり（G3）
- ・考えていなかった視点を学んだ（G2）
- ・資料の説明に終始している（G2）
- ・何でもできる教員が必要なのか（G2）
- ・講習内容について事前に学校の状況調査をしてほしい（G4）

- ・ 普段あまり考えないことに気づくことができた (G3)
- ・ 目をつぶってきたことに気づけた (G3)
- ・ 免許更新講習のイメージが変わった (G1)
- ・ (免許更新講習は) 育休をとっている者には有効 (G1)
- ・ (受講者を) 校種によって分けた方が効果的 (抱えている課題・事情が違う) (小中と高校) (G5)
- ・ 「子どもの頭の怪我や病気」(多田先生) が養教として勉強になった。必修に医学、保健、健康がり良い (G5)
- ・ 「教師力を考える」は資料が多すぎ、説明が早すぎた。(G5)
- ・ 講義 1 / 2 はこれまでにない視点と (? の) 据え方の示唆があり興味深かった (G5)
- ・ 環境教育は通常の授業とかけ離れていてよくわからなかった (G5)
- ・ 自分の職について立ち止まり、見直しをする良い機会でした (G5)
- ・ 現在勤務していない者にも、取り組みやすい講座を設けて欲しい (G5)
- ・ 幼保の内容を増やして欲しい (G5)
- ・ 認知症が教育に役立つとは思わなかった。本質的な部分で理解が深まった (認知：看護大)
- ・ あまり知らない世界の話を知ることができた (認知：看護大)
- ・ この講座は継続したい。家庭に直結しているし、教育現場に生かしたい (認知：看護大)
- ・ 新たな考えを引き出すような講習でした (認知：看護大)
- ・ タマネギは鱗片の内側より外側の方が良く染色できます (ミクロ：看護大)

## ② 講義方法

- ・ ディスカッション、演習、活動よい (G3)
- ・ ディスカッションで二人組や 3・4 人組はきつい (G4)
- ・ 質問タイムがほしい (G3)
- ・ 話し方、教材提示、まとめのポイントよい (G1)
- ・ 情報交換で、他県の様子が分かった。もっと情報交換をしてほしい (奈良県から) (G3)
- ・ 質問できる時間をとって欲しい (G5)
- ・ 講義の進め方等参考になった (荒井先生) (G5)
- ・ グループワークを取り入れ、他の受講者の話も聞けて良かった。グループやペアでの話等演習がありよかった (G5)
- ・ 時間通りの進行で、見通しが持てて良かった (G5)
- ・ 「キャリア教育の現状・課題」、スライドと資料の異なるところが目だった (G5)
- ・ グループ討議、丸投げ、教育と絡めるのか、自分の考えを言えなかった。漠然としすぎていた。場を指定されただけ→逆参加型が良かった (認知：看護大)

## ③ 資料

- ・ 文字が小さい (G4)
- ・ 文字が小さい (スクリーンも資料も) (G5)

#### ④ その他

- ・講師の専門性の高さに驚いた (G2)
- ・講師の話術・ユーモアよい (G3)
- ・教材(資料?)について視覚障害への対応良い (G3)
- ・若い先生が200名を相手に堂々と話をしているのが印象的でした (G5)

#### ⑤ 試験等

- ・アンケートやレポートは最初に配布してほしい (G4)

#### (イ) 運営について

##### ① 申し込み手続き等

- ・幼稚園～高校という受講範囲は広すぎる (G4)  
幼稚園には授業・運営は難しい。幼稚園教育の最新事情が必要→幼稚園教諭にも学べる内容がほしい (G3)
- ・申し込み(申し込み要項)時に詳しい内容を記載してほしい (G3)
- ・申し込み「午前中は会場が暖まりにくい」ことを入れて欲しい (G5)

##### ② 会場等

- ・飯田女子短はよい
- ・トイレの列、昼食、机不満 (G4)
- ・駐車場の要望について多数
- ・会場が寒い(多数) (G5)
- ・膝がけの用意、食堂の利用ありがたい (G5)
- ・女子トイレ(ごみの放置、乱雑さ)、教師集団の実態として残念。女子トイレのペーパー多めに(無くなっていた) (G5)
- ・案内看板、校内の経路を増やして。講師の氏名、日程が欲しい(認知:看護大)

##### ③ 日程

- ・土・日二日間はきつい (G2) <夏休み、平日できないか>
- ・要介護者がいる場合への配慮がほしい (G4)
- ・土・日の連続2日は大変、1日を2回に分けてお願いしたい (G5)
- ・夏期休業中の平日に全講習ができるような定員にして欲しい (G5)
- ・後期開設講座を増やして欲しい (G5)

#### (ウ) その他

- ・(理解できない内容を学ぶ)授業を受ける立場について学んだ (G4)

### (3) 選択講座に関する主だった意見

#### (ア) 講義について

##### ① 内容

- ・教職と結びつけるには難しい（環境を経済学的に）
- ・現場に直結する内容だ（コミュニケーション障害）
- ・研究の成果もほしい（持続可能な）
- ・法に関する基本を整理して学べた（学校教育と法律）
- ・（更新講習に）なぜこの講義なのか（余りものには）
- ・ねらいが難しい（繊維）
- ・指導要領の内容とからめながら良い（たかが新聞）
- ・血液型（B, AB）をやり玉にしている（クリティカル）
- ・今後の指導に役立つ（クリティカル）
- ・内容が現場に直結する問題とはなりにくい（食品の機能性）
- ・現場が直面する内容でない（クリティカル）
- ・専門用語、記号が多く、研究内容が理解できない（光を活用）
- ・現場の課題と少し距離のある内容が必要（ピーターラビット）
- ・事前アンケートに（講義の内容が）答えていない（食品の機能性）
- ・新しい見方が得られた（歴史館）
- ・一人の人間として（クリティカル）
- ・一人の人間として母として見返せる（食品）
- ・教材の持つおもしろさに触れた（余りもの）  
バックヤード見学、普段聞けない話、とても充実した一日（多数）（歴史館）
- ・グループが知恵を出し合いまとめた、ワークシート発表が楽しかった（歴史館）
- ・クリアシートづくりよい（歴史館）→逆に、何を書いて良いか分からなかった（歴史館）
- ・興味のわく説明を聴いて、これからの教材研究の参考になった（歴史館）
- ・土器、石器、化石等実物が見られて良かった。和算の古文書の扱いも興味深い（歴史館）
- ・今までにない知識を得られた（ものをつくる動物）
- ・社会（小5）「食料の自給率」、道徳・総合の「食育」に役立ちそう（ものをつくる動物）
- ・農業科の教員として興味深く聴けた（ものをつくる動物）

##### ② 講義方法

- ・（講義に）間がほしい（持続可能な）
- ・実験が良い（身近な化学）
- ・実験が有ればよい（地震）
- ・ゲストティーチャー良い（記者・学芸員）（たかが新聞・歴史館）
- ・バックヤードに触れた良い（歴史館）
- ・会場が信毎で良い（たかが新聞）

- ・ 体験を交えての講義よい（ピーターラビット）
- ・ 身近な例をあげ、まとまった話でよい（衣食住）
- ・ 体験よい（コミュニケーション）
- ・ 水力発電装置の見学がよい（持続可能な）
- ・ DVD細切れの説明よくない（ピーターラビット）
- ・ グループでの話し合いよい（コミュニケーション）
- ・ 自己紹介良い（コミュニケーション） 反対に良くない（外国籍児童）
- ・ オリエンテーションがよかった（歯科とアレルギー）
- ・ こんなことをしていて現場がよくなるのか（ピーターラビット）
- ・ ゲーム、実験形式よい（歯科とアレルギー）
- ・ もっと実習を（子どもの健康）
- ・ もっと演習を（データ解析）
- ・ 体験的、実習的講習で楽しく、意欲がわいた（歴史館）
- ・ 講義だけでなく、体験的、技能的な内容も欲しい（ものをつくる動物）
- ・ テーマ（タイトル）と内容が違いすぎる。例えば「畜産業の現状と課題」としたらどうか等（ものをつくる動物）
- ・ 教育現場に直結した内容を（ものをつくる動物）

### ③ 資料

- ・ 文字が小さい（子どもの健康）（ものをつくる動物）
- ・ 閲覧室から資料をたくさん出してもらった（歴史館）

### ④ その他

- ・ 若いのにさすが大学の先生（環境を経済学的に）
- ・ 講師の姿に学んだ（保健学習と教育の交差点）
- ・ 人柄が滲み出た講義（ピーターラビット）
- ・ 講師の熱心さ、おだやかさ（食品）
- ・ 3人の講師が、畜産に対する強い思いがあることは分かった（ものをつくる動物）

### ⑤ 試験等

- ・ 専門的な問題すぎる。感想で十分（ものをつくる動物）
- ・ 試験の時間や説明不十分（講師による違いあり）（ものをつくる動物）
- ・ 試験時間が短い。試験問題が遠くてよく読めない。印刷にして欲しい。試験三つはきつい。3人それぞれ20分づつは難しい、試験は1回にして欲しい（ものをつくる動物）

### ⑥ 評価のありかた

- ・ （評価書）総花的にみたすことは無理
- ・ （評価書）技術の向上を問う問いで合わない（ピーターラビット）
- ・ 選択をすべて一律の評価書でおこなうことは問題
- ・ 必修にはよいが、選択にあてはまらない項目がある（木材の科学）

- ・講習に即したアンケートをしてほしい（光の活用）

#### （イ）運営について（実施者が検討すべき事項）

##### ① 申し込み手続き等

- ・抽選について（多数）
- ・自分が本当に学びたい研修が選べないことがある。それで本当に自分の力量を高めることができるか疑問（歴史館）
- ・専門性について、全教科の中から選べると良い（歴史館）
- ・お金を払ってなのでもう少し親切に（申し込み手続き、通知、土曜日の問い合わせが可能か）（歴史館）

##### ② 会場等

- ・飯田地区での講習を増やしてほしい（食品）
- ・会場が遠い（多数）
- ・会場が狭い（多数）（ものをつくる動物）
- ・会場が寒い（午前中で暖房が切られた）（ものをつくる動物）
- ・マイクを使用して欲しい（ものをつくる動物）
- ・ホワイトボード、プロジェクター見にくい（ものをつくる動物）

##### ③ 日程

- ・要項に時間割を（クリティカル）

##### ④ その他

- ・駐車場の確保（多数）
- ・受付場所一入場
- ・鉛筆持参（要項にない）（木材の科学）
- ・会場棟が分からない（繊維）
- ・授乳施設よい
- ・持ち物にパソコンない（電子教科書、データ解析）
- ・名札よい（コミュニケーション）
- ・案内板よい（歯科とアレルギー）
- ・クーラー効き過ぎだが発言できない（光を活用する）
- ・事前の案内に記載すべきこと。例えば 有料駐車場
- ・照明、エアコンをこまめに調整してくれた（食品の機能性）
- ・キャンパスの見取り図が必要（子どもの健康2）
- ・昼食などの指示を（コンビニの位置、レストランの営業）（歴史館）
- ・予定時間がオーバーしたため昼食時間に影響した。何か販売するか、時間を確保して欲しい（ものをつくる動物）



#### (ウ) 制度について

- ・受講料6,000円に相当するか、会計報告はあるのか(学校教育と法律学)
- ・6,000円は負担感がある。教師への負担をなくす方向で(歴史館)
- ・なぜ、この時期にこのような内容の講習をうけるのか。まるで学生や予備校生の気分(ものをつくる動物)

#### (エ) その他

- ・教員を頑張るぞという講義が少ない
- ・自分の身を子どもに置き換えて考えさせられる(難しい)(余りもの)
- ・教室で分からないと困っている子の気持ちがわかった(光の活用)
- ・学校生活の足を止めて振り替えた(学校教育と法律)
- ・また機会を作って行ってみたい(歴史館)
- ・失語症で、特別な配慮で受講できた(ものをつくる動物)
- ・こんなに詳しく教えていただいたのは初めて。進路では教師がいろいろ知らなければアドバイスできない(ものをつくる動物)
- ・聴きたくなる話し方とそうでないものを改めて感じた。授業に生かしたい(ものをつくる動物)

#### (4) アンケート結果からの提言

○必修講座については、幼稚園関係の受講者については、学校教育関係の受講者と分けて開講することが望ましい。

○必修講座の担当者については、可能な限り受講案内の段階と実際の講義棟担当者が一致するような工夫をすることが受講者にとっての意欲化につながる。

○必修講座の内容の現代的な課題について、焦点化してより専門的な視点から、「子どもの健康管理」のように医学部の教員が担当するなどの工夫を行うことが、講習の高度化につながる。

○選択講習について、受講者の実態と講習内容のミスマッチの低減と担当教員の能力を十分に発揮させるという観点から、受講対象者の絞り込みも重要な視点といえる。ただし、絞り込みを行った際には、大学全体の講習内容のバランス等も十分に配慮することが必要といえる。

○専門学部の選択講座の開講に当たっては、学校教育と最先端の研究との接続をスムーズにするため、可能な限り実務経験者による事前チェックと支援を行うことが望ましい。

○講義等については、例えば「学校教育で扱う内容はこの範疇である」が、「現在の研究(学問)の方向はこうなっている」とか、「これまでに研究(学問)はこのようであった」

が「ここ数年でこのような方向が研究の対象となっている」等についてと、内容を焦点化することも必要である。

○講師の講義方法について着目している受講者は、受講者自身の日常の授業実践の姿と比較して評価している部分もあり、大学の教員も、授業準備（資料）や指導方法（ねらいと指導内容や説明の仕方、児童・生徒の意欲喚起、授業の姿勢（熱意と誠実さ）等について、さらにブラッシュアップすることが望まれる。

○「最新の知識・技能の習得の成果の総合評価」が、「あまり十分でない」「不十分」と評価の割合が低い講座については、受講者としては教育に直結する内容を求めていることから、そこに言及しない講習内容は適切でないと判断しているものと考えられる。しかし、免許更新講習に「教養を高める」や「専門性を深める」というねらいがあったり、選択講習であったりということからすると、教員の視野を広める観点からの工夫をすることによりこの課題を解決することができるように思われる。専門学部の講師が講習を担当している、信州大学（農学、医学、繊維、工学、経済、人文）の場合、その特色を発揮できる方向を大事に検討しなければならない。

○講座名も、受講率に微妙に関係しているように思われる。講座名から、少し内容が難しそうと思われる講座は、受講率が低い傾向にある。ただし、受講者の感想をみると、思ったより楽しかったという感想が多く、内容より印象で選択されてしまう傾向もあることがかんがえられる。

○「運営について」は、経済学部（4講座）、人文学部（2講座）、全学教育機構（2講座）、繊維学部（2講座）、理学部（1講座）、工学部（1講座）というように、会場（学部）による違いが出ていることから、再度共通化のための再点検を行う必要がある。

### 3. 大学が独自に実施した任意のアンケートから

#### (1) アンケートについて

##### (ア) アンケート実施に当たっての仮説

###### ①必修講習について

仮説A：同じ講習を受講しても、性別、年齢別、学校種別によって受け止め方に違いがあるのではないか

①違いがあるとすれば、その原因や理由は何か

②原因や理由から、講習内容や講習方法を改善する手がかりが得られるはずだ。

###### ②選択講習について

仮説B：性別、年齢別、学校種別によって、選択する観点に違いがあるのではないか

①選択の観点として「教養を高める」と「専門を深める」が考えられる。

②また、選択の観点として、勤務上の制約等（期日や会場）が考えられる。

③選択の観点に違いから、高度化する手がかりを得られるはずだ。

④選択の観点に違いから、受講者の更新講習の受け止め方についても手がかりを得られるはずだ。

##### (イ) アンケート項目

「講習内容」「講師の講習」「選択」の3項目について、「不十分」「十分とはいえない」「おおむね十分」「十分」の4段階で評価し、全体の感想や要望を自由記述で回答してもらうこととした。

質問用紙については、別紙2参照

##### (ウ) アンケートを取った講習

必修：「教育の最新事情（G1,G2）」

選択：「NIE 入門－新聞活用で楽しい授業－」、

「たかが新聞されど新聞」

「ニュースポーツ（フライングディスク）の指導法」

ならびに選択講習講師（記述のみ）

##### (エ) アンケートの実際

○回収数516人

○内訳

①性別…男性：222人、女性：294人

ただし、「特別支援学校」は受講者18人中男性は1人、

「その他」の受講者40人は全員女性であった。

②年齢…30代：153人

40代：194人

50代：167人

③学校種…幼稚園：6人

小学校：246人

中学校：118人

高校：87人

特別支援校：18人

その他：40人

④選択講座講師…51人（記述）

## （２）アンケート結果の概要

### （ア）必修講習について

#### ①講習内容

##### i 課題にふれ教職の使命感等の再認識について

○「十分」「おおむね十分」は、453人（87.8%）で男女・年齢層を問わず満足度は高い。

○性別で見るとは、「十分とはいえない」「不十分」は60人（11.6%）で、内訳は男性22人（10.0%）、女性36人（12.9%）で女性が満足度がやや低い。

○年齢別で見ると、「十分とはいえない」「不十分」は、30代が18人（11.8%）、40代が24人（12.4%）、50代が18人（10.8%）で、40代の満足度がやや低い。

○「使命感」という設問では、女性の方が期待しているレベルが高いということなのかもしれない。あるいは、具体的な内容を期待しているのかもしれない。

○校種別で見ると、特別支援校は、「十分とはいえない」5人（27.8%）、その他は、「十分とはいえない」「不十分」計6人（15.0%）と満足度がやや低い。

#### （主な回答）

（女性）「教員とは関係なく、自己啓発に役立ちました。」

（40代）教職の使命を再認識でき、最新の情報を得ることができたのは良かった。教員として自分はどうなのか迷いながら過ごしています。ここ二日の講義は今までの自分を見返し、新しい自分になりました。

（50代）講師の方は、その道の専門家でさすがという思いで聞かせていただきました。あと残すところ6年、残念ながら、講座の内容が良いのに、意欲や必要性、使命感を高めることができなかつた。学校にいる毎日では日々の授業や校務に追われ、教育についてじっくり考える機会がなかつたことを感

じました。この講習で考える機会をいただきました。

(小学校) 経験の少ない中での受講でしたので専門性の高いお話が早口でしたのでついて行くのがやっとでした。知らないことの多さにとまどいました。自分の経験不足、知識不足がわかった。教員としての自分の日頃の指導について見直しがしっかきでき、これからまた頑張ろうという気持ちが高まったと思います。

(高校) 小中高で分かれての講義だと的が絞れるのでより吸収するものがあると思います。

## ii 新しい教育観や視野を広げる契機について

○男女を問わず満足度が高く、男女の差がない。

「十分」「おおむね十分」が、486人(94.1%)である。

○どの年齢層においても満足度が高い。

「十分」「おおむね十分」が、全体486人(94.1%)であり、特に50代では160人(95.8%)となっている。

○校種別でみると、どの校種とも満足度が高い

(主な回答)

(30代) 実際の現場で直ぐ使える目先のものを求めがちですが、様々な分野のお話をお聞きして少し裾野が広がった気がします。もう少しゆっくりと聞きたいというのが本音です。初任研と十年研と重なる部分が多い。T先生の講座は今までに無い内容でとても面白く興味深かった。普段の研修や十年研などでも可能なのではないですか？

(40代) やはり新しいことに対応できないと改めて思いました。もう少しゆったりとした時間で学習させていただけるとありがたい。内容はとてもありがたいものだったので、ゆったりと学びたかった。ホリスティックESDの授業は興味深いものでした。目から鱗でした。自分のこれからの教員人生の向上を図れる気がしました。自分に自信がもてる気がしました。新しい教育観や時代のニーズに応えるような視野を広げる良い機会となりました。時間が無くで中々勉強できないキャリア教育や環境教育の話詳しく聞けてありがたかった。

(50代) 基本的な知識、考え方を知らなかったり、忘れていたこともあったので、自分を振り返るいい機会になった。普段の自分の姿を振り返る意味でも大変有意義な講習でした。疲れたけど、楽しかった。教育を巡る様々な課題を知ることができ、有意義でした。

(小学校) 新たな教育観を持つことができた。様々な視点が教育現場で必要だと言うこ

とが改めて分かりました。

(中学校) 新しい考え、現代社会の動きがよく分かった。自分のあり方を見つめるきっかけになった。

(その他) 二日間という限られた時間の中で、「広く浅くを学ぶ」ではありましたが、これをきっかけに改めての学び直し、意識の持ち方につなげていきたいと思いました。大変有意義でした。日々勉強せねばと改めて感じました。>

### iii 新しい理論にふれ、教科指導・生徒指導改善の契機について

○性別でみると、「おおむね十分」「十分」は、全体で457人(88.6%)で男女ともに満足度は高い。しかし、「不十分」「十分とはいえない」が、53人(10.2%)で、女性32人(10.9%)と満足度がやや低い。

○年齢別でみると、「十分」「おおむね十分」は、全体457人(88.6%)で満足度が高い。無回答6人(1.2%)で、40代が4人(2.1%)、50代が2人(1.2%)であった。

○校種別でみると、「不十分・十分とはいえない」が全体で53人(10.2%)で、「不十分・十分とはいえない」が、特別支援学校が3人(16.7%)・その他が5人(12.5%)と満足度が低い。

(主な回答)

(30代) 研修は大切と思うが必修は必要ない。学校によって多様な生徒がいるので、ためになる話をいただいても使える機会がない。地域校にも意味のある研修が欲しい。十年経験者研修と重なる場合、免許講習との兼ね合いで若干の免除があるとありがたい。学校に求められる分野であったので保育園で生かすことは難しいと思ったが、生活の中で「かむ」こと等を伝えられたらと思った。早く食べ終わる子には良く噛むこと、口腔の話は自分のことに置き換えて講義を聴くことができました。

(40代) 理論的な話が多かったが、初めて知る内容も多くあり、今実践しているは間違いでなかったなど、理解が深まった。

(50代) 必修の講習は性質上どうしても座学中心になってしまうのはしかたがないと思いますがもう少し具体的な内容が欲しかった。

(小学校) 環境を基にしながらも、多様な教育に結びつけた内容が必要だと改めて感じた。キャリアとはどう教えるべきか、身近なところでできることを感じた。

(中学校) キャリア教育の講習では、普段教科書の内容を教えることで精一杯になってしまっていたので、意識して子どもたちに取り組みさせる必要を感じました。校種も、経験も違う者に受けさせる講義には無理がある。内容も多すぎる。半分にしていってじっくり聞きたい内容がある。多くを詰め込んであり、

消化不良です。環境教育、キャリア教育について、自分の理解の不十分さを実感し、改めて学ぶことができました。もう一度確認し、きちんと理解したいと思いました。キャリア教育について改めて学ぶ機会となりました。今の子どもたちにとって小中高一貫した教育の必要性に改めて気づかされました。感染症については養護教諭ばかりでなく一般の教諭にも知っておいて欲しい内容でした。

(高 校) 汎用性が重視されるため、講師の工夫にも限界があるように思う。学校種専門教科に絞った講習を企画していただければ、より有意義なものになるように思います。多様な教員のすべての必要性を充足する講習は不可能ですね。

#### iv 新しい学校作りへの意欲について

○性別で見ると、「不十分・十分とはいえない」が、全体で98人(19.0%)と満足度は低く、男性が39人(17.6%)、女性が59人(20.0%)で女性の方が満足度が低い。また、「おおむね十分」「十分」は全体で411人(79.7%)で、男性が180人(81.0%)、女性が231人(78.5%)と、男性の方が満足度は高い。

○年齢別で見ると、「十分」「おおむね十分」が、全体で411人(79.7%)で、内訳をみると、30代が124人(81.0%)、40代が147人(75.8%)、50代が138人(82.6%)となっている。また、「不十分」「十分とはいえない」は全体で98人(19.0%)、30代が29人(19.0%)、40代が44人(21.7%)、50代が25人(15.0%)と満足度は低い。

○校種別で見ると、「不十分」「十分とはいえない」が全体で98人(19.0%)で、小学校が47人(19.1%)、中学校が25人(21.1%)、高校が10人(11.4%)、特別支援学校が8人(44.4%)、その他が7人(17.5%)と満足度が低い。

#### v 最新の知見にふれ、人間力を求め続ける必要性について

○性別で見ると、「十分」「おおむね十分」が、全体で463人(89.7%)で満足度が高く、男性が195人(87.9%)、女性268人(91.2%)で女性の方が高い。「不十分」「十分とはいえない」は、全体で48人(9.4%)、男性が24人(10.9%)、女性が24人(8.2%)である。微妙な差であるが、男女の求める内容に違いがあるように思われる。

○年齢別で見ると、「十分」「おおむね十分」は、全体で463人(89.7%)で年齢層を問わず満足度が高い。なお、「不十分」「十分とはいえない」が、全体で19人(11.4%)となっている。

○校種別でみると、「十分」が、全体で258人(50.0%)で、内訳をみると幼稚園3人(50.0%)、中学校60人(50.8%)、高校46人(52.9%)、その他20人(50.0%)と、どの校種においても満足度が高い。

(主な回答)

(30代) 脳のことなど、自分では追求していかないであろう内容にも触れることができ勉強になりました。

(40代) 知らない内容や改めて認識することができたことなど、有意義な機会となりました。できれば実践に活かせる授業づくりについても聞きたかったです。盛りだくさんの内容で苦しかったですがそれだけの研修は必要だとは思いますが。

(50代) 50代では残された人気の中で、家族の介護・社会的な活動もありながら、自分にできることを最大限に活かしたい。校務分掌で自己の資質を活かされるよう、専門性のある自主研修も、更新の認定になる工夫があれば時間的にもありがたい。K先生の講習に書きましたが、完成期の教員には別立てがあるのでは。

## ② 講師について

### i 目標が明確で、構成が適切かについて

○性別でみると、講義の構成についての満足度は高い。「十分」「おおむね十分」が全体で490人(94.9%)で、男性212人(95.5%)、女性278人(94.5%)で男女による差は少ない。

○年齢別でみると、講義の構成についての満足度は高い。「十分」「おおむね十分」が全体で490人(94.9%)で、内訳をみると、30代で144人(94.1%)、40代で179人(92.3%)、50代で165人(98.8%)であって年齢層による差は少ない。

○校種別でみると、講義の構成についての満足度は高い。全体で「十分」351人(68.0%)、「おおむね十分」139人(26.9%)で、合計490人(94.9%)となっていて、学校種による差はほとんどない。

(主な回答)

(40代) 前半専門的な講義を聴いた上で、後半実践的なことを基に講義されていて、とても分かりやすかった。演習等もあり、楽しく受講できた。

### ii 要約、説明が適切で、わかりやすいかについて

○性別でみると、説明等についての満足度は高い。「十分」「おおむね十分」が全体で4



88人（94.6%）、男性が210人（94.6%）、女性が278人（94.6%）で、性別による差はない。

○年齢別でみると、説明等についての満足度は高い。「十分」「おおむね十分」が全体で488人（94.6%）、であって年齢層による差は少ない。特に、50代が164人（98.8%）で高い。

○校種別でみると、説明等についての満足度は高い。「十分」「おおむね十分」が、全体で488人（94.6%）となっている。ただし、特別支援学校、その他は、他校種の「十分」が60%以上であるのに対して、50%代となっている。

（主な回答）

（50代）時間の割に内容が多すぎた感じであった。話すスピードが速すぎてメモができない講義があった。全体的に具体例などをもっと多く。もう少しゆったりとした日程を望みます。認定講習として落とすのではなく落とさないような方法でまとめをしてもらい安心して受けられた。とても充実した内容でした。少し盛りだくさんで聞き逃してしまうところもあり残念でした。もう少し、内容をポイントを絞ってお話しいただけると良かったです。

（小学校）中にはスピードが速すぎて言葉だけが通り過ぎて中身が落ちてこないものがあり残念でした。講師の先生の適切なアドバイスにより元気をもらいました。講習内容が分かったり、講師のご苦労やお気持ちに分かったりしたことで、こちらの取り組み方が更に真剣になったと思います

（その他）分かりやすい講義の内容、話し方だったと思います。（教室の）授業内容などという視点では少し違うところもありましたが。

### iii 資料の内容・分量が適切について

○性別でみると、満足度は高い。「十分」「おおむね十分」が全体で472人（91.5%）となっている。男女の違いはほとんど無い。しかし、「不十分」「十分とはいえない」が全体で43人（8.4%）、男性で18人（8.2%）、女性で25人（8.5%）いることには、留意したい。

○年齢別でみると、満足度は高い。「十分」「おおむね十分」が全体で472人（91.5%）となっている。しかし、「不十分」「十分とはいえない」が、40代で24人（12.4%）いることは留意したい。

○校種別でみると、「十分」「おおむね十分」が全体で472人（91.5%）で満足度は高い。「十分とはいえない」「不十分」で、特別支援学校3人（16.7%）いることは留意したい。

(主な回答)

(40代) 多くの資料を用意していただきありがたかったのですが、忙しく進んでしまう内容、専門的で説明が理解しにくい語句などがあってついていくのが困難だったものもある。

#### iv 観察・演習等、講習方法の工夫

○性別で見ると、満足度は高い。「十分」「おおむね十分」は全体で476人(92.2%)で、そのうち男性が209人(94.2%)、女性が267人(90.8%)で男性の方がやや高い。また、「不十分」「十分とはいえない」が、男性13人(5.9%)、女性26人(8.8%)となっている。

○年齢別で見ると、満足度は高い。「十分」「おおむね十分」は全体で476人(92.2%)となっている。しかし、40代は172人(88.7%)とやや低く、「不十分」「十分とはいえない」も21人(10.8%)で留意したい。

○校種別で見ると、満足度は高い。「十分」「おおむね十分」は全体で476人(92.2%)となっている。「十分とはいえない」に、特別支援学校で2人(11.1%)いる。

(主な回答)

(40代) 講義だけでなく普段の生活では得られない機会をいただけるとありがたい。例えば、教育学部の学生と話したり活動するような場。形態が同じで、もう少し工夫して、日頃の悩みや困ったことを話し合えたりと実践的な内容や個々の話をする内容があっても良いのでは無いかと思います。

(高校) 全体的に受け身だけにならないような工夫がされた講義内容であり、直ぐにでも役立つ授業のヒントがたくさんあった。

#### (イ) 選択講習について

##### ① 内容に興味・関心があり、教養を高められる

○性別で見ると、「その通り」「おおむね」が、全体で455人(88.1%)で、男性が200人(90.1%)、女性が255人(86.8%)と男女の差は少ない。なお、無回答が34人(6.6%)ある。

○年齢別で見ると、「その通り」「おおむね」が、全体で455人(88.1%)で、どの年代も、講習内容について8割強が「教養」という観点で選択していることになる。しかし、「そうとはいえない」「あまりそうとはいえない」について、30代が11人(7.2%)とやや高めである。なお、無回答が34人(6.6%)で、特に40代16人(8.2%)、5

0代12人(7.2%)となっている。

○校種別でみると、「その通り」「おおむね」が、全体で455人(88.1%)で、中学校98人(83.1%)とやや低くなっている。講習内容について「教養」という選択観点が大事にされている。なお、無回答が34人(6.6%)で、小学校18人(7.3%)、中学校12人(10.2%)となっている。

(主な回答)

- (女 性) 子育て、学校に追われる毎日なので、体を動かして気持ち良かったです。三日続ける→三週間→三ヶ月とっていましたが、今日がその一日となりそうです。新聞記者の方から実際のお話を聞いたことは大変興味深かった。震災に関わっての内容がやはり心に残った。
- (30代) 明日から、自分の健康管理及び指導に役立てたいと思います。あまり知られていない知識を得ることができて、有意義な講習だった。新聞が教育活動に役立つということを再認識することができました。
- (40代) 見学や授業に活かすという観点で役立ちありがたかったです。先週受けた選択講習はがっかりだった。
- (50代) 運動不足になりがちな現代に合った良い内容でした。専門ではなかったのですが午後のグループ演習はとても助かりました。いろいろな見方があることが分かり勉強になりました。博物館の見方が変わりました。
- (小学校) 新聞社の方の生の話が聞いて良かったです。実際にやってみてとても楽しかったです。さっそくクラスで活用できそうです。下見だけでは知られない少し深いところまで知ることができ大変有効でした。実際の記者の方からもお話が聞いて良かったです。実体験、具体例をもとに、演習も取り入れながらの講習で楽しみながら学べました。
- (高 校) 専門と関係ない分野の知識が、身についた。それがまた色々な場面で使えそう。普段触れられない世界を知ることができました。普段見ることのできないバックヤードが見られ、刺激を受けた。五感で体験すると印象に残る。
- (特別支援) 新聞でこんなに学習(作る、切る貼る、問題を作る、広げる)ができるとは思っていなかったもので、実際に体験できて良かった。

## ② 専門を深められる内容

○性別でみると、「そうとはいえない」「あまりそうとはいえない」が、全体で100人(19.4%)、そのうち男性が37人(16.7%)、女性が63人(21.4%)である。「その通り」「おおむね」は、全体で376人(72.8%)、そのうち男性が174人(78.4%)、女性が202人(68.7%)で、女性の方が「専門」としての選択観点が低い。なお、無回

答が40人(7.8%)いた。

○年齢別でみると、「そうとはいえない」「あまりそうとはいえない」が、全体で100人(19.4%)、そのうち30代が30人(19.6%)、40代が36人(18.5%)、50代が33人(19.8%)である。年齢層に関係なく約2割は専門以外の観点で選択している。また、「その通り」「おおむね」は、全体で376人(72.8%)、そのうち30代が116人(75.9%)、40代が138人(71.1%)、50代が121人(72.4%)と年齢層に関係なくほぼ7割強が専門の観点で選択している。なお、無回答が40人(7.8%)いる。

○校種別でみると、「その通り」「おおむね」は、全体で376人(72.8%)、そのうち幼稚園が6人(100%)、中学校が88人(74.6%)、高校が71人(81.6%)であるのに対し、小学校が172人(69.9%)、特別支援学校が11人(61.1%)、その他が27人(67.5%)で、校種による差が若干みられる。また、「そうとはいえない」「あまりそうとはいえない」は、全体が100人(19.4%)、小学校が50人(20.3%)、中学校が19人(16.1%)、高校が13人(14.9%)、特別支援学校6人(33.4%)、その他10人(30.0%)である。なお、無回答が40人(7.8%)で、小学校24人(9.8%)、中学校11人(9.3%)となっている。

(主な回答)

(男性) 楽しく体を動かすとともに、体の使い方がとても勉強になりました。この古墳の持つ素材の価値がより深まりました。

(30代) 選択講習の内容で教科に関するものがもう少しあると、専門性が高まるのでありがたいと思います。学校に戻ってすぐに使える内容を教えていただいていたありがたかった。ゲストティーチャー大変良かったです。新聞活用したくなるとともに、自分自身新聞の読み方、見方、考え方が変わりました。

(40代) 学習ノートは準備し配布するものの、質問やテーマ・内容があまりにも「見て直ぐに分かるもの」「解説に書かれているもの」から即答できるものが多かったように思う。もっと展示資料から時間的前後関係や変遷を考えさせたり、展示物に触れながら、自分の生き方について考えさせたりするようなテキストを開発しておくことの大切さを感じました。また、バックヤードに保存されている多くの教材や学芸員さんともお話ししながら見学や学習を深めていく方法もあることを知り、貴重な経験をさせていただき、一日とても有意義でした。講師の先生方が具体的なゲーム、他県他国のお話を交えて話していただけたので興味深く聞くことができました。グループ演習で他校の先生方と交流できて楽しかったです。それぞれの先生が大切にしたいところが鮮明になったのも興味深かったです。実際に色々考えてみて分かったことは歴史のことを表面的にしか知らなかったことです。K先生の女工さんの暮らしについては本当に目から鱗の驚くべき発見でした。歴

史館で体験型の研修でとても良かったです。実践に生きる研修ができたと思います。狭い教育の世界から会場が新聞社で、直接話が聞けるのは世界が広がって良い。知らない世界（場所・社会見学だけでは知り得ないこと）を知ることができて良かった。新聞は元々好きだったのですが、今後は良い意味で違った読み方ができそうです。

- (50代) 試験があると言われると他教科に手をだしにくいです。でもやってみたい。歴史館利用の視点、観点を教えていただき、次回の児童との見学が楽しみになりました。自分が今までに積み上げてきたことが、講習の中で一つ一つ確認できました。新聞で学ぶこと、新聞を作ること、新聞を学ぶことを実際に体験してよく分かりました。何気なく読んでいた新聞ですが多くの人の手が加わってできているのを知り、読む目が変わりました。
- (小学校) 記事の書き方や、取材など、これならできそう、と思える場面が多く、楽しみながら受けられました。児童に問題意識を持って見学するとか更に考えを深めさせる展開の必要性を実感しました。
- (中学校) 教室へ戻り早速活かせそうです。記者のお話心うたれるものがたくさんありました。自分の専門教科以外の先生方とグループになったので、幅広くたくさんの意見を聞いて心強かったです。このようなシステム・機会はとてもありがたいと思いました。教材化ということで、新しい視点から見ることができ視野が広がりました。文章を書く上での観点が整理できました。授業でも実践していきたいと思います。
- (高校) 博物館を教材に役立てたいという思いが強くなりました。美術館や博物館を使った実習型の講座をぜひ増やしてほしいです。専門分野の研究をされている講師から最新の知識や情報を教えていただき、大変刺激を受けることができました。これからは地元の大学のホームページの内容にも注意して授業に役立てることができたら良いと思います。博物館を問いを持って見学すること。授業（学校での学習）と博物館の学習の繋がりを意識することができました。文書保管の大切さ、講師の熱意に胸を打たれた。自分の視野を広げることができたように思います。授業にも是非NIEを取り入れてみたいと思います。
- (特別支援) 講師の先生方のわかりやすい説明、聞く人を引きつける話術など話に引き込まれました。子どもたちも興味津々で見たり聞いたりするんだろうなと、目を輝かせた子どもたちの顔が目に見えようでした。
- (その他) NIEの面白さ、新聞記者の熱意が伝わって有意義でした。

### ③ 勤務等の関係で期日・会場を重視

○性別で見ると、「そうとはいえない」「あまりそうとはいえない」が、全体で149人(28.9%)、そのうち男性が62人(27.9%)、女性が87人(29.6%)である。女性の方が内容を重視して選択する割合が高めである。また、「その通り」「おおむね」は、全体

で314人(60.8%)、そのうち男性が142人(64.0%)、女性172人(58.5%)で、男性の方が期日会場で選択する傾向が高い。なお、無回答が53人(10.3%)ある。

○年齢別でみると、「そうとはいえない」「あまりそうとはいえない」が、全体で149人(28.9%)、そのうち30代が43人(28.1%)、40代が64人(33.0%)、50代が42人(25.2%)で、40代は内容を重視して選択している。また、「その通り」「おおむね」は、全体で314人(60.8%)、そのうち30代が99人(64.7%)、40代が109人(56.2%)、50代が104人(62.3%)で約6割が期日会場で選択していることになる。30代、50代が期日・会場で選択する率が高い。なお、無回答が53(10.3%)ある。

○校種別でみると、「そうとはいえない」「あまりそうとはいえない」は、全体で149人(28.9%)、そのうち幼稚園が2人(33.3%)、小学校が66人(26.9%)、中学校が39人(33.1%)、高校が21人(24.1%)、特別支援学校が8人(44,5%)、その他12人(30.0%)で、ほぼ3割が「教養」や「専門」で選択していることがわかる。逆に「おおむね」と「その通り」が、全体で314人(60.8%)、そのうち幼稚園が4人(66.6%)、小学校が140人(61.0%)、中学校が66人(56.0%)、高校が61人(70.1%)、特別支援学校8人(44,5%)、その他25人(62.5%)で、ほぼ6割が勤務等の関係で期日・会場で講座を選択している。なお、無回答が53人(10.3%)で、内訳が小学校30人(12.2%)、中学校13人(11.0%)、特別支援学校2人(11.1%)となっており、抽選で漏れたり、介護・育児ためやむを得ずということで回答できていない可能性がある。

(主な回答)

(男 性) 選択講習はいろいろな内容があつてありがたいですが、期日や会場の都合で受けられず残念でした。

(女 性) 選択講習は、興味ある講習が遠方で受けられず残念です。

(40代) 自分の専門が校務から外れて数年。結局、校務に関するものと日程で選んでいます。内容を自分でしっかり選べるように講座と人数制限を見直して欲しい。

(50代) 選択講習は、内容が充実してないと思います。教育センターで行っている研修の方が、私の受けてみたい研修が多い。

(特別支援) なるべく希望した講習に参加できるといいと思う。(自分のスキルアップの研修にもなると思うため)。選択講座は3つ申し込みましたが全部だめでした。私は今介護技師です、それで振り落とされたのかと思います。

### (3) アンケート結果からの考察

#### (ア) 必修講習について

##### ① 性別の観点について

大きな差がなく、高度化に係わる具体的な視点は得られなかった。

しかし、「教職の使命感」「教科・生徒指導の改善」「学校づくり」の3項目については、男性の満足度が1～3ポイント高かった。

逆に、「人間力を高める」の項目については、女性の満足度が約3ポイント高い。（「健康・安全」の評価が高かったためと考えられる。）

「キャリア教育では、普段教科書内容を教えることで精一杯になってしまっていたので、意識して子ども達に取り組みさせる必要を感じました」（男性・30代）、「ホリスティックESDの講義は興味深いものでした。目から鱗でした。自分のこれからの教員人生の向上を図れる気がしました」（男性・40代）、「キャリア教育について改めて学ぶ機会となりました」（女性・50代）、「感染症については、一般教諭にも知って欲しい内容でした」（女性・50代・中学）といった受講者の声に耳を傾けるとするならば、現在の教育課題である「キャリア教育」「環境教育」・「学校マネジメント」「健康・保健・安全」に重点化した成果が現われていることから、より必修講習の内容を重点化する必要はあるといえる。

以上のことから、高度化を図る一つの観点として、（開設される更新講習の）地域的教育課題を把握して、講習内容の重点化を図ることが必要である。

##### ② 年齢別の観点について

###### a) 研修制度の違いによる世代間の差

初任者研修及び十年経験者研修を受けた30代、40代と50代の教員の問題である。数値評価では、はっきりしないが、感想の中で30代・40代は「十年研と重なる場合、若干の免除があるとありがたい」（30代・男性）、「初任研と十年研と重なる部分が多い」（30代・女性）、「知らない内容や改めて確認することができた内容など、有意義な機会になりました」（40代・男性）「教職の使命を再確認でき、最新の情報を得ることができたのはよかった」（40代・女性）であるのに対して、50代は「基本的な知識、考え方を知らなかったり、忘れていたこともあったので、自分を振り返るいい機会になった」（50代・男性）、「学校にいる毎日では日々の授業や校務に追われ、教育についてじっくり考える機会が無かったことを感じました。この講習で考える機会をいただきました」（50代・男性）、「教員として自分の日頃の指導について見直しができる、これからまた頑張ろうという気持ちが高まったと思います」（50代・女性）というように、明らかに差が発生している。

このことから、高度化を図る一つの方策として、十年経験者研修教員が50代で更新講習受講対象者となるまでの間は、30代・40代と50代の講習内容を分けることが適当である。その際、50代の講習内容は熟年期の内容を加味しほぼ現状と同じで良いと考えられる。また、30代・40代については初任者研修及び十年経験者研修受講後

の変化している事柄を講習の中心的な内容とすることがのぞましい。

#### b) ミドルリーダー（40代）対応

40代教員は「使命感の再確認」「新しい教育観や視野の拡大」「教科指導や生徒指導の改善」「新しい学校づくり」の4項目について他の年齢に比べて「満足度」（不十分・十分とはいえない）が低かった。

一般論として、最も充実しているはずの40代のこの傾向がみられるということは、講習内容として「教育を巡る様々な課題」「時代の要請」「新しい教育理論」「時代の変化」の分析（見解）に不十分さが あるのではないかと推測される。

高度化を図る一つの視点として、実践の中で身をもって感じ取っている40代教員の現場としての課題（悩み）を、研究者（専門家）としての立場から理論的に整理、統合していくよう講習内容を改善する必要がある。

### ③ 学校種別の観点について

学校種によって明らかな違いがみられたのは、「教育理論に触れ、教科指導や生徒指導の改善をしようとする契機」である。

小学校・中学校・高校と比較し、幼稚園・特別支援学校・その他は満足度が約5ポイント低い。学校における日常の教育実践に直結している講習内容であるのでその違いが数値評価に現れたと考えられる。原因としては、講習内容（理論及び具体）が小学校・中学校・高校の通常学級に関する事項が中心となっていることによると考えられる。（「その他」については理由がはっきりしない）

感想では「学校に求められる分野であったので保育園で生かすことは少々難しいと思った」（その他・30代）、「頭の病気や怪我の話はおもしろくわかりやすかったです」（特別支援・30代）とある。「学校種、専門教科に絞った講習を企画していただければ、より一層有意義なものになると思います」（高校・50代）、「校種も経験も違う者に受けさせる講習には無理がある。じっくり聞きたい内容がある」（50代・小学校）といったものが挙げられる。

以上のことから、高度化を図る方策として、以下の三点が考えられる。

- 一、単に幼稚園・特別支援の内容も加えること。
- 二、講習の後段で幼稚園・特別支援校を分けて講義する。
- 三、講習全体を、二つに分けて（小・中・高と幼稚園・特別支援・その他）行う。

### ④ その他全体について

「時代の変化の中で、新しい学校づくりへの意欲」については満足度が79.7%（不満足度19%）と低かったことから、高度化を図るためには、講習内容として、時代の変化に対する分析を明確にし、学校づくり（マネジメント）の方向性を具体的に提言することが重要である。



## (イ) 選択講習について

### ① 選択の講習の枠組みについて

選択講習の内容の性格を、広く教育及び社会を支える基盤として「教養を高めるの内容」と、授業実践等に直接つながる「専門分野を深める内容」に限定して考えていきたい。

### ○ 教養を高めるの内容<広く教育及び社会を支える基盤としての内容として

高度化を図るためには、受講者の期待する内容とのミスマッチを防ぐためには、この講習内容は、直接的に授業実践の内容や指導方法につながるものではなく、最先端の学問・技術・探究方法を通して教員としての物の見方・考え方を広げるに資する内容であることを明記する必要がある。

その際配慮する事柄として、現実社会や生活とのつながりについて触れることがポイントといえる。

さらに、受講対象範囲を、例えば小学校、中学校の数学、高校の理科等と限定し、要項に明記することも必要であろう。

### (参考とした感想)

#### A：受講者の感想から

- ・「今後は良い意味で違った読み方ができそうです」、「自分自身、新聞の読み方、見方、考え方が変わりました」(NIE)
- ・「自分の視野を広げることができたように思う」「新たな教育観をもつことができた。様々な視点を持つことが教育現場で必要だということが改めてわかりました」「何気なく読んでいた新聞ですが、多くの人の手が加わってできているのを知り、読む目が変わりました」(NIE)
- ・「自分の専門と関係ない分野の知識が身についた。それがまた色々な場面で使えそう」「普段触れられない世界を知ることができました」(30代・高校)
- ・「あまり知られていない知識を得ることができた、有意義な講習だった」(30代・中学)
- ・「専門分野の研究をされている講師から最新の知識や情報を教えていただき大変刺激を受けることができました。これからは地元の大学のホームページの内容にも注意して授業に役立てることができたらよいと思います」(50代・高校)

#### B：講師の感想から

- ・「教員養成学部ではない者が担当する意義は、直ちに小中高の授業に役立つ教育方法等を伝授することではなく、我々の専門を生かした講義、実験などを通して、新しい自然科学における発見や展開を披露することによって、先生方自身に科学の不思議さや、魅力を新たに感じていただくことであると思う」(繊維学部)
- ・「先生方の熱心さに感動しました。」(経済学部)

- ・「環境の安全が問われる中、耐震性は身近な問題のようだ」（工学部）
- ・「受講者が、給食を通じての食育の関する講習と勘違いされたようでがっかりさせてしまったかも知れません」（農学部）
- ・「約40名の受講生のうち、半数が小学校、1／4が中学校、残りが高校または特別支援の教員からなり、幅広い分布をとっている」（全学教育）
- ・「小学校の教諭と高校の教諭とでは、明らかに専門分野の基礎知識に違いがあり、同一の内容で講習すべきかどうか疑問に感じた」（工学部）
- ・「一部を除き、受講生に緊張感が足りない、出席して時間をつぶせばいいんでしょ的な態度がみられ、非常に不愉快であった。提出されたレポートを見ても非常に程度が低い」（人文学部）
- ・「熱心に聞いている方（自分が専門としている科目に知会方）と聞いていない方でかなり差があるように感じます」（繊維学部）
- ・「保育士から農業高校の教諭までが受講者でした。場所と日程が合う人をただ機械的に集めただけということがわかります。レベルや専門性をそろえていただくと良い講義ができます。我々が農学を教えたら、教員としてのレベルが上がるとは思えません。」（農学部）
- ・「教員の所属によって水準の違いが大きいため、高校なら高校、中学なら中学と絞って募集した方がお互いのミスマッチが少ないように感じました」（経済学部）

## ○ 専門分野を深める内容<授業実践等に直接つながる内容>

高度化を図るためには、免許状更新講習の趣旨、講師の意図、受講者のニーズの問題は避けて通れない。この講座の内容は、授業実践や指導方法あるいは教材研究等を深めるための内容であることを要項の「講習の概要」に明記する必要がある。その際、高校までの学習指導要領とのつながりを解説することが重要となる。

なお、受講対象範囲は限定せずできるだけ広くしておくことが必要である。当然、受講希望者が多くなることが予想されるので、広い講義室を確保したり講義方法を工夫したり等の必要である。

### （参考とした感想）

#### A：受講者の感想から

- ・「記事の書き方、取材などこれならできそう」「新聞活用を是非授業に取り入れたい」「教室へ戻り、早速生かせそうです」（NIE）
- ・「新聞でこんなに学習（つくる、切る貼る、問題を作る、広げる）できるとは思っていなかった」「今後の教科指導に活かしていきたい」「学校に戻ってすぐ使える内容ありがとうございました」「文章を書く上での観点が整理できました」「新聞が教育活動に役立つということを再認識することができた」「新聞で学ぶこと、新聞を作ること、新聞を学ぶことを実際体験してわかりました」（NIE）
- ・「一つの展示に意味があり、こだわりがあることを知りました」（30代・中学）
- ・「教材化ということで、新しい視点から見ることができ、視野が広がりました」（3

0代・中学)

- ・「楽しく体力向上と理論が分りました」(40代・小学校)
- ・「もっと展示資料から時間的前後関係や変遷を考えさせたり、自分の生き方について考えさせたりするようなテキストを開発しておくことの大切さを実感しました」(40代・小学校)
- ・「古墳の持つ素材の価値が深まりました」(40代・中学)
- ・「授業と博物館の学習のつながりを意識することができました」(50代・高校)
- ・「自分が今まで積み上げてきたことが、講習の中で確認できました」(50代・小学校)
- ・「児童に問題意識を持って見学するとか、更に考えを深めさせる展開の必要性を今回実感しました」(50代・小学校)
- ・「選択講習は内容が充実していないと思う。教育センターで行っている研修の方が受けてみたい研修が多い」

## B：講師の感想から

- ・「できる限り多くの先生方に参加していただくため、募集条件を広げている。」(繊維学部)
  - ・「(国際交流) この問題に関心を持っている教員が多いことが感じられる。」(国際交流センター)
  - ・「教員にとって、その養成課程において、野外観察に関する体験的な授業を受講する機会が一般的に十分でない場合が多い。自己研鑽のみでは実現が難しい野外での地質観察の機会を設け、自然観察の方法を学び、授業に生かしていただくことを目的としている。信州大学は、野外での講習を実施できる条件を備えた数少ない大学の一つである。その利点を生かした講習を展開していきたい。」(全学教育機構)
  - ・「全体的には実質的な研修を求めている」(全学教育機構)
  - ・「受講者はご自身の授業で活用できる内容を求めており、それに答える内容を更に盛り込むことが講習の課題である」(工学部)
  - ・「講習への参加が義務的なものであるため、前向き、積極的な参加と感じられない教員も散見する」(国際交流センター)
  - ・「その一日を消費することで明らかに動機づけの低い方と、その一日をできるだけ多くを吸収しようと動機づけの高い方の2極に分かれていると感じられる」(人文学部)
  - ・「現場経験もなくペーパーのみの方のニーズとベテランの方のニーズとややズレが生じた」(女子短大)
  - ・「結果として受講者の知識や欲している情報に差がある」(繊維学部)
- もある。

## ② 教養と専門に共通している事項

受講者の感想に、「新聞記者の熱意が伝わってきて有意義」「記者の話、まさに新聞作りの最先端の話であり、記者の人となりを感じることができました」「記者の方から実際の話聞いたことは興味深かった」「新聞社の方の生の話が聞けて良かった」「記者話、

心打たれるものがたくさん有りました「実際の現場の話もあっておもしろかった」(NIE)とあるように、高度化を図るための、講師の内容の取り上げ方や研究者としてまた教育に携わる講師のあり方として検討していく余地がある。

また、受講者の受講に対する受け止めについて、直接的に現場実践(授業実践)につながる内容を良しとする傾向が強い。

免許更新更新の主旨からすると、直接つながりがある内容も必要であるがそれだけでは一面でしかない。最新の知見に触れ、教員としての視野の拡大や人間的な幅の拡大の観点もある。受講者や講師を含め「免許状更新講習の意義」を更に周知していく必要がある。

### ③ 校務・期日・場所の観点について

可能な限り、開講日の分散を図ることと、開催地の多様化(出前等を含む)が、受講者のニーズと講習とのミスマッチを防ぐポイントであるが、現行方式を採っている限り、実現にはかなりの課題がある。今後は、教育委員会等との連携の中で、教育センター主催の講習等のあり方も視野に入れていくことが必要である。

#### (参考とした感想)

##### A: 受講者の感想から

- ・「選択講習は色々な内容があつて有り難いですが期日や会場の都合で受けられず残念です」(40代・特別支援)
- ・「7月～8月は文化祭・部活指導など忙しく体力的にもしんどい時期です」(30代・高校)

##### B: 講師の感想から

- ・「受講者の中には分野が違うので、興味はないが、他の日程が空いていないので仕方なく来ているという者もいました。何のための講習なのか、講師としても疑問です」(農学部)

### ④ その他

#### ○ アンケート評価について

選択の講習内容に係わる適正な評価を行うためには、必修の評価書と選択の評価書を分けることが必要である。現在の評価書を使っていることは、「評価」に対する信頼感を失わせることになり、必修の評価自体もあいまいにしてしまう危険性が高い。

また、受講者の感想に「講習内容からこの項目は(評価の)記入ができない」「この講習でなぜ(この評価を)記入させるのか分らない」とあったり、講師の感想として「設問が講習の内容に合致しないものも多くある。選択講座では回答できない項目もある。」(「障がいのある子どもの支援」=講習内容が教育実践との関係が強い講座であるとある。)

そこで、以下に高度化を図るための、選択の評価の項目を例示してみる。

#### A 講習内容・方法の評価

- ・学問分野が直面する状況や課題意識が反映された内容であったか
- ・ねらいや到達目標に即した解説や説明であったか
- ・受講者の学習意欲を高める工夫等がされていたか
- ・資料の分量等が適切であったか

#### B 最新の知識・技能の習得と成果

- ・学問分野の最新の動向、理論、考え方、探究方法に触れることができたか
- ・学問分野の知見等を修得したことにより、今後、継続的な関わりを持つ契機となったか
- ・講習内容への興味・関心が高まり、自己の教養を高めたり、見識を広げたりすることにつながったか
- ・講習内容は、自己の専門性を深めたり教育の分野に生かしたりすることにつながったか

#### ○ 試験について（選択講習のみ）

受講者にとっては、不認定の場合は免許失効ということがあり試験に対する重圧感が高い。特に選択講座では、試験内容に高度な数学の計算を求める事例がみられた。また、複数以上の講師の場合それぞれが出題するため、試験が複数回以上になるケースもみられた。

受講者の感想には、「試験があるという他教科に手を出しにくいです」「認定試験があると落ち着かない」「専門的な問題すぎる」「時間が短い。（講師が）3人それぞれ20分ずつは難しい」といった試験に対する不満もみられる。

一方、講師の感想として「確認テストをすることで、話の理解度もわかりますし、受講生も一生懸命話を聞いてくれるので双方にいいと思います」（医学部）という意見もある。この問題は、受講者の校種や指導担当教科及び受講にあたっての抽選システムという現状が深く関係している。

そこで、試験はきわめて基本的な内容（原則的な法則等）に絞る方向で検討することが重要である。また、一講習の試験は回数・時間については、十分な配慮が必要である。さらに、試験及びアンケートは印刷媒体で実施すべきである。

#### ○ 受講申し込みの抽選システムについて

受講者の感想からも、受講希望者が定員を超えた場合の抽選システムについての不満は多く見られたことら、抽選そのもののあり方を検討する必要がある。しかし、現状からすると、適正規模で講習を実施すると仮定した場合、受講者の希望を充足するには、複数回数の開講が必要となり、人的にも日程的にも実際の運用面から考えると困難を要する。現実的には、隣接した内容の講座等、全体枠の中での多様化のあり方を検討することも今後の課題といえる。

#### （参考とした感想）

- ・「なるべく希望した講座に参加できるといいと思う。自分のスキルアップの研修にもな

と思う」(30代・特別支援)

- ・「内容を自分でしっかり選べるように人数制限を見直して欲しい」(40代・小学校)、
- ・「選択講習は三つ申し込みましたが全部ダメでした。選択は私大で受けます」(50代・特別支援)
- ・「受講された方々も、ご自分が学びたいことが学べるように科目を選んでいただけたようで、ガイダンス等が適切であったことがうかがえます(受講者が養護教諭であり、職種が担保されていた)」(医学部)

## ○ 受講者への事前アンケート

選択講習では、受講者の事前アンケートは必要であり、今後も継続為する必要がある。ただし、アンケート内容(項目)については、担当講師と確認し、受講者が回答可能な内容であり、記述にあまり時間をかけなくて済むよう配慮する必要がある。

ただし、講師がアンケートにすべてこたえようとしたことで、講習内容がぼやけてしまったという事例もあるので、あくまでも参考として活用することがのぞましい。

教員免許状更新講習が、開設者である講師と受講者である教員との双方向性のある機会となるための、手立てとして活用したい。

### (参考とした感想)

- ・「事前の参加者のアンケートは、どういう話を聞きたいかということが分るので役だっています」(医学部)
- ・「事前のアンケートを送っていただき、講義内容の要望なども目を通して、できる範囲で対応しているつもりです」(医学部)
- ・「受講者がどの程度題材(講義内容)とする分野に関してバックグラウンドとして知識を持っているか予め知ることはできないであろうか」(工学部)
- ・「受講生の専門が分る名簿や希望することをいただけたことが準備にとっても役立ちました」(工学部)
- ・「実習の受講動機や目的が事前アンケートにより知ることができるので是非継続して欲しい」(全学教育機構)
- ・「募集申し込み後に、この様な内容を希望するという情報をいただいたのですが、すでに概要は提示してしまっているので対応が困難でした」(工学部)
- ・「担当講師から受講者に連絡事項を伝えるチャンネルをつくっていただけるとありがたい」(人文学部)

#### (4) アンケート結果からの高度化に向けての提言

##### ① 必修講座について

○使命感をより具体的に提示する方向で工夫する必要がある。

○講習が立ち止まって考える機会になっているが、教育を巡る様々な課題の内容を確認するとともに、中堅である40代が期待しているが内容を把握する必要がある。

○新しい教育観や視野を広げるてみると、30代のみずみずしさ（統合する力量）がうかがえることから、初任研・十年研との内容の棲み分けを検討する必要がある。受講対象者を初任研・十年研を経験した30代・40代と初任研・十年研を経験していない50代を分けるといった工夫も考えられる。なお、現職でない受講者にとっては現状の内容が良いといえる。

○新しい理論にふれ、教科指導・生徒指導改善の契機にする観点から、具体的な指導方や技術的な内容について、さらに内容に含める方向で検討する必要がある。理論の最新の方角（情報）の充実と、受講者の望む具体的な内容とは何を指しているのかの検討が必要である。

○講義（教育課題）が通常学校の中心の内容であることから、幼稚園や特別支援学校の課題にも触れる配慮したり、職種によらない共通した内容を焦点化するとともに、受講者にとってより有意義な講習とするために、学校種別講習にすることも改善を図る重要な視点である。同時に、受講者が受講を機会に、教師をやってきてよかった、これからさらに頑張ろうという気持ちが喚起できるような内容も含めたい。

○学校作りに関する講義内容を確認する必要がある。特に中堅である40代の評価が低いということは、現場としての実感と講習の理論の方角との違いがあるのかもしれない。講義内容の方角性の検討が必要である。

○「前半専門的な講義を聴いた上で、後半実践的なことを基に講義されて」との指摘は、更新講習の基本的構成とし踏まえるべき視点である。

○講師対受講者という距離を感じる関係でなく、講師もともに考えるという姿勢も大切である。

○「資料説明に追われている」との感想もあったことからすると、資料の分量と内容を更に精選する検討の余地がある。

## ② 選択講座について

○教養を高める内容として選択することから、リアリティー（現実的）が高い講習内容が受講者を引きつけるので、表題や概要の解説を工夫することも重要である。

○専門でない内容を受講できる安心感は、講習方法の工夫により可能で、案内にその旨を記載することがポイントとなる。

○中学校・高校は専門を深めたいという意識が強いのかもしれない。教養としての内容は体験的な講習がより有効である。また、ゲストティーチャーも含めて具体的に活用法等に触れられる内容が受講者の心を打つようである。

○年代に関係なく一般的な傾向として教育実践に直接つながる講習内容が受講の充実感につながっている。中堅である40代に目を開かせるような、省察から今後の改善の方向性を示唆するような講習内容を提示したい。50代は広い意味での教養を高める内容を期待しているのかもしれない。学んだことを直接的に生かそうとする姿勢がある。

○校種を問わず、授業での活用の見通しが持てる内容や方法が含まれている講習内容であること。また、最新の知見に触れたことが、実践への意欲が喚起される手がかりとなっている。異校種の者が受講しているメリットとして、専門について視野を広げるきっかけとなるケースがある。大学の講師と記者等直接現場に携わる講師との違いについて更に検討する必要がある。



## 4. 平成25年度教員免許更新講習からみた高度化に向けての分析のまとめ

### (1) 講座名と講習の概要に関して

「講習名」に、大学における研究内容を直接的に表記する名称が用いると、その分野を指導している高校の教科担当者以外の受講者は、その講座が、一般的に教育職員免許状更新講習とどのように関係するのか、あるいは、学習指導要領とどのように関係するのかイメージすることが難しく、また、講習内容が、日常生活と結びつかず、自らの知識を広げたり、視野を広げたりするものとして理解できない場合がある。

改善の方向として、例えば経済分野では、経済に専門的知識・関心の少ない一般的（幼稚園・小学校・中学校）な受講者のために、現代の社会問題や経済問題など、マスコミ等を通して話題になっている出来事などを取り上げ、講座の趣旨にせまるよう講習内容を構成し、講習名及び講習概要を、一般受講者にもより理解し易いよう検討していくことが必要である。

学校現場の直面している現状や教員の課題意識を反映した講習内容になっているかどうか当然問われるところで、募集要項における講習の概要に、「この講習の内容は、これまでの一般的な認識や概念はこのようであったが、現在の研究方向はこのように変化してきているので、このような新たな認識や概念について教授する」等、目的的な記述に改善することで、単に教育の問題としてのみでなく、現代社会の基礎となる研究に触れられるという視点から選択ができるようになる。同時に、受講者にとっては、選択する幅が広がり、受講目的がはっきりしたりするなど、受講への準備もできるようになる。

### (2) 年代別講習の必要性について

アンケート結果からは、講習内容に関して、性別による明らかな差はみられなかった。しかし、年代別では免許更新講習の大きな目的の一つである「最新の知識・技能を修得させるための課程」に関しては、感想において受け止めの違いはみられた。特に、30代・40代は、すでに制度研修である初任者研修や十年経験者研修を受講しているため、それらとの内容の重複があるとの指摘があった。50代においては、これら二つの制度研修を受講してきていないため、概ね免許更新講習の目的は達しているといえる。

また、40代においては、「使命感の再確認」「新しい教育観や視野の拡大」「教科指導や生徒指導の改革」「新しい学校づくり」について、他の年代と比べて、満足度が低い傾向がみられた。このことは、学校の中核である40代にとって、講習の中での理論と現場で実感している悩みや迷いとの間でずれが発生しているのかもしれない。数年後、更新講習の受講が一回りして二回目の免許更新を迎える時点では、当然十年間の経過における最新の内容になるが、更新講習の受講が一回りするまでの間については、年代別の違いを考慮した講習内容が必要になり、制度研修と免許更新講習の内容の検討にも関連してくる課題でもある。

なお、アンケート結果から、学校種別による違いは、「教育理論に触れ、教科指導や生徒指導の改善をしようとする契機」における幼稚園・特別支援学校の免許保持者の満足度で、それら受講者は低いスコアを示している。これは、教育理論の背景が通常学校の通常

学級での現状を前提として講習しているためではないかと推察される。このことから、特別支援校や幼稚園の例も取り上げた講習内容にすると、学校種による満足度の差は軽減されるとし考える。

### (3) 教養を高める講習にするために

受講者のアンケートの回答では、「自分の専門と関係ない分野の知識が身についた。それがまたいろんな場面で使えそう」(30代・高校)、「普段触れられない世界を知ることができました」(30代・高校)、「あまり知られていない知識を得ることができた、有意義な講習だった」(30代・中学)、「専門分野の研究をされている講師から最新の知識や情報を教えていただき大変刺激を受けることができました。これからは地元の大学のホームページの内容にも注意して授業に役立てることができたらよいと思います」(50代・高校)等、受講した講習に対して肯定的な感想が多くみられた。

また、講習開設者側の講師の感想からも、「教員養成学部ではない者が担当する意義は、直ちに小中高の授業に役立つ教育方法等を伝授することではなく、我々の専門を生かした講義、実験などを通して、新しい自然科学における発見や展開を披露することによって、先生方自身に科学の不思議さや、魅力を新たに感じていただくことであると思う」(繊維学部)等、免許更新制度の趣旨を理解した上で講習に当たっている姿がみられた。

しかし一方で、「先生方の熱心さに感動しました。教員の所属によって水準の違いが大きいため、高校なら高校、中学なら中学と絞って募集した方がお互いのミスマッチが少ないように感じました」(経済学部)、「受講者が、給食を通じての食育の関する講習と勘違いされたようだがっかりさせてしまったかも知れません」(農学部)、「約40名の受講生のうち、半数が小学校、4分の1が中学校、残りが高校または特別支援の教員からなり、幅広い分布をとっている」(全学教育)、「小学校の教諭と高校の教諭とでは、明らかに専門分野の基礎知識に違いがあり、同一の内容で講習すべきかどうか疑問に感じた」(工学部)、「一部を除き、受講生に緊張感が足りない、出席して時間をつぶせばいいんじゃないかな態度がみられ、非常に不愉快であった。提出されたレポートを見ても非常に程度が低い」(人文学部)、「熱心に聞いている方(自分が専門としている科目に近い方)と聞いていない方でかなり差があるように感じます」(繊維学部)、「保育士から農業高校の教諭までが受講者でした。場所と日程が合う人をただ機械的に集めただけということがわかります。レベルや専門性をそろえていただくと良い講義ができます。我々が農学を教えたら、教員としてのレベルが上がるとは思えません。」(農学部)等、受講者側との意識のずれを感じ、免許更新制度の「教養を高める」に資する講習であるかどうか、自らの講習内容を省みながらも、更新制度そのものに疑問を呈されている講師の姿もうかがえる。

以上の実態を踏まえて、受講者の期待する内容と講習者の意図する内容とのミスマッチを防ぐためにも、信州大学ではこれまでも実施している専門学部の講習内容に対して、実務経験者による支援のような教育現場と大学の教員との間を結び付ける作業を充実させることがポイントとなる。

同時に、講習内容が直接的に授業実践の内容や指導方法につながるものではなく、広い意味で教育を支えることに資する内容であることを要項の「講習の概要」に明記すること

が必要である。また、要項の「主な受講対象者」に、例えば現在記載されている「養護教諭」とか、「中学校の数学」、「高校の化学」などのように受講対象範囲を限定することも検討する余地がある。

#### (4) 専門性を深める講習にするために

受講者のアンケートから、「一つの展示に意味があり、こだわりがあることを知りました」(30代・中学)、「教材化ということで、新しい視点から見ることができ、視野が広がりました」(30代・中学)、「楽しく体力向上と理論が分りました」(40代・小学校)、「もっと展示資料から時間的前後関係や変遷を考えさせたり、自分の生き方について考えさせたりするようなテキストを開発しておくことの大切さを実感しました」(40代・小学校)、「古墳の持つ素材の価値が深まりました」(40代・中学)、「授業と博物館の学習のつながりを意識することができました」(50代・高校)、「自分が今まで積み上げてきたことが、講習の中で確認できました」(50代・小学校)、「児童に問題意識を持って見学するとか、更に考えを深めさせる展開の必要性を今回実感しました」(50代・小学校)等、肯定的な感想が多くみられた。反面、「選択講習は内容が充実していないと思う。教育センターで行っている研修の方が受けてみたい研修が多い」等、否定的な感想もみられる。

講師のアンケートをみると、「できる限り多くの先生方に参加していただくため、募集条件を広げている。」(繊維学部)、「(国際交流)この問題に関心を持っている教員が多いことが感じられる。」(国際交流センター)、「教員にとって、その養成課程において、野外観察に関する体験的な授業を受講する機会が一般的に十分でない場合が多い。自己研鑽のみでは実現が難しい野外での地質観察の機会を設け、自然観察の方法を学び、授業に生かしていただくことを目的としている。信州大学は、野外での講習を実施できる条件を備えた数少ない大学の一つである。その利点を生かした講習を展開していきたい。」(全学機構)、「環境の安全が問われる中、耐震性は身近な問題のようだ」(工学部)等、更新制度の目的に沿ったものが多くみられる。反面、「講習への参加が義務的なものであるため、前向き、積極的な参加と感じられない教員も散見する」(国際交流センター)、「その一日を消費することで明らかに動機づけの低い方と、その一日をできるだけ多くを吸収しようと動機づけの高い方の2極に分かれていると感じられる」(人文学部)、「現場経験もなくペーパーのみの方のニーズとベテランの方のニーズとややズレが生じた」(女子短大)等、受講者側の受講意欲のバラツキについて触れられているものも多くみられる。

このズレについては、今回のアンケートでは回答形式の問題から、受講者側のニーズを探ることはできなかったが、講師の感想に「全体的には実質的な研修を求めている」(全学機構)、「受講者はご自身の授業で活用できる内容を求めており、それに答える内容を更に盛り込むことが講習の課題である」(工学部)等、受講者のニーズに応えるため講習内容の充実努める必要性に言及している意見もみられ、ずれを解消するためのヒントをみいだすことができる。今後、募集要項の「講習の概要」に、授業実践や指導方法あるいは教材研究等を深めるために資する内容であることを明記することが望ましい。

また、抽選という方法は受講者の受講意欲に係わる問題も含まれるので、講習内容によ

り「主な受講対象者」の範囲を限定せずできるだけ広くしたり、受講希望者数に応じた広い会場の確保をしたり、講義方法を工夫したりする等、さらなる検討が必要である。

### Ⅲ. 現代的な教育課題に対応するための実践的な講習内容・方法の研究開発

#### 1. 教師として知っておきたい子どもの健康管理 アレルギー疾患 編

画 面	音 声														
<p>T/ 教師として知っておきたい 子どもの健康管理 アレルギー疾患 ※画面取りきり</p>															
<p>T/ 児童生徒全体のアレルギー疾患有病率 ※グラフ</p>	<p>近年、気管支ぜん息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎などのアレルギーの病気が増えてきており、現在、我が国では国民の3人に1人がなんらかのアレルギーを持っていると言われています。</p>														
<p style="color: red;">児童生徒全体のアレルギー疾患有病率</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <caption>児童生徒全体のアレルギー疾患有病率</caption> <thead> <tr> <th>アレルギー疾患</th> <th>有病率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気管支ぜん息</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>アトピー性皮膚炎</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>アレルギー性鼻炎</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>アレルギー性結膜炎</td> <td>3.5%</td> </tr> <tr> <td>食物アレルギー</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>アナフィラキシー</td> <td>0.14%</td> </tr> </tbody> </table>		アレルギー疾患	有病率	気管支ぜん息	5.7%	アトピー性皮膚炎	5.5%	アレルギー性鼻炎	9.2%	アレルギー性結膜炎	3.5%	食物アレルギー	2.6%	アナフィラキシー	0.14%
アレルギー疾患	有病率														
気管支ぜん息	5.7%														
アトピー性皮膚炎	5.5%														
アレルギー性鼻炎	9.2%														
アレルギー性結膜炎	3.5%														
食物アレルギー	2.6%														
アナフィラキシー	0.14%														
<p>T/アレルギー疾患とは？ 本来人間の体にとって有益な反応である免疫反応が 逆に体にとって好ましくない反応を引き起こすときに 用いられる言葉</p>	<p>アレルギーとは、本来人間の体にとって有益な反応である免疫反応が、逆に体にとって好ましくない反応を引き起こすときに用いられる言葉です。</p>														
<p>T/代表的なアレルギー疾患 ■気管支喘息 ■花粉症やハウスダストなどによる アレルギー性鼻炎 アレルギー性結膜炎</p>	<p>代表的なアレルギー疾患としては、 気管支喘息、 花粉症やハウスダストなどによる アレルギー性鼻炎、 アレルギー性結膜炎、 アトピー性皮膚炎、</p>														

- アトピー性皮膚炎
- じん麻疹
- アナフィラキシー
- 食物アレルギー

など

じん麻疹、  
アナフィラキシー、  
食物アレルギー、  
などがあります。

ここでは、特に緊急の対応を要する、食物アレルギー、アナフィラキシー、気管支喘息についてその対応を説明します。

T / 食物アレルギー

※画面取りきり

T / 食物アレルギーとは？

特定の食物を摂取することによって  
皮膚・呼吸器・消化器あるいは全身  
性に生じる  
アレルギー反応

食物アレルギーとは、一般的に、特定の食物を摂取することによって、皮膚・呼吸器・消化器あるいは全身性に生じるアレルギー反応のことを言います。

T / 食物アレルギーの有病率

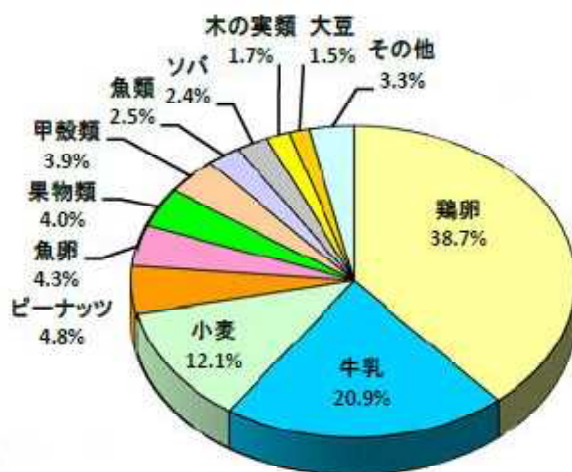
(平成25年文部科学省調べ)

小学生4.5%、中学生4.8%、高校生4.0%

平成25年の文部科学省調査では、食物アレルギーの有病率は小学生が4.5%、中学生が4.8%、高校生が4.0%でした。

T / 食物アレルギーの原因となる食品

食物アレルギーを引き起こすことが明らかな食品のうち、三大アレルゲンとして知られているのが、卵、牛乳、小麦です。  
症状が重篤なものとして、そば、ピーナッツがあげられます。  
その他にも、エビ、大豆、キウイ、魚介類などがあります。

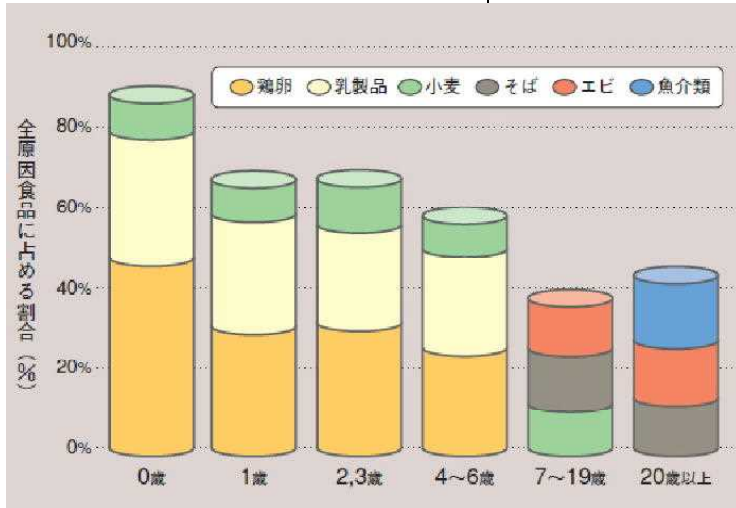


T/

年齢別原因食品の上位3食品と全原因食品に占める割合

また年齢によってアレルゲンが変化したり、新たに加わったりすることがあります。

牛乳、小麦、鶏卵アレルギーは年齢が増すとともにしばしば消失しますが、そば、ピーナッツ、魚介類などのアレルギーは生涯持続する傾向があります。



平成10.11年度 厚生省食物アレルギー検討委員会調査報告より

T/食物アレルギーの病型

**即時型**

- 皮膚粘膜症状—かゆみ、じん麻疹、  
発赤、むくみ  
—結膜充血、かゆみ、  
流涙
- 消化器症状—腹痛、嘔吐、下痢
- 呼吸器症状—くしゃみ、鼻汁、  
鼻閉  
—呼吸困難、咳、  
ヒューヒュー
- 全身性症状—アナフィラキシー・  
ショック

児童生徒にみられる食物アレルギーは、大きく3つの病型に分類されます。

一つ目は、即時型です。

食物アレルギーの児童生徒のほとんどはこの即時型に分類されます。

原因食物を食べて2時間以内に症状が現れ、その症状はじんましんのような軽い症状から、生命の危険も伴うアナフィラキシー・ショックに進行するものまで様々です。

T/食物アレルギーの病型

**口腔アレルギー症候群**

- 口の粘膜に食物が接触することによる

二つ目は、口腔アレルギー症候群です。

果物や野菜、木の実などにたいするアレルギーに多い病型で、食後5分以内に口の中で、のどのかゆみやヒリヒリ・イガイガ、腫れぼったいなどの症状が現れます。

- 原因食品は、アレルギーを起こしやすいとされる  
生の果物・野菜
- 花粉症に合併
- 接触した周囲しか症状が無い
  - ー 口、唇、のどの腫れとかゆみ
  - ー 全身症状を起こすことはまれ

多くは局所の症状だけで回復に向かいますが、5%程度で全身症状を起こすこともあるため注意が必要です。

T / 食物アレルギーの病型

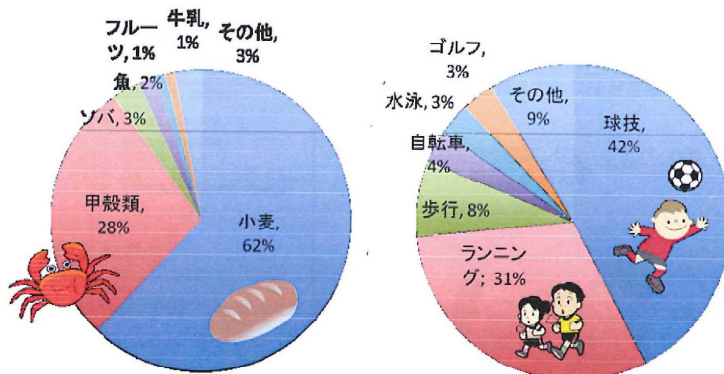
**食物依存性運動誘発アナフィラキシー**

- 皮膚粘膜症状 かゆみ、じん麻疹など
- 消化器症状 腹痛、悪心、嘔吐など
- 呼吸器症状 呼吸困難、咳、ヒューヒュー
- 即時型より強い症状が出る人が多い

三つ目は、食物依存性運動誘発アナフィラキシーです。多くの場合、原因となる食物を摂取して2時間以内に一定量の運動をすることによりアナフィラキシー症状を起こします。即時型に比べると症状が強く現れます。

T / 食物依存性運動誘発アナフィラキシーの原因食物と発症時の運動 ※図

原因食物としては、主に小麦、甲殻類です。原因食物と運動の組み合わせで発症するため、食べただけ、運動しただけでは症状が起きません。



T / 食物依存性運動誘発アナフィラキシーの発症頻度

- 小学生 2万人に1人
- 中学生 6,000人に1人
- 男児に多い 男女比は 3 : 2

発症頻度は小学生で2万人に一人、中学生で6千人に一人程度とまれです。しかし、発症した場合には、じんましんからはじまり、高い頻度で呼吸困難やショック症状のような重い症状に至るので注意が必要です。



<p>T / 食物アレルギーを持つ児童生徒の対応</p> <p><b>学校</b> = <b>家庭</b> = <b>医療機関</b> 綿密な連絡・体制づくり ↓ より安全で快適な学校生活</p>	<p>食物アレルギーを持つ子どもたちに対しては、学校ではその児童・生徒の情報をしっかりと収集し、万が一の時に、すべての関係者が理解し対応できる体制をとる必要があります。</p> <p>主治医と親、親と学校が綿密な連絡を取ることで、食物アレルギーの児童・生徒の学校での生活がより安全で快適なものとなります。</p>
<p>T / 食物アレルギーの児童・生徒をしっかりと把握する</p> <p><b>アレルギー疾患の確認</b> アレルギー疾患、過去のアレルギー症状、治療薬等</p>	<p>食物アレルギーの児童生徒を把握するためには、まず、学校長、養護教諭などにより入学前の事前面接などで症状の確認や、連絡先リスト、緊急対応の具体例の作成を行うことが重要です。</p>
<p><b>学校への携帯薬</b> 医師の指示書や診断書の確認、投与方法の確認、 保管方法の確認、副作用や、併用禁忌等の薬剤の 安全性の確認</p>	<p>学校への携帯薬がある場合には、医師の指示書や診断書の確認、投与方法・保管方法の確認、副作用や、併用禁忌などの薬剤の安全性情報を確認しておきます。</p>
<p><b>食物アレルギーの詳細</b> 原因食物、運動との関連の有無、給食の対応、 課外活動の留意点</p>	<p>原因となる食物や、運動との関連の有無、給食の対応、課外活動の留意点なども確認しておきます。</p>
<p><b>アナフィラキシーの対応</b> 初発症状等の症状確認、緊急連絡先 主治医や救急病院の確認、対応の手順 確認</p>	<p>また、急激にアレルギー症状が進むアナフィラキシーの対応として、初期の症状や対応の手順、緊急連絡先、主治医や救急病院の確認なども必要です。</p>
<p>T / <b>給食での対応</b> ・主治医からの「食物アレルギーによるアナフィラキシーショックに関する診断書」などを提出してもらう ・保護者より「アレルギー除去食依頼書」などの提出してもらう ・学校給食の場で対応が不可能な場合には、お弁当の持参も許可する</p>	<p>給食に関しては、主治医からの「食物アレルギーによるアナフィラキシーショックに関する診断書」などを参考に、学校での対応を保護者と話し合う必要があります。</p> <p>さらに児童生徒のアナフィラキシーの原因となる食品を確認し、保護者より「アレルギー除去食依頼書」などの提出を求めます。</p> <p>学校給食で対応が不可能な場合には、お弁当の持参も許可します。</p>

T/アナフィラキシー

※画面取りきり

T/アナフィラキシーとは？

アレルギー反応により、じん麻疹などの皮膚症状

腹痛や嘔吐などの消化器症状、ゼーゼー、呼吸困難

などの呼吸器症状が、複数同時かつ急激に出現した症状

T/その中でも、血圧が低下して意識の低下や脱力を来すような場合をアナフィラキシーショックと呼ぶ

T/アナフィラキシーの頻度

小学生0.6%、中学生0.4%、高校生0.3%

T/アナフィラキシーの主な原因

- 食物
- 昆虫刺傷
- 医薬品
- ラテックス（天然ゴム）
- 運動

T/アナフィラキシーの治療 意識障害がある場合

- 足を頭より高く上げた体位で寝かせ、嘔吐に備え顔を横向きにする

- 意識状態や呼吸、心拍の状態、皮膚の色を確認しながら必要に応じ応急処置を行い、医療機関への搬送を急ぐ

アレルギー反応により、じん麻疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、ゼーゼー、呼吸困難などの呼吸器症状が、複数同時にかつ急激に出現した症状をアナフィラキシーと言います。

その中でも、血圧が低下して意識の低下や脱力を来すような場合を、特にアナフィラキシーショックと呼び、直ちに対応しないと命にかかわる重篤な状態であることを意味します。

平成25年の文部科学省調査ではアナフィラキシーの既往を有する児童生徒の割合は、小学生0.6%、中学生0.4%、高校生0.3%でした。

児童生徒に起きるアナフィラキシーの原因のほとんどは食物です。それ以外に昆虫刺傷、医薬品、ラテックスなどがあります。

アナフィラキシーの具体的な治療は重症度によってことなりますが、意識障害などがみられる重症の場合には、まず適切な場所に足を頭より高く上げた体位で寝かせ、嘔吐に備え顔を横向きにします。

そして意識状態や呼吸、心拍の状態、皮膚の色を確認しながら必要に応じ応急処置を行い、医療機関への搬送を急ぎます。

<p>■アドレナリン自己注射薬「エピペン」 を持っている場合は出来るだけ早く 注射する</p>	<p>アドレナリン自己注射薬である「エピペン」を持っている場合は、出来るだけ早く注射することが効果的です。</p>									
<p>T／アドレナリン自己注射薬「エピペン」 T／練習用トレーナー T／エピペンの適応 下記の症状が一つでもあれば使用する べきである</p>	<p>血圧が下がり、意識障害などがみられる、いわゆる「ショック」状態にある患者の救命率は、アドレナリンを30分以内に投与できるか否かで大きく異なります。アナフィラキシー症状に対しては早期のエピペン使用が不可欠であり、出来れば初期症状のうちに自己注射を行うことが望まれます。</p>									
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="220 786 427 831">消化器の症状</td> <td data-bbox="427 786 847 831">・繰り返しはき続ける</td> <td data-bbox="847 786 1382 831">・持続する強いお腹の痛み</td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 831 427 909">呼吸器の症状</td> <td data-bbox="427 831 847 909">・のどや胸が締め付けられる ・持続する強い咳き込み</td> <td data-bbox="847 831 1382 909">・声がかすれる・犬が吠えるような咳 ・ゼーゼーする呼吸・息がしにくい</td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 909 427 992">全身の症状</td> <td data-bbox="427 909 847 992">・唇や爪が青白い ・意識がもうろうとしている</td> <td data-bbox="847 909 1382 992">・脈を触れにくい・不規則 ・ぐったりしている・尿や便を漏らす</td> </tr> </table>		消化器の症状	・繰り返しはき続ける	・持続する強いお腹の痛み	呼吸器の症状	・のどや胸が締め付けられる ・持続する強い咳き込み	・声がかすれる・犬が吠えるような咳 ・ゼーゼーする呼吸・息がしにくい	全身の症状	・唇や爪が青白い ・意識がもうろうとしている	・脈を触れにくい・不規則 ・ぐったりしている・尿や便を漏らす
消化器の症状	・繰り返しはき続ける	・持続する強いお腹の痛み								
呼吸器の症状	・のどや胸が締め付けられる ・持続する強い咳き込み	・声がかすれる・犬が吠えるような咳 ・ゼーゼーする呼吸・息がしにくい								
全身の症状	・唇や爪が青白い ・意識がもうろうとしている	・脈を触れにくい・不規則 ・ぐったりしている・尿や便を漏らす								
<p>日本小児アレルギー学会</p>										
<p>T／エピペンの使い方 T／エピペンの使い方は商品により異なります</p>	<p>エピペンの使い方は、まずオレンジ色のニードルカバーを下に向けてエピペンの真ん中を片手でしっかりと握り、もう片方の手で安全キャップをはずします。</p>									
<p>T／太ももの前外側に先端を強く押しつける</p>	<p>太ももの前外側に垂直になるように先端を強く押しつけ、「カチッ」と音がするまで強く押しつけます。押しつけたまま数秒間待ちます。</p>									
<p>T／緊急の場合は、衣服の上からでも注射できる</p>	<p>緊急の場合は、衣服の上からでも注射できます。</p>									
<p>T／先端が伸びていることを確認</p>	<p>注射器を太ももから抜き取ります。先端が自動的にのびていることをチェックし、正常に注射できたことを確認します、  使用済みの注射器は、安全キャップを元の場所に押し込み、ニードルカバーの先端を机の上などの硬い面にあて、ニードルカバーの両側を指で押さえながら、本体を下に押しつけ収納します。</p>									

<p>T／エピペンの効果は約30分</p> <p>T／注射後は直ちに医療機関で受診</p>	<p>エピペンの効果はおよそ30分と短時間です。</p> <p>注射後は直ちに医療機関を受診して医師による診療を受けてください。</p>
<p>T／ 気管支ぜん息</p> <p>※画面取りきり</p> <p>T／気管支ぜん息とは？</p> <p>気道の慢性的な炎症により、発作性にせきや、ゼーゼー、ヒューヒューといったぜん鳴をともなう呼吸困難を繰り返す疾患</p> <p>T／気管支ぜん息の有病率</p> <p>小学生6.8%、中学生5.1%、高校生3.6%</p> <p>T／気管支ぜん息の原因</p> <p>ダニ、ホコリ、動物のフケや毛などのアレルゲンに対するアレルギー反応が気道で慢性的に起きるため</p> <p>T／気管支ぜん息の治療</p> <p><b>発作が起きてしまった時の対処・治療</b></p> <p>■安静にする</p> <p>横にさせるよりも座らせた方が呼吸は楽になる</p> <p>■ゆっくりと腹式呼吸</p> <p>■水を飲んでたんを吐き出しやすくする</p>	<p>気管支ぜん息は、気道の慢性的な炎症により、発作性にせきや、ゼーゼー、ヒューヒューといったぜん鳴をともなう呼吸困難を繰り返す疾患です。</p> <p>平成16年の文部科学省調査では、気管支ぜん息の有病率は小学生6.8%、中学生5.1%、高校生3.6%でした。</p> <p>発症の原因は、ダニ、ホコリ、動物のフケや毛などのアレルゲンに対するアレルギー反応が気道で慢性的に起きるためです。慢性的な炎症により気道が過敏になっているため、さらなるアレルゲンへの反応や、風邪やインフルエンザなどの呼吸器感染症、運動、受動喫煙、時に精神的な情動などでも発作が起きやすくなります。</p> <p>発作が起きてしまったときに重症にならないようにする対処や治療には次のような方法があります。</p> <p>まずは安静にすることです。横にさせるよりも座らせた方が呼吸は楽になります。</p> <p>そしてゆっくりと腹式呼吸をします。</p> <p>たんが出るようであれば、水を飲んで、たんを吐き出しやすくします。</p>

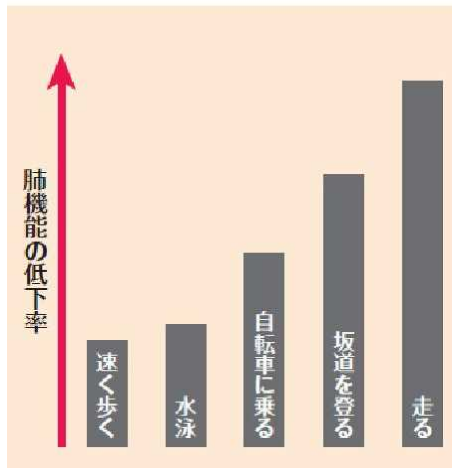
T / 気管支ぜん息の主な原因

- ・ダニ・ホコリ・動物のフケや毛など
- ・運動

気管支ぜん息は、運動も発作の誘発原因となります。

T / 各種運動とそれによる発作の強さ

各種運動とそれによる発作の強さ



※肺機能の低下率が高くなるほど、運動誘発ぜん息が強く起こることを示している。

出典：『ぜん息をもつ児童生徒の健康管理マニュアル』（監修・環境省/文部科学省）一部改編

水泳が発作を誘発しにくい反面、長距離走は発作を誘発しやすい運動です。特に冬季の激しい運動は乾燥した冷気による気管支への刺激で発作を誘発しやすい傾向がありますので十分注意が必要です。

運動誘発ぜん息は、運動前に予防薬を吸入することで予防できる場合があります。

また運動前の準備体操には、発作を起こしにくくする効果もあります。

T / 運動中に発作が起きた場合の対処法

もし運動中に発作が起きた場合は、速やかに運動を止め、安静に

して様子をみます。

症状が強かったり改善しなければ、急性発作治療薬を使用させ、腹式呼吸などで呼吸を整えます。

運動中に発作が起きた場合の対処

- ①ただちに運動を休止。
- ②（管理指導表等にある場合）症状が強かったり改善しなければ急性発作治療薬（ベータ刺激薬）を使用させる。
- ③腹式呼吸などで呼吸を整える。

20~30分くらいで

発作が治まれば

様子をみながら運動を再開してもよい  
ただし、軽い運動にとどめる

発作が治まらなければ

保護者へ連絡  
管理指導表等で指示のある場合には急性発作治療薬（ベータ刺激薬）を再度吸入させる。

症状が改善しない時は、医療機関の受診  
（救急車の要請）

20~30分経って、発作が治まれば、様子をみながら運動を再開します。ただし軽い運動に留めます。

20~30分経っても発作が治まらなければ、保護者へ連絡します。発作時の対処として指示がある場合には、急性発作治療薬を再度吸入させます。

	<p>それでも症状が改善しないときは、救急車を要請し、医療機関の受診をします。</p>
<p>T／校外行事（日帰り）</p> <p><b>事前に保護者と相談しておくこと</b></p> <p>行事当日までの様子や長期管理薬および急性発作治療薬の使用状況などを連絡帳に記入、当日提出してもらおう</p>	<p>日帰りの校外行事では、行事の当日までの児童生徒の様子や長期管理薬、急性発作治療薬の使用状況などを連絡帳に記入し、当日提出してもらいます。</p>
<p>T／校外行事（日帰り）</p> <p><b>行事参加中に急に重い発作を起こした場合</b></p> <p>児童生徒が持参している急性発作治療薬の使用を含め発作の程度に応じた対応を行う</p>	<p>行事参加中に重い発作を起こした場合は、児童生徒が持参している急性発作治療薬の使用を含め、発作の程度に応じた対応を行います。</p>
<p>T／修学旅行などの宿泊行事</p> <p><b>事前に保護者と相談しておくこと</b></p> <p>保護者を通じ、事前に主治医に参加可能な状態かどうかを確認する</p>	<p>修学旅行など宿泊を伴う校外活動は、すべての児童生徒にとって貴重な体験となるので医師から参加を禁止されない限りできるだけ参加できるよう配慮してください。</p> <p>事前に保護者を通じ、主治医に参加可能な状態かどうかを確認してもらいます。</p>
<p>T／修学旅行などの宿泊行事</p> <p><b>事前の下見などで確認しておくこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊先の部屋などの状況を確認する</li> <li>・ 宿泊先近辺の医療機関を調べておく</li> <li>・ 食物アレルギーのある児童生徒の食事メニューや対応を相談する</li> </ul>	<p>事前の下見では、発作が誘発しやすい宿泊先の畳やじゅうたん、寝具などの状況を確認しておくとい良いでしょう。</p> <p>また、旅行中に発作を起こした場合に備え、事前に宿泊先近辺の適切な医療機関を調べておくことも大切です。</p> <p>食物アレルギーがあり、主治医から食物除去を指導されている場合には、宿泊先の担当者と食事メニューや対応を相談しておく必要があります。</p>
<p>T／修学旅行などの宿泊行事</p> <p><b>旅行中</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊先の部屋で枕投げやプロレスごっこをさせない</li> <li>・ 薬の服用や吸入が必要な場合には、引率する教員の部屋で行わせる</li> <li>・ 引率者はなるべく喫煙しない</li> </ul>	<p>旅行中、宿での枕投げやプロレスごっこなどは、はしゃぎ過ぎや、ホコリを吸い込んだりして発作を起こしやすくなるので、指導をしっかりと行いましょう。</p> <p>薬の服用や吸入が必要な場合には、引率する教員の部屋で行わせるなどの配慮が必要です。</p> <p>そして、旅行の期間中、引率者はなるべく喫煙をしないようにしましょう。</p>

<p>まとめ</p> <p>T／より安全で快適な学校生活を送るために 児童生徒一人ひとりの状況をしっかりと把握 学校・保護者・医療機関の密な連携</p> <p>T／企画 信州大学 監修 小林法元（信州大学医学部） 製作 コンテンツビジョン</p>	<p>アレルギーの症状や程度は一人ひとり異なります。 子どもたちが、より安全で快適な学校生活を送るために、学校ではその児童生徒の状況をしっかりと把握し、保護者や医療機関と連携を密に取りながら対応していくことが求められます。</p>
---	---

## 2. 教師として知っておきたい子どもの健康管理 感染症 編

画 面	音 声																																										
<p>T／ 教師として知っておきたい 子どもの健康管理 感 染 症 ※画面取りきり</p>																																											
<p>T／主な伝染性の感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■麻疹（はしか）</li> <li>■風疹（3日ばしか）</li> <li>■流行性耳下腺炎（おたふくかぜ・ムンプス）</li> <li>■水痘</li> <li>■インフルエンザ</li> <li>■ノロウイルスによる胃腸炎</li> </ul>	<p>学校教育の現場で気をつけておくべき伝染性の感染症には、主に、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘、そしてインフルエンザがあります。</p>																																										
<p>T／感染症発生動向調査</p>	<p>感染症の患者数は、年々少なくなっていますが、予防接種が任意の流行性耳下腺炎、水痘の患者数は、麻疹、風疹に比べるとかなり多くなっていることが分かります。</p>																																										
<p>国立感染症研究所 2013年2月調べ</p>																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2007</th> <th>2008</th> <th>2009</th> <th>2010</th> <th>2011</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻疹*</td> <td>3,133</td> <td>11,013</td> <td>732</td> <td>447</td> <td>439</td> </tr> <tr> <td>風疹*</td> <td>463</td> <td>294</td> <td>147</td> <td>87</td> <td>378</td> </tr> <tr> <td>流行性耳下腺炎</td> <td>67,803</td> <td>65,361</td> <td>104,568</td> <td>179,669</td> <td>137,110</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td>245,880</td> <td>224,835</td> <td>202,732</td> <td>234,603</td> <td>238,645</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ</td> <td>1,212,042</td> <td>621,447</td> <td>3,068,082</td> <td>268,932</td> <td>1,363,793</td> </tr> <tr> <td>感染性胃腸炎</td> <td>989,647</td> <td>1,056,747</td> <td>814,793</td> <td>1,238,681</td> <td>983,634</td> </tr> </tbody> </table>		2007	2008	2009	2010	2011	麻疹*	3,133	11,013	732	447	439	風疹*	463	294	147	87	378	流行性耳下腺炎	67,803	65,361	104,568	179,669	137,110	水痘	245,880	224,835	202,732	234,603	238,645	インフルエンザ	1,212,042	621,447	3,068,082	268,932	1,363,793	感染性胃腸炎	989,647	1,056,747	814,793	1,238,681	983,634
	2007	2008	2009	2010	2011																																						
麻疹*	3,133	11,013	732	447	439																																						
風疹*	463	294	147	87	378																																						
流行性耳下腺炎	67,803	65,361	104,568	179,669	137,110																																						
水痘	245,880	224,835	202,732	234,603	238,645																																						
インフルエンザ	1,212,042	621,447	3,068,082	268,932	1,363,793																																						
感染性胃腸炎	989,647	1,056,747	814,793	1,238,681	983,634																																						
	<p>※ 2008年より風疹、麻疹は全数把握対象疾患となる</p>																																										



T / 感染経路

空気感染

飛沫感染

接触感染

伝染性の感染症の感染経路は、主に空気感染、飛沫感染、接触感染があります。

それぞれの感染経路を理解して学校での感染の拡大を予防することが大切です。

T / 空気感染

麻疹、水ぼうそう、結核など



空気感染は、病原体が長時間空中を漂いそれを吸い込むことで感染します。

代表的なものに麻疹、水ぼうそう、結核があります。

空気感染を予防することは難しく、たやすく感染が拡大します。

T / 飛沫感染

インフルエンザ、風疹、流行性耳下腺炎など



飛沫感染は、咳やくしゃみによるしぶきに含まれた病原体を直接吸い込むことで感染します。

インフルエンザや風疹、流行性耳下腺炎など多くの病原体の感染経路です。

これらの病原体は空中を浮遊することはできないため、しぶきの届く範囲から離れることや、マスクによるしぶきの飛散を押さえることにより感染の拡大を防ぐことができます。

T / 接触感染

ノロウイルスによる胃腸炎など



接触感染は、病原体により汚染された水や食品、ドアノブ、手すり等を介して感染します。代表的なものにノロウイルスによる胃腸炎があります。感染拡大の予防には、正しい方法による手洗いと、発症者の吐物や排泄物の適切な処理、接触した場所の厳重な消毒、清掃が重要となります。

T / 適切な手洗いの方法



感染の拡大を予防するための有効な方法の一つが、適切な手洗いです。



手洗いは、まず、流水で洗う部分をぬらします。

薬用石けん、または手洗い用消毒剤を手のひらに取り、手のひらを洗います。

次に、手のひらで手の甲を包むように、左右の手を洗います。

指の間、そして指まで良く洗います。親指の周りも良く洗います。

指先、爪も良く洗います。

※訪問宅のタオルではなく、ペーパータオル、自分が持参した個人用タオル、もしくは個人用ハンカチで拭きます。1日に何件か訪問する場合、タオル・ハンカチが汚染されないよう注意しましょう。

手首も良く洗います。

流水で洗い流し、ハンカチなどで拭き取ります。

それでは、主な感染症について確認しましょう。

T / 麻疹 (はしか)

※画面取りきり

T / 麻疹とは？

発熱・咳・鼻汁・目やになどの上気道感染症状

カタル症状 発疹を主徴とする

急性のウイルスによる伝染病

麻疹=はしかは、発熱、咳、鼻汁、目やに などの上気道感染症状、カタル症状、発疹を主な特徴とする急性のウイルスによる伝染病です。

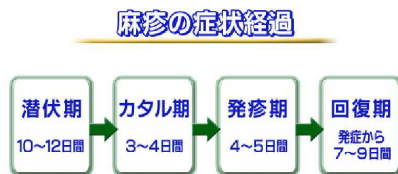
T / 麻疹の特徴

■麻疹ウイルスの飛沫感染・空気感染により発症

麻疹ウイルスは非常に感染力が強く、同じ部屋で患者と同じ空気を吸うだけでも感染する可能性があります。また、感染すればほとんど病気を発症します。病気に罹った場合は強い

- 感染力が強く、ほとんどが発症する
- 一度観戦すると終生免疫を獲得する
- 予防接種が1回の場合、抗体力が低下する可能性がある。

T /



T / カタル期の終わり

T / コプリック班



T / 麻

疹の症状 発疹期



T / 麻疹の発疹

- 耳後部・頸部→額・顔面→体幹→四肢へと広がる
- 色は鮮紅色→暗褐色→色素沈着→消失と変化する

免疫ができるため、終生免疫を獲得できますが、予防接種の場合、1回だけでは抗体の力が低下する可能性があります。

麻疹の症状は、潜伏期、カタル期、発疹期、回復期という経過をたどります。

麻疹はウイルス感染後、およそ10日間の潜伏期を経て、発熱、目やに、カタル症状で発症します。この時期は普通の風邪とあまり区別が付きません。

3日から4日のカタル期の終わりに、口の中の頬粘膜に「コプリック班」という麻疹特有の白い斑点が現れます。ここで初めて麻疹と診断されます。

「コプリック班」は、麻疹を疑って口の中を良く見ないと見逃すことがあります。

「コプリック班」が現れて熱が一旦下がったあと、再び39℃から40℃の発熱とともに発疹が現れます。

- 発疹期：4～5日（最もつらい時期）
- 再び高熱（39～40℃）になる
- 発疹が出現する

麻疹の発症は、耳の後ろや顔面から始まり、体幹、手足へと広がっていきます。

最初はピンク色の発疹は濃い赤色になり、茶色の色素沈着を残して消えていきます。

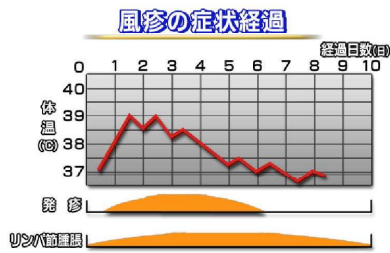
<p>T／麻疹の症状 回復期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■症状が出現してから7～9日で治癒する</li> <li>■解熱後3～4日したら日常生活に戻す</li> <li>■学校伝染病に指定されており、解熱後3日を経過するまで出席停止</li> </ul>	<p>麻疹は症状が出てから7日から9日で治癒します。熱が下がったあと、3、4日したら日常生活に戻します。学校伝染病に指定されているので、解熱後3日を経過するまで出席停止となっています。</p>
<p>T／麻疹の合併症</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■細菌の二次感染による肺炎</li> <li>■麻疹ウイルスによる巨細胞性肺炎</li> <li>■中耳炎</li> <li>■麻疹脳炎</li> <li>■亜急性硬化性全脳炎など</li> </ul>	<p>麻疹の合併症としては、細菌の二次感染による肺炎、あるいは麻疹ウイルスによる巨細胞性肺炎。中耳炎。麻疹脳炎。亜急性硬化性全脳炎などがあります。</p>
<p>T／麻疹の予防接種</p> <p>2006年から2回接種</p> <p>1回目 生後12ヶ月～24ヶ月</p> <p>2回目 小学校就学前の1年間</p>	<p>麻疹は予防接種で排除可能な疾患とされています。2006年からは1歳児と小学校入学前の幼児に予防接種が行われています。</p>
<p>T／麻疹の予防接種 副作用は？</p> <p>接種後5～10日に38℃位の発熱が15～25%に7～11日目に発疹が4%程度みられる</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>麻疹に罹るより軽い症状 予防接種の有効性は明らか</p>	<p>麻疹ワクチンは弱毒生のワクチンであり、初回接種ではいったん軽く麻疹に罹った状態になります。このため接種後1週間から11日目ごろまでに4、5人に一人の割合で発熱や発疹などの副反応が現れることがあります。しかし実際に麻疹にかかるよりはずっと軽い症状であり、予防接種の有効性は明らかです。麻疹の感染力、重篤性を理解し、日頃から十分な予防策を施し、万一、麻疹が発症した場合には迅速な対応を取ることが重要です。</p>
<p>T／ 風疹（3日ばしか）</p> <p style="text-align: center;">※画面取りきり</p> <p>T／風疹とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■風疹ウイルスの飛沫感染による伝染病</li> <li>■潜伏期間は2～3週間、発疹・発熱・リンパ節腫脹・関節痛・結膜炎が特徴</li> <li>■妊娠20週以内の妊婦が感染すると、児</li> </ul>	<p>風疹とは、風疹ウイルスによる飛沫感染による伝染病で、3日ばしかとも呼ばれています。普通の風邪と変わらない、軽い症状から始まります。風疹ウイルスの潜伏期間は14日から21日で、発疹、発熱、</p>

に先天性風疹症候群（難聴・知的障害・先天性心疾患など）を発症させる可能性がある

リンパ節腫脹、関節痛、結膜炎が特徴です。

妊娠初期の妊婦が感染すると、子どもが難聴、知的障害、先天性心疾患などの先天性風疹症候群を発症することがあります。

T/



症状は、発熱前にリンパ節の腫れに気づくことが多くあります。

発疹は発熱と同時に現れます。

小児ではそれほど辛そうではありませんが、成人が発症すると前身倦怠感などの症状が強く表れます。

T/風疹の発疹



風疹は、マシムと比べると発疹が顔から体幹、手足へと広がっていきます。

【発疹】顔→体幹→四肢

薄紅色

T/風疹の予防接種

2006年から麻疹・風疹 混合ワクチンを2回接種

1回目 生後12ヶ月～24ヶ月

2回目 小学校就学前の1年間

風疹は先天性風疹症候群を発症する恐れがあるため、予防接種が行われています。

2006年から麻疹・風疹ワクチンとして、1歳と小学校就学前の1年間に、2回接種が行われています。

風疹も麻疹と同様に2008年1月から全数把握疾患となっています。

T/ 流行性耳下腺炎  
(おたふくかぜ・ムンプス)

※画面取りきり

T／流行性耳下腺炎とは？

■ムンプスウイルスの飛沫感染による伝染病

■潜伏期間は14日～21日

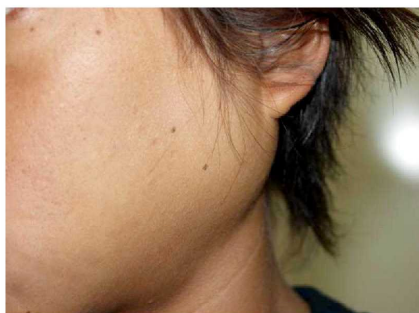
30～40%は不顕性感染で ウイルスに感染しても耳下腺炎を発症しない

流行性耳下腺炎、いわゆる「おたふくかぜ」は、ムンプスウイルスの飛沫感染による伝染病です。

ウイルス感染後2、3週間の潜伏期を経て、発熱、耳下腺（じかせん）・顎下腺（がつかせん）腫脹で発症します。

症状がはっきりと分からない感染が多く、ムンプスウイルスに感染しても3人に1人は発症しません。つまり、「おたふくかぜ」に罹ったことが無くてもすでに免疫を持っている人がいます。

T／流行性耳下腺炎とは？



流行性耳下腺炎は耳たぶの下の部分だけでなく、アゴの下も腫れ、下ぶくれの顔になることが多いことから「おたふくかぜ」と呼ばれます。

両側の耳下腺腫脹の人もいれば、片側だけが腫れる人もいます。

腫れは1週間程度で無くなります。

■両側あるいは片側の耳下腺あるいは顎下腺が腫脹する

多くは疼痛があり、発熱を伴う

■腫脹は1週間程度で消退する

T／流行性耳下腺炎の合併症

**無菌性髄膜炎**

発症は約10人～20人に1人

頭痛・嘔吐などの髄膜刺激症状が出現

流行性耳下腺炎で気をつけなければいけないのが合併症です。

無菌性髄膜炎を発症する人が多く、10人から20人に1人と言われています。

頭痛や嘔吐などの症状が現れます。

T／流行性耳下腺炎の合併症

**脳炎**

まれではあるが知能障害などの後遺症を残す

予後不良な中枢神経合併症もみられる

また、希ではありますが、知能障害などの後遺症を残す脳炎など、予後不良な中枢神経合併症もみられます。

<p>T／流行性耳下腺炎の合併症</p> <p><b>難 聴</b></p> <p>まれに片側の感音性難聴がみられ、回復は困難である</p>	<p>無菌性髄膜炎に比べると希ではありますが、感音性難聴もみられ、回復が困難な場合が多くあります。</p>
<p>T／流行性耳下腺炎の合併症</p> <p><b>精 巢 炎</b></p> <p>思春期以降に感染した場合 急激に精巣の腫脹と陰嚢の発赤を認める 絶対的不妊はまれである</p>	<p>思春期以降の男性が感染すると精巣が腫れて精巣炎を起こすことがあります。不妊の原因になることはまれです。</p>
<p>T／耳下腺腫脹があれば流行性耳下腺炎なのか？</p> <p>●ムンプス以外にも 化膿性耳下腺炎（細菌感染症） 反復性耳下腺炎など 急性耳下腺腫脹をきたす疾患がある</p>	<p>では、耳の下に腫れがあれば必ず流行性耳下腺炎なのでしょうか。</p> <p>発熱とともに耳下腺腫脹が見られた場合でも、細菌感染症など、流行性耳下腺炎ではない場合があります。</p>
<p>T／耳下腺腫脹があれば流行性耳下腺炎なのか？</p> <p>●ムンプスが流行していない時の急性耳下腺腫脹の多くは ムンプス以外が原因である</p>	<p>ムンプスが流行していない時の急性耳下腺腫脹の原因は多くの場合、ムンプス以外が原因と考えられます。</p>
<p>T／ 水 痘 (水疱瘡)</p> <p>※画面取りきり</p> <p>T／水痘とは？</p> <p>■水痘・帯状疱疹ウイルスの空気感染・飛沫感染による伝染病 初感染の場合、水痘を発症する</p> <p>■潜伏期間は14日～16日 気道粘膜あるいは眼結膜から感染し</p>	<p>水痘とは、水痘・帯状疱疹ウイルスの空気感染、飛沫感染による伝染病です。</p> <p>初感染の場合、水痘を発症します。</p> <p>ウイルスの初感染後、およそ2週間の潜伏期間を経て、発熱</p>



発熱と全身の水疱性発疹で発症する

#### T／水痘の発疹の特徴



- 顔面・四肢より体幹に多い
- 紅班→丘疹→水痘→膿疱→痂皮へと変化して治癒

#### T／水痘の発疹の特徴



- 同一部位に新旧さまざまな発疹が混在する
- 発疹出現1～2日前から痂皮化するまで感染力がある。

#### T／水痘の合併症

- ブドウ球菌などによる皮膚の細菌性2時感染症
- まれに脳炎や小脳失調症を起こす
- 成人では肺炎を発症することがある

#### T／水痘の合併症

- 免疫不全状態にある時やステロイドホルモン療法中に罹患すると重症化する

#### T／水痘・帯状疱疹ウイルス

と全身の水疱性発疹で発症します。

水痘の発疹は体幹に多く、赤くなり、盛り上がり中に水を持ち、その後、水疱が黄色くなり、かさぶたになる、という経過をとります。

水痘は、同一部位に新旧さまざまな発疹が混在するのが特徴です。

水疱の中にはウイルスが存在し、発疹出現の1日あるいは2日前から発疹が全部かさぶたになるまで感染力があります。

水痘の合併症としては、かさぶたを引っ掻いて皮膚の細菌感染を起こすことがあることと、まれに脳炎を発症することなどです。

成人で水痘に罹ると肺炎を発症することもあります。

また、白血病や悪性腫瘍で抗ガン剤を使用中の子どもや、さまざまな疾患でステロイドホルモンを使用している子どもが水痘に感染すると重症化することがあります。

水痘が治ったあと、水痘・帯状疱疹ウイルスは脊髄後根の知



<p>→ 治癒後、脊髄後根神経節に潜伏 ↓ 帯状疱疹</p> <p>T/帯状疱疹の発疹</p>  <p>■帯状疱疹の感染力は水痘より弱いですが、水疱中には多量のウイルスが含まれている。</p>	<p>覚神経節に潜伏します。 体が弱って免疫状態が低下すると、このウイルスが活性化し、知覚神経に沿って帯状に水疱が現れ、痛みを伴います。これが帯状疱疹です。</p> <p>帯状疱疹の水疱にもウイルスが含まれており、未感染の小児が接触すると水痘を発症することがあります。</p>
<p>T/ インフルエンザ</p> <p>※画面取りきり</p> <p>T/インフルエンザとは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■突然、高熱がでる</li> <li>■全身状態が悪い</li> <li>■高熱が長く続く</li> <li>■次から次へと感染する</li> <li>■脳症、肺炎、熱性けいれん、脱水などの合併症がある</li> </ul> <p>T/インフルエンザの種類</p> <p>A型          B型</p> <p>↓</p> <p>ソ連型 香港型</p>	<p>インフルエンザは、毎年流行し、感染する人が多い病気です。インフルエンザの特徴は、突然高熱がでる。全身状態が悪い。高熱が長く続く。次から次へとうつる。脳症、肺炎、熱性けいれん、脱水などの合併症があることです。</p> <p>インフルエンザウイルスにはいくつかの種類があります。</p> <p>人に感染するのは、A型、B型です。</p> <p>A型インフルエンザウイルスには、ソ連型、香港型があります。</p>

<p>トリ インフルエンザ</p> <p>T/インフルエンザの症状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■発症後1日以内にけいれん、意識障害を起こす</li> <li>■その後、全身の臓器が障害される</li> <li>■意識障害がでる前に、異常行動がみられる</li> </ul> <p>T/インフルエンザ脳症による異常行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■食べ物とそうでないものが区別できない</li> <li>■映像的幻視・幻覚的訴えがある</li> <li>■おびえ、恐怖感</li> <li>■怒る、泣く、にやりと笑う</li> <li>■つじつまの合わないことを言う</li> <li>■大声で歌う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> <p>T/インフルエンザの予防</p> <p>接触感染もある</p> <p>→ うがい、手洗い、咳エチケットなど感染防止策が大切</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学校</span> 出席停止、学級・学校閉鎖が有効  学校医、保健所、教育委員会との連携を迅速に  地域の感染症発生状況を把握しておく</p>	<p>トリインフルエンザは変異した場合、人に感染する可能性があります。</p> <p>インフルエンザで、特に気をつけなければいけないのが脳症です。</p> <p>症状が急激に進行し、命に係わることもあります。</p> <p>脳症による異常行動としては、食べ物とそうでないものの区別が出来ない。映像的幻視・幻覚的訴えがある。おびえ、恐怖感。怒る、泣く、にやりと笑う。つじつまの合わないことを言う。大声で歌う。などが上げられます。</p> <p>インフルエンザは基本的に飛沫感染ですが、接触感染もあります。</p> <p>うがい、手洗い、咳エチケットなどの感染防止対策が大切です。</p> <p>もし学校で異常を感じたらすぐに保護者に伝え、病院で診療してもらうよう促して下さい。</p> <p>感染の予防対策には、出席停止、学級・学校閉鎖が有効で学校医・保健所・教育委員会などと連携し迅速に行う必要があります。</p> <p>また、地域の感染症発生状況を把握しておくことも大切です。</p>
<p>T/ ノロウイルスによる胃腸炎</p> <p style="text-align: center;">※画面取りきり</p> <p>T/ノロウイルスによる胃腸炎の症状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●潜伏期間は1～2日</li> <li>●嘔気、嘔吐で始まることが多い</li> <li>●発症後、数時間で下痢を認める</li> <li>●発熱する人もいる</li> </ul>	<p>最近増えている感染症に、ノロウイルスによる胃腸炎があります。</p> <p>ウイルスへの接触から症状の発症までの期間は1日から2日と短く、激し吐き気や嘔吐で始まることが多く、発症後数時間で下痢を起こし、発熱する人もいます。</p>

<p>T／ノロウイルスの感染経路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●吐物と便に排泄されたウイルスによる経口感染</li> <li>●ウイルスに汚染された食事（給食も）の経口摂取</li> <li>●ドアノブ・手すり・便器などでの接触感染</li> <li>●糞便・吐物に付着したウイルスの飛沫感染</li> </ul>	<p>ノロウイルスの感染経路は、吐いた物と、便に排泄されたウイルスによる経口感染、ウイルスに汚染された食事などからの経口摂取、ドアノブや手すり、便器などウイルスが付着した場所を触った手を口にするなどの接触感染、便や吐いた物に付着したウイルスの飛沫感染などです。</p>
<p>T／ノロウイルスの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●衣服・家具の表面で数週間生存可能</li> <li>●アルコール消毒されない</li> <li>●ウイルスは症状改善後1～3週間が便中に排泄される</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">予防</span> こまめな手洗い</p>	<p>ノロウイルスは、衣服や家具などの表面で数週間は生存が可能で、アルコールでは消毒されず、症状が改善しても1週間から3週間は便の中に排泄されます。</p> <p>そのため、予防としては、こまめな手洗いが重要になります。</p>
<p>T／吐物・便の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒を遠ざける</li> <li>●マスク、手袋、メガネ（ゴーグル）を着用し吐いた物をぞうきんでしっかり拭き取る</li> <li>●拭き取ったぞうきんはビニール袋に入れ厳重に密封し処分</li> <li>●吐物、下痢のあった場所を中心に広めに塩素系消毒剤で消毒する。家庭用漂白剤であれば200倍程度に希釈し使用</li> <li>●汚染された衣服は、ビニール袋に入れる</li> </ul>	<p>吐いた物や便の処理に当たっては、児童生徒をその場から遠ざける。マスク、手袋、メガネを着用し、吐いた物をぞうきんでしっかり拭き取る。拭き取ったぞうきんはビニール袋に入れ厳重に密封し処分する。</p> <p>吐いた物、下痢のあった場所を中心に広めに塩素系消毒剤で消毒する。</p> <p>そして、汚染された衣服は、ビニール袋に入れる、などの点に注意しましょう。</p>
<p>まとめ</p> <p>T／感染症</p>	<p>学校教育の現場で気をつけておくべき感染症について紹介してきましたが、</p>

<p>●早期発見が大切</p> <p>→ 日頃から子どもたちの表情・行動の把握する</p> <p>→ 異変を感じたら病院へ</p> <p>●感染症の症状・合併症について知っておく</p>	<p>何より大切なのは早い発見です。</p> <p>日頃から教室などで子どもたちの表情や行動を把握し、おかしいと思ったら病院へ行くことを促しましょう。</p> <p>同時に、一つひとつの病気の特徴や合併症についての正確な知識を持ち、学校現場で冷静に対処できるようにしておくことが大切です。</p>
<p>T／企画 信州大学</p> <p>監修 小林法元（信州大学医学部）</p> <p>製作 コンテンツビジョン</p>	

# 資 料

- (資料 1) 平成25年度教員免許状更新講習受講者アンケート (文部科学省)
- (資料 2) 「文部科学省免許更新講習受講者アンケート」基本データ
- (資料 3) 講座選択における受講者の居住地との関係
- (資料 4) 「免許更新講習信州大学任意アンケート調査用紙」
- (資料 5) 「免許更新講習信州大学任意アンケート」集計表
- (資料 6) 「信州大学任意アンケート」自由記述データ
- (資料 7) 専門学部開講の講座に関する基本情報
- (資料 8) 専門学部開講の講座における受講評価の自由記述
- (資料 9) 教職教育部と医学部の共同開講の必修講座(G講座)における受講評価の自由記述
- (資料 10) 専門学部開設講座お受講者評価の平成24年度と平成25年度比較

(資料1)

平成25年度教員免許状更新講習受講者アンケート（文部科学省）

今後の教員免許状更新講習の改善のため、以下のアンケートに御協力いただきますようお願いいたします。

回答は、本アンケートの ----- 線で囲まれた回答欄の該当する選択肢に○をつけるか、直接記述してください。

まず、回答にあたって、別紙1，別紙2のコード表を参照して、御自身の受講資格及び所有している全ての教員免許状について、該当する番号、記号を御記入ください。

※ 左詰めで御記入ください。

・ 受講資格 

--	--	--	--	--

・ 所有している免許（お持ちの免許状について全て御記入ください。）


設問は1. から13. まであります。

「受講資格」で別紙1の(1)「教育職員」あるいは(2)「文部科学省令で定める教育の職にある者」に該当する方については、1. ～7. 及び8. ～11. の設問にお答えください。

「受講資格」で別紙1の(3)「教育職員に任命され、又は雇用されることとなっている者」あるいは(4)「これに準ずるものとして文部科学省令で定める者」に該当する方については、1. ～7. 及び12. の設問にお答えください。

[1. ～7. の設問は全ての方が御回答ください。]

## 1. 基本情報

・受講期間 ( 1 . 2 ) 年目

・受講グループ (該当する生年月日の欄に○をつけてください。)

( ) 昭和30年4月2日～昭和31年4月1日  
( ) 昭和40年4月2日～昭和41年4月1日 第1グループ  
( ) 昭和50年4月2日～昭和51年4月1日

( ) 昭和31年4月2日～昭和32年4月1日  
( ) 昭和41年4月2日～昭和42年4月1日 第2グループ  
( ) 昭和51年4月2日～昭和52年4月1日

( ) 昭和32年4月2日～昭和33年4月1日  
( ) 昭和42年4月2日～昭和43年4月1日 第3グループ  
( ) 昭和52年4月2日～昭和53年4月1日

( ) 昭和33年4月2日～昭和34年4月1日  
( ) 昭和43年4月2日～昭和44年4月1日 第4グループ  
( ) 昭和53年4月2日～昭和54年4月1日

( ) 昭和34年4月2日～昭和35年4月1日  
( ) 昭和44年4月2日～昭和45年4月1日 第5グループ  
( ) 昭和54年4月2日～昭和55年4月1日

( ) 昭和35年4月2日～昭和36年4月1日  
( ) 昭和45年4月2日～昭和46年4月1日 第6グループ  
( ) 昭和55年4月2日～昭和56年4月1日

( ) 昭和36年4月2日～昭和37年4月1日

- |                          |                                 |           |
|--------------------------|---------------------------------|-----------|
| <input type="checkbox"/> | 昭和 46 年 4 月 2 日～昭和 47 年 4 月 1 日 | 第 7 グループ  |
| <input type="checkbox"/> | 昭和 56 年 4 月 2 日～昭和 57 年 4 月 1 日 |           |
| <input type="checkbox"/> | 昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 38 年 4 月 1 日 |           |
| <input type="checkbox"/> | 昭和 47 年 4 月 2 日～昭和 48 年 4 月 1 日 | 第 8 グループ  |
| <input type="checkbox"/> | 昭和 57 年 4 月 2 日～昭和 58 年 4 月 1 日 |           |
| <input type="checkbox"/> | 昭和 38 年 4 月 2 日～昭和 39 年 4 月 1 日 |           |
| <input type="checkbox"/> | 昭和 48 年 4 月 2 日～昭和 49 年 4 月 1 日 | 第 9 グループ  |
| <input type="checkbox"/> | 昭和 58 年 4 月 2 日～昭和 59 年 4 月 1 日 |           |
| <input type="checkbox"/> | 昭和 39 年 4 月 2 日～昭和 40 年 4 月 1 日 |           |
| <input type="checkbox"/> | 昭和 49 年 4 月 2 日～昭和 50 年 4 月 1 日 | 第 10 グループ |
| <input type="checkbox"/> | 昭和 59 年 4 月 2 日～                |           |
| <input type="checkbox"/> | 受講グループ外                         |           |

2. 免許状更新講習の受講に際し、勤務先など身近な人（教育委員会以外）から声かけや注意喚起がありましたか。

- (選択肢) a. あった  
b. なかった

3. 免許状更新講習の受講に際し、都道府県や市町村の教育委員会から声かけや注意喚起がありましたか。

- (選択肢) a. あった  
b. なかった

4. 免許状更新講習の情報収集方法

(複数回答可。)

- 4-1 更新制の概要についてどのように情報収集しましたか。

(更新講習の受講が必要であること、自分の講習受講対象期間、更新講習修了確認期限・手続等一連の制度内容)



- (選択肢) a. 文部科学省のホームページ閲覧  
b. 文部科学省への電話による問い合わせ  
c. 都道府県教委、市町村教委からの通知・リーフレット等  
d. 都道府県教委、市町村教委への電話による問い合わせ  
e. 勤務する学校等の管理職等からの連絡  
f. 免許状更新講習実施大学のホームページ閲覧  
g. 免許状更新講習実施大学への電話による問い合わせ  
h. その他 ( )

4－2 免許状更新講習を受講する大学、講習の内容についてどのように情報収集しましたか。

- (選択肢) a. 文部科学省のホームページ閲覧  
b. 文部科学省への電話による問い合わせ  
c. 都道府県教委、市町村教委からの通知・リーフレット等  
d. 都道府県教委、市町村教委への電話による問い合わせ  
e. 勤務する学校等の管理職等からの連絡  
f. 免許状更新講習実施大学のホームページ閲覧  
g. 免許状更新講習実施大学への電話による問い合わせ  
h. その他 ( )

4－3 講習終了後の教育委員会に対する更新講習修了確認申請手続についてどのように情報収集しましたか。

- (選択肢) a. 文部科学省のホームページ閲覧  
b. 文部科学省への電話による問い合わせ  
c. 都道府県教委、市町村教委からの通知・リーフレット等  
d. 都道府県教委、市町村教委への電話による問い合わせ  
e. 勤務する学校等の管理職等からの連絡  
f. 免許状更新講習実施大学のホームページ閲覧  
g. 免許状更新講習実施大学への電話による問い合わせ  
h. その他 ( )

5. 受講に費やす予定の年数、日数

5-1 全講習修了までにどのような予定を立てていますか。

- (選択肢) a. (30時間分の講習を) 受講期間のうち1年目に全て受講する  
b. (30時間分の講習を) 受講期間のうち2年目に全て受講する  
c. (30時間分の講習を) 受講期間の2年間に分けて受講する

5-2 全講習修了までに受講に費やす予定の日数はどれくらいですか。

- ・ ( ) 日間  
(うち選択講習 ( ) 日間)  
・ 受講にあたり、困難・不便だったことを自由に御記入ください。

[ ]

6. 受講大学及び受講講習の選択

6-1 全講習修了までに講習を受講する予定の大学数を選択してください。

- (選択肢) a. 1大学 b. 2大学 c. 3大学 d. 4大学以上 ( ) 大学

6-2 上記のうち、選択講習を受講する予定の大学数を選択してください。

- (選択肢) a. 1大学 b. 2大学 c. 3大学 d. 4大学以上 ( ) 大学

6-3 受講大学をどのような基準で選択しましたか。又は選択する予定ですか (複数選択可)。

- (選択肢) a. 自宅から近いから  
b. 勤務先から近いから  
c. 卒業大学だから  
d. 教員養成系大学だから  
e. 興味のある講習が多く開設されているから  
f. 他の教員等から良い評判を聞いたから  
g. 校長等から推奨されたから  
h. 他の大学の必修講習が既に満員であったから

- i. 受けたい時期に講習を開設している大学が限られていたから
- j. 試験が容易との評判だったから
- k. その他 ( )

6－4 選択講習をどのような基準で選択しましたか。又は選択する予定ですか（複数選択可）。

- (選択肢)
- a. 免許教科に関する内容だったから
  - b. 最新の知見が学べると思ったから
  - c. 現在職務で直面している問題・事柄だったから
  - d. 免許外の教科だが興味関心があったから
  - e. 他の教員等から良い評判を聞いたから
  - f. 校長等から推奨されたから
  - g. 試験が容易との評判だったから
  - h. 忙しくてその日程でしか受講できなかったから
  - i. 定員が空いている講習が限られていたから
  - j. その他 ( )

7. 全講習の受講申込みにどれくらいの日数を費やしましたか。又は費やす見通しですか。

- (選択肢)・受講大学・講習の検索 約 ( ) 日間
- ・受講申込み 約 ( ) 日間
  - ・受講大学・講習の検索及び受講申込みの際に困難・不便だったことを自由に御記入ください。

( )

[以下の設問は、該当する問番号のみ御回答ください。]

[8. ～ 11. の設問は受講資格について、別紙1の(1)「教育職員」あるいは(2)「文部科学省令で定める教育の職にある者」に該当する方のみ御回答ください。]



11. 講習受講後は、講習の受講及び免許状の更新が終了したという報告を行うよう、勤務先の学校長等の管理職から求められていますか。

- (選択肢) a. 求められている  
b. 求められていない

[12. の設問は受講資格について、別紙1の(3)「教育職員に任命され、又は雇用されることとなっている者」あるいは(4)「これに準ずるものとして文部科学省令で定める者」に該当する方のみ御回答ください。]

12. 過去の教員経験や、教育委員会が作成した臨時任用教員リストに登載されていることなど、非現職教員が講習の受講申込みの際に提示した受講対象者であるという証明の入手にどれくらいの日数がかかりましたか。

- ・費やした日数 約 ( ) 日間
- ・証明の入手に際に、困難・不便だったこと (自由記述)

( )

設問は以上です。

ご協力ありがとうございました。

(資料2)

## 「文部科学省免許更新講習受講者アンケート」基本データ

### ○アンケート実施日と講座並びに会場

平成25年7月27日…必修講座「教育の最新事情」(長野県総合教育センター)

7月28日…必修講座「教育の最新事情」(長野県総合教育センター)

### ○アンケート項目

文部科学省より指定された項目(別紙1参照)

### ○回収率

対象受講者数…315名

回答者数…274名

回収率……86.9%

### ○アンケート結果基本集計

#### A-1 声かけや注意喚起(身近な人)

	回答数	構成比
(1) あった	232	85%
(2) なかった	40	15%
無回答	2	1%
計	274	100%

#### A-2 声かけや注意喚起(教育委員会)

	回答数	構成比
(1) あった	104	38%
(2) なかった	169	62%
無回答	1	0%
計	274	100%

B－1 更新制の概要についての情報収集

	回答数	構成比
(1) 文部科学省のホームページ	106	21%
(2) 文部科学省への電話	1	0%
(3) 教委からの通知・リーフレット	58	11%
(4) 教委への電話	0	0%
(5) 管理職等からの連絡	97	19%
(6) 実施大学のホームページ	229	44%
(7) 実施大学への電話	14	3%
(8) その他	13	3%
無回答	0	0%
計	518	100%

B－2 受講する大学、講習の内容の情報収集

	回答数	構成比
(1) 文部科学省のホームページ	46	12%
(2) 文部科学省への電話	0	0%
(3) 教委からの通知・リーフレット	29	8%
(4) 教委への電話	0	0%
(5) 管理職等からの連絡	23	6%
(6) 実施大学のホームページ	246	67%
(7) 実施大学への電話	9	2%
(8) その他	14	4%
無回答	3	1%
計	370	100%

B－3 更新講習修了確認申請手続についての情報収集

	回答数	構成比
(1) 文部科学省のホームページ	49	14%
(2) 文部科学省への電話	0	0%
(3) 教委からの通知・リーフレット	31	9%
(4) 教委への電話	0	0%
(5) 管理職等からの連絡	25	7%
(6) 実施大学のホームページ	183	54%
(7) 実施大学への電話	6	2%
(8) その他	26	8%
無回答	21	6%
計	341	100%

C-1 全講習修了までの予定

	回答数	構成比
(1) 受講期間のうち1年目に全て受講	195	71%
(2) 受講期間のうち2年目に全て受講	23	8%
(3) 受講期間の2年間に分けて受講	52	19%
無回答	4	2%
計	274	100%

C-2 全講習修了までに受講に費やす予定の日数

	回答数	構成比
(1) 5日	241	88%
(2) 6日	10	4%
(3) 7日	2	1%
(4) 8日	0	0%
(5) 9日	0	0%
(6) 10日	0	0%
(7) 11日以上	1	0%
無回答	20	7%
計	274	100%

C-3 全講習修了までに選択受講に費やす予定の日数

	回答数	構成比
(1) 3日	221	81%
(2) 4日	21	8%
(3) 5日	4	2%
(4) 6日	1	0%
(5) 7日以上	0	0%
無回答	27	10%
計	274	100%



D-1 全講習修了までに講習を受講する予定の大学数

	回答数	構成比
(1) 1 大学	209	76%
(2) 2 大学	49	18%
(3) 3 大学	12	4%
(4) 4 大学以上	0	0%
無回答	4	2%
計	274	100%

D-2 全講習修了までに選択講習を受講する予定の大学数

	回答数	構成比
(1) 1 大学	227	83%
(2) 2 大学	30	11%
(3) 3 大学	4	2%
(4) 4 大学以上	0	0%
無回答	13	5%
計	274	100%

D-3 受講大学をどのような基準で選択したか

	回答数	構成比
(1) 自宅から近いから	235	48%
(2) 勤務先から近いから	23	5%
(3) 卒業大学だから	38	8%
(4) 教員養成系大学だから	0	0%
(5) 興味のある講習が多く開設されているか	87	18%
(6) 他の教員等から良い評判を聞いたから	16	3%
(7) 校長等から推奨されたから	1	0%
(8) 他の大学の必修講習が既に満員であった	2	0%
(9) 受けたい時期に講習を開設している大学	65	13%
(10) 試験が容易との評判だったから	1	0%
(11) その他	16	3%
無回答	3	1%
計	487	100%

D-4 選択講習をどのような基準で選択しましたか

	回答数	構成比
(1) 免許教科に関する内容だったから	194	37%
(2) 最新の知見が学べると思ったから	103	20%
(3) 現在職務で直面している問題・事柄だっ	68	13%
(4) 免許外の教科だが興味関心があったから	0	0%
(5) 他の教員等から良い評判を聞いたから	18	4%
(6) 校長等から推奨されたから	1	0%
(7) 試験が容易との評判だったから	0	0%
(8) 忙しくてその日程でしか受講できなかつ	88	17%
(9) 定員が空いている講習に限られていたか	25	5%
(10) その他	15	3%
無回答	7	1%
計	519	100%

E-1 全講習の受講申込みのための大学や講座の検索にどれくらいの日数を費やしましたか

	回答数	構成比
(1) 1日	65	24%
(2) 2日	66	24%
(3) 3日	69	25%
(4) 4日	51	19%
(5) 4日以上	5	2%
無回答	18	7%
計	274	100%

E-2 全講習の受講申込みにどれくらいの日数を費やしましたか

	回答数	構成比
(1) 1日	101	37%
(2) 2日	68	25%
(3) 3日	40	15%
(4) 4日	38	14%
(5) 4日以上	0	0%
無回答	27	10%
計	274	100%

F－1 設置者

	回答数	構成比
(1) 国立	3	1%
(2) 公立	213	78%
(3) 私立	19	7%
無回答	39	14%
計	274	100%

F－2 校種

	回答数	構成比
(1) 幼稚園	11	7%
(2) 小学校	63	37%
(3) 中学校	32	19%
(4) 高等学校	39	23%
(5) 中等教育学校	3	2%
(6) 特別支援学校（幼稚部）	0	0%
(7) 特別支援学校（小学部）	0	0%
(8) 特別支援学校（中学部）	1	1%
(9) 特別支援学校（高等部）	3	2%
無回答	17	10%
計	169	100%

F－3 勤務年数

	回答数	構成比
(1) 10年	69	41%
(2) 15年	19	11%
(3) 20年	25	15%
(4) 25年	0	0%
(5) 30年	24	14%
無回答	32	19%
計	169	100%

F－4 受講期間

	回答数	構成比
(1) 夏季休暇	179	89%
(2) 冬季休暇	3	2%
(3) 春季休暇	0	0%
(4) 長期休暇以外の土曜日、日曜日	0	0%
(5) その他	4	2%
無回答	15	8%
計	201	100%

F－5 土日以外の長期休業期間中の受講で、職専免が認められた

	回答数	構成比
(1) 認められた	25	32%
(2) 認められなかった	11	14%
無回答	42	54%
計	78	100%

F－6 管理職への更新終了の報告

	回答数	構成比
(1) 求められている	31	40%
(2) 求められていない	35	45%
無回答	12	15%
計	78	100%

(資料3)

講座選択における受講者の居住地との関係

## 講座と受講者の居住地域

講座名等	開設学部等	定員	受講者数	受講者の居住地										
				北信		東信		中信		南信		県外		
必 教育の最新事情	教育学部	600	554	346	62%	70	13%	68	12%	59	11%	11	2%	
必 教育の最新事情	総合教育センター	330	342	25	7%	26	8%	166	49%	121	35%	4	1%	
必 教育の最新事情	全学教育機構	150	162	5	3%	5	3%	124	77%	22	14%	6	4%	
必 教育の最新事情	飯田女子短期大学	120	124	3	2%	1	1%	11	9%	108	87%	1	1%	
1 移民と移動の社会学—外国人集住都市の事例を中心として	教育学部	50	47	30	64%	5	11%	9	19%	2	4%	1	2%	
2 元素の誕生から放射線・放射能・原子力まで	教育学部	30	28	15	54%	2	7%	9	32%	2	7%	0	0%	
3 戦後前衛文学とその理論—安部公房・石川淳・花田清輝を中心に	教育学部	60	21	13	62%	1	5%	2	10%	5	24%	0	0%	
4 食品機能性の科学	農学部	65	61	3	5%	0	0%	9	15%	49	80%	0	0%	
5 はじめて学ぶ繊維と感性	繊維学部	65	47	15	32%	17	36%	7	15%	6	13%	2	4%	
6 身の回りにおける化学を発見しよう	全学教育機構	40	37	3	8%	3	8%	25	68%	5	14%	1	3%	
7 開発途上国の子どもの健康と環境—学校保健、健康教育の世界的潮流とエコヘルズ教育導入の試み—	教育学部	50	47	26	55%	6	13%	7	15%	6	13%	2	4%	
8 校種を貫く「伝統的な言語文化」を（読み）・（書く）	教育学部	60	56	35	63%	6	11%	8	14%	7	13%	0	0%	
9 環境教育の最前線～参加型アプローチによる環境教育のススメ～	教育学部	50	46	32	70%	6	13%	6	13%	2	4%	0	0%	
10 小学校体育における教材づくりと授業分析	教育学部	50	38	16	42%	6	16%	11	29%	5	13%	0	0%	
11 新学習指導要領（国語科）にどう向き合うか—その源流にヒントを求めて—	教育学部	50	42	32	76%	1	2%	2	5%	7	17%	0	0%	
12 ビーターラビットと英語から英国社会を見る	全学教育機構	50	93	17	18%	6	6%	45	48%	23	25%	2	2%	
13 心理学からのクリティカル・シンキング入門	人文学部	100	99	14	14%	5	5%	60	61%	20	20%	0	0%	
14 若者のための〈死〉の倫理学	人文学部	100	55	12	22%	4	7%	24	44%	15	27%	0	0%	
15 「共通事項」を活かした感性を育む授業	教育学部	35	34	17	50%	5	15%	5	15%	6	18%	1	3%	
16 自然の仕組みを考える！	教育学部	30	28	17	61%	4	14%	3	11%	4	14%	0	0%	
17 グローバル社会と教育	経済学部	50	7	0	0%	0	0%	6	86%	1	14%	0	0%	
18 アフリカ、森の民のライフサイクルから学ぶ知恵	全学教育機構	50	48	4	8%	2	4%	18	38%	22	46%	2	4%	
19 ジョギングアンドウォークの指導法	全学教育機構	30	39	9	23%	7	18%	13	33%	10	26%	0	0%	
20 子どもの健康管理（歯科指導とアレルギー）	医学部	50	61	12	20%	7	11%	30	49%	12	20%	0	0%	
21 アパレルと健康	教育学部	50	32	20	63%	1	3%	3	9%	7	22%	1	3%	
22 生物学教材としてのカイコと野蚕の利用	繊維学部	50	12	2	17%	5	42%	1	8%	2	17%	2	17%	
23 子どもの健康と保健指導 2	医学部	50	35	9	26%	5	14%	12	34%	9	26%	0	0%	

24	光を活用する有用物質生産技術の開発	農学部	65	58	8	14%	1	2%	7	12%	41	71%	1	2%
25	生物多様性を読み解く(身のまわりの生態学)	理学部	70	29	4	14%	0	0%	17	59%	7	24%	1	3%
26	有限と無限について～数の性質を通しての考察～	教育学部	50	15	5	33%	3	20%	1	7%	5	33%	1	7%
27	データ解析の手法を身につけて社会を分析しよう	経済学部	50	16	1	6%	2	13%	6	38%	7	44%	0	0%
28	放射線をはかる	理学部	50	10	0	0%	0	0%	6	60%	2	20%	2	20%
29	身近な化学から先端科学の話と実験	繊維学部	50	24	9	38%	11	46%	2	8%	1	4%	1	4%
30	障がいのある子どもの支援	全学教育機構	100	97	13	13%	5	5%	53	55%	26	27%	0	0%
31	NIE入門～新聞活用で楽しい授業～	全学教育機構	50	76	2	3%	5	7%	38	50%	30	39%	1	1%
32	管弦楽法の基礎と実習	教育学部	20	8	5	63%	1	13%	0	0%	2	25%	0	0%
33	デジタルイメージによる表現	教育学部	15	18	8	44%	2	11%	4	22%	4	22%	0	0%
34	現代資本主義と経済学 ― 理論と歴史の視角から	経済学部	50	23	2	9%	1	4%	12	52%	8	35%	0	0%
35	持続可能な社会を求めて(環境と技術の関係をとらえて)	工学部	50	48	29	60%	3	6%	7	15%	8	17%	1	2%
36	たかが新聞されど新聞～NIE入門～	全学教育機構	50	95	58	61%	9	9%	12	13%	14	15%	2	2%
37	学校における食育推進	教育学部	50	48	26	54%	8	17%	6	13%	6	13%	1	2%
38	子どもの健康と保健指導 1	医学部	50	32	9	28%	1	3%	11	34%	10	31%	1	3%
39	漢詩に親しむ	全学教育機構	50	44	8	18%	1	2%	19	43%	14	32%	2	5%
40	コミュニケーションの障がいを疑似体験しよう (A)	全学教育機構	50	96	3	3%	5	5%	14	15%	72	75%	2	2%
41	環境問題を経済学的に考える	経済学部	50	16	1	6%	2	13%	9	56%	4	25%	0	0%
42	気候変動のしくみ	理学部	60	32	2	6%	2	6%	16	50%	9	28%	3	9%
43	初めてのe-Learning(Moodle を使ったコース作成演習)	工学部	50	38	3	8%	5	13%	19	50%	9	24%	2	5%
44	木材の科学―構造、性質、そして利用―	農学部	65	62	7	11%	3	5%	12	19%	40	65%	0	0%
45	保健学習と教育の交差	全学教育機構	50	14	1	7%	0	0%	4	29%	8	57%	1	7%
46	歴史館で教材開発 (A)	全学教育機構	50	47	29	62%	3	6%	7	15%	8	17%	0	0%
47	ニュースポーツの思想と実践	教育学部	50	48	29	60%	8	17%	5	10%	4	8%	2	4%
48	学校教育と法律学	経済学部	50	26	4	15%	1	4%	13	50%	8	31%	0	0%
49	元素科学: 周期表と放射性元素	理学部	70	10	1	10%	1	10%	1	10%	7	70%	0	0%
50	『博士の愛した数式』(小川洋子著)の中の数学を見てみよう	全学教育機構	50	51	11	22%	6	12%	16	31%	13	25%	5	10%
51	歴史館で教材開発 (B)	全学教育機構	50	50	26	52%	4	8%	13	26%	7	14%	0	0%
52	余りものには福がある―余りが語る数理	全学教育機構	50	30	6	20%	1	3%	9	30%	13	43%	1	3%
53	コミュニケーションの障がいを疑似体験しよう (B)	全学教育機構	50	73	9	12%	8	11%	38	52%	16	22%	2	3%

54	寒天を用いた石膏レリーフ制作	教育学部	20	20	10	50%	3	15%	3	15%	4	20%	0	0%
55	言語学から学ぶ英文法 Q & A	教育学部	35	26	14	54%	3	12%	5	19%	4	15%	0	0%
56	子どもを変える心理学（学習とカウンセリングの理論から）A	教育学部	50	48	31	65%	4	8%	5	10%	7	15%	1	2%
57	子どもを変える心理学（学習とカウンセリングの理論から）B	教育学部	50	46	24	52%	6	13%	10	22%	4	9%	2	4%
58	低温のフシギな世界	教育学部	28	24	11	46%	2	8%	4	17%	7	29%	0	0%
59	グリム童話のルーツを探る	人文学部	50	124	31	25%	9	7%	70	56%	14	11%	0	0%
60	衣食住で使用される色材	繊維学部	65	58	23	40%	17	29%	11	19%	3	5%	4	7%
61	地震の発生メカニズムと建物の耐震性	工学部	50	44	23	52%	4	9%	11	25%	6	14%	0	0%
62	有機化学と私たち	工学部	50	6	3	50%	2	33%	0	0%	1	17%	0	0%
63	新しい発想を生み出すものづくり・技術教材	教育学部	26	17	11	65%	0	0%	3	18%	2	12%	1	6%
64	小学校体育に活かすスポーツ運動学の教材づくり	教育学部	30	43	20	47%	6	14%	12	28%	5	12%	0	0%
65	理科が苦手な小学校教員のための小学校理科（生物分野）の授業改善1	教育学部	28	24	14	58%	3	13%	4	17%	2	8%	1	4%
66	流体の性質とその運動	工学部	50	4	2	50%	1	25%	0	0%	0	0%	1	25%
67	電子教科書って何だろう？	全学教育機構	50	42	2	5%	4	10%	29	69%	7	17%	0	0%
68	野外での地質観察	全学教育機構	23	22	3	14%	0	0%	14	64%	2	9%	3	14%
69	外国籍児童・生徒とともに学ぶ国際交流のあり方	国際交流	50	36	4	11%	1	3%	19	53%	12	33%	0	0%
70	生活の中の機械工学 ―ものづくりのための機械運動基礎講座―	教育学部	25	10	4	40%	2	20%	1	10%	3	30%	0	0%
71	脳科学と特別支援教育（A）	教育学部	70	63	41	65%	5	8%	12	19%	5	8%	0	0%
72	岩石や地層のでき方と地質図・地形図の利用法	教育学部	30	13	6	46%	0	0%	5	38%	2	15%	0	0%
73	はじめての法教育	教育学部	50	6	5	83%	0	0%	1	17%	0	0%	0	0%
74	教育の本質と教師の役割－教職の専門性の基礎－	全学教育機構	50	51	11	22%	4	8%	27	53%	9	18%	0	0%
75	ニュースポーツ（フライングディスク）の指導法	全学教育機構	30	31	10	32%	4	13%	12	39%	5	16%	0	0%
76	管楽器指導法及び指揮法	教育学部	20	19	7	37%	4	21%	4	21%	3	16%	1	5%
77	クマのプーさんを少し真面目に学んでみよう	教育学部	50	35	20	57%	2	6%	6	17%	7	20%	0	0%
78	地域学習のありかたを探る	教育学部	30	26	19	73%	4	15%	2	8%	1	4%	0	0%
79	美術教育における美術館等の施設利用や地域社会との連携について	教育学部	50	26	11	42%	3	12%	7	27%	5	19%	0	0%
80	社会科教育の背景としての金融経済学	教育学部	50	32	18	56%	6	19%	1	3%	6	19%	1	3%
81	脳科学と特別支援教育（B）	教育学部	70	90	40	44%	13	14%	23	26%	10	11%	4	4%
82	「戦争と平和」から20世紀を学ぶ	教育学部	50	44	13	30%	7	16%	16	36%	5	11%	3	7%
83	算数・数学科における実践的指導力の育成	教育学部	30	39	12	31%	5	13%	14	36%	8	21%	0	0%



84	歴史館で教材開発 (C)	全学教育機構	50	48	26	54%	8	17%	7	15%	6	13%	1	2%
85	認知症の人から見える世界	長野県看護大学	50	61	12	20%	3	5%	24	39%	21	34%	1	2%
86	身近なデジタルカメラの活用で不思議なマイクロ世界の観察をもっと効果的に	長野県看護大学	50	37	13	35%	1	3%	9	24%	14	38%	0	0%
87	ものをつくる動物たち	農学部	65	78	13	17%	6	8%	21	27%	34	44%	4	5%
88	新聞を活用した教材開発－「朝日新聞GLOBE」の活用－	全学教育機構	50	45	17	38%	7	16%	15	33%	6	13%	0	0%

(資料4)

「免許更新講習信州大学任意アンケート調査用紙」

このアンケートは、平成25年度文部科学省委託事業「免許更新制高度化のための調査研究事業」に基づいて、通常の受講後のアンケートに加えて実施するものです。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

一 あなた自身（受講者）について

- 1 性別            男        女
- 2 年齢            30代        40代        50代
- 3 現在の勤務校  
                  幼稚園        小学校        中学校        高等学校        特別支援        その他
- 4 勤務の形態  
                  正規教職員   常勤講師   非常勤講師   他の職業        無職及びその他

二 講座について（講習内容によって評価できないものには、○印をしないでください）

(一) 講習内容

- 1 教育を巡る様々な課題に触れ、教職の使命等を再確認することができた
- 2 時代の要請に応じた新しい教育観や視野を広げる契機となった。
- 3 新しい教育理論に触れ、教科指導や生徒指導の改善をしようとする契機となった
- 4 時代の変化の中で、新しい学校づくりをしようとする意欲が高まった。
- 5 専門分野の最新の知見に触れ、更なる人間力を求め続ける必要性を感じた。

(二) 講師の講習

- 1 講習の目標が明確であり、講義の内容や構成が適切であったか。
- 2 内容の要約や講義の説明が適切で、わかりやすかったか。
- 3 提示資料や配付資料等の内容や分量が適切であったか
- 4 観察や演習等、受講者の意欲が高まるよう、講習方法が工夫されていたか

(三) 選択（選択受講者のみで この講座を選択した理由）

- 1 講習内容に興味・関心があり、自分の教養を高めることができそうだから。
- 2 自分の専門分野を深められる内容であるから
- 3 校務等の関係で、内容というより、期日や会場を重視したから。

三 感想    ならびに    要望

(資料5)

「免許更新講習信州大学任意アンケート」集計表

A-1 性別

		回答数	構成比
(1)	男	222	43%
(2)	女	294	57%
	無回答	0	0%
	計	516	100%

A-2 年齢

		回答数	構成比
(1)	30代	153	30%
(2)	40代	194	38%
(3)	50代	167	32%
	無回答	2	0%
	計	516	100%

A-3 勤務校

		回答数	構成比
(1)	幼稚園	6	1%
(2)	小学校	246	48%
(3)	中学校	118	23%
(4)	高等学校	87	17%
(5)	特別支援学	18	4%
(6)	その他	40	8%
	無回答	1	0%
	計	516	100%

B-1 教育を巡る様々な課題に触れ、教職の使命等を再確認することができた

		回答数	構成比
(1)	不十分	10	2%
(2)	十分とはい	50	10%
(3)	おおむね十	264	51%
(4)	十分	189	37%
	無回答	3	1%
	計	516	100%

B-2 時代の要請に応じた新しい教育観や視野を広げる契機となった。

		回答数	構成比
(1)	不十分	8	2%
(2)	十分とはい	20	4%
(3)	おおむね十	218	42%
(4)	十分	268	52%
	無回答	2	0%
	計	516	100%

B-3 新しい教育理論に触れ、教科指導や生徒指導の改善をしようとする契機となった

		回答数	構成比
(1)	不十分	10	2%
(2)	十分とはい	43	8%
(3)	おおむね十	260	50%
(4)	十分	197	38%
	無回答	6	1%
	計	516	100%

B-4 時代の変化の中で、新しい学校づくりをしようとする意欲が高まった

		回答数	構成比
(1)	不十分	13	3%
(2)	十分とはい	85	17%
(3)	おおむね十	259	50%
(4)	十分	152	30%
	無回答	7	1%
	計	516	100%

B-5 専門分野の最新の知見に触れ、更なる人間力を求め続ける必要性を感じた

		回答数	構成比
(1)	不十分	8	2%
(2)	十分とはい	40	8%
(3)	おおむね十	205	40%
(4)	十分	258	50%
	無回答	5	1%
	計	516	100%

C－1 講習の目標が明確であり、講義の内容や構成が適切であったか

		回答数	構成比
(1)	不十分	6	1%
(2)	十分とはい	20	4%
(3)	おおむね十	139	27%
(4)	十分	351	68%
	無回答	0	0%
	計	516	100%

C－2 内容の要約や講義の説明が適切で、わかりやすかったか

		回答数	構成比
(1)	不十分	7	1%
(2)	十分とはい	20	4%
(3)	おおむね十	158	31%
(4)	十分	330	64%
	無回答	1	0%
	計	516	100%

C－3 提示資料や配付資料等の内容や分量が適当であったか

		回答数	構成比
(1)	不十分	8	2%
(2)	十分とはい	35	7%
(3)	おおむね十	175	34%
(4)	十分	297	58%
	無回答	1	0%
	計	516	100%

C－4 観察や演習等、受講者の意欲が高まるよう、講習方法が工夫されていたか

		回答数	構成比
(1)	不十分	9	2%
(2)	十分とはい	30	6%
(3)	おおむね十	145	28%
(4)	十分	331	64%
	無回答	1	0%
	計	516	100%

D-1 講習内容に興味・関心があり、自分の教養を高めることができそうだから

		回答数	構成比
(1)	そうとはい	10	2%
(2)	あまりそう	17	3%
(3)	おおむね	156	30%
(4)	その通り	299	58%
	無回答	34	7%
	計	516	100%

D-2 自分の専門分野を深められる内容であるから

		回答数	構成比
(1)	そうとはい	16	3%
(2)	あまりそう	84	16%
(3)	おおむね	203	39%
(4)	その通り	173	34%
	無回答	40	8%
	計	516	100%

D-3 校務等の関係で、内容というより、期日や会場を重視したから

		回答数	構成比
(1)	そうとはい	52	10%
(2)	あまりそう	97	19%
(3)	おおむね	176	34%
(4)	その通り	138	27%
	無回答	53	10%
	計	516	100%

「免許更新講習信州大学任意アンケート」(「年齢」を列項目にした)クロス集計表

「年齢」と「教育を巡る様々な課題に触れ、教職の使命等を再確認することができた」

選択項目	総計		30代		40代		50代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	10	1.9%	4	2.6%	4	2.1%	2	1.2%	0	0.0%
十分とはいえない	50	9.7%	14	9.2%	20	10.3%	16	9.6%	0	0.0%
おおむね十分	264	51.2%	82	53.6%	99	51.0%	81	48.5%	2	100.0%
十分	189	36.6%	53	34.6%	70	36.1%	66	39.5%	0	0.0%
無回答	3	0.6%	0	0.0%	1	0.5%	2	1.2%	0	0.0%
合計	516	100.0%	153	100.0%	194	100.0%	167	100.0%	2	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	513		153		193		165		2	

「年齢」と「時代の要請に応じた新しい教育観や視野を広げる契機となった。」

選択項目	総計		30代		40代		50代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	8	1.6%	3	2.0%	3	1.5%	2	1.2%	0	0.0%
十分とはいえない	20	3.9%	5	3.3%	11	5.7%	4	2.4%	0	0.0%
おおむね十分	218	42.2%	62	40.5%	88	45.4%	67	40.1%	1	50.0%
十分	268	51.9%	83	54.2%	91	46.9%	93	55.7%	1	50.0%
無回答	2	0.4%	0	0.0%	1	0.5%	1	0.6%	0	0.0%
合計	516	100.0%	153	100.0%	194	100.0%	167	100.0%	2	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	514		153		193		166		2	

「年齢」と「新しい教育理論に触れ、教科指導や生徒指導の改善をしようとする契機となった」

選択項目	総計		30代		40代		50代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	10	1.9%	1	0.7%	7	3.6%	2	1.2%	0	0.0%
十分とはいえない	43	8.3%	14	9.2%	15	7.7%	14	8.4%	0	0.0%
おおむね十分	260	50.4%	82	53.6%	94	48.5%	82	49.1%	2	100.0%
十分	197	38.2%	56	36.6%	74	38.1%	67	40.1%	0	0.0%
無回答	6	1.2%	0	0.0%	4	2.1%	2	1.2%	0	0.0%
合計	516	100.0%	153	100.0%	194	100.0%	167	100.0%	2	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	510		153		190		165		2	

「年齢」と「時代の変化の中で、新しい学校づくりをしようとする意欲が高まった」

選択項目	総計		30代		40代		50代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	13	2.5%	5	3.3%	6	3.1%	2	1.2%	0	0.0%
十分とはいえない	85	16.5%	24	15.7%	38	19.6%	23	13.8%	0	0.0%
おおむね十分	259	50.2%	83	54.2%	92	47.4%	82	49.1%	2	100.0%
十分	152	29.5%	41	26.8%	55	28.4%	56	33.5%	0	0.0%
無回答	7	1.4%	0	0.0%	3	1.5%	4	2.4%	0	0.0%
合計	516	100.0%	153	100.0%	194	100.0%	167	100.0%	2	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	509		153		191		163		2	

**「年齢」と「専門分野の最新の知見に触れ、更なる人間力を求め続ける必要性を感じた」**

選択項目	総計		30代		40代		50代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	8	1.6%	4	2.6%	1	0.5%	3	1.8%	0	0.0%
十分とはいえない	40	7.8%	8	5.2%	16	8.2%	16	9.6%	0	0.0%
おおむね十分	205	39.7%	65	42.5%	77	39.7%	63	37.7%	0	0.0%
十分	258	50.0%	75	49.0%	98	50.5%	83	49.7%	2	100.0%
無回答	5	1.0%	1	0.7%	2	1.0%	2	1.2%	0	0.0%
合計	516	100.0%	153	100.0%	194	100.0%	167	100.0%	2	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	511		152		192		165		2	

**「年齢」と「講習の目標が明確であり、講義の内容や構成が適切であったか」**

選択項目	総計		30代		40代		50代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	6	1.2%	2	1.3%	3	1.5%	1	0.6%	0	0.0%
十分とはいえない	20	3.9%	7	4.6%	12	6.2%	1	0.6%	0	0.0%
おおむね十分	139	26.9%	43	28.1%	52	26.8%	44	26.3%	0	0.0%
十分	351	68.0%	101	66.0%	127	65.5%	121	72.5%	2	100.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	516	100.0%	153	100.0%	194	100.0%	167	100.0%	2	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	516		153		194		167		2	

**「年齢」と「内容の要約や講義の説明が適切で、わかりやすかったか」**

選択項目	総計		30代		40代		50代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	7	1.4%	3	2.0%	3	1.5%	1	0.6%	0	0.0%
十分とはいえない	20	3.9%	7	4.6%	12	6.2%	1	0.6%	0	0.0%
おおむね十分	158	30.6%	40	26.1%	59	30.4%	59	35.3%	0	0.0%
十分	330	64.0%	103	67.3%	119	61.3%	106	63.5%	2	100.0%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
合計	516	100.0%	153	100.0%	194	100.0%	167	100.0%	2	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	515		153		193		167		2	

**「年齢」と「提示資料や配付資料等の内容や分量が適切であったか」**

選択項目	総計		30代		40代		50代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	8	1.6%	3	2.0%	4	2.1%	1	0.6%	0	0.0%
十分とはいえない	35	6.8%	8	5.2%	20	10.3%	7	4.2%	0	0.0%
おおむね十分	175	33.9%	50	32.7%	62	32.0%	63	37.7%	0	0.0%
十分	297	57.6%	92	60.1%	107	55.2%	96	57.5%	2	100.0%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
合計	516	100.0%	153	100.0%	194	100.0%	167	100.0%	2	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	515		153		193		167		2	



「年齢」と「観察や演習等、受講者の意欲が高まるよう、講習方法が工夫されていたか」

選択項目	総計		30代		40代		50代		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	9	1.7%	2	1.3%	7	3.6%	0	0.0%	0	0.0%
十分とはいえない	30	5.8%	6	3.9%	14	7.2%	10	6.0%	0	0.0%
おおむね十分	145	28.1%	46	30.1%	55	28.4%	43	25.7%	1	50.0%
十分	331	64.1%	99	64.7%	117	60.3%	114	68.3%	1	50.0%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
合計	516	100.0%	153	100.0%	194	100.0%	167	100.0%	2	100.0%
回答者数 (合計－無回答)	515		153		193		167		2	

「免許更新講習信州大学任意アンケート」(「勤務校」を列項目にした)クロス集計表

「勤務校」と「教育を巡る様々な課題に触れ、教職の使命等を再確認することができた」

選択項目	総計		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	10	1.9%	0	0.0%	3	1.2%	3	2.5%	3	3.4%	0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%
十分とはいえない	50	9.7%	0	0.0%	28	11.4%	10	8.5%	2	2.3%	5	27.8%	5	12.5%	0	0.0%
おおむね十分	264	51.2%	4	66.7%	125	50.8%	57	48.3%	48	55.2%	7	38.9%	22	55.0%	1	100.0%
十分	189	36.6%	2	33.3%	89	36.2%	47	39.8%	33	37.9%	6	33.3%	12	30.0%	0	0.0%
無回答	3	0.6%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.8%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	516	100.0%	6	100.0%	246	100.0%	118	100.0%	87	100.0%	18	100.0%	40	100.0%	1	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	513		6		245		117		86		18		40		1	

「勤務校」と「時代の要請に応じた新しい教育観や視野を広げる契機となった。」

選択項目	総計		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	8	1.6%	0	0.0%	2	0.8%	2	1.7%	3	3.4%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%
十分とはいえない	20	3.9%	0	0.0%	13	5.3%	4	3.4%	3	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
おおむね十分	218	42.2%	4	66.7%	103	41.9%	47	39.8%	29	33.3%	11	61.1%	23	57.5%	1	100.0%
十分	268	51.9%	2	33.3%	127	51.6%	64	54.2%	52	59.8%	6	33.3%	17	42.5%	0	0.0%
無回答	2	0.4%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	516	100.0%	6	100.0%	246	100.0%	118	100.0%	87	100.0%	18	100.0%	40	100.0%	1	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	514		6		245		117		87		18		40		1	

「勤務校」と「新しい教育理論に触れ、教科指導や生徒指導の改善をしようとする契機となった」

選択項目	総計		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	10	1.9%	0	0.0%	4	1.6%	3	2.5%	3	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
十分とはいえない	43	8.3%	1	16.7%	19	7.7%	10	8.5%	5	5.7%	3	16.7%	5	12.5%	0	0.0%
おおむね十分	260	50.4%	3	50.0%	129	52.4%	55	46.6%	42	48.3%	9	50.0%	21	52.5%	1	100.0%
十分	197	38.2%	2	33.3%	91	37.0%	49	41.5%	37	42.5%	6	33.3%	12	30.0%	0	0.0%
無回答	6	1.2%	0	0.0%	3	1.2%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.0%	0	0.0%
合計	516	100.0%	6	100.0%	246	100.0%	118	100.0%	87	100.0%	18	100.0%	40	100.0%	1	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	510		6		243		117		87		18		38		1	

「勤務校」と「時代の変化の中で、新しい学校づくりをしようとする意欲が高まった」

選択項目	総計		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	13	2.5%	0	0.0%	5	2.0%	5	4.2%	3	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
十分とはいえない	85	16.5%	1	16.7%	42	17.1%	20	16.9%	7	8.0%	8	44.4%	7	17.5%	0	0.0%
おおむね十分	259	50.2%	2	33.3%	126	51.2%	53	44.9%	47	54.0%	6	33.3%	24	60.0%	1	100.0%
十分	152	29.5%	3	50.0%	70	28.5%	38	32.2%	30	34.5%	4	22.2%	7	17.5%	0	0.0%
無回答	7	1.4%	0	0.0%	3	1.2%	2	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.0%	0	0.0%
合計	516	100.0%	6	100.0%	246	100.0%	118	100.0%	87	100.0%	18	100.0%	40	100.0%	1	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	509		6		243		116		87		18		38		1	

「勤務校」と「専門分野の最新の知見に触れ、更なる人間力を求め続ける必要性を感じた」

選択項目	総計		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	8	1.6%	0	0.0%	4	1.6%	2	1.7%	1	1.1%	0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%
十分とはいえない	40	7.8%	0	0.0%	16	6.5%	10	8.5%	8	9.2%	2	11.1%	3	7.5%	1	100.0%
おおむね十分	205	39.7%	3	50.0%	103	41.9%	44	37.3%	32	36.8%	8	44.4%	15	37.5%	0	0.0%
十分	258	50.0%	3	50.0%	121	49.2%	60	50.8%	46	52.9%	8	44.4%	20	50.0%	0	0.0%
無回答	5	1.0%	0	0.0%	2	0.8%	2	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%
合計	516	100.0%	6	100.0%	246	100.0%	118	100.0%	87	100.0%	18	100.0%	40	100.0%	1	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	511		6		244		116		87		18		39		1	

「勤務校」と「講習の目標が明確であり、講義の内容や構成が適切であったか」

選択項目	総計		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	6	1.2%	0	0.0%	3	1.2%	2	1.7%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
十分とはいえない	20	3.9%	0	0.0%	7	2.8%	6	5.1%	3	3.4%	1	5.6%	3	7.5%	0	0.0%
おおむね十分	139	26.9%	0	0.0%	68	27.6%	35	29.7%	17	19.5%	6	33.3%	13	32.5%	0	0.0%
十分	351	68.0%	6	100.0%	168	68.3%	75	63.6%	66	75.9%	11	61.1%	24	60.0%	1	100.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	516	100.0%	6	100.0%	246	100.0%	118	100.0%	87	100.0%	18	100.0%	40	100.0%	1	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	516		6		246		118		87		18		40		1	

「免許更新講習信州大学任意アンケート」(「勤務校」を列項目にした)クロス集計表

「勤務校」と「内容の要約や講義の説明が適切で、わかりやすかったか」

選択項目	総計		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	7	1.4%	0	0.0%	3	1.2%	2	1.7%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
十分とはいえない	20	3.9%	0	0.0%	10	4.1%	5	4.2%	1	1.1%	2	11.1%	2	5.0%	0	0.0%
おおむね十分	158	30.6%	0	0.0%	76	30.9%	39	33.1%	20	23.0%	6	33.3%	17	42.5%	0	0.0%
十分	330	64.0%	6	100.0%	157	63.8%	72	61.0%	64	73.6%	9	50.0%	21	52.5%	1	100.0%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%
合計	516	100.0%	6	100.0%	246	100.0%	118	100.0%	87	100.0%	18	100.0%	40	100.0%	1	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	515		6		246		118		87		17		40		1	

「勤務校」と「提示資料や配付資料等の内容や分量が適当であったか」

選択項目	総計		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	8	1.6%	0	0.0%	3	1.2%	3	2.5%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
十分とはいえない	35	6.8%	0	0.0%	17	6.9%	9	7.6%	2	2.3%	3	16.7%	4	10.0%	0	0.0%
おおむね十分	175	33.9%	1	16.7%	83	33.7%	38	32.2%	29	33.3%	7	38.9%	16	40.0%	1	100.0%
十分	297	57.6%	5	83.3%	143	58.1%	68	57.6%	54	62.1%	8	44.4%	19	47.5%	0	0.0%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%
合計	516	100.0%	6	100.0%	246	100.0%	118	100.0%	87	100.0%	18	100.0%	40	100.0%	1	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	515		6		246		118		87		18		39		1	

「勤務校」と「観察や演習等、受講者の意欲が高まるよう、講習方法が工夫されていたか」

選択項目	総計		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不十分	9	1.7%	0	0.0%	6	2.4%	2	1.7%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
十分とはいえない	30	5.8%	0	0.0%	14	5.7%	9	7.6%	2	2.3%	2	11.1%	2	5.0%	1	100.0%
おおむね十分	145	28.1%	0	0.0%	60	24.4%	37	31.4%	24	27.6%	7	38.9%	17	42.5%	0	0.0%
十分	331	64.1%	6	100.0%	165	67.1%	70	59.3%	60	69.0%	9	50.0%	21	52.5%	0	0.0%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	516	100.0%	6	100.0%	246	100.0%	118	100.0%	87	100.0%	18	100.0%	40	100.0%	1	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	515		6		245		118		87		18		40		1	

(資料6)

「信州大学任意アンケート」自由記述データ

必修	この免許更新制度の必要を感じない。ただ時間とお金を使わせているだけ。今回の教育の諸問題はこんな制度では解決しない。
必修	今日に先立ち他大学で選択の講習を受けてきました。 専門分野の講習だったのですが「明日からすぐ使える」内容でとても充実していました。 必修の講習はその性質上どうしても座学中心になってしまうのはいたしかたないとは思いますがもう少し具体的な内容が欲しかったかなとも思います。
必修	5年間務め退職、25年ぶりに復帰し3年目、うらしま太郎状況です。 本日の内容も正直、分からないことが多かったです。これからの先生方は、大変だ！という感じ大でした。
必修	たくさん資料を用意していただきありがとうございました。
必修	久しぶりに“教えてもらう側”になり新鮮でした。資料・内容の準備 e t c . 本当にありがとうございました。欲を言えば、小中高で分かれての講義だと的が絞れるのでより吸収するものがあると思います。
必修	本当に困っていることは日々時間をうまく使えず授業研究や生徒指導に十分向き合っていないこと。時間の使い方を考えるとこの講習はとても負担です。 夏休み以外は受講しません。 内容を自分でしっかり選べるように講座と人数制限を見直して欲しい。
必修	現実的には難しい面があるが、講義だけではなくふだんの生活では得られない機会をいただけるとありがたい 例えば教育学部の学生と話したり活動したりするような場があるとおもしろいと思った
必修	少し会場が暑く感じました。もう少し温度が低い方が集中できると思います。
必修	もりだくさんの内容で苦しかったですがそれだけの研修は必要だとは思いますが。お世話になります。
必修	1日、内容の濃い授業でした。個人的なことで申し訳ないですが、パワーポイントは黄みどり、水色は見にくいので変えていただきたいです。
必修	日常とはちがう講習が受けられてとてもおもしろかったです。選択講習も体験的な学習ができそうなので楽しみです。
必修	教職の使命を再確認でき、最新の情報を得ることができたのはよかった。形態が同じで、もう少し工夫して、日頃の悩みや困ったことを話しあえたりと実践的な内容が、個々の話をする内容があってもよいのではないかと思います。
必修	免許更新に関わる講義の数(必修2日選択3日)をもっと減らしてもよい。 時間的、金銭的負担が大きい。
必修	費用がかからなければ良いと思いました。

必修	とても受講している私達のことを考えて、やっていただきありがとうございました。
必修	各分野の講義を、それぞれ工夫されたテキスト、パワーポイント等を使いながら熱心に進めていただき大変ありがたかった。
必修	免許更新制自体に疑問はありませんが、短い日数で実施されていることに納得がいかないのが本音です。少々偏った見方ですが、給与を下げ、講習で金を払い、労働時間は年々増えていき、教育に関わる人間の人権を軽視しているだろうと思っています。心が満たされず、生活への影響もある中で5日間で何とかしなさいというのは「おかしいでしょ？」と思わざるをえません。せめてもの救いは信大の講習、先生方が誠実にやってくださることでした。
必修	目先のことでなく大きな立場で内容を考えていくありがたい方向だと思いました。免許更新講座をやるならその方向でお願いします。
必修	2日間という限られた時間の中で、「広く浅くを学ぶ」ではありましたが、これをきっかけに改めての学び直し、意識のもち方につなげていきたいと思えます。
必修	講座により、講師の先生により、ずい分違いました。
必修	消化不良の部分もありましたが、見直しをして今後に生かしたいと思えます。多田先生と小山先生の話はもう少しお聞きしたかったです。
必修	2日間ありがとうございました。知らない内容や改めて確認することができたことなど、有意義な機会となりました。できれば実践に生かせる授業づくりについても聞きたかったです。
必修	とても楽しい講習で、また、わかり易かったです。自分の教え方や話し方を振り返る機会になりました。
必修	講師の先生方が具体的ゲーム・他県他国のお話をまじえて話していただいたので興味深く聞くことができた。
必修	教育センターで開催していただき、有り難い
必修	2日間、信州大学の先生方にご講義いただきありがとうございました。2日間の多田先生のお話は興味深くきかせていただきました。やはり免許更新ではなく研修にさせていただけた方が有難いです。「普通に毎日働ける教員の確保」が現場の切実な望みです。アンケートに書いても仕方ないけど。
必修	大学の先生方も大変御努力をされてこの講習をして下さっていることを感じました。実際の現場ですぐに使える目先のものを求めがちですが様々な分野のお話をお聞きして少し裾野広がった気がします。もう少しゆっくりと考えながら聞きたいというのが本音です。ありがとうございました。
必修	講習内容や講師の先生の御苦労やお気持ちが分かったりしたことで、こちらの取り組み方がさらに真剣になったと思えます。信大の講習を受けてよかったです。ありがとうございました。
必修	たいへん有意義でした。日々、勉強せねばとあらためて感じました。ありがとうございました。

必修	今回で全講習が終わったが、とても勉強になることが多かった。場所が遠くて行きたくても行きにくい講習がいくつかあったので残念だった。医学部の先生のお話がとてもよかった。
必修	必修の2日間は新しい教育観や時代のニーズに答えるような視野を広げるよい機会となりました。時間がなくてなかなか勉強できないキャリア教育や環境教育の話をおもしろく聞いてありがたかった。ただ、先週受けた選択講習はがっくしだった。お金を払い1日使う価値を考えると残念。けれど、自分の日々の授業もそうかもしれないので、そうならないように気をつけたい。
必修	遠距離で1日6時間講習は辛いものがありました。
必修	試験があると言われると他教科に手を出しにくいです。でもやってみたい。
必修	頭の病気やけがの話はおもしろく、わかりやすかったです。
必修	自分の専門と関係ない分野の知識が身についた。それがまた色々な場面で使えそうです。
必修	ふだんの生活から離れて学ぶことができ楽しかったです。信大松本キャンパスは駐車場がなく不便。松本キャンパスの講座を全部センターでやっていただきたいのですが無理ですか。
必修	長い時間話を聞くことは厳しい面があるので所々にグループワークや活動等を入れていただくと有難い。
必修	お忙しい中時間を割いて講習して下さいありがとうございました。脳のことなど、自分では追究していかないであろう内容にもふれることができ、勉強になりました。キャリア教育の講習では、ふだん教科書内容を教えることで精一杯になってしまっていたので、意識して子どもたちに取りくませる必要を感じました。
必修	・話を聞くだけでなく近くの人とのグループ活動や作業活動も入れてもらいありがたかった。・認定講習として落とすのではなく落とさないような方法でまとめをしてもらい安心して受けられた。・多田先生のお話は、題名だけ見たときは「あまり…」と聞いていたのですが、興味深くあっという間の2時間でした。
必修	短時間に多くのことを教えていただきました。知らなかったことや知っているべきこと等たくさん学べました。ありがとうございました。
必修	土日2日間連続の講義というのは正直キツイです。・選択講習はいろいろな内容があつてありがたいですが期日や会場の都合で受けられず残念でした。いろいろとためになる講習ありがとうございました。
必修	自分の専門が校務から外れて数年。教員として自分はどうなのか迷いながら過ごしています。こうした中での選択は厳しいです。(結局校務に関するものと、日程で選んでます。専門は必要ない?)・免許更新について、自己責任だと思っていましたが、管理職からいろいろ言われ、不快な思いをしました。「退職するまで更新がないから～」と言う管理職の下で働くのは疑問です。こうした中での参加で不安でしたが、ここ2日の講義は今までの自分を

	見返し、新しい自分になりました。
必修	改めて考える機会があり、とても勉強になりました。選択講習は、興味ある講習が遠方で受けられず残念ですが、少しでも自分に吸収できるよう頑張ります。工夫された講習、本当にありがとうございました。
必修	なるべく希望した講習に参加できるといいと思う(自分のスキルアップの研修にもなると思うため)
必修	配布資料(パウポ・資料)が、見にくいものがあり残念だった。
必修	環境・医療等細かな内容の講習でよかった。資料が見つらい所があり、やや、わかりづらかった。
必修	他の先生方も、講師の先生方も、日々頑張ってもらっているのを感じました。不祥事が目立ってしましますが、こういうことで頑張っていることもどこかで伝わるといいのと思います。お休みにお疲れ様でした。
必修	講師の方は、その道の専門家(プロ)でさすがという思いで聴かせていただきました。それぞれの講師の方が工夫されていて素晴らしい内容でした。しかし私は現在クラスを持たず学年担任という仕事をしており、自分の考えていることを直接子どもに伝えることはできず、わがままな教員に気を使いひたすら調整役で、まったくつまらない毎日を送っている。そしてあと残すところ6年、残念ながら、講座の内容がよいのに、意欲や必要性、使命感を高めることができなかった。講師の方に申し訳ないのですが。
必修	教育を巡る様々な課題を知ることができ、有意義でありました。
必修	退職しておりますので、埋められなかった項目があります。すいません。
必修	多田先生の脳の話は興味深く、楽しく聴かせていただいた。環境、キャリア教育については正直厳しかった。
必修	十年経験者研修と重なる場合、免許講習との兼合いで、若干の免除があるとありがたいと思います。・数学・算数に関する講習がもう少し多いとありがたい。
必修	あまりに長すぎます。
必修	選択講習は比較的希望の内容のものが受講できて満足しています。必修講習はぜひある期間のみにかたよらずに開講していただけるとありがたいです。7～8月は文化祭・部活指導など忙しく体力的にもしんどい時期かな、と思います。
必修	今回の研修を通して、改めて自分自身から研修の場を求めていかなければいけないと思いました。日々の中で勉強する時間は、正直なかなか取りにくいのですが、自分から学びを求めていかないと成長しないと思いました。今後は、時間をみつけて専門性を高めていきたいと思います。
必修	初任研と10年研と重なる部分が多い。多田先生の講座は今までにない内容で、とてもおもしろく興味深かった。小山先生はじめ信大の先生方が免許更新講座について工夫してくださっていることもよく伝わってきました。ありがとうございました。

必修	免許更新ということで、いろいろな立場の先生たちがいると思うのですが、それぞれの人に合わせた講習内容でもいいのではないかと思います。
必修	50歳台では、残された教職の任期の中で、家族の介護・(地域の)社会的活動などもありながら、自分のできることを、最大限に生かしたい。とすれば、校務分掌でき自己の資質を生かされるよう、専門性のある自主研修も、更新の認定になるよう工夫があれば、時間的にもありがたい。(小山先生のお話に書きました完成期の教員には別だてがあるのでは)
必修	基礎講座は、とても良かったです。選択講習は、3つ申込みましたが全部ダメでした。私は今教諭ではなく介助技師ということで、振り落とされたのかと思います。それなら抽選ということばを使わないでほしいです。私立大で選択は受けます!!(職業差別?)
必修	専門分野の研究をされている講師の先生から最新の知識や情報を教えていただき、たいへん刺激を受けることができました。これからは地元の大学のホームページの内容にも注意して授業に役立てることができたらよいと思います。
必修	免許更新講習をする意味が全くわかりません。お金をとってわざわざすることですか? 普段の研修や10年研などでも、可能なのではないですか? 講習内容をきいても、強く、そう思います。こんな制度は本当に必要ないと思います。
必修	総合教育センターで行われることは駐車場もありありがたい。
必修	基本的な知識、考え方を知らなかったり、忘れていたこともあったので、自分を振り返るいい機会になった。
必修	1日6000円の価値があるか? ないか? 考えて受講している 自分自身の心の向きによって変わるが、今回つい寝てしまう講義があった。
必修	学校にいる毎日では日々の授業や校務におわれ、教育についてじっくり考える機会がなかったことを感じました。この講習で考える機会をいただきました。
必修	校種も、経験も違う者に、受けさせる講義には無理がある。内容も多すぎる。半分にして、じっくり聞きたい内容がある。多くをつけ込んであり、消化不良です。
必修	やはり新しことに対応できないととあらためておもいました。
必修	中にスピードがはやすぎて言葉だけが通り過ぎて中身がおちてこないものがあり残念でした。
必修	時間の割に内容がおおすぎた感じであった。
必修	環境教育、キャリア教育について、自分の理解の不十分さを実感し、改めて学ぶことができました。もう一度確認し、きちんと理解したいと思いました。ありがとうございました。
必修	普段聞くことができない話を聞くことができ、参考になりました。ありがとうございました。



必修	<p>同僚性ということばが新鮮でよかった！</p> <p>選択講習は、内容が充実していないと思います。教育センターで行っている研修の方が、私の受けてみたい研修が多い。</p> <p>私たちは日々いろいろな研修を受けているので、土日をつぶしてこのような研修を30時間も受ける必要は感じません。12hぐらいに凝縮してほしいです。</p>
必修	<p>とても充実した内容でした。少しもり沢山で、聞きのがしてしまう所もあり少し残念でした。もう少し、内容を、ポイントをしばってお話していただくと良かったです。しかし、教員として自分の日ごろの指導について見直しがしっかりでき、これからまたがんばろうという気持ちが高まったと思います。ありがとうございました。</p>
必修	<p>感染症で自分達がどうすれば良いのかの具体例が多いと良かった。</p> <p>環境を基にしながらも多様な教育にむすびつけた内容が必要だとあらためて感じた。</p> <p>教師力をどう高めるかのチェックができて、良し悪しの点が明確になった。</p> <p>キャリアとはどう教えるべきか、身近なところでできることを感じた。</p>
必修	<p>講義1 子どもの感染症では、専門用語のむずかしさ等、理解が難しかったです。最後の内容確認チェックも、要領を得られず正解の書き写しになってしまいました。</p> <p>講義2 キャリア教育について、資料の音読のようで、苦痛です…</p>
必修	<p>選択講習の内容で教科に関するものがもう少しあると、専門性が高まるのでありがたいと思いました。現在の教育事情がよくわかりました。</p>
必修	<p>新しい考え、現代社会の動きがよく分かった。自分のあり方を見つめるきっかけになった。</p>
必修	<p>感染症の話が大変参考になりました。とても充実した、まさにわかりやすい講座で良かったです。1日中座っているのは辛いので、ワークショップのようなものがあると嬉しかったです。パワーポイントなど、工夫して下さりありがたかったです。</p>
必修	<p>話すスピードが速すぎてメモができない講義があった。全体的に具体例などをもっと多く</p>
必修	<p>1日を通しての講習だと思っていましたが、様々な講義を受けさせていただき、興味深い内容が盛りだくさんでした。大変参考になり、ありがとうございました。</p>
必修	<p>研修は大切と思うが、必修は必要ない。</p> <p>学校によって多様な生徒がいるので、ためになる話をいただいても使える機会がない。</p> <p>地域校にも意味のある研修が欲しい。</p>
必修	<p>汎用性が重視されるため、講師の先生方の入念な工夫にも限界があるように思う。学校種、専門教科に絞った講習を企画していただければ、より一生有</p>

	意義なものになるように思いました。
必修	量が多すぎる。記憶に残らなかった。焦点を絞り具体的に説明してほしかった。肝心のことが資料に入っていない。表面的な話が多くつまらなく身にならなかった。辛い時間で非常に疲れた。
必修	大切な講習だが、本当に必要なのか未だに自分の中ですっきりしない。時代だから、言われたから(不祥事が多いから)ではなく自分で選択して出たい。
必修	自分自身を振り返り、さらに自分の力量を高めていこうと思いました。ありがとうございました。
必修	何の為の更新講習なのかよく理解できませんでした。土・日に開催される意味がよく理解できません。金額も自己負担して休日に行う講習内容としてみると、意欲が高まるものでもなく知識技能が高まるものでもないと感じ、かえってやる気を失います。すみません。
必修	(二)(三)については、まだ受講したことがないため、指導主事・管理職も受講すべき!!むしろ教諭より多く受講した方が良いと思いました。
必修	知らないことがいっぱいありました。ありがとうございました。
必修	理論的な話が多かったが、初めて知る内容もおおくあったり、いま実践していることはまちがいでなかったなど、理解が深く出来た。
必修	経験の少ない中での受講でしたので専門性の高いお話が早口でしたのでついていくのがやっとでした。知らないことの多さにとまどいました。
必修	わかりやすい講義の内容、話し方だったと思います。授業内容などという視点では少し違うところもありましたが、自分におきかえて考えることができました。
必修	自分の経験不足・知識不足がわかった。
必修	教員は常に時間に追われていたり何らかの責任(例えば学級担任として責任、部活顧問として責任など)にさらされていて、息つく暇もないです。ただでさえ時間がないところを「研修 研修」と資質向上を名目にさらに時間を奪われている感があり、この教員免許更新講習制度は早くやめてほしいです。
必修	もう少しゆったりとした時間で学習させていただけるとありがたい。内容はとても有難いものだったので、ゆったりと学びたかった。 ホリスティック ESD 河野桃子先生の授業は興味深いものでした。目から鱗でした。自分のこれからの教員人生の向上をはかれる気がしました。ありがとうございました。自分に自信がもてる気がしました。ありがとうございました。
必修	ありがとうございました。
必修	多くの資料を用意していただき、ありがたかったのですが、忙しくすすんでしまう内容、専門的で説明が理解しにくい語句などがあってついていくのが困難だったものもあった。
必修	本日の講義の中では、キャリア教育について、改めて学ぶ機会となりました。今の子どもたちにとって小中高一貫した教育の必要性に改めて気付かされま

	した。感染症について養護教諭ばかりでなく一般の教諭にも知っていったほしい内容でした。難しい内容もありましたが、ウイルスの話は興味深くありました
必修	多くのことを学ばさせていただきました。ありがとうございました。
NIE1	記者の方からの直接のお話が聞けてよかったです。(貴重な経験ありがとうございました)
NIE1	新聞活用をぜひ、授業にとり入れたい。
NIE1	ありがとうございました。とてもよかったです。
NIE1	1日ありがとうございました。記事の書き方や、取材など、これならできそう！と思える場面が多く、楽しみながら講習が受けられました。
NIE1	とてもわかりやすい講習で、授業にも応用していきたいです。
NIE1	N I Eの面白さ、新聞記者の熱意が伝わって有意義でした。
NIE1	記者のお話は、本当に貴重なものでした。ありがとうございました。
NIE1	話す言葉もわかりやすく、とてもよかったです。
NIE1	とても楽しく受講させていただきました。新聞は元々好きだったのですが、今後はまた良い意味でちがった読み方ができそうです
NIE1	とても参考になりました。ありがとうございました。※ただ冷房が強すぎでした
NIE1	記者のお話は、まさに新聞づくりの最先端のお話であり、その記者たちの人となりを感じることができました。ありがとうございました。
NIE1	たいへんためになりました 本当にどうもありがとうございました
NIE1	ありがとうございました 参考になりました。
NIE1	新聞を作る上でのいろいろな現場のことがわかり非常におもしろかったです
NIE1	実際の記者の方からもお話がきけてよかったです。
NIE1	ワークシートの作り方などをもっと行ってみたかった。
NIE1	興味深い講演で非常に参考になりました
NIE1	新聞記者の方から実際のお話を聞いたことは大変興味深かった。震災に関わった内容がやはり心に残った。ありがとうございました。
NIE1	新聞社の方の"生"の話が聞けてよかったです。
NIE1	スケジュール(時間終了)は守りたい。大人として、人として。
NIE1	ゲストTeacher、大変良かったです。もっともっと話をききたくなりました。新聞活用したくなるとともに自分自身、新聞の読み方、見方、考え方が変わりました。ありがとうございました。
NIE1	研修して得をしたと思える内容でした。外部講師もとても良かった。もっといろんな好奇心がかきたたれそうです。
NIE1	出来れば駐車場がある会場だと、ありがたいです。
NIE1	話だけでなく、作業もあってよかったです。ゲストティーチャーの藪塚先生のお話が興味深くてよかったです。
NIE1	興味深い内容で、勉強になりました。ありがとうございました。

NIE1	新聞に関する興味深い話を聴くことができよかったです。ありがとうございました。
NIE1	多様な教員のすべての必要性を充足する講習は不可能ですよ。御苦勞…推察できます。ありがとうございました。
NIE1	実体験、具体例をもとに演習も取り入れながらの講習で楽しみながら学べました
NIE1	教室へ戻り、早速生かせそうです。ありがとうございました。藪塚さんのお話、心を打たれるものがたくさんありました。
NIE1	実際の現場の話もあっておもしろかった。
NIE1	とても良かったです。また授業などで、活用してゆきたいです。
NIE1	とても楽しく、ためになる内容が盛りだくさんの大満足の講習でした。
NIE2	途中で休憩時間を設けていただけるとありがたかったです。
NIE2	新聞が教育活動に役立つということを再認識することができました。
NIE2	とても良かったです。
NIE2	持ち物に”大きい袋”と知らせてほしい。大学外に出る、このような講座を増やしてほしい。
NIE2	ありがとうございました。内容の濃い1日となりました。
NIE2	実習の時間が短い…、あわただしい…、中途半端になってしまう。残念でした。(作業に時間をかけてほしい。)
NIE2	駐車場はほしい。
NIE2	信毎社内を見学できたり貴重な体験ができた。新聞作りなど実際に体験でき楽しかった。
NIE2	信毎本社での実施で、実際に見学できたり、エアコンのきいた快適な環境で学習できた点は大変良かった。
NIE2	長時間の演習なので、休憩時間を予定の用紙に10分くらいずつあったように思いますが、きちんととっていただきたいと思います。(時間を守ってほしいと思います。)
NIE2	社内見学や演習が多く、とてもためになりました。このアンケートの質問内容が(二の1)難しく、適切と感じない。
NIE2	狭い教育の世界から会場が新聞社で、直接話が聞けるのは世界が広がってよいかと思います。
NIE2	自分の視野を広げることができたように思います。授業にもぜひ「NIE」を取り入れてみたいと思います。
NIE2	資料をたくさん準備していただき、日頃の実践に役立つ大変ためになる内容でした。ありがとうございました。
NIE2	充実した研究ができました。ありがとうございました。会場が新聞社であったこともとても良かったです。
NIE2	実際の新聞作りの現場の見学や記者の方のお話、実技など、とても充実した内容でした。

NIE 2	ワークショップがたくさんあり、あきないでとても楽しく、しかも明日から使えそうでとても参考になりました。ありがとうございました。
NIE 2	日頃手にして見ている新聞を身近に勉強してみたかった。とても楽しく受講できました。
NIE 2	新聞でこんなに学習（作る、切る貼る、問題を作る、広げる）ができるとは思っていなかったなので、実際に体験できて良かった。
NIE 2	信毎本社（現地）で講習ができ、見学ができ、ありがたかった。
NIE 2	知らない世界（学校だけでない場所、社会見学だけでは知りえないこと）を知ることができてよかったです。
NIE 2	大変参考になりました。ありがとうございました。
NIE 2	勉強になりました。ありがとうございました。
NIE 2	記者の話は、全くもっておかしい。個人の政治信条を述べることと、新聞作りは異なる。問題視すべきだ。教員免許法は公平であるべきだ。社民党に入れたならもってのほかである。生徒に、自分の政治信条を言えないのと同じように免許法講習で、自分の政治信条を述べるのもおかしい。信毎の左翼体質がよくわかった。講習料も返還してもらいたい。
NIE 2	以前から興味のある内容でしたので、受講できて良かったです。今後の教科指導に生かしていきたいです。
NIE 2	大変為になりましたが、一つだけ。持ち帰りの資料が多く、先にアナウンスがあると助かります。
NIE 2	手を使って作業をしたり、見学したりする単なる講義とは異なる楽しく有意義な講習でした。ありがとうございました。
NIE 2	新たな教育観をもつことができた。様々な視点をもって教育現場で必要だということが改めて分かりました。たくさんの資料ありがとうございました。
NIE 2	良い講習会でした。視野が広がった気がします。
NIE 2	いろいろな体験ができて良かったです。
NIE 2	ありがとうございました。
NIE 2	新聞で学ぶこと、新聞を作ること、新聞を学ぶことを実際に体験してよくわかりました。楽しかったです。何気なく読んでいた新聞ですが、多くの人の手が加わってできているのを知り、読む目が変わりました。
NIE 2	学校に戻ってすぐに使える内容を教えていただいてありがたかったです。
NIE 2	実際にやってみて、とても楽しかったです。ありがとうございました。さっそくクラスで活用できそうです。
NIE 2	文章を書く上での観点が整理できました。授業でも実践していきたいと思います。ありがとうございました。
NIE 2	学校現場から離れ、信毎本社で見学ができ、知見を広める良い研修でした。
NIE 2	今日、参加できてよかったです。充実した1日でした。ありがとうございました。
NIE 2	受講者を飽きさせないように、大変よく考えられた講習でした。ありがとう

	ございました。
ニュース スポーツ	楽しく体を動かすとともに、体の使い方、とても勉強になりました ありがとうございます ございました。
ニュース スポーツ	笑顔で楽しく運動を！先生の姿から学びました。
ニュース スポーツ	実技が多く、とても具体的で楽しく講習をうけることができました。ありがとうございます。
ニュース スポーツ	今日は県外から参加しましたが、受講してよかったです。(実家がながのです)
ニュース スポーツ	講師の先生の適切なアドバイスより元気をもらいました
ニュース スポーツ	杉本先生の講義内容はわかりやすく話もよかった。受講できてこれからの役立てそうです。
ニュース スポーツ	講習内容が教育に関わるというより、自分の健康維持(ジョギング&ウォーク)のためだったため(一)の質問は答えにくかった。講習内容はとても楽しめ、勉強になった。
ニュース スポーツ	とても充実した楽しい時間となりました。教員とは関係なく、自己啓発に役立ちました。
ニュース スポーツ	運動不足になりがちな現代に合ったよい内容でした。
ニュース スポーツ	疲れましたが、楽しく体力向上と理論がわかりました
ニュース スポーツ	子育て、学校におわれる毎日なので、体を動かして、気持ち良かったです。3日続ける→3週間→3ヶ月とおっしゃっていましたが、今日がその1日となりそうです。明日の朝、散歩します。ありがとうございます。
ニュース スポーツ	上記のアンケートの答えかたが、よくわかりません。
ニュース スポーツ	非常に楽しく興味深くとりくめた
ニュース スポーツ	ふだんの自分の姿をふりかえる意味でもたいへん有意義な講習でした。つかれたけど、楽しかったです。
ニュース スポーツ	とても為になりました。話もわかりやすかったです。
ニュース スポーツ	研修内容は勉強なり、とてもよい。しかし、更新制度自体に必要性を感じない。
ニュース スポーツ	久しぶりに体を動かし、よい一日になりました。明日から、自分の健康管理および指導に役立てたいと思います。
ニュース スポーツ	とても楽しく、気持ち良く受講できました。ありがとうございます フライイングディスクも楽しみにしています♪

ニュース ポーツ	あまり知られていない知識を得ることができて、有意義な講習だった。
ニュース ポーツ	たいへん学びが多かった ありがとうございます。
ニュース ポーツ	健康ブームの今、ウォーキングは手軽なスポーツ・運動だと思います。手軽だからこそ、ケガなくやれることが大切なのは…正しいフォームが再確認できて良かったです。ありがとうございます。
ニュース ポーツ	学校にもとめられる分野であったので保育園で生かすことは少々むずかしいと思ったが生活の中でかむこと等を伝えられたらと思った。早くたべおわる子にはよくかむ事、口腔の話は自分の事におきかえて講義を受講できた。
ニュース ポーツ	全体的に受け身だけにならないような工夫がされた講義内容でありすぐにも役立つ授業のヒントが沢山あった。私生活でも参考になる内容で、小学校などのPTA活動でも役立つと思うので広くいろいろな分野の人たちにも受講できるような機会を設けてはどうかと思う
ニュース ポーツ	自分が今までに積み上げてきたことが、講習の中でひとつひとつ確認できました。これからもウォーキング、ジョギングをずっと続けていこうと思います。また、子どもたちにも伝えていこうと思います。ありがとうございます。
保健	前半、専門的な講義を聞いた上で、後半、実践的なことを基に講義されていて、とても分かりやすかった。演習等もあり、楽しく受講できた。もう少し全体的に時間があると、よかった。午前・午後にお一人ずつの教授で。
保健	近い場所で受講できると良い。 認定試験があると落ち着かない
保健	もう少し、ゆったりとした日程を望みます 安富先生の講義はとてもわかりやすく現場に近い内容でありがたかった
保健	資料が多く分かりやすい内容でよかった。
保健	なかなかくわしく知らない分野だったので、楽しかったです。歯科、アレルギの医師の立場の方の専門分野の講義で良かったです。
保健	もう少し人数や日を増やしてもらえばありがたい
保健	普段受講することができない内容に大変興味深く受講させていただきました。
保健	「子どもの健康管理」は子どもたちのことでなく自分の生活を振り返ることができて良かったです。
保健	現在保育所に勤務していますが、受講申込書の証明を受ける所に園長の印(証明)をもらって送ったところ、市長の印でないと言われ再び受講申込書を送りました。これから保育園に勤務していて幼稚園教諭免許状の更新をする人も大勢いると思いますので、「保育園勤務の人は市長の証明を…」と言添えていただけるとわかりやすく、ありがたいです。よろしく申し上げます
保健	とても興味・関心がありました。普段はなかなか接する機会のない専門家の

	講義が聞けて良かったです。
保健	大変わかりやすく仕事に関係するもので学びました。
保健	専門的に勉強できて良かった
保健	駐車場の確保をお願いできるとうれしいです。
歴史館	講義を聴いて、テストという流れではなく、他の受講者と意見を出し合いながら、課題を進められたので、とてもおもしろかった。
歴史館	博物館を問いを持って見学すること、授業（学校での学習）と博物館の学習のつながりを意識することができました。 文書保管（公文書の保管）の大切さ、説明された先生の熱意に胸を打たれた。
歴史館	森將軍塚古墳館を提案いただきありがとうございます。この古墳の持つ素材の価値がより深まりました。
歴史館	時間の確保がむずかしい。自分の専門性を深める時間もむずかしい中、行われるのはつらい。
歴史館	大変楽しく受講できた。他の学校の先生方とも交流ができ、有意義であった。
歴史館	普段見ることのできないバックヤードが見られ、刺激を受けた。五感で体感すると、印象に残る。
歴史館	歴史館の資料を有効に活用して、学習を深めていくヒントをもらうことができました。大変に参考になりました。
歴史館	学芸員さんに大変親切に教えていただき、楽しかったです。
歴史館	とても有意義な研修でした。こんなに展示物を真剣にみたのは初めてかもしれません。
歴史館	実際に見学や授業にいかすという観点で役立ち、ありがたかったです。一回だけではもったいないのでまた受講したいほどでした。
歴史館	新しい経験ができ今後の教育活動に生かしたいと思いました。
歴史館	バックヤード見学はとても貴重な体験で、博物館の裏の顔、また学芸員の方の思いを感じられました。オリジナルテキストの作成も最初は不安でしたが、とても楽しくできました。
歴史館	とても良かったです。グループで活動したことも不安が解消されて良かった。バックヤードの説明、見学時間が短いのが残念でした。
歴史館	よく利用させていただく場所だけに、大変ありがたかったです。下見だけでは知られない少し深い所まで知ることができ、大変有効でした。
歴史館	夏休み中にしかできない、現地に行つての体験型の講座をもっと増やしてほしい。
歴史館	本日はありがとうございます。グループ演習で他校の先生方と交流できて楽しかったです。たくさん討議したのに書きあがったものは全く違って、それぞれの先生が大切にしたい所が鮮明になったのも興味深かったです。他のグループの先生方の発表もとても面白かったです。そして実際にいろいろ考えてみて分かった事は歴史のことを表面的にしか知らなかったということです。小山先生にお話しいただいた女工さんの暮らしについては本当に目か



	らウロコの驚くべき新発見でした。本当にありがとうございました。
歴史館	自分の専門教科以外の先生方とグループでまとめられたので、幅広く特に歴史においてたくさん意見をきけて、心強かったです。このようなシステム・機会はとてもありがたいと思いました。
歴史館	博物館は展示されているものを見学することがほとんどでしたが、今日の講習で話を聞けたり、学芸員さんの話を聞いたり、展示見学での説明を聞いたりしながら、1つ1つの展示に意味があり、こだわりがあること知りました。これから博物館へ来るのが楽しみになりました。ありがとうございました。
歴史館	歴史館の展示だけでなく、その役割を学ぶことができ、有意義でした。
歴史館	講義するほうも、受ける方も休日になるのは制約が多くなる。長期休業中がありがたい。・受講できない場合の失効というのは厳しすぎる。減給など。
歴史館	今日の講座はとても楽しく、充実した講座でした。ありがとうございました。
歴史館	施設見学のためのテキストを作ろうで頭を使いました。古文書や土器を子供たちに生で見せて、説明していただくよい機会になることに感謝です。
歴史館	50代の半年更新の常勤講師です。正規の教員と同様に更新講習を受けるのに教済入れないため、補助は出ません。安い給料で目一杯働いているのになんだか不平等な気がします。
歴史館	展示されているものすべてに意味があることを教えていただき、とてもよかったです。学芸員さんにもっと質問したりと、活用させていただくようにしたいと思います。
歴史館	社会見学で、こういった博物館へ引率することが多くあります。しかし、学習ノートは準備し配布するものの、その質問やテーマ・内容があまりにも「見てすぐに分かるもの」、「解説に書かれているもの」から即答できるものが多かったように思う。もっともっと展示資料から時間的前後関係や変遷を考えさせたり、こういった展示物に触れながら、自分の生き方について考えさせたりするようなテキストを開発しておくの大切さを実感しました。また、バックヤードバックヤードに保存されている多くの教材や学芸員さんとお話ししながら見学や学習を深めていく方法もあることを知り、大変参考になりました。貴重な経験を多くさせていただき、1日とても有意義でした。ありがとうございました。
歴史館	昨年度受講された方が本講座よかったよと言われてすすめられたのですが、専門外の私にとっては午後の活動内容はレベルの高い内容で朝から気が重かったです。
歴史館	歴史館に何度か足を運んでいます、教材化ということで、新しい視点から見ることができ、視野が広がりました。
歴史館	グループ学習では自分では考えられない発想を聞いたりでき、良かった。全く知らない先生と発表することはとても意義があった。歴史館を見学することができ、ためになりました。
歴史館	普段見られないものを見学させていただき、博物館を教材に役立てたいとい

	う思いが強くなりました。今回のように、美術館や博物館を使った実習型の講座をぜひ増やしてほしいです。(できれば中信でもおねがいます)
歴史館	いつもは見られないバックヤードを見せてもらうことができよかったです。色々と御苦労されている様子が分かりました。歴史館や博物館を使って授業する機会があまりないので
歴史館	普段触れられない世界を知ることができました。ありがとうございました。
歴史館	今まで知らなかった歴史館の役割を知り、バックヤードについても大変興味深かった。
歴史館	館内見学で初めて考古学室や古文書室に入り、スゴイ!!とびっくりしました。貴重な体験をさせていただきました。もう少しゆっくり見学したかった気がします。歴史館で体験型の研修でとても良かったです。実践に生きる研修ができたと思います。免許更新講習だけでなく、一般の研修としても開講してほしいです。
歴史館	見学や演習の時間が多く、歴史館の活用の仕方がよくわかり、有意義な一日になった。
歴史館	バックヤードを見学させていただき、驚きの連続でした。博物館のお仕事奥深さを感じました。今まで、何度か児童の引率で来ましたが、児童に問題意識を持って見学するとか見学するとか更に考えを深めさせる展開の必要性を今回実感しました。免許更新講座の学習はどれも、学ぶ楽しさと実感できるものであり、大変有難いと思っております。有難うございました。
歴史館	普段みられないバックヤード。活動が分かってよかった。
歴史館	普段では見ることのできないバックヤードを見学させていただいたり、歴史館利用のための視点、観点を教えていただき、次回の児童との見学が楽しみになりました。ありがとうございました。
歴史館	講師の先生方の分かりやすい説明、聞く人をひきつける話術などすっかり話にひきこまれてしまいました。特に館内見学は楽しかったです。子どもたちも、興味津々で見たり、聞いたりするんだらうなと、目を輝かせた子どもたちの顔が、目に浮かぶようでした。ありがとうございました。
歴史館	展示物をみながら考えられたので楽しくできました。
歴史館	ふだんは入れない場所で、古文書や土器の整理や保存されている様子を見られてその数にびっくりしました。また、専門分野で生き生き話される先生方にすごいなあと思いました。午後の教材作り、ふだんは見学して、新聞を作ってまとめにしていたので、どうやってやろうか迷いました。グループの先生方にアイデアをいろいろもらえて、勉強になりました。ありがとうございました。
歴史館	午前中の歴史館の方の県立歴史館にある注目すべき遺物の説明がありましたが、もう少し聞きたかったです。午後は、自分の課題に応じて教材研究をしたかったです。(グループで課題追究をするよりも) その方が、普段できない(ここでしかできない)教材研究ができた。グループ討議にすると協調性

	が求められるので、自分の課題を追究できない。他の人のやりたいこと（課題）に合わせざるを得なくなるので一考をお願いしたいです。
歴史館	専門ではなかったのですが、午後のグループ演習はとても助かりました。いろいろな見方があることがわかり、勉強になりました。博物館の見方も変わりました。
歴史館	久しぶりにこの博物館を見学させて頂くことができ、また、バックヤードにも入ることができ、改めて知的好奇心がくすぐられました。子どもたちに、いかにこの歴史的な価値のある文化財を見学、質問を通しながら学習として使用していくか今後の教材研究に活かそうと思いました。

(資料7)

「専門学部開講の講座に関する基本情報」

内 容

講座の概要

実務教員による事前支援情報

担当教員の感想

定員と受講者数と充足率

## タイトル

『博士の愛した数式』（小川洋子著）の中の数学を見てみよう

定員	受講者数	充足率
50	51	102%

## 講座の内容

小説の中の博士は数（整数論）の専門家ですが、事故により 80 分しか記憶を維持することができません。事故以前の記憶はあり、数に対して鋭い感性を持っています。私たちが日頃より慣れ親しんできた数（自然数）、特に小説の中に出てきた素数、完全数等の話題を中心に、それらのもつ性質を家政婦ルートと一緒に見ていきましょう。

## 支援内容

- ・受講者が数学の楽しさや美しさに没頭する講義内容であることが、本講義の主旨に適している。
- ・講師が、数学の研究に携わるようになった動機や受講者に期待されることなど含めて、講義して頂けると、より数学が身近に感じることができるようになるのではないかと思います。
- ・試験の中に、受講者が、受講した内容をどのようにいかそうとしたいか、あるいは、数学の教師としてどんな工夫をしてみたいかなどの感想記入の欄を設けていただくと、現場での意欲が増すと思われます。

## 感想

講義時間が長いので難易度が上がる終盤は双方とも疲れてしまいます。が、毎回、受講生の熱心な取組が感じられます。受講生対象アンケート集計結果をみると、「本講義の内容・方法についての総合的な評価」「本講義を受講したあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価」及び「本講義の運営面についての評価」の各項目において「よい」と回答した受講者の割合が高かった。このため多くの受講者が本講義内容に対して興味を持っており、希望にあった内容等を提供できたものと判断できます。

満足度(内容・方法)

100%

満足度(最新の知見・技術習得)

94%

## タイトル

グリム童話のルーツを探る

定員	受講者数	充足率
50	124	248%

## 講座の内容

今も世界中で読み継がれている『グリム童話集』に収められている 2 つの童話「眠れる森の美女」と「シンデレラ」を取り上げ、アメリカのディズニー、ドイツのグリム、フランスのペロー、イタリアのバジレ等、さまざまな類話を比較しながら、そのルーツを現代から近代、中世、古代へと辿り、童話と民話と神話の違い、神話から民話へ民話から童話への移行と背景社会の変化との関連について考察し、童話や民話や神話が何万キロという空間と何千年という時を超えて現代に語り継がれてきた秘密を探り、伝統の意義と文化創造の関係を解き明かし、伝承素材を教育現場で教える際に重要なことを考えます。

## 支援内容

・受講者にとって興味深い内容であると思われます。ただ、受講者は、素材の教材化であるとか指導方法など、直接授業と関わりがちなものに目を向けがちであるようです。講師ご自身が、この研究を始めた動機をエピソード的に講習に入れていただくと、伝承素材への興味が増すと思われます。

## 感想

前回講習を実施した 4 年前と比較して、今回は講習内容がいっそう充実したため、試験において講習の重要ポイントすべてを出題した。試験に際して、満点をめざす必要はないことを説明したが、受講者にとっては出題された内容のすべてあるいは大部分にしっかり解答できないと、講習全体に満足できないよう強く感じられる。来年度は、出題の形式を工夫したい。

満足度(内容・方法)

85%

満足度(最新の知見・技術習得)

79%

## タイトル

コミュニケーションの障がいを擬似体験しよう（A）

定員	受講者数	充足率
50	96	192%

## 講座の内容

子どもの障がいのうちいくつかはコミュニケーションの障がいをもたらします。この講座では、難聴や言語障害などの擬似体験をいくつか実施し、参加者が相互に意見交換しながら、障がいに対する理解を深め、具体的な支援を考えていきます。

## 支援内容

特になし

## 感想

全体的には、受講者が熱心に講習に参加しており、講習の目標を達成できている。ロールプレイングや演習の連続になるため、受講者が主体的に参加していると思う。ただし、個々の経験や所属校種によって基本的知識に差があり、それぞれに合った内容を盛り込むことが難しいとも言える。アンケートなどをみると、個人負担が多い更新制度自体に疑問や反対意見をもっている教員も多いとは感じるが、全体的には実質的な研修を求めている印象は強い。

## 満足度(内容・方法)

125%

## 満足度(最新の知見・技術習得)

121%

## タイトル

たかが新聞されど新聞～NIE入門～

定員	受講者数	充足率
50	95	190%

## 講座の内容

新学習指導要領では、「新聞」を活用した授業づくりが提案されています。新聞のもつ役割や機能を信濃毎日新聞社の記者の体験談や信濃毎日新聞社の見学等体験的な活動を通して知るとともに、新聞を活用した授業実践を具体的に学ぶことを通して、日常の授業実践での新聞の活用方法について探ります。教科や学校種にとらわれず、NIEに興味のある先生、新聞を「ねた」に楽しい授業を展開しようという意欲のある先生方を対象とします。注1) はさみ・糊をご持参ください。

## 支援内容

特になし

## 感想

問題意識を持って講習を受けておられる先生が多かった。  
グループ学習を取り入れたことで、校種の別なく交流ができ、よかった。

満足度(内容・方法)

93%

満足度(最新の知見・技術習得)

92%



## タイトル

ピーターラビットと英語から英国社会を見る

定員	受講者数	充足率
50	93	186%

## 講座の内容

ピーターラビットの物語の一部を英語と日本語で紹介しながら、作者ビアトリクス・ポターの生涯をたどります。物語の主な舞台である英国湖水地方をはじめ、当時と現代の英国社会を概観し、時代と作者の投げかける現代的意義を考察し、これからの教育に生かすヒントに結びつけます。

## 支援内容

・講師ご自身が、ピーターラビットを研究対象に選ばれた理由など、研究に関わるエピソード等、お話ししていただくと、教材化の意義などについて受講者自身が、自分の教員としてのあり方を見返していくことになると思われます。

## 感想

・準備はかなり大変で、またじっさい多くの経験豊富な先生方を前に緊張もするのですが、幸いなことに、概ね好評であり、こちら楽しんでやることが出来ていることを嬉しく、またやりがいを感じています。

・ただ、毎年90人ほどの参加者の中で、アンケートを見たり感想を聞くと、おひとりかおふたりですが、この制度自体に対して不満や反感を述べる方がいます。すなわち、規則上参加しているが、どうして、こんなに忙しい中、高額なお金を支払い、大切な時間をつぶし、子どもたちを置いてきてまで参加しなければならないのか、という意見です。できれば文科省（や大学）にももっと価値や意義（とくに選択領域）を啓蒙して欲しいし、こちら期待に応えるべく工夫と努力をしなければと思います（とくに将来の授業に生かせるように）。でも多くの方がお礼を言いながら、明るく晴れ晴れとした笑顔でお帰りになるので、やって良かったとは思っています。

満足度(内容・方法)

164%

満足度(最新の知見・技術習得)

164%

## タイトル

NIE 入門～新聞活用で楽しい授業～

定員	受講者数	充足率
50	76	152%

## 講座の内容

新学習指導要領では、「新聞」を活用した授業づくりが提案されています。新聞のもつ役割や機能を朝日新聞社の記者の体験談等を通して知るとともに、新聞を活用した授業実践を具体的に学ぶことを通して、日常の授業実践での新聞の活用方法を探ります。教科や学校種にとらわれず、NIEに興味のある先生、新聞を「ねた」に楽しい授業を展開しようという意欲のある先生方を対象とします。

注1) はさみ・糊をご持参ください。

## 支援内容

特になし

## 感想

問題意識を持って講習を受けておられる先生が多かった。グループ学習を取り入れたことで、校種の別なく交流ができ、よかった。

満足度(内容・方法)

96%

満足度(最新の知見・技術習得)

95%

## タイトル

コミュニケーションの障がいを擬似体験しよう (B)

定員	受講者数	充足率
50	73	146%

## 講座の内容

子どもの障がいのうちいくつかはコミュニケーションの障がいをもたらします。この講座では、難聴や言語障害などの擬似体験をいくつか実施し、参加者が相互に意見交換しながら、障がいに対する理解を深め、具体的な支援を考えていきます。

## 支援内容

特になし

## 感想

全体的には、受講者が熱心に講習に参加しており、講習の目標を達成できている。ロールプレイングや演習の連続になるため、受講者が主体的に参加していると思う。ただし、個々の経験や所属校種によって基本的知識に差があり、それぞれに合った内容を盛り込むことが難しいとも言える。アンケートなどをみると、個人負担が多い更新制度自体に疑問や反対意見をもっている教員も多いとは感じるが、全体的には実質的な研修を求めている印象は強い。

## 満足度(内容・方法)

88%

## 満足度(最新の知見・技術習得)

85%

## タイトル

### ジョギングアンドウォークの指導法

定員	受講者数	充足率
30	39	130%

## 講座の内容

本講習は、ウォーキングの基礎的フォームの指導方法から、軽いジョギングへの導入を通して、ジョギングやウォーキングを楽しくおこない、それを生涯スポーツとして定着させるための方法をわかりやすく解説し、実際に体験します。また、運動を習慣づけるためのポイントや、健康管理のために必要な知識なども解説します。基本的に運動できる服装で、来てもらえば結構です。前半は体育館で行うので、体育館シューズを準備してください。また、後半は屋外でのジョギングを行いますので、帽子やタオルなど暑さ対策の準備をしておいてください。

注1) 運動できる服装 シューズ（屋内用と屋外用） 帽子 タオル

## 支援内容

特になし

## 感想

皆さんまじめで、とても良い講習が出来たと思います。

満足度(内容・方法)

100%

満足度(最新の知見・技術習得)

95%

## タイトル

子どもの健康管理(歯科指導とアレルギー)

定員	受講者数	充足率
50	61	122%

## 講座の内容

小児期における歯及びあごの発達と、同時期に出現する歯科・口腔疾患について学び、子ども達の口のなかを正しく理解します。さらに、「噛めない噛まない飲み込めない」といった問題を持つ子どもたちについて考え、良く噛んで食べる習慣を身につけるための具体的な指導について考えます。また、小児のアレルギー疾患の概要と、現在教職員に求められている救急時の対応について「学校のアレルギー疾患に対するガイドライン」に基づいて解説します。

## 支援内容

- ・アレルギーが多様化というか複雑化している現代の子ども達と日々接する教師にとって、大事な講習であると思います。

## 感想

受講の先生方がとても熱心に講義を受けてくださるので、私もやりやすいです。また、長時間になるので、こちらもいろいろと工夫し、簡単な演習などを交えて行っております。感想も書いていただくので、読ませていただき、私が励まされまた頑張ろうという気持ちになります。養護教諭が多く親近感を感じます。確認テストをすることで、話の理解度もわかりますし、受講生も一生懸命話を聞いてくれるので、双方いいと思います。採点時間がかかり大変です。また受講者に点数を伝えるといいと思います。

## 満足度(内容・方法)

98%

## 満足度(最新の知見・技術習得)

95%

## タイトル

ものをつくる動物たち

定員	受講者数	充足率
65	78	120%

## 講座の内容

畜産物の消費が著しく伸び、畜産業の重要性が増大している我が国で、家畜に対する人々の関心が、逆に希薄になってきているように見られます。国内の畜産業の健全な発展のために、教育現場にて家畜に対する理解を深め、関心を高めることが大切です。1年間で約1万Kgのミルクを生産する乳牛、霜降り肉を提供する和牛、1年間続けて毎日卵を産む卵用鶏、60日齢で3kgまで急成長し食肉となる肉用鶏（ブロイラー）、1度に10頭前後の子豚を出産しその子豚は6ヶ月で100Kgまで成長し食肉となる肉用豚、など人間の手で家畜化され品種改良された極めて高能力の動物が現在の家畜です。一方では安全・安心な畜産物を提供し、さらに家畜用飼料の自給率を高める必要性が指摘されており、輸入飼料に依存しない牧草、飼料作物や野草等の草資源の利用、また未利用資源の飼料化による家畜の生産が求められています。そこで本講習では、卵、鶏肉、豚肉、乳牛、牛肉といった畜産物の生産に関する基礎的事項と最近の状況を概説します。

## 支援内容

特になし

## 感想

受講者が多すぎました。これでは効果的な授業はできません。受講者の中には分野が違うので、興味はないが、他に日程が空いてないので仕方なく来ているという者もいました。何のための講習会なのか、講師としても疑問でした。保育士から農業高校教諭までが受講者でした。場所と日程が合う人をただ機械的に集めただけということが分かります。レベルや専門性をそろえて頂けるとより良い講義ができます。ただし、我々が農学を教えたら、受講者の教員としてのレベルが上がるとは思えません。試験には当たり障りのない内容しか出せませんので、あまり意味はないと思います。今回、ホワイトボードが見にくいという指摘があります。ホワイトボード用の照明を付けるとスクリーンのスクリーンに光が入るので、この照明は利用しません。照明の向きや部分的なカバーを学務係にお願いしたことも何度かありますが、対応して頂けません

満足度(内容・方法)

81%

満足度(最新の知見・技術習得)

71%

## タイトル

ニュースポーツ（フライングディスク）の指導法

定員	受講者数	充足率
30	31	103%

## 講座の内容

ニュースポーツであるフライングディスクの正しい投げ方、および正式種目（10種目）のゲームの方法を学びます。さらに各種目の指導法を学ぶことによって、体育の授業のバリエーションを増やすとともに、チームワークの学習に役立てます。

## 支援内容

特になし

## 感想

皆さんまじめで、とても良い講習が出来たと思います。

満足度(内容・方法)

40%

満足度(最新の知見・技術習得)

40%

## タイトル

教育の本質と教師の役割－教職の専門性の基礎－

定員	受講者数	充足率
50	51	102%

## 講座の内容

専門職たる教員の資質向上を目指して、哲学・教育史・教育行財政・教育法制などの最新の学問的成果を活用して様々な視点から、現在日本の教育課題と教員を取り巻く環境の変化を理解してもらおうと同時に、教員自身のこれまでのキャリアと今後のキャリアについての省察と創造を探究してもらおう機会を提供します。具体的には、①現在教育の問題状況とその分析、②教育の意味と構造（語源的な意味と本質的な意味、教育の意味の東西古今の比較考察）、③人間の存在価値の上昇的変化の営為としての教育、④教育世界の全体構成（他者教育と自己教育、両者の相関性と関係構造）、⑤生涯学習を担う学校教育の再構築（専門職として学び続ける教師、他者教育を媒介とした自己教育の実践、進化し率先垂範する教師）等々の内容を扱う。豊富な資料と事例を提示して分かりやすい講義形式の講習を行います。

## 支援内容

特になし

## 感想

本年度から新設した講習内容ではあったが、「参加者の人数」と「講義室のサイズ」がちょうどよく最適な環境で講習を実施することができた。また内容面に関して、参加者のレベルをどの程度想定すればよいか課題であったが、参加者の感想によれば、若干の難解な部分もあったようだが、普段の教育実践との兼ね合いを考慮し、省察を促すことができたようである。次年度もより工夫をしていく所存である。

満足度(内容・方法)

92%

満足度(最新の知見・技術習得)

92%



## タイトル

歴史館で教材開発 (B)

定員	受講者数	充足率
50	50	100%

## 講座の内容

新学習指導要領では、「新聞」を活用した授業づくりが提案されています。新聞のもつ役割や機能を朝日新聞社の記者の体験談等を通して知るとともに、新聞を活用した授業実践を具体的に学ぶことを通して、日常の授業実践での新聞の活用方法を探ります。教科や学校種にとらわれず、N I Eに興味のある先生、新聞を「ねた」に楽しい授業を展開しようという意欲のある先生方を対象とします。

## 支援内容

特になし

## 感想

問題意識を持って講習を受けておられる先生が多かった。  
グループ学習を取り入れたことで、校種の別なく交流ができ、よかった。

満足度(内容・方法)

100%

満足度(最新の知見・技術習得)

100%

## タイトル

心理学からのクリティカル・シンキング入門

定員	受講者数	充足率
100	99	99%

## 講座の内容

「クリティカル・シンキング」とは、多様な情報にまどわされることなく、ものごとを多面的にとらえて、本質を見抜くための論理的な思考です。一般に批判的思考と訳されますが、これは相手を非難したり否定するという意味の「批判」ではありません。よりよい問題解決のために、情報を多面的に吟味し、自分の考え方の中に無意識の歪みや不適切な思い込みがないかを自省的に考えるという意味です。このクリティカル・シンキングのエッセンスを、人の心の働きを科学的にとらえる「認知心理学」をもとに体系的に習得します。中でも、人の思考や知覚に特有な「くせ」（認知バイアス）を知ることによって、先入観や直観の誤りを修正して、的確な判断や意志決定を行えるようになります。こうしたスキルは、教科を問わず、教育実践の現場で起こりがちな錯誤・錯覚を修正するだけでなく、情報分析能力を向上させ、教員や生徒が日常生活の中で「だまされない」思考力を養うことにもおおいに貢献するものです。

## 支援内容

- ・教員免許更新の目的の一つである「教職について省察」に適した内容であると思われます。

## 感想

受講する先生方を見て、さらにアンケートを読んで小中高の現場が日々の過重な業務で疲弊している状態で、丸一日中かかる講習を受講することになる。その一日を消費することで明らかに動機づけの低い（やる気のない）方と、その一日をできるだけ多くを吸収しようという動機づけの高い方の2極に分かれていると感じられる。講師としては、その動機づけの低い方にも、積極的に興味を持ってもらえるように話題や内容を仕上げる責務があるのはもちろんであり、それに務めてはいるものの、そうした方々にターゲットをあわせると、動機づけの高い方には内容が不十分なものを感じられる一方で、同一の講習に関して難しすぎるという反応もアンケートから読み取れる。こうした点を中心に、受講者アンケートからは、やはり自分の講習内容が教員のニーズに答え切れていないことも真摯に受け止めるべきと感じた。ただ、これらマッチングや動機づけの低さは、教員免許状更新講習の制度設計上の問題でもあって、一講師の立場ではいかんともしがたい問題と考える。

満足度(内容・方法)

89%

満足度(最新の知見・技術習得)

87%

## タイトル

障がいのある子どもの支援

定員	受講者数	充足率
100	97	97%

## 講座の内容

昨年の12月文科省の調査により、全国の公立小中学校の通常学級に発達障がいの可能性がある子どもが6.5%いることが明らかになりました。また幼稚園においても同じくらいの割合で発達障がいの疑いがある幼児がいるという報告もあります。本講習では、通常の学級に在籍する発達障がいのある幼児児童生徒に対して、学習および生活上の困難の背景となる障がいの特性を知り、学習面、行動面、社会性、感覚面などのニーズに応じた具体的な支援の方法や手立てについて事例を交えて解説していきます。また、特別支援において大切な役割を担う保護者や専門機関との連携についても考えていきたいと思えます。講座は主として松原が担当します。

## 支援内容

特になし

## 感想

全体的には、受講者が熱心に講習に参加しており、講習の目標を達成できている。ロールプレイングや演習の連続になるため、受講者が主体的に参加していると思う。ただし、個々の経験や所属校種によって基本的知識に差があり、それぞれに合った内容を盛り込むことが難しいとも言える。アンケートなどをみると、個人負担が多い更新制度自体に疑問や反対意見をもっている教員も多いとは感じるが、全体的には実質的な研修を求めている印象は強い。

## 満足度(内容・方法)

97%

## 満足度(最新の知見・技術習得)

94%

## タイトル

アフリカ、森の民のライフサイクルから学ぶ知恵

定員	受講者数	充足率
50	48	96%

## 講座の内容

本講座では、中部アフリカの熱帯雨林地域に暮らしている「ピグミー」と呼ばれる狩猟採集民の生活を、彼らのライフサイクルに着目しながら解説します。特に子供の教育や発達に関わる事柄を視聴覚資料を用いて紹介します。私たちとは自然・社会的環境が大きく異なる「森の民」の文化を学ぶことを通し、私たちの文化を見つめ直すためのヒントを提供します。

## 支援内容

- ・興味・関心の高い内容であり、受講者が自身のあり方を見つめ直す良い機会になると思います。

## 感想

文字のない、学校のない、教育らしい教育がおこなわれない社会に暮らす人々の話は、日本社会で教育に携わる先生方に、多少なりとも関心を持って聞いていただけたと思います。

満足度(内容・方法)

37%

満足度(最新の知見・技術習得)

37%

## タイトル

歴史館で教材開発 (C)

定員	受講者数	充足率
50	48	96%

## 講座の内容

新学習指導要領では、「新聞」を活用した授業づくりが提案されています。新聞のもつ役割や機能を朝日新聞社の記者の体験談等を通して知るとともに、新聞を活用した授業実践を具体的に学ぶことを通して、日常の授業実践での新聞の活用方法を探ります。教科や学校種にとらわれず、N I Eに興味のある先生、新聞を「ねた」に楽しい授業を展開しようという意欲のある先生方を対象とします。

## 支援内容

特になし

## 感想

問題意識を持って講習を受けておられる先生が多かった。  
グループ学習を取り入れたことで、校種の別なく交流ができ、よかった。

満足度(内容・方法)

98%

満足度(最新の知見・技術習得)

96%

## タイトル

持続可能な社会を求めて（環境と技術の関係をとらえて）

定員	受講者数	充足率
50	48	96%

## 講座の内容

地球環境問題は政治、経済、科学、技術が関わっていますが、あらゆる分野から環境保全や改善に貢献するための技術が環境調和型技術です。環境調和型技術を発展させることで21世紀を持続可能な環境調和型社会に変えていくことが重要です。科学および技術と環境問題との繋がり、地球環境問題の歴史と保護運動、地球温暖化、各種環境問題への科学・技術的アプローチについて学びます。特に化石燃料・希少資源の枯渇問題や、有害物質の除去、材料開発、省エネ・省資源、リサイクル、温暖化ガス削減、太陽光・風力・水力発電など、身近な材料や物質に関する環境調和型技術および自然エネルギー利用技術を取り上げます。われわれが日常的に使う製品やエネルギーおよび日々排出しているゴミの資源化とリサイクルに触れながら、日常生活に密着した環境負荷低減のための方策を技術的な観点から解説します。環境調和型技術研究のための装置や施設の見学もまじえ基礎的な内容から最先端までを解説します。

## 支援内容

・設備や施設の見学を入れていただき、受講者の興味・関心が高まったと思います。ただ、できれば、それぞれの講師の方の講習内容が、どのような関連があるかを考慮し、試験を一つにさせていただけると良い。

## 感想

最近の回答からは制度批判はなくなり、熱心に受講していただいている様子が見え、受講者はご自身の授業で活用できる内容を求めており、それに応える内容をさらに盛り込むことが講習の課題である。受講者が大学構内の様子をよく観察していることに気づかされた。建物の周囲の環境整備に注意を払いたい。

満足度(内容・方法)

81%

満足度(最新の知見・技術習得)

77%

## タイトル

### 野外での地質観察

定員	受講者数	充足率
23	22	96%

## 講座の内容

信州は、学校教育において野外の身近な素材を用いて地学教育を行う上で優れた素材を有しています。松本盆地及び周辺の重要な地質現象を観察し、現象の意義・着眼点・記載の方法などを学びます。まず室内での解説（1時間）を行い、次いで、バスを利用して野外での観察・実習を行います。観察する対象は以下のとおりです。 1. 第三紀の地層の堆積構造・褶曲・断層の観察法（犀川生坂ダム） 2. 松本盆地の地形観察（梓川の謎の巨岩） 3. 活断層露頭の観察

注1) 天候などの自然条件により、内容・順序の変更もあり得ます。

バスでの移動時間があるため、講習開始から終了までの講習時間である6時間を超えることが予想されます。野外では足場が悪いので、しっかりとした靴が必要です。

小雨決行、雨具持参。器具類は講師が用意します。

## 支援内容

特になし

## 感想

教員にとって、その養成課程において、野外観察に関する体験的な授業を受講する機会一般に十分ではない場合が多い。この講習は、自己研鑽のみでは実現が難しい野外での地質観察の機会を設け、自然観察の方法を学び、授業に生かしていただくことを目的としている。受講者は一様に野外での観察に積極的に参加し、盛んに講師に質問を投げかけ、また受講者同士で観察事項について意見交換を行い、工夫してレポートを作成していた。通常の座学ではない講習の設定は効果的であったと考える。信州大学は、野外での講習を限られた時間内で実施できる条件を備えた数少ない大学の一つである。今後もその利点を生かした講習を展開して行きたい。

## 満足度(内容・方法)

95%

## 満足度(最新の知見・技術習得)

100%

## タイトル

木材の科学－構造，性質，そして利用－

定員	受講者数	充足率
65	62	95%

## 講座の内容

木材は、太古から住居や身の回りの資材として利用されてきていました。科学の発達とともに、様々な需要が、鉄、コンクリート、プラスチックなどの代替品に、とってかわってきました。しかし、近年、カーボンニュートラルなどの面からも、環境にやさしい資材として再評価されるようになってきております。また、木材が大気中の二酸化炭素を固定していることから、都市に木造住宅を建てたと仮定すると、森林において吸収固定した炭素を都市で保持することが可能になることから、木材利用推進が地球温暖化防止に役立つという見方がされてきています。そこで、前半では、木材の基礎的な特性を木材利用の観点から、①木材利用の現況、②木材の基礎的特性（3つの断面と3つの方向）、③木材・木質材料/エンジニアード・ウッド、④木材の使われ方の実際、⑤木質環境の効果、等について説明します。後半では、木材の組織構造についての基礎を解説し、あわせて、木材ブロックの観察を行います。また、木材細胞壁形成に関する研究についてわかりやすく解説します。

## 支援内容

- ・地球温暖化に関する内容で、受講者の興味・関心が高いものと思われます。
- ・観察を入れていただいているので、受講者が、更に何らかの体験ができる内容になると、一層関心が深まるものと思われます。また、講師ご自身の、研究を始められた動機など、研究を進めてきた中での、エピソード等を語っていただくと、更に、身近なものとして理解するようになると思われます。

## 感想

大変熱心な先生もおられて、全体的には良い雰囲気であったと思う。

満足度(内容・方法)

90%

満足度(最新の知見・技術習得)

89%



## タイトル

歴史館で教材開発（A）

定員	受講者数	充足率
50	47	94%

## 講座の内容

新学習指導要領では、「新聞」を活用した授業づくりが提案されています。新聞のもつ役割や機能を朝日新聞社の記者の体験談等を通して知るとともに、新聞を活用した授業実践を具体的に学ぶことを通して、日常の授業実践での新聞の活用方法を探ります。教科や学校種にとらわれず、N I Eに興味のある先生、新聞を「ねた」に楽しい授業を展開しようという意欲のある先生方を対象とします。

## 支援内容

特になし

## 感想

問題意識を持って講習を受けておられる先生が多かった。  
グループ学習を取り入れたことで、校種の別なく交流ができ、よかった。

満足度(内容・方法)

91%

満足度(最新の知見・技術習得)

91%

## タイトル

食品機能性の科学

定員	受講者数	充足率
65	61	94%

## 講座の内容

「食べる」ということは、生存のために必要な行為であり、それは食欲という基本的な本能を満たす手段です。人類の歴史から見ると、十分に食べられない時代の方が圧倒的に長く、人体は飢餓に耐え得るような体質を獲得したと考えられています。しかし、現代社会は食べ残しの多さが社会問題になるほど、飽食の時代とも呼ばれ、食べることが生命維持・健康維持ではなく、楽しみとなった反面、健康を損なう問題を引き起こすようになってきています。そこで本講習では、「食」と「健康」をキーワードに、我が国が世界をリードしている機能性食品分野における研究開発の最前線について解説します。未来を担う子供たちに日々触れ合っている教員の方々に、食べることを改めて身近なものとして実感し、今後の教育に活かしていただくことが狙いです。

## 支援内容

・講師ご自身が、この研究を始められた動機、研究中に突き当たったことなど、エピソードを入れて、講話を進めていただくとありがたい。 ・資料「学習指導要領の理科・保健体育・技術家庭の内容一覧表、家庭か（中学校9食分野の解説、理科（中2）教科書「動物の生活、生物の変遷」のコピー

## 感想

暑い中、受講者の先生には最後まで熱心に講習を受けていただきました。私が一方的にお話するような形になってしまい、コミュニケーションが不足していたように感じました。来年度も同じ内容で担当させていただきますので、反省点として次回の講習には活かしていきたいと思えます。一部の受講者の先生は、給食を通じての食育に関する講習と勘違いされていたようで、がっかりさせてしまったかもしれません。来年度の講習については、備考欄に内容を詳しく記載するよう工夫しました。

満足度(内容・方法)

98%

満足度(最新の知見・技術習得)

90%

## タイトル

身の回りにある化学を発見しよう

定員	受講者数	充足率
40	37	93%

## 講座の内容

高校までに習う化学は化学的研究を行う上で必要不可欠な知識を得るという点において極めて重要です。しかし日常生活を続けていく上で、あまりその化学的知識との関連について詳しく教えられてこなかった事が多いのが現実です。実際には日常生活で化学の世話にならない日は全くないと言ってよいでしょう。そこで、本講習では日常生活で利用、体験している事柄で化学と深く関連している事柄をピックアップしてそれを解説することによって、化学をより身近なものとして実感し、各自の今後の教育に活かしていただくことがねらいです。また、本講習では実験として太陽電池を作成します。実験を通してエネルギー問題について考えるきっかけにしていきたい。

注 1) 色素を使いますので、汚れてもよい服装でご参加ください。また、安全メガネをお持ちの方はご持参下さい。

## 支援内容

特になし

## 感想

約 40 名の受講生のうち、半数が小学校教員、1/4 が中学校教員で残りが高校または特殊学校の教員からなり、幅広い分布をとっている。このため、講習会の開講時間の 1/4 を実験に、残りの時間 3/4 を講義に充てて、できるだけ幅広い対象に対応できるよう心掛けている。講義では化学的な内容だけではなく、大学一年生の問題等、一般的な内容にも踏み込んでいる。アンケートの結果、極めて好評のようなので、このバランスでよいのではないかと感じている。

## 満足度(内容・方法)

97%

## 満足度(最新の知見・技術習得)

100%

## タイトル

新聞を活用した教材開発－「朝日新聞 GLOBE」の活用－

定員	受講者数	充足率
50	45	90%

## 講座の内容

新学習指導要領では、「新聞」を活用した授業づくりや、環境教育などと様々な社会的課題に対応した学習活動が提案されています。この講座では、朝日新聞「GLOBE」の編集長や記者の体験談を直接聞く機会を設定し、新聞を活用した授業実践を具体的に学ぶことを通して、日常の授業実践での新聞の活用方法を探ります。教科や学校種にとらわれず、N I Eに興味のある先生、新聞を「ねた」に楽しい授業を展開しようという意欲のある先生方を対象とします。

## 支援内容

特になし

## 感想

問題意識を持って講習を受けておられる先生が多かった。グループ学習を取り入れたことで、校種の別なく交流ができ、よかった。

満足度(内容・方法)

98%

満足度(最新の知見・技術習得)

96%

## タイトル

衣食住で使用される色材

定員	受講者数	充足率
65	58	89%

## 講座の内容

我々の身のまわりは、様々な色で溢れています。それら色を出すためには目的にあった色材が必要です。衣服には染料等が、食品には食品着色料等が、住宅には塗料等が使用されています。本講習では、衣食住に使用されている色材をその使用例を示しながら概説します。詳細な講習内容は下記の8項目です。

1. 色と生活（なぜ色を感じるか）、2. 染料と顔料の違い（色材の基本的な理解）、3. 食品のための着色剤（人体に対する影響も含む）、4. 化粧品に使用される色材（人体に対する効能も含む）、5. 髪染めに使用される色材（色を抜いているか着けているか）、6. 住居のための色材（基本的な塗料の理解）、7. 印刷のための色材（プリンターの種類も含む）、8. 繊維の種類と染色法（染色法の基本と繊維の種類による染料・染色法の違い）これら8項目を通して、我々の生活を豊かにしている色がどのようにしてつけられているかを理科、工芸、家庭、工業等の側面から理解できるようにします。

## 支援内容

・内容が豊富で、項目も多いと思われそうですが、展開が工夫されており、楽しく受講できるものと思われそうです。受講者の中には、実際に染色の体験をしてみたいとの要望がでており、試験に実習も位置づけていただくけると、感想記入でき、講習内容が現場でいかされるものと思えます。

## 感想

熱心に聞いている方と聞いていない方でかなり差があるように感じます。熱心に聞いている方は、自分が専門としている科目に近い方が多いようです。中には、専門的すぎるという方もいますが、内容的には1年生向けに文系も含めて行っていた授業の内容なので、理解しようとする気持ちがあるかどうかだと思っております。熱心に聞いていない方の中には、この講習自身に批判的な方もあるように感じられ、この講習自身の理解が進んでいないようにも感じております。例年かなり簡単なテストを行っておりますが、今後どのレベルのテストをすべきか考えたいと思っております。

満足度(内容・方法)

98%

満足度(最新の知見・技術習得)

93%

## タイトル

光を活用する有用物質生産技術の開発

定員	受講者数	充足率
65	58	89%

## 講座の内容

(前半) 光合成は、太陽光・二酸化炭素・水のみから、環境に負荷をかけることなく、様々な物質を生産するシステムであり、その理解と応用は学術的・社会的に重要なテーマです。光合成に関する研究では、反応中心蛋白質の構造が解明されるなど、近年その理解が大きく進んだが、応用には多くの課題が残されています。本講習では、光合成の理解に必要な光化学の基礎や、最新の研究成果、光合成の改良による有用物質大量生産の試みについて紹介します。(後半) 施設内で野菜を周年栽培するシステム「植物工場」が、近年大変注目されています。植物工場は、自然環境に影響されない、土地制約から解放される、無農薬栽培が可能、自動化・省力化が可能等、日本における未来農業の一形態として期待が高いです。しかし一方で、生育に不可欠な光の影響に関する知見は、極めて不足した状況にあります。本講習では、単色可視光 LED を用いたソバのカイワレ栽培と、ヒラタケ菌糸に及ぼす青色光刺激の効果に関する最新の研究成果を紹介します。

## 支援内容

- ・この研究を始められた動機や苦労話など、エピソードも語っていただくと、受講者が自分の授業観を問い直せるようになるのかなと思われま。

## 感想

本講習の受講により教員免許状更新の可否が決定されることには疑問を感じる。小学校～高校教員のリフレッシュ授業として位置づけるのであれば、意義ある講習会と考える。県内外から受講者が集まり、興味のある講習名であったと思われる。

満足度(内容・方法)

84%

満足度(最新の知見・技術習得)

81%

タイトル  
漢詩に親しむ

定員	受講者数	充足率
50	44	88%

講座の内容

王朝時代以来、漢詩(中国古典詩)は日本人に愛され続けてきました。友情の詩、別離の詩、戦争の詩、大自然を詠った詩など、今なお日本人の心を揺さぶります。本講習では、詩型、脚韻、対句、平仄などの漢詩の基礎的事項を学び、唐詩を中心とする中国歴代の漢詩を鑑賞します。(日本漢詩を含む)

注 1) 漢和辞典(親字ごとに平仄付きのもの。電子辞書でも可)をご持参ください。試験で使用します。

支援内容

・受講者がのほとんどが小・中学校の教員であることを考慮していただき、講師ご自身が研究に入られた動機や研究の中でのエピソード等を話していただけると、受講者の興味・関心が更に高まるものと思われます。

感想

満足度(内容・方法)

71%

満足度(最新の知見・技術習得)

74%

## タイトル

地震の発生メカニズムと建物の耐震性

定員	受講者数	充足率
50	44	88%

## 講座の内容

近年、比較的大きな地震が日本及び近海で発生しています。多くの被害も発生しており地震の発生メカニズムやその大きさについて勉強しておくことは必要です。地震の物理的な大きさはマグニチュードという単位で表します。地震の揺れの大きさは震度で表します。この他に、地盤の違いが建物の揺れや被害に大きく関係します。以上、地震の発生メカニズムと大きさについての物理的説明及び地震による建物の被害について、専門外の方々にも理解できるよう基本的内容を中心に講義します。

## 支援内容

・受講者がのほとんどが小・中学校の教員であることを考慮していただき、講師ご自身が研究に入られた動機や研究の中でのエピソード等を話していただくと、受講者の興味・関心が更に高まるものと思われます。写真や図などの資料が好評であったようですが、計算式には抵抗があったように思います。

## 感想

受講者は真剣に聞いてくれた。教育環境の安全性が問われる中、耐震性は身近な問題のようだ。

満足度(内容・方法)

82%

満足度(最新の知見・技術習得)

91%



## タイトル

電子教科書って何だろう？

定員	受講者数	充足率
50	42	84%

## 講座の内容

2010年は電子書籍元年といわれ、タッチパネル式読書端末や電子書籍の普及も進み始めました。それは、従来の携帯電話向けのコミック中心だった状況を変えつつあり、一方、辞書は、すでに電子辞書中心へと、電子書籍利用への転換が完了してしまった感があります。教育現場でも、デジタル教科書教材協議会が設立され、その導入が加速しようとしています。電子書籍を取り巻く現在の状況は、果たして業界等に主導された一過性の状況なのでしょうか。本講習では、これらの社会状況を適切に把握し、もはや後戻りのないことを理解するとともに、教材作成側から電子書籍制作の一端も体験します。また実際にタッチパネルの操作も交えながら、デジタル教科書を適切に教育へと活用する

## 支援内容

・受講者の大半は義務教育の教員で、おそらく電子教科書使用の体験は、ほとんどないと思われます。義務教育現場でも、今後広まっていくものですので、その活用についてメリットおよびデメリットなど、導入に際しての留意や活用などに、実習を通して講習していただき、知見がひろまると考えられます。

## 感想

満足度(内容・方法)

81%

満足度(最新の知見・技術習得)

81%

## タイトル

初めての e-Learning (Moodle を使ったコース作成演習)

定員	受講者数	充足率
50	38	76%

## 講座の内容

ICT 技術による教育支援である e-Learning が広く用いられるようになってきています。本講座では、・ e-Learning による授業運営の方法 (座学)・ e-Learning 教材の作成方法 (座学) を学び、 e-Learning のツールとして広く用いられている Moodle について・ Moodle によるコース作成の方法 (座学・演習)・ Moodle によるコース作成演習 を行います。  
注 1) 当講座は PC 教室での講義と実習を行います。

## 支援内容

特になし

## 感想

受講対象者の広げた結果、さまざまな専門の先生方が受講され、全員に興味をもっていた内容にするのが、少々大変でした。ですが、現役の先生方であるため、ご自身の授業にどのように e-Learnig を取り込むかという実習においては、実際の授業に即した題材で実習に取り組みされており、短時間であっても内容の濃い e-Learning 教材を作成されていっしかったです。e-Learning で何かできるかということ、具体的に体験できていただけたと思います。あらかじめ、受講生の専門がわかる名簿や希望することをいただけたことが、準備にとっても役にたちました。

満足度 (内容・方法)

97%

満足度 (最新の知見・技術習得)

95%

## タイトル

はじめて学ぶ繊維と感性

定員	受講者数	充足率
65	47	72%

## 講座の内容

我々の身の回りには、いろいろな繊維が使用されています。繊維として真っ先に思い浮かぶのは衣服ですが、衣服以外の分野にも多くの繊維が使用されています。本講習では、生活の中の繊維、紡績（糸を紡ぐ）、製布（繊維または糸を布にする）、衣服の機能と生産・流通、繊維製品の着心地・使い心地評価（数量化）に関して、概説し、身の回りの繊維を理科、工芸、家庭、工業等の側面から理解できるようにします。

## 支援内容

・学校生活での使用されている運動着や靴下（スポーツウェア-）、帽子等を多めに取り上げてください。評価Ⅰの「1」、Ⅱの「6」「7」は評価しない。 ・資料

## 感想

ほとんどの受講者が内容に関心を持ち受講していた。受講者の担当科目の範囲が広く、必ずしも全員の希望内容を取り入れられなかった。

満足度(内容・方法)

91%

満足度(最新の知見・技術習得)

83%

## タイトル

外国籍児童・生徒とともに学ぶ国際交流のあり方

定員	受講者数	充足率
50	36	72%

## 講座の内容

学校教育においてもグローバル化が進む中、教室にも帰国子女や外国籍の児童・生徒が在籍することはめずらしい状況ではなくなってきました。様々なバックボーンを持つ子どもたちが学びあうことは、国際化教育を進めていく上ではとても重要なことですが、実際の教育実践においては、それぞれの文化にかかわる情報が不足していたり、偏った情報しか持ち合わせなかったり、外国籍児童生徒の日本語指導等においては先生方は大変苦勞されていると思います。そこで、本講座では、世界の動向、日本国内の外国籍児童・生徒の状況、日本語教育の基礎知識といった内容を取り上げ、外国籍の児童生徒への支援のあり方や、これからの国際化教育のあり方について授業実践例をもとに考えていきます。

## 支援内容

特になし

## 感想

この問題に関心を持っている教員が多いことが感じられる。ただし、講習への参加は義務的なものでもあるため、非常に前向き・積極的な参加とまでは感じられない教員も散見される。また、駐車場が有料であること、休み時間がズレたなどの指摘があることなどの不満が見られた。

満足度(内容・方法)

62%

満足度(最新の知見・技術習得)

62%

## タイトル

子どもの健康と保健指導 2

定員	受講者数	充足率
50	35	70%

## 講座の内容

子どもの心因性疾患や発達障害についての理解を深め、学校教育における作業療法の現状と問題について学びます。また、教職員の初期対応がその後の教育活動や健康管理等に大きな影響を及ぼす事故発生時の救急処置について、臨床医の視点からわかりやすく解説します。

## 支援内容

特になし

## 感想

いつも、学校の先生たちは熱心に授業を聞くなあと感じて感心しています。小・中・高と幅広いので、聞きたい話のレベルは若干まちまちなようですが、この講習会がきっかけで、お子さんを外来に紹介されるときもたまにあり、貴重な機会だと思っています。

## 満足度(内容・方法)

100%

## 満足度(最新の知見・技術習得)

100%

## タイトル

子どもの健康と保健指導 1

定員	受講者数	充足率
50	32	64%

## 講座の内容

性教育・食育・子どもたちのメタボ対策といった視点から、子どもたちの実態を踏まえて、生涯にわたり明るく豊かで活力ある生活を営むための望ましい習慣形成の基礎作りを目指します。子どもたちの健康管理について、具体的な事例をもとに平易に解説します。また、健康相談のあり方について理解を深めます。本講習は飯田女子短期大学の協力で実施します。

## 支援内容

特になし

## 感想

現場から離れている方とベテランの方が、講習を受けるため、いろいろと苦労があった。受講者の満足度を高めるため内容を工夫した。また、実践をさらに深めてもらいたいという願いもあり、講義内容を考えたが、現場経験もなくペーパーのみの方のニーズとややズレが生じてしまった。

満足度(内容・方法)

725%

満足度(最新の知見・技術習得)

725%

## タイトル

余りものには福がある—余りが語る数理

定員	受講者数	充足率
50	30	60%

## 講座の内容

参加型の講習です。受講者のみなさんには実際に計算したり、発表したりしてもらいます。二人で組になって数当てゲームを楽しんでもらいながら余りのもつ不思議な世界に遊びます。講習内容は概ね以下の通りです。①余りと素数について基本的なことがらを確認します。②素数で割った余りの世界の特徴を皆で確認します。素数 11 で割ったあまりについて、二つの表を作成します。一つは掛け算九九の表に相当するものです。もう一つは次々と同じ数を掛けていくことで得られる表です。これらの表のもつ特徴を発表します。③ ISBN 記号を紹介し、遊びます。ここでは素数 11 のもつ威力に魅了されることと思います。④最大公約数の（学校では学ばなかったと思われる）別の見方と RSA 公開鍵暗号を紹介します。⑤最後に理論的にまとめます。

注 1) 持ち物 計算用紙と鉛筆、そして ISBN 記号が印刷されている本を 1 冊ご用意ください。

## 支援内容

- ・講習の名称、講習内容、また参加型の講習形態等、受講者の興味・関心を引くものと思われま。
- ・講師ご自身の、数学研究をはじめられた動機や、数学を担当する教員に期待することなど、内容に入れていただくと、さらに、受講者にとって身近なモノとなると思われま。

## 感想

学校の先生ご期待に添うことができず、申し訳なく思います。

満足度(内容・方法)

77%

満足度(最新の知見・技術習得)

73%

## タイトル

若者のための〈死〉の倫理学

定員	受講者数	充足率
100	55	55%

## 講座の内容

苦しいことばかりの毎日なのに、なぜ生きなければならないのか。「今日の苦勞は明日のため」、そんなささやかな希望すら許されない状況のなか、生き続けることにいったい何の意味があるというのか。さまざまな場面で若者たちから発せられるそれらの問いに対して、わたしたちは、どのような答えを返すことができるであろうか。ライトノベル等、現代の若者たちが身近に関心を抱く素材から、森鷗外、西田幾多郎、ウィリアム・ジェイムズなど、若者たちにとってはすこし背伸びをしなければ手の届かない古典的文献まで、さまざまな資料を横断的に検討しながら、この課題に答えるべく試みてみるということ。そして、望むらくは、小手先でお茶を濁すだけの上辺のきれいごとではなく、聞く者の心の一番深いところにまで届かせることのできる、欺瞞にまみれることのない言葉を、自分自身の誠実な思索の上に探り当てるべく試みてみるということ。それが、この講習の課題であり、目標とするところです。

## 支援内容

- ・言葉への着目から、講師の目標への講習内容が、受講者にとって、教職（教師として・人として）についての省察に係る講習にあたると思われます。

## 感想

一言でいうならば、「講師・受講者双方にとって得るところのない不要な業務であり、即時廃止すべき」。そもそも、一部をのぞき、受講生の側に緊張感が足りない。「一日出席して時間をつぶせばそれでいいんでしょ」的な態度があちこちにみられ、非常に不愉快であった。最終的に提出されたレポートをみても、非常に程度が低い。この制度を効果的に継続するつもりであるならば、一定数に対しては、「不可」をつけることを制度的に保証する（心理的に、やはりやりづらいので）等の措置が必要であると感じた。

満足度(内容・方法)

76%

満足度(最新の知見・技術習得)

73%



## タイトル

気候変動のしくみ

定員	受講者数	充足率
60	32	53%

## 講座の内容

地球の気候は決して安定したものではなく、地史的にみれば寒暖の激動を経て現在に至っています。そこで本講座では氷期－間氷期等の自然変動から最近の地球温暖化を含めた人為的問題まで、地球の気候変動について、古気候の解析過程、その歴史的変遷、人為的影響の評価（特に二酸化炭素問題）、炭素循環からみた気候変動の仕組みなどを学ぶことを通して、今後の予測や対策を考えていきます。講義を通して、地球温暖化問題を考えるきっかけにさせていただき、それとともに、中学校の学習指導要領の「地球」を柱とした内容への関心を高めることができると思います。

## 支援内容

・受講者の多くが小・中の教員であることから、講習内容についてご考慮、特に、試験の項目数を絞っていただければと思います。地球温暖化に対する意識は高いと思われるので、講師ご自身の研究を始めた動機や研究の中での出来事などのエピソード等をお話ししていただくと、受講者の興味が更にあがると思われま

## 感想

比較的熱心に聞いてもらえるので、やりがいがある。

満足度(内容・方法)

103%

満足度(最新の知見・技術習得)

103%

## タイトル

学校教育と法律学

定員	受講者数	充足率
50	26	52%

## 講座の内容

法律学の基礎的な考え方と、社会生活、学校生活との関わりについて具体例を交えながら講義をします。90分単位の4コマ（午前2コマ、午後2コマ）を、次のような内容に充てる。①講義のねらいを示し、日常生活、学校生活と法律学が関わる具体的な問題を示した上で、法律学とは何か、法律学にはどのような分野があるかについて講義します。②法律学の大きな三分野（民事法、刑事法、公法）について、それぞれの内容を簡単に説明した上で、具体的な問題に各分野がどのように関わるかについて講義します。③日常生活、学校生活上の具体的な問題をいくつか用意して、それが法律学の観点からどのように評価されるのかについて講義します。④40分程度の意見交換、グループディスカッション等の時間を設けた上で、筆記試験（レポート作成）を行います。

※なお筆記試験の課題は、日常生活、学校生活上の問題を一つ挙げた上で、講義の内容を踏まえて法律学の観点からどのように評価されるのかについて整理した上で、自らの意見をまとめるという内容を予定しています。

## 支援内容

・受講者の大半が、小・中学校の教員であることから、児童・生徒に、憲法を中核とした法を、どのように指導したらよいかという視点であることをふまえて、講習していただければと思います。また、主として義務教育現場で、どのような指導が望ましいのか、講習して頂けると助かります。

## 感想

当初の予想以上に、出席された先生方が熱心だと感じた。特に、いじめ、体罰の問題を素材にしたグループディスカッションでは、どの先生方もご自身のご経験や問題意識を背景に、積極的に議論に参加されていた。このような先生方が教育に携わっているのであれば安心だと感じた。ただ、講義の中で日本国憲法の基本的な発想は個人の尊重であるという点を再三強調したにもかかわらず、終了時の試験で出題した正誤問題で、「日本国憲法は個人よりも公を優先する発想に基づいている」という内容の明らかに誤った問題について正しいと解答された先生方が複数名いらっしゃった。この点がやや残念だった。

満足度(内容・方法)

96%

満足度(最新の知見・技術習得)

85%

## タイトル

身近な化学から先端科学の話と実験

定員	受講者数	充足率
50	24	48%

## 講座の内容

普段何気なく使っている身近にある薬品や化学製品には、これまでの化学の粋が集約されているものが多いです。それらのうち、薬、殺虫剤、香料、繊維・染料をとりあげ、その裏にある化学の歴史や理論、エピソードなどを紹介します。薬一つをとっても、染料から薬への展開、副作用と化学構造との関係、ノーベル賞にまつわる運と不運、細菌との戦い等、化学の言葉で語れるおもしろい事柄があります。更に現代の先端科学を支えているものも多くあり、これらを講義形式で易しく紹介します。また化学実験では、実際に試薬類を調製してルミノールやシュウ酸エステル類の化学発光（ケミルミネッセンス）を実施し、ホタルなどの生物発光との関連や、GFP（緑色蛍光タンパク質）との関係を考え、更に振動反応（色の変化を繰り返す）として有名なペロウソフ・ジャボチンスキー反応を体験します。これらの知識や体験を教育現場に活かすことにより、児童・生徒が理科に対しより魅力を感じることを期待します。

## 支援内容

- ・講習の展開が、受講者の関心を引き、理科の学習内容を、教師自らが高めようとすることに、つながるものと思われまます。また、講師自身の研究に対する思いなどのエピソードをお話ししていただくと、一層、受講者の意識も高まるものと思われまます。

## 感想

おもに理科を担当する教員を対象とし、化学における重要なトピックス、また、先端科学のうち、生命科学における化学の貢献について講義を行った。一方、約2時間の化学実験も組み入れ、印象深く先生方に興味を持ってもらえるテーマで実験を行った。これらの講義や実験により、新たに先生自身の化学に関する好奇心を引き出すとともに、自然科学教育のモチベーションの向上、生徒の理科に関する興味を引く話題提供を目的とした。参加された先生方は皆熱心に取り組んでくれたと思う。小中高の先生方で、普段教えていることの内容の違いにより、全員に満足してもらえるかが不安であったが、アンケート結果を見ると、概ね好評であったように思う。我々、教員養成学部ではない者が担当する意義は、直ちに小中高の授業に役立つ教育方法等を伝授することではなく、我々の専門を活かした講義、実験などを通して、新しい自然科学における発見や展開を披露することによって、先生方自身に科学の不思議さや、魅力を新たに感じていただくことであると思う。先生方の科学に対する情熱が生徒に与える影響力が大きいので、参加する先生方には、これらのことを理解して受講していただきたいと思う。我々もかなりの手間をかけてこの講習の準備をしている。

満足度(内容・方法)

100%

満足度(最新の知見・技術習得)

100%

## タイトル

現代資本主義と経済学 ― 理論と歴史の視角から

定員	受講者数	充足率
50	23	46%

## 講座の内容

現代の資本主義経済を、理論・歴史・現状からトータルに概観することを内容にします。大学入学以前の「世界史」や「政治・経済」などで学ぶ歴史・経済思想などの知識は、現代の経済や社会を理解するのに有効なツールとなることが少なくありません。高校の教科書の内容にも触れながら、大学以前で学習する社会科学の知識と大学以降で学ぶそれとのつながりを実感してもらうとともに、経済について理解を深めてもらうことがこの講座のねらいです。あわせて、21世紀の金融危機などカレントな問題についても言及し、資本主義経済の現状を考えます。

## 支援内容

・受講者の多くが小・中の教員であることから、受講内容についてご考慮していただければと思います。講習の中で、講師が研究に取り組まれている中で、受講者に期待することなどを語っていただけるとありがたく思います。

## 感想

・高校の先生方に授業を行うということで、準備過程を含めて、こちらも良い経験となった。・講習を行うにあたっては、こちらも教材作成に相応な時間を注いで準備をしたが、アンケートを見ると「配布された資料の印刷が薄くてよく読めませんでした」という感想があったことは残念であった。大学生に講義するのとは異なって、聴講される方は年齢もバラエティに富んでおり、そうした点を考えて配慮をするべきだった。今後は、教材の印刷の仕上がりにまで心配りができることを自己の課題としたい。・高校の先生方には、この講習制度についてかなり不満があると聞いていたし、実際講習を行うに際してそのような印象を持った。この点は仕方がないが、しかしそのように不満を抱いて講習を受けていても、行ってみたらそれなりに面白かった・楽しかったと思ってもらえるように今後も心掛けていきたい。

満足度(内容・方法)

96%

満足度(最新の知見・技術習得)

87%

## タイトル

生物多様性を読み解く（身のまわりの生態学）

定員	受講者数	充足率
70	29	41%

## 講座の内容

生物多様性に関する最近の情報を提供します。講義および自然科学館見学、解剖実験などを行います。なお、日ごろの教員生活や教科担当での悩みや工夫の意見交換も行いますのでよろしく願いいたします。理学部での「信州自然誌科学館」も開催されますので、学生さんや教員の研究パネルも見学できます。

## 支援内容

・学習指導要領の生物分野（生態学）の問題点や改善点なども、講習内容に取り入れていただくと、受講者が新たな視野にたてると思われれます。

## 感想

これまで受講生が 20 人前後と、とても授業がしやすく、先生の自己紹介や最近の学校事情など 1-2 分で語ってもらえ、情報交換ができ、双方向的な講義ができています。みなさんとても熱心で、講義担当教員としても大変楽しい時間を過ごせる。受講生である先生がたの現場からの語らいをもっと授業にとり入れる時間的な余裕がほしい。

満足度(内容・方法)

97%

満足度(最新の知見・技術習得)

93%

## タイトル

データ解析の手法を身につけて社会を分析しよう

定員	受講者数	充足率
50	16	32%

## 講座の内容

高校までに学んだデータの処理方法を復習し、それを発展させたデータ解析の手法、および社会経済の現実のデータの分析にどのように活かされるかを紹介します。高校までの数学で学んだデータの整理が大学や社会でどのように活用されているかを確認し、その手法の基礎を実践できるようになることによって、今後の教育および進路指導に活かしていただくことがねらいです。

具体的には、1変数データを集約する指標として、平均値、分散、標準偏差、およびそれらの指標に基づいた標準化変数・偏差値について紹介し、2変数以上の変数間の関係を集約・分析する指標・手法として共分散、相関係数、回帰分析を紹介します。

注 1) 実際に手を動かして計算をして頂きますので、筆記用具とノート、電卓をご持参ください。また、ノートパソコンをお持ちの方は充電を済ませた上でご持参ください。

## 支援内容

・受講者の多くが小・中の教員であることから、受講内容についてご考慮していただければと思います。学校で学ぶ内容が、現実生活にどのようにいかすかが受講できることは、受講者の意識を広げ、教職に関しての意欲を高めることにつながるものと思われま

## 感想

高校の先生方の熱心さに感動しました。数学科に限らず、商業科や社会科の先生方の熱心な質問や熱意ある視線を受け刺激を受けました。一方、中学校の先生方はたとえば数学の先生といえども、高校レベルの数学にも苦戦をしているようで（忘れている？）、教員免許講習のむずかしさを覚えました。3でも書きましたが、サイコロ投げやコンピュータシミュレーションのような「楽しいこと」をもっと入れると良かったかも知れないと思いました。

満足度(内容・方法)

63%

満足度(最新の知見・技術習得)

69%

## タイトル

環境問題を経済学的に考える

定員	受講者数	充足率
50	16	32%

## 講座の内容

本講習では、経済活動と自然環境の多様で密接な関係性について、ミクロ経済学的な側面から学びます。具体的には、廃棄物や地球温暖化といった環境問題が発生するメカニズムやそれらの解決手法を考えるわけですが、その過程において、環境問題を引き起こしている我々個人や社会組織の行動パターンを数学的な思考を用いてモデル化していきます。これにより、環境問題という身近な話題一つを取っても、理解するには数学、理科、社会、歴史といった様々な基礎知識が必要であるという事実を小中高生に知ってもらい、普通教育の意義と重要性について実感してもらえるような知識・情報を紹介します。なお、事前に読んでおいたほうがよい参考書として、『入門環境経済学』、日引聡・有村俊秀著、中公新書を挙げておきます。

## 支援内容

本講習では、経済活動と自然環境の多様で密接な関係性について、ミクロ経済学的な側面から学びます。具体的には、廃棄物や地球温暖化といった環境問題が発生するメカニズムやそれらの解決手法を考えるわけですが、その過程において、環境問題を引き起こしている我々個人や社会組織の行動パターンを数学的な思考を用いてモデル化していきます。これにより、環境問題という身近な話題一つを取っても、理解するには数学、理科、社会、歴史といった様々な基礎知識が必要であるという事実を小中高生に知ってもらい、普通教育の意義と重要性について実感してもらえるような知識・情報を紹介します。なお、事前に読んでおいたほうがよい参考書として、『入門環境経済学』、日引聡・有村俊秀著、中公新書を挙げておきます。

## 感想

環境問題に関して熱心な先生方が多く、活発に議論を交わし合いながら充実した講習を行うことができた。

満足度(内容・方法)

81%

満足度(最新の知見・技術習得)

81%

## タイトル

保健学習と教育の交差

定員	受講者数	充足率
50	14	28%

## 講座の内容

学級担任・教科担任との連携による教科等の教育活動における健康管理にかかわる授業実践を事例研究をしながら学びます。性教育・食育を中心に教材研究の手法や教育学の考え方を通して保健指導のあり方を探ります。また、養護教諭の役割や健康教育の在り方についての理解を深めます。本講座は飯田女子短期大学の協力で実施します。

## 支援内容

特になし

## 感想

スタッフの皆様にご案内をいただき、よい施設・設備の教室で講義をさせて頂けたと思います。受講された方々も、ご自分の学びたいことが学べるように科目を選んでいただけたようで、ガイダンス等が適切であったことがうかがえます。少人数だったため、先生方お一人お一人のニーズに対応できたと考えている。また、机移動可能教室を準備していただき有難かった。付箋等の準備も細やかに対応して頂き有難かった

## 満足度(内容・方法)

93%

## 満足度(最新の知見・技術習得)

93%



## タイトル

生物学教材としてのカイコと野蚕の利用

定員	受講者数	充足率
50	12	24%

## 講座の内容

カイコは日本発の生物学のモデル生物であり、ゲノム解析、遺伝学、発生学、生理学、行動学等の研究材料として利用されてきました。本講習では以下について扱います。

1.組換え率の計算：高校生がわりと苦手な組換え率をカイコの突然変異遺伝子を材料にした2点ないし3点交雑法で求める。2.鱗粉転写：鱗翅目の翅は薄い翅板の裏表に鱗粉がついた状態であることと、翅脈があることを観察する。3.誘引実験：カイコの雌フェロモンを使い、雄蛾が雌に近づき交尾する様子を観察する。4.絹糸腺：幼虫を解剖し、絹糸腺を取り出してスケッチする。絹タンパク質合成の仕組みを理解する。5.組織崩壊と組織形成：幼虫と蛹を解剖し、絹糸腺や消化管が退化して、新たに卵巣・精巣が発達する様子を観察する。6.脱皮と変態の機構：昆虫の脱皮と変態は脳、アラタ体、中枢神経系、前胸腺といった内分泌器官によって調節されている。これらの組織を解剖して取り出し、顕微鏡観察する。

## 支援内容

- ・観察・実験を多く取り入れたことが、受講者の興味・関心を高めていると思われる。また、レジメが分かり易く、教材化への動機付けにつながるものと思われる。

## 感想

できる限り多くの先生方に参加していただくため、募集条件を広げている。その結果として受講者の知識や欲している情報に少し差があり、その部分は講習会の反省点と言える。また受講者の比較的多くの方が座学のみでなく、実際に体を動かした実験を行うことを欲しているものの、残念ながら時間が短いため十分には難しいように感じた。

満足度(内容・方法)

100%

満足度(最新の知見・技術習得)

100%

## タイトル

放射線をはかる

定員	受講者数	充足率
50	10	20%

## 講座の内容

放射線計測は物理学の実験的研究に不可欠のものです。宇宙線は銀河から飛来する放射線であり、特に高エネルギー宇宙線の数を地下に設置した測定器で観測することで太陽系周辺の宇宙磁場の様子が判ると考えられています。また、素粒子物理学の実験的研究においても、素粒子の性質とその間に働く相互作用を解明するのに、放射線の検出は不可欠です。講習では、まず、放射線と物質との相互作用を通して放射線検出器がどのような原理によって何を測定するのかを解説します。次に、放射線計測が不可欠の二つの実験分野について、放射線検出器の使用例と、そこでの最新の実験結果を概観します。高エネルギー宇宙線の観測分野では、観測の結果から得られた太陽活動や太陽周辺の銀河磁場の構造に関する最新の知見を概観します。素粒子物理学実験の分野では、世界最大の粒子加速器を用いた素粒子物理学実験の最新結果から描き出される素粒子の世界を概観します。また、簡単な放射線計測を行い、放射線のエネルギーや、放射能の測定を行い、放射線の性質を理解します。

注 1) 関数電卓持参してください。

## 支援内容

・大震災以降、関心の高い内容であり、実習を通して学ぶことができるのは、受講者に放射線への意欲や正しい認識をもたらすものと思われれます。また、講師がこの研究に入られた動機などのエピソードをお話ししていただけると、理科教師としての意識がより高まるものと思われれます。

## 感想

満足度(内容・方法)

90%

満足度(最新の知見・技術習得)

90%

## タイトル

元素科学: 周期表と放射性元素

定員	受講者数	充足率
70	10	14%

## 講座の内容

化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割に関する本講義では、物質の多様性を周期表をもとに理解を深めるとともに、放射性元素の基礎と実際について学びます。内容は以下の通りである。1. 原子の構造，ならびに周期表を初めて考案したメンデレーエフと元素の周期性について解説します。2. 人類の金属利用の歴史と錬金術について解説します。3. 放射性元素(特にセシウム、ヨウ素、ウラン、プルトニウム)について学びます。また、放射線(特に $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ 線)の発生原理と人体への影響について解説します。4. 原子力の原理と応用(特に原発)について解説します。配布資料を用いて解説します。

## 支援内容

- ・受講対象者が絞られていますので、教科指導(化学)の充実につながることから、免許更新に適した講習であると思います。
- ・講師ご自身の、この分野を研究対象にされたときの動機や、中学校・高校時代のエピソードなど含めて講話して頂けると、受講者にとってより身近なものとなるのではないかと思います。

## 感想

満足度(内容・方法)

90%

満足度(最新の知見・技術習得)

90%

## タイトル

グローバル社会と教育

定員	受講者数	充足率
50	7	14%

## 講座の内容

参加型の講習ですので、問題に関心を持ち、参加する意志のある受講者を歓迎します。現在はグローバル化が進み、経済社会の変化が大きい時代だと言われています。日本は世界から孤立しては生きていけません。地域社会での生活もグローバル化とは無縁ではありえません。他国との貿易協定は、農業生産に直接的な影響を与えます。また、製造業を中心とする地域の企業もグローバルな生産体制の中で企業活動を行っています。少子高齢化の中で、外国人労働者の受け入れ問題も重要な課題です。グローバル化とは、どのような社会の変化で、私たちの生活にどのような影響を与えるのでしょうか。まずグローバル化の歴史と論点を振り返り、今後の社会を展望します。次に、グローバル化と教育について考えていきます。グローバル社会に対応して、教育はどのように変わる必要があるのでしょうか。「グローバル人材」とはどのような人材なのでしょうか。参加者のみなさんと考えていきたいと思えます。

## 支援内容

・参加型の講習にさせていただくことが、社会の動向について目を向け、日々の受講者の授業の中に位置づけ、生徒の視野を広げることとなるように思われます。試験の中に、講習内容を日々の教育活動にどのようにいかせる思ったか、感想を聞いていただくのも良いと思われます。

## 感想

目的の主旨に合う制度か、授業数・内容・受講料などについては疑問も感じる。但し、教育に携わるものに、大学教員が話をすることには意義も感じる。

満足度(内容・方法)

100%

満足度(最新の知見・技術習得)

100%

## タイトル

有機化学と私たち

定員	受講者数	充足率
50	6	12%

## 講座の内容

理科・化学への興味を教室で生徒に呼び起こす助けとなることを考え、有機化学分野から生活と生命に接点をもつテーマを選び紹介します。マスコミで話題となる有機化合物や医薬品の構造や合成法、それらの持つ様々な性質について話すとともに、生活に密着した身の回りの品々とそれらとの関わりについて述べます。また、界面活性有機化合物とその集合体、生命体の基本である細胞が持つ脂質膜構造、そして細胞を化学システムとしてとらえる工学的な観点について説明します。

## 支援内容

- ・受講者がの大半が小・中学校の教員であることを考慮していただき、講師ご自身が研究に入られた動機や研究の中でのエピソード等を話していただくと、受講者の興味・関心が更に高まるものと思われまます。
- ・身の回りにある日常生活の品々を有機化合物として取り上げていただくことは、受講者自身が日頃の授業観を省察し、学校現場で実践への期待がもてるものと思います。

## 感想

小学校から高校までの教員ということでしたので、あまり細かい議論を入れませんでした。高校の先生には少し物足りなかったかも知れません。数名の参加でしたので、募集時にこの程度の人数とわかっていれば実習や見学を含めても良かったと思います。申し込み以前に、(数年以内に受講の可能性がある近隣学校の)教員の方々にどのようなテーマ、内容、レベルを希望するのか、調査をしておいていただければ、それをある程度反映した講習を計画することもできると思います。募集・申し込み後にこのような内容を希望するという情報をいただいたのですが、すでに概要は提示してしまっているので対応が困難であり残念でした。

満足度(内容・方法)

83%

満足度(最新の知見・技術習得)

83%

## タイトル

流体の性質とその運動

定員	受講者数	充足率
50	4	8%

## 講座の内容

機械，航空，土木，海洋，バイオ，化学など流体を扱う理・工学分野は非常に多く，流体の性質やその運動を知るということは極めて重要です。本講習では，まず流体力学の基礎であるベルヌーイの定理について，その物理的意味と式の形を理解します。次に流体の粘性という性質について口述し，実在流体の運動を記述する方程式について紹介します。また，ポアズイユ流やクエット流などの基本的な流れの流速分布を求めます。各項目の最後には，簡単な演習問題を解いて講習内容の理解を深めます。さらに，流体力学の重要な研究課題である乱流や混相流に関して，最新の研究成果を紹介し，教科指導において当該分野に対する関心と知識を高めていただきます。

注 1) 演習問題を解く際に関数電卓を使いますので，各自ご用意ください。

## 支援内容

・受講者がのほとんどが小・中学校の教員であることを考慮していただき、講師ご自身が研究に入られた動機や研究の中でのエピソード等を話していただくと、受講者の興味・関心が更に高まり、日頃の授業への省察ができるものと思われま。また、演習の一部を試験としていただくと、難しい計算式への抵抗も薄まるものと思われま。

## 感想

・受講生は 4 名で少人数であったが，その分対話型で講習を行うことができ，理解度を確かめながらすすめることができた。 ・パソコンを使用した演習を行ったため，操作法について不慣れな受講生もいたが，内容に対する質問も多く全員熱心に取り組んでいた。 受講生は全員まじめに取り組んでおりました

満足度(内容・方法)

100%

満足度(最新の知見・技術習得)

100%

(資料 8)

「専門学部開講の講座における受講評価の自由記述」

## はじめての e-learning

大変興味深く参考になる講習でした。実際に授業の題材となるものを事前に持ち寄ってもう少し時間をかけて作ってみるともっとよかったのかもしれない。ただ、初めての MOODLE に触れる者としては十分な内容でした。ありがとうございました。

個人追求の時間がしっかり設けられており、ありがたかった。

学校現場に MOODLE を導入する際に必要なことや具体的な方法をもう少し知りたかったです。

今回はじめて e-Learning について勉強しました。始まる前はどうなるか心配でしたが新村先生がわかりやすく教えてくださり、質問にも細かく答えてくださったのでとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。

普段学ぶことが出来ない講習で良かった。最初は難しそうであったが、楽しみながら作成することができた。

新しい知識・技能を得ることができました。ありがとうございました。

今までやったことのないことを教えていただき楽しかったです。

このアンケート自体も折角 PC を目の前にいっているので PC で答えられたらいいな(自然)と思いました。あと ID を伝える際に PC を介してできると意外と楽かな(講師の先生には手間ですかね?)と感じました。

e-Learning について新たな視点から考えることができました。ただ、現在の学校現場(私は高校教員ですが)では施設の問題などのため現状ではそのまま使えないのが残念です。

興味深く受講することができました。

話されるのが早かったです。確認されながらすすんでいただけるとありがたかった。これだけのものを用意していただき感謝です。

わかりやすく説明していただきありがとうございます。今後も、勉強して、現場でも使ってみたいと思いました。

MOODLE の具体的なインストール方法、運営方法をききたかったです。やり方をみると複雑そうだったので。

講習は分かりやすく良かった。自分でも使えそうなことからやっていきたい。

ありがとうございました。

講義案内の通りであり、期待通りの内容でした。大変参考になりました。

とてもわかりやすく、初心者私の稚拙な質問にもていねいに答えていただきありがたかったです。ただレジュメの内容・旧型ということで、そこだけが改善点です。



## 電子教科書って何だろう

タブレットを使おうと思いました。ありがとうございました。

実際にタブレットを体験することが出来てよかったです。

最新の情報をいろいろと教えていただきありがとうございました。

早速ヤマダ電機へ行って i-pad を購入しようと思いました。

タブレットの体験ができ、とても楽しかった。

パソコンが必要なかなくても良いのか事前にお知らせしてくれるとありがたい。

日本はデジタル化がだいぶ遅れているのですが、古い教師はついていくのが難しい現状もあり、便りだけ、まだまだ導入までには長い道のりが必要だと思いました。

マイク音量を大きく

鈴木教授の授業は正直かなり自分本位の授業です。発表者の意見をあまりとり上げずに説明(自分本位の)で終わったのは非常に良くない。

デジタルの教科書を実際に用いた映像などや、実戦を見たかったが、ほとんどが自分本位の説明で終わっている。もっと講義の仕方を工夫しましょう。

教員免許講習の内容の紹介をもっと長い文章でより具体的に書いていただけるともっとよいです。

午前中課題1と2を書くとき、実際にタブレットを操作する時間と課題を書く時間が重なっていて、しかも充分ではなかったので操作する時間があまり取れなかったのが残念でした。

電子書籍や電子教科書の専門的で詳しいお話ありがとうございました。iPad がほしくなりました。

AR が体験できてよかったです。今後、益々デジタル化されてくると思うので少しでも準備しておきたい。

多くの情報が得られ、初めての体験もでき、有意義な時間になりました。ありがとうございました。

大学の先生のお話は専門的で大変興味深い。もっと聴く機会があればいいなと思う。

電子教科書について漠然と抱いていたイメージのアウトラインが明確化しました。今後教科書電子化の流れがどのような変化をもたらすのか…注意して動向を見守り適切に対処していきたいと思いました。本日はありがとうございました。

声が小さくてとても聞き取りづらかった。

## 余りものには福がある

内容について小学校でどう生かせるのかは不明であるが、理解の困難な子どもの気持ちが痛いほどわかりました。

明日からの実践にどう生かせるのか大変疑問です。どうしてこの講義が開設されたのかお聞きしたい。

中1の数学で習う2乗の計算は楽だけど、中3で習う平方根の計算は因数分解を使ってとてもめんどくさいということが、環上の  $X^e=C$  という式で PSA 暗号とつながっているらしい？ということがわかっておもしろかったです。

証明は後で読んでおいてくださいでも良いと思います。もっと例題を多く、時間をとってやらせてほしかった。

とてもむずかしい内容についていくのがやっとでしたがわかりやすくなるようにとていねいに教えていただきました。久々にわからなくなる子のつらさや状況が感じられてよかったです。わかりにくいことをわかりやすくという視点を子どもにおろして考えていく必要を感じました。ありがとうございました。

"昨年度から数学 A の単元で「整数」が入っています。(高校) 「素因数分解の一意性」を使わなくても  $\text{GCM}(a,n)=1$ ,  $\text{GCM}(b,n)=1 \Rightarrow \text{GCM}(ab, n)$  が言えるというのは(そういえば大学で先生(五郷先生, 東京理科大学)が話していたと思い出しました。) ISBM の記号については高校生でも電卓、EXCEL あたりを使ってみると教材になるかと思いました。" 暑い夏の日、クーラーの入る部屋を用意していただき、とてもありがたかったです。おかげで講習に集中出来ました。

直接授業に生かせるところは(小学校なので)あまり無かったのですが、久しぶりに数学の内容にふれ、大学生の頃のことを思い出し教材の持つ面白さを感じました。子どもたちをこんな気持ちにさせる授業をめざしたいと改めて思いました。

問題を解くとき、いろいろとアドバイスをしていただき、本当に助かりました。

11の倍数の見分け方で交代横断和が11の倍数になる時は知っていたのですが、証明についてはあまり知りませんでした。合同式を使えば意外に簡単にできることがわかったのでよかったです。

途中から内容が難しくなって、ついていくのが大変でした。例題を解くことで頭に入りやすいのかなと思いました。

## 博士の愛した数式

この評価書の質問項目が講習に適していないものもあり、マークしていないところがあります。

優しい口調でテンポもよく、聞きやすかったです。

数についてたくさん学びましたが、自分でももっと勉強してみたいと思いました。

楽しく講習を受けさせていただきました。マイクの音が少し小さく聞き取りにくいところがありました。

多くの資料を準備していただき、ありがとうございました。

とても興味深く、楽しい講義でした。ありがとうございました。

午後の後半部分が理解しにくい。わかりやすさがほしい。

映像を適当なところで使っていて、大変わかりやすかったです。

冷房もいれていただけて快適に学習出来ました。DVD等の視覚的なものはよいですね。

中学の授業に結びつく部分がハッキリあるとありがたいのですが…中学では難しいのでしょうか？(やはり…)

テーマもそうですが、大変楽しい講習でした。ありがとうございました。

プリントの最後にあるフェルマー予想の話をもう少ししてもらいたかった。

たいへん内容も充実して詳しく楽しく受講出来ました。また、このような講義を今後つけてほしいです。

講義だけかと思ったら、ビデオや途中簡単な設問などあり興味を持って取り組むことができた。

資料がていねいに作ってくださってあり、とてもよかったです。

## 漢詩に親しむ

漢詩から私達が学ぶことを探って受講しました、平仄などのルールについてはわかりましたが、もっと親しみたい。

私のクラスには中国から来ている子がいるが、一つでも接点が見いだしたい。

漢詩に親しむということでしたが、かなり難解な講習でした。知らなかったことが様々あり、その点は勉強になりましたが、もう少しわかりやすく解説をしてほしかったです。

長時間、とてもいねいな講義ありがとうございました。

私自身はこのような一般教養的な講習はいいと思うが、テキスト等工夫がほしい。(教員として反省につながるかもしれないが)

岩波ジュニア新書の「漢詩入門」をあらかじめ読んでおくように指示しておけば良かったと思います。

講習の内容はとても興味深いものでした。

あまり意味のない雑談やつぶやきが多く、有意義な時間とは言いがたい。もっと専門性の高い内容を期待していたのですこし残念であった。

とても熱心に講義して下さったのですが、時々マイクの音が聞こえなかったり早口になったことが残念でした。もう少し漢詩を学びたいと思います。

国語の教員をしながら、漢文の平仄等に全く知識がなかったのですが、今回大変わかりやすく教えていただき、漢文が好きになれそうだと思います。これからももっと深く学んでいきたいです。

何を話されているのかよくわかりませんでした。マイクを近づけたり、離したり、時には使用しなかったり…と。自腹で参加するにはあまりに高すぎる講習だと思いました。

漢詩の平仄やリズム、脚韻のきまりなどの規則をあらためて知ることができましたが、教室のスピーカーの性能かマイクの性能か、講師の先生の話が一部聞き取りにくいところがありました。講習の内容はよかったのに残念です。

## ニュースポーツフライングディスク

とても楽しい講習でした。小学校の授業でも是非取り組んでみたいですね。  
研修を受ける側の様子にご配慮いただきながら運動量など気にかけていただきありがたかったです。

フライングディスクの楽しさ、とても感じることができました。

人工芝グラウンド使用大変良かったです。

講師の説明や態度はとても良かったです。

初めての競技でしたが先生の御指導のおかげでとても楽しく一日を過ごすことができました。

技術的にもはじめは全くできませんでしたがラストの試合で先生にパスを通すことができ嬉しかったです。

とても楽しく受講できました。

とても楽しく受講することができました。

いい汗かきました。

勉強になりました。もっとディスクをうまくあつかえるように練習したいと思います。

無理の無い日程の中でしたが、非常に充実した内容で勉強になりました。

フライングディスクの楽しさを味わわせていただいた。ありがとうございました。

授業で試します。

ドッチビーもさわってみたかったです。ディスク、買おうと思います☆

充実できました。ありがとうございました。

最高でした。ありがとう先生!!

講習、最後の講習ですが、一番たのしかったです。

## 国際交流・外国籍児童生徒とともに学ぶ国際交流

講義のはじめに自己紹介がありましたが、免許更新に来られる方の中には、事情があつて休職されていたり、こうした場所へ出てくることが大変な方もいると思います。免許更新は私たちは希望している研修ではなく、義務として受講している研修なので、さまざまな方が参加されていると思います。その辺りを配慮していただけるとありがたいのかなと思いました。

子どもたちにはそれぞれ背景が異なります。一人一人がクラスの中で仲良く活動し、学び、力をつけて互いに良い意味で影響し合い、それぞれの道を拓いていってほしいと思います。とても考えさせる機会となりました。

先生の熱意が大変伝わり、印象に残った事柄がたくさんありました。

自己紹介が少し長かった？と思いました。

今後、学校の中で支援していく際に、大切なお話を聞かせていただくことができました。

可能ならば先生のもと大学でもっと学びたいと思いました。

なるほど確かにと思うことがたくさんありました。でも教員をされていてがんばれそう！がんばるぞ！という話が少なく、そういう話もあるととても嬉しいです。勝手なことを書き、すみません。

外国由来の児童に対して、どのようにサポートするか表面的な方法を学ぶのではなく、日本がどのような立ち位置で世界と接していくのかという視点でお話して下さり、講習名から想像できる以上の学びがありました。ありがとうございました。

日本語指導の具体的な手順よりも、支援の実態のお話に時間を割いていただきたかったです。

## たかが新聞されど新聞

講習内容はよく、有益な1日となったことは確かだが、教員免許更新講習として、6000円を払って受ける講習かという疑問が残る。

資料・内容などとても良かったと思います。記者・デスクさんのお話…もっとトリビアのような裏話のような内容だとおもしろかった…です。せっかくなので聞きたかったです。会場のうしろにいたので、ホワイトボードは全くみえませんでした。照明があかるくて、PPTの画もよく見えなかったのもレジュメと一緒に配布していただけたら嬉しかったです。

内容はとてもおもしろくて勉強になりましたし、休み明けすぐ、取り入れてみたい、と思うものがいくつかありました。

会場も市の中心部から至近で大学での講義とは違った緊張感と楽しさを持って受講することができました。

配布資料が多く、大変ありがたかったのですが、袋などの用意がなく、持ち帰りが大変なのが若干気になりました。前もってアナウンスをいただけたらと思います。

新聞社での講習で、生の新聞づくりの現場を見ることができ、資料もふんだんに用意されていてよかったです。

大変勉強になりました。

とても充実した内容で、有意義な研修ができました。ありがとうございました。

新聞社の見学・新聞記者の生の話が聞くことができとてもよかったですし、自分の力を高める面で1つの契機となる研修が受講できてよかったです。教員が知っているようで知らない社会の動きや社会の動静を直視している新聞社で講習するよさは大きいと思います。とても良いそして自分のためになる研修となりました。

受講者の配慮も適切で心地よい1日を過ごせました。たいへん学ばせていただきました。

大変充実した内容で感謝しています。

信毎の社屋で「NIE」について学べるなんて本当にぜいたくなことだと思いました。とても貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

信濃毎日新聞社の方々に感謝します。お忙しい中ありがとうございました。

実戦的内容でとても良かったです。学校に帰ってすぐ使わせていただきます。

講義だけでなく、実習があったことが新鮮で楽しかった。また大学でなく信毎本社が会場という点もよかったです。

とても充実した一日が過ごせました。ありがとうございました。

受講して本当に良かったと思っています。一日が短く感じました

実際の新聞社を会場にしての講習がよかったです。ただ上伊那からは遠いという点をのぞけば。桐生悠次の机を見れたことも良かった。さっそく写真をとりました。

実習の時間はもう少し多くても良いと思います。

資料などたくさん準備していただき、大変ありがたかった。

普段はいることのできないところへ入ることができ、新聞の歴史なども知ることができてありがたかった。

興味深い内容です。継続的にあるといいと思いました。

見学、活動が多く一日集中して取り組むことができた。

大変勉強になりました。ありがとうございました。

大人版社会科見学、実技等あり、あっという間の1日でした。いただいた資料役立させたいです。

新聞社での講習であり、見学したり、たくさん資料をみたりすることができ良かった。

・いろいろな資料を用意していただきありがたかった。・記者、デスクの話は内容がまとまっているとききやすかったと思う。

か。

会場が新聞社ということで実際に社内を見学させていただいたり、現場の方々の生のお話をお聞きしたりすることができ、勉強になった。午後の「体験しよう NIE」ははじめは「ちゃんとできるのかなあ？」と不安でしたがやり始めてみるととても楽しかった。



## 歴史館で教材開発

新しい見方がわかりました。これまでは子どもたちに見せるという観点しか持てていませんでしたが、考える、発見する博物館となりました。

とても有意義な研修でした。さっそく学校で実践していきたいです。

歴史館での講習、初めてでしたが、1日気持ちよく勉強することができました。ありがとうございました。

非常に有意義で進んで学ぶいい機会でした。・バックヤードに入って実際に見ることができたこと。・展示物の意図を考え子どもが見学を主体的にできるようにするために考えたこと→自分のためになりました。

歴史館(博物館)を活用しての授業(HR)展開のヒントをいただきました。参考にさせていただきます。

テストのためではなく自分のためと思える内容でした。

自分たちで作ったワークシートは少し手を加えて何かの形で実際に使ってみたいです。

とても楽しい講習でした。普段はいることのできないバックヤードを見学できたことがとても良かったです。

最後のグループ活動は一緒に見学したり、それぞれの考えや意見がきけてとても楽しかったです。こういう活動がある講座が増えると良いと思いました。ただ、最後のテキストは自分で作りたいと思うものとは違うものになってしまったので、しっかりと自分のやりたいこと、調べさせたいことが明確になっている人、テキストのビジョンがある人にとっては少し物足りなかったかもしれません。

現場体験学習はとても良いです。視野も広がるし、経験も積めます。もっと多くの講座があると良いです。

最初の話で今までの自分の姿を反省いたしました。その後、どうやったら子どもたちを歴史館で何が学べるか考えることができました。たのしく、ためになりました。ありがとうございました。

とても楽しく充実した1日を過ごすことができました。ありがとうございました。

学芸員の先生方にも大変アドバイスをいただきありがたかった。

歴史館へ来たのは久しぶりでした。子どもたちを何回か連れてきたことはありましたが、「とりあえず歴史学習の導入やまとめに…」と安易に考えていました。でも今回歴史館をじっくり見たり、学芸員の方のお話をくわしくお聞きし、歴史館の素晴らしさを再認識しました。次回来る時は、事前学習をこれまで以上に行ってから来館するようにしたいです。楽しく学ばさせていただきました。ありがとうございました。

グループで考える良さもありますが、個人で考えてもおもしろいと思いました。

校種が同じ先生でも学年が違えば同じ設定で考えるのは難しかった。今現場で生かす教材をつくりたいので、個人で考えたものをグループで発表しあう方がよいと思った。

午後の演習が難しいけれどおもしろかったです。

内容がおもしろくとても興味深く受講しました。

## 障がいのある子どもの支援

幼稚園から小学校、中学校と対象が幅広いので受講する幅も広がってしまうように感じます。今回は幅広く、全部の事例があり、良かったです。

明日からの授業に生かせるところは使わせてもらいます。

内容が盛りだくさんで、ただ講義を6時間、ずっと話し続けられた講師の先生の体力に驚きました。あまり理論や考え方・指導法について今後の現場に生かせる新たな発見はなかったですが、事例があって少し参考になりました。理論の体系を大急ぎで流すより、先生の体験された具体例や保護者のおもいなどをもっと聞きたかったです。

実際に即してまとめられていてわかりやすい講座でした。ずっと講義形式だったのでつかれた。

手元がない資料が出た時に写したいが時間がない。話も聞きたいと集中できないので縮小でもいいので資料は全部欲しい。

講習会場が講義式だったのですが、スライドで P.P を使っているため、前席に身長のある方が座られて動いても見えづらく困りました。必要な大事なところはプリントしていただいていたのですが、P.P に使用した資料もプリントしていただけたらありがたかったです。(受けた方の人数も多く自分が動くことで後ろの方も同じ思いをされるのではと思うとあまり移動ができなかったのです)

いろいろな事例を聞かせていただいて、とても参考になりました。

教育の現場で、自分なりに課題としていることと講義の内容がとてもあった。ありがたい。ただ一度にたくさんのことを言われても普段にどの程度生かせるかは自信はない。それでも課題としていることと重なりがあるのでたいへんありがたい内容であった。ご用意頂いた資料が読みにくかったです。

午後に活動できる場面(作業、ペアでの学習)があるとよい。

大変、勉強になりました。

障がいのある子どもに対する見方、考え方、障がいのメカニズムについて多角的にお話いただき、今後の支援の大変参考になりました。

日ごろ課題と思っていることを取り上げてくれた講座だったので有益でありがたかった。学校現場で様々な障がいを抱えた子どもたちと向かっている教師の悩みや戸惑いなどを発表したり、皆で考えたりする機会があるとよかった。

大変勉強になりました。

資料がとても詳しくこれからもまた活用していけると思った。

今日のお話は頭ではよく知っているものでした。普段に生かすなら更に踏み込んで話をしてもらえるとありがたい。私としてはもう少し詳しく実戦的でも良かったが、初めての方もいるのでいいと思います。

## NIE入門

新聞の見方、活用の仕方とてもためになりました。お尻はちょっと痛くなりましたが、引きこまれて時間が短く感じられました。

内容はためになりました。新聞の活用法を学べました。現役の記者さんの話が面白かったです。

今回のNIE入門は負担感が少なく、また、新しい自分が拓ける要素が散りばめられ大変良い研修となった。

藪塚さんの好奇心、固定観念の排除、普通であること、これは教員の世界でも大事なことだと感じ考えさせられた。

1日とても短く感じるくらいにとっても勉強になり、楽しい講習でした。隣のクラスでNIEの新聞を使った授業を行っていて自分もやってみたかったのですが、なかなか一步を踏み出せずにいましたが、これで学校に帰り、行えます。

実技、演習が多く大変良かった。

ゲストティーチャーが大変良かった。実際、現場で活躍されていた方の話を聞いたり、講師として指導にあたっていただけるのは大変良い。

新聞を読みたくくなりました。そう思わせるだけの良い内容だったです。子どもへ還元していきたいです。そういう点で免許講習は必要であると思いました。

専門家の方、現職の方のお話が聞けて、とても有意義な1日でした。

明日からの実戦にすぐ活かせる内容で、とても良かったです。

普段は接することのできない方から、貴重なお話を伺えて、ほんとうに勉強になりました。意義深い講習でした。ありがとうございました。

現場の方の講義がきけてよかったです。わかりやすい話が多く、また学校で実践してみようと思いました。

講習、時間があっという間に過ぎました。どの職業でも好奇心、普通の感情をもつことの大切さをあらためて通関しました。ありがとうございました。

新聞、身近にありすぎてそのものをよく知らなかった自分に気づきました。毎日の授業の中で使っていきたいと思いました。

期待以上の内容でした。

授業で取り入れてみたい活動がいくつもありました。実際の記者の方のお話、良かったです。

実技、ゲストティーチャーの講義など内容が多様で有意義であった。

新聞以外のことでも生かせそうなことがきけてありがたかった。早速生かしてみたいと思った。

新聞活用に新たな発見がありました。

とても楽しく、感動することもありました。

初心者でも分かる内容であり、ありがたかった。

もう少し演習に時間をかけられると深まった。講義は興味深く勉強になった。

2学期にこんなことをしてみようかなと色々なアイデアが浮かんできました。とても興味深く楽しかったです。

「ゲストティーチャー」大変良かったです。

とても興味深い内容で、私は朝日新聞の愛読者ですが、ますます朝日が好きになりました。

## ジョギング&ウォーク

やっぱり体を動かすことは体にも心にも栄養を注入できました。

楽しかったです。

楽しく講習を受けることができました。

とてもいい講座が受講できてよかったです。

講習会場(教室)までの導線をもう少し明確にしてほしい。

駐車場の確保および案内をお願いします。

ウォーキング&ジョギングには音楽がとても役に立ちます。気分・ペース等、音楽にあわせてできるので、良いと思います。

大変参考になる内容でした。先生に私の走りについて、「もっと腹を出す」「頭をもっと後ろ」等、御指導いただき、自分のフォームの特性を知ることができました。

杉本先生の講座は楽しくわかりやすく、受講できてよかったです。

普段使わない筋肉とか使い、気持ちのよい汗をかく事ができました。

短時間集中型でとてもよい活動となりました。ipod ほしくなりました。

## 身の回りにある化学を発見しよう

実験の準備など1人1人にきちんと用意されており、わかりやすかったです。

私的には午後一番の大学1年での問題の話が非常に興味深くもう少し聞きたいくらいであった。あのテーマで講座開講してもいいのではないのでしょうか？

高校化学を教えています、この講義を受けてもっと化学を勉強したくなりました！身の回りのことに結びつけながら生徒たちに授業をしていこう、科学の面白さを今以上に伝えていこうと思いました。

私は小学校教諭ですが、大学教授からみた子どもたちの様子をお伺いできたことは大変勉強になりました。

実験がとてもよかった。

## 保健学習と教育の交差

奥井先生がとてもしっかり勉強をし続けている姿に感動しました。またお話がお聞きしたいです。

楽しい一日でした。ありがとうございました。

講師のお二人とも熱心に教えて下さり、有り難く思います。

具体的な教材を提示していただき、また、児童生徒への言葉かけ方法の例も教えていただきとても勉強になりました。

## グローバル社会と教育

受講生7人という少人数講座でびっくりした。

## 現代資本主義と経済学

配布された資料の印刷が薄くてよく読めませんでした。高額の講習費を支払って、受講しているのだから用紙の質や印刷の状態を最良のものにしてほしいです。

講師の先生は受講者にいろいろと気を配っていただいているのがよくわかりました。

自分の生活を歴史的な面や経済学の立場からみかえすよい機会となった。

講義内容に合わせて例え話(今の学生は市場原理主義にどっぷりつかって、2年から就職対策に忙しい、歴史上の政策、等)をまじえていただきおもしろくわかりやすくきけてとてもありがたかった。

専門的なお話でそれを自分が活かせるかは申し訳なく思う。

事前アンケートで出されたことはそれほどお気になさらなくてもよいのになあと思った。

書かねばならずひねり出した身としては申し訳なく思った。

高校の政治・経済の教科書、参考書をもう一度読んでみようと思います。大変勉強になりました。ありがとうございました。

「アベノミクス」等、日本経済の現状について解説していただき、認識を深めることができました。また、「現実経済と経済思想の流れ」についての講義はよく整理されていてわかりやすかったです。

講義の内容は内容や流れなどわかりやすく教材も適切でよかったと思います。

資料の字が小さくて読めない。

資料が見にくくて残念です。



## 環境問題を経済学的に考える

普段の生活からあまりにかけはなれているので、講義の内容を教職生活(仕事)と結びつけて考えるのが難しかった。

パワーポイントや資料、また先生のお話もとてもわかりやすかったです。お若いのに…さすが大学の先生！という感じでした。でもグラフはほとんどわかりませんでした…理解力が低くてもうしわけございません。指名は〇〇さんでもよかったかなと思います。普段は先生と子どもたちには呼ばれていますが今日は学ぶ側ですので…。でも、職員室でもお互いに〇〇先生と呼ぶ教員社会…。慣れてきつつも違和感を感じています。

学生時代にわずかにききかじった経済学、やはり難解ではありましたが、先生がわかり易く工夫してくださっていました。

まったく知らなかった分野で理解するのに四苦八苦のところもありましたが、新しい見方や考え方を教えてもらえたような気がします。大学のキャンパスらしい環境で、大学生にもどったように新鮮な気持ちで学べました。

内容はわかりやすいと思いますが試験が難しかった。

わかりやすい講義でした。参考書を買って読んでもよくわかりませんでした。農業教育の中でも十分に利用できることが多くあり、充実した一日でした。

## 学校教育と法律学

丁寧に説明しすぎ、テンポアップした方が頭に入りやすい。

講座はとても興味深かった。

日常の学校生活、足を止めて振り返れたような気がしました。有意義な時間でした。

わかりやすい講義をありがとうございました。一日があっという間でした。松本まで来てよかったです。

準備等ありがとうございました。

期待以上の充実した内容でした。どこかで聞きかじってわかったつもりで身についていなかった法に関する基本を整理して学ぶことができ、よかったです。

## 木材の科学

個人的には興味があることで、参加してよかったです。

大変勉強になりました。

木についてあらためて考えるよい機会となりました。

新しい知識を得られました。

私は数学科で、技術科ではありません。でも、木についてすごく興味があります。20年前に新築した家の周りにはどんぐりから育てた木を家の周りに植えて、今は二階を超える高さになっています。この講座にすごく興味があり、遠く中野市から2時間30分かけてここに来ました。その価値が十分ありました。木に囲まれた信州大学農学部環境もすばらしかったです。

後半、2人体制でありがたかった。理系の講座について2つ出たが専門的な観点がうんと強い。もう少し現場と一体化した話もほしい。

個人的にはうんとためになりました。

数少ない興味、関心がわく講習でした。できれば同様な講習内容のものが増えてくれればと思っています。

## 光を活用する有用性物質生産技術の開発

農学部は自宅に近いこともあり、ゆったり、余裕を持って講義に臨めました。ただ専門とはかけ離れた内容で、少し難しかったです。

教室でわからないで困っている子の気持ちがよくわかりました。

前半の講義、特に研究内容については難しく理解できない内容が多く残念だった。後半の講義は、興味深い内容で、理解しやすく説明を頂きました。

専門用語、記号などが多く、わかりにくかったです。私の知識不足にもありますが、すみません。しかし、最先端の研究を知ることができました。また、将来への期待がもててきて、うれしさを感じました。先生方のさらなる研究の成果が実現化されることを願っています。

小中高の教員対象とするなら、それぞれの指導要領の内容とからめながら将来的な環境問題の行方について講義であると良かった。しかし、地球の未来を救う希望の持てる研究発表を知ることができ、有意義な一日でした。

やはり現場に生かすことができる講習であって欲しい。

受講者の層というものを知った上での講習内容であってほしい。

サイエンスという視点では、非常に興味をそそられる部分もあった。

専門用語が多かったので、資料に簡単な説明があるとありがたいです。

## 食品機能性の科学

講習の内容が学校現場が直面する内容とはなりえない性質のものですが、とてもわかりやすく話していただきよかったです。

本日は食品に関する最新情報を下里先生に講習をしていただき、大変ありがたかった。

講習内容のプレゼンが色別にわけられていたり、記入メモ用の配布プリントも穴あき埋め型になっていて、たくさん内容なのに端的に学ぶことができた。一方！これが教職に役立つかといわれたら？？？で一般教養の幅がちょっと深まる広がるというものであった。難しい内容をわかりやすく、かつ、視聴的にも工夫してくださり大変勉強になりました。"事前アンケートや講習内容でも""食育""ということばが触れられていたので、もう少し食育について学べると思っていたが、結局アンケートについては応えてくださらなかったのが残念。しかし、今まで未知の分野の食品を機能性という視点から捉えられたのは、新たな学びとなったし、普段の生活において関心をもって追っていきそう。ただ学校現場で生かすとなると、どう生かすか手口がわからないし、自信がない。"

自分たちの生活の基盤である「食」に関することをいろいろな視点からお話していただき、興味深く聞くことができた。

とても話し方にムダがなく、わかりやすかったです。

パワーポイントの図、文字、写真、ワークシート等大変わかり易くためになりました。

若い先生のエネルギッシュな講義をうけて自分(50代)の今後のあり方を見返しためになった。

下里先生の熱心さ、おだやかさ、とても印象に残りました。

自分を一人の人間として、家族を守る母として、見つめ返せる有意義なひとときでした。

難しい言葉はあまり使わずに素人にもわかり易い内容で講義して下さったので興味を持って聴けた。

話すスピードがちょうどよかった。

食品については興味があったので参考になり、楽しかったです。

お若い研究者の講義は良い刺激になりました。

普段聞けない分野のお話が聞けました。普段の生活に無くてはならない食に関するお話が聞けためになりました。

とても価値のある一日で感謝しています。

## 周期表と放射性元素

私には難しい内容でした。もっと基本的なところを自分で学ぶ必要があると感じました。夏休みの暑い中、我々のためにこのような講座を開いていただき大変ありがとうございました。

## 気候変動のしくみ

専門外の分野でしたが、とても興味深く学ぶことができました。試験の結果は不安ですが、これからもっと関心を持ち更に学んでみようと思えた一日でした。

とても興味深く楽しい講義でした。

前半は休憩時間が多かったのですが、レポートをまとめているとほとんど休み無しで少し大変でした。後半は最後に余裕があって良かったです。

専門性のある講習だった。学校現場に直面ということはなかったが、学ぶという点ではこのような講座があつてありがたかった。

知らなかったこと、新しい発見、とてもよかったです。自分には少し難しかったけれど受けてよかったです。

自分の専門分野ではない講座をあえて受講しました。言葉などやはりむずかしく、消化不良の点がありました(自分の反省です)

気候変動の原因について、これまでの認識をより深めることができました。

大学の講義のスピード感を味わいました。一日中頭を使い、緊張しました。若いころの柔軟な脳で講義をうけられたら、もっと自分の力として吸収できたと思います。

## 放射線をはかる

持ち物に関数電卓があったがどの程度の内容ができればよいか説明が欲しかった。



## 生物多様性を読み解く

とてもおもしろかったです。もっと時間をかけてやりたかったです。実践できることは学校でやってみたいと思います。

午前中もパワーポイントの資料をプリントとして配布していただけるとありがたかったです。

ふだんの授業などで、行わないような内容の講義や実習もできたことが何よりでした。

実習は興味深かったが、生物多様性という講座名とストレートに結びついているとは思わなかった。

実習、見学などあり、あきることなく楽しくできました。自分の知らない分野、少し勉強しようという気になりました。

とてもたのしい授業でした。ぶたと手羽の標本作り、とても楽しめました。

豚足が今後どうなるか楽しみです。楽しい実習ができました。

## 若者のための〈死〉の倫理学

気の抜けた答案を読む気はない(したくない?)等の発言があったが難しい内容を懸命に考えようとしていた身には冷たい一言であり、少なからず怒りを覚えた。生徒を否定して何の利益があるのか、寝ている受講生がいるにせよ、発言がないにせよ。

講師の態度に疑問。気分が悪かったです。

生徒とのやりとりに直に使える心理学的なものを期待していたのですが、哲学とは…でも勇気を出して一日頭を使い倒したのは良かったと思います。心地よい疲れです。ディスカッションと言いながら先生が話さずにいられないのは自分の授業を思い返して共感し反省しました。

あらためて学び続ける事の必要性を感じた。

普段講義をうけることが全くないので新鮮でした。

「倫理学」としての〈死〉の視点は大変興味があり、この講座を選択した。講師の先生はなるべく「現場」に即した話にしてくれようと努力していたが、午後や後半は非常に難解な話になってしまっていた。できる限り教職関係者に具体的指針となるような授業になることを希望します。

内容が哲学的で難しく感じました。

大変参考になりました。今後に生かし行きたいと思いました。

今週はいろいろな出来事が職場で起こり、疲れた体と頭には思い内容でしたが、自分の生きることの根源を考えることができ、教師として自分自身を振り返ることができました。

先生の熱さが伝わってきて、うれしかったです。

教員免許講習という視点でなく、一人の大人として、今回の講習は受けてよかったと思えました。

学問としては非常に興味深かったが、教員免許講習として適切な内容であるのかが疑問。

## はじめての繊維と感性

レーザーポインターの指し示すところがわからず、説明しているものがわからなかった。普段意識すること無くすごしている分野に関してとてもわかりやすくお話していただき、テストの出来が悪く本当にすみません。

4名の先生方ありがとうございました。繊維には以前から興味があったので、参考にさせて頂きました。

どの先生方もお話が大変わかりやすく、声の大きさや話し方なども大変勉強になりました。繊維に関する専門的な内容で、各時限とも、大変興味深く受講できました。大学の教室で受講でき、日常を離れて良い学習ができました。

知らないことがたくさんわかり、たのしく受講できました。

第三時限の講義の狙いを理解することが難しかった。

担当してくださった先生によってちがいますが、その点が、自分自身を振り返ることにつながりました。

きっと各々時間がなくて、駆け足の講義だったと思うので、もう少し、ゆっくり、じっくり聞きたいと思った。

信州大学繊維学部での講習は大変心地よいものでした。

## グリム童話のルーツを探る

資料の字が小さいものがありました。50歳も受講しているのでご配慮いただきたい。

資料が一部抜粋のものがあり、残念でした。

ホワイトボードでは赤色は見えづらかったです。

興味深い内容の講義でした。ディズニーに代表されるようなグローバリズムによって童話さえも均一的なものになってゆく現状が残念です。伝承によって各々の国や地域が個々の民話を語り継ぐことはもうないのでしょう。

専門的な用語等に関して、口頭や板書ではわかりにくく、理解が十分出来たとは言えない。資料などに載せてもらいたかった。私は大学生とは違います。たった一日の講座であれこれ多くのことをつめこまれても何の充実感も覚えなかった。「神話学」の素人に対して一体何を求めているのか意図がわかりづらい。

募集人数よりもかなり多い方が受講されていましたが、要項にもそのように記述されたほうが良いと思いました。

グリム童話ひとつとっても奥が深いなあと思いました。

話は興味深かったが、まとめるという点からは少々時間的余裕がなかった。

新鮮な気持ちで今まで知らなかった視点で童話を捉えることができました。少々休憩が少なく頭と身体が疲れました。欲を言えばもう少し休憩があると体にこたえないかと思えます。

質問できる時間があるとよかった(他の人の質問もきいてみたい)先生自身の考えや著作の紹介などあるともっと興味を持たたかなと思う(宣伝しがいのある場だと思えます)しかし長時間お疲れ様でした。

専門的な内容だったので、今まで得られなかった知識を得られたことはよかった。ただ、現場で今日一日(6時間)学んだことが活かせる機会があるのか…。

ずっと話ばかりだと疲れるので、DVDをみたり、グリム童話の挿絵の歴史とか、視覚に訴えるものを入れるといいと思えます。

話の内容はおもしろいことが多かったです。

民話の通時的研究と共時的研究(構造分析など)の関係がややわかりにくかった。

ホワイトボードにたくさん板書していただきましたが、ペンが細くて見にくいのでできればパワーポイントを使うなど見えるようにしていただけるとありがたいです。

大変興味深い話でした。世界神話学の話などはこれからの時代の定説と考えて良いのでしょうか。今まで習ってきた教科書の内容とは全く別のものであると思われました。いろいろ入り組んでいましたが、楽しい内容でした。

長い時間でしたがとてもおもしろい講義でした。興味深く楽しかったです。

テストは時間がなく、半分くらいしかまとめられなかった。いろいろメモをとらしてもらいましたが申し訳ありません。

人類史という非常に大きなスパンの中で、物語の起源と伝播を考察するという講義内容は非常に興味深いものでした。世界神話学という学問分野について初めて知りましたが、人類の根源に迫る知的探求という点で期待を持ちました。現場で日々のことに追われる毎日ですが、このような巨視的思考は意識して持ち続けるべきことと思いました。

楽しみにしていた講座ですが、予想以上に面白く、とてもわくわくして一日過ごすことができました。たった一日ではもったいない内容でした。この機会に受講できて良かったです。安曇族についても機会があれば学びたいです。

久々に学生に戻った気分普段使わない部分の脳を使った気分がとても新鮮でした。一日

中座していることがないのでこの講義室の椅子が柔らかいのもありがたかったです。講義が長く少し疲れました。パワーポイントなども使っていただければと思いました。試験の問題を最初に言っていただけてよかったです。

講義としては大変面白く、興味の持てる内容でした。

後半の説明をもう少し詳しく知りたかった(物語の音読は空き時間にでもよかったですと思います)

講義全体、興味深くお聞きすることができたが、後半一気に世界が広がってしまい、なかなか内容についていけなかった。まとめのテストの内容に対して時間が短いと感じました。テスト(レポート)にもうすこし時間が欲しかったです。講習内容はとても深かったのでも興味深く聴くことができました。テストを受けるのにもう少し広い教室が良いと思います。

筆記試験の内容が多く、30分では全て記入できませんでした。

新しい視点をいただける内容だったが、一方的な言葉の講義だったので、可能ならばもう少し多様な形態を入れて頂けるとありがたい。

「女性のみを音読してもらおう」(ことを公言してしまう)ことはこのご時世なので違和感を覚えました。

内容は充実しており、勉強になりました。興味深かったです。

外国文学の場合、訳者によって作品の印象が変わります。資料の訳者についても明記してほしい。また今後読み比べするためにどこの引用か出展ももう少し明らかにしてもらえるとありがたい。

ホワイトボードのマーカーの色がうすい時があって、後ろの席では見えづらかった。

教養としてとてもおもしろかったです。内容が少し多かったです…。

30分間で行うテストの内容としては多かったのではないかと感じました。授業内容が豊富で学んだことは多かったのですが、時間がなくて焦ってしまいたくさんとしたノートも落ちていて振り返ることができず心残りです。

講座の開催時期は大学生の試験に支障のない時期と考えられるが免許更新なので夏休み中に取りやすい講座があるとうれしいです。

最初に持込可能なかどうか言って頂けるとありがたいです。項目を最初に言っていただいたのできくののポイントが絞れてよかった。ドイツ地方の映像もあると物語を理解するのによいしききやすい。

参考文献や教材となっていた書物がまとめて書かれた配布物があるとさらに良かった。

内容が専門的で難しかったです。興味深い内容でしたが…。テストの内容も多すぎて時間的に書くことができませんでした。

内容が難しく、記述問題が多すぎて時間が足りず、あまり書けませんでした。もう少し、ゆっくり、じっくり、ききたい内容の講義でしたので、あまりよく理解できず、残念でした。機会があればもっとゆっくり学びたいです。

語り伝えの技法(実際に演習して)も学びたかった。今の子は、日本も外国も含め、昔の話、童話などをあまり知らないのが現実です(興味はゲームばかり)語り伝える機会を大切にしたいと強く思います。テレビなどの情報の世界の力も大いに借りて…。

できたらプリントの文字は大きめにお願いします。

板書の字が後席では読めない。説明は順序立てて欲しい。もう少し大きな会場にして欲しかった。

子供の頃読んだことのあるものだったので身近な存在として感じていたが、物語の本質を改めて知ったり、ルーツをたどると、思っていたよりはるか前から語り継がれていたもの

なのだ」と知り、驚きました。専門的な話でよくわからないところもありましたが、全体的に興味を持ってきくことができました。

1、7の空欄は「どちらとも言えない」です。私は数学が専門なので今回の内容を学校現場で生かす場面は想像しがたいですが、個人的には非常に興味深く知的に楽しめる講座だったのでとても良かったです。

難解でした。

知的好奇心が高まりおもしろかったです。少し、内容も多く難しかったです。ルーツという点でディズニーの引用はどうなんだろうと感じました。個人的な思いとしては(商売、エンターテインメント)という感覚で同じように語れるのか、と疑問ものこりました。

一日話を聞いていてグリム童話のルーツ、ディズニーアニメの世界になれてしまっていたが、18世紀、ペローバジール、グリムとそれぞれの時代、書きかえなどルーツを知り良かったです。私にとっては難しかったです。でも知識としてしり良かったです。

グリム童話のルーツを知るためには世界史などの知識も必要だと奥が深く立った一日で理解するのは難しいと思いました。

こういう講座内容もいいが発達心理学学習障害精神障害などの講座ももっと増やして欲しい。

試験の時間が足りませんでした。

講習は大変興味深く楽しく伺いました。

試験問題の量が多すぎました。もう少ししぼって2・3点にさせていただきたかったです。

ホワイトボードの字をもう少し大きく書いて下さい。

多くの資料と丁寧な説明ありがとうございました。試験に反映できたかどうか不安です。

先生の講義は大変素晴らしかったのですがこちらの理解力のほとんど問題があったのでしよう。試験時間が短かったです。

教育に直接関係あるという感じではないですが専門的内容で興味深く大学の勉強をしたという気がして良かったです。

一見教育現場とは直結しないと思われる内容だが、実は子どもの育ちを歴史的に認識することができたり、人類が一つのルーツから来ているということを知った今では人権教育で語るべき内容、国籍差別など、民族紛争など、あまり意味のないことだという話ができる。私は高校の音楽教諭ですが大変興味深い講義内容であり(「眠れる森の美女」のルーツがワーグナーの楽劇ワルキューレの元となっている北欧神話にも認められることなど)とても充実した一日を過ごすことができました。これからまた豊かな知識をたくわえ、自分自身がレベルアップできるように励みたいと思いを新たにしました。

内容的にはとても楽しく、ひとつの作品にも作者によっていろいろな思いがあるのだと知ることができました。

親しみやすい素材を使った講義だったので、興味深くお話をきくことができました。グリム兄弟が言語学・民俗学の先駆者だったことは驚きました。ありがとうございました。

講習の内容がとても興味深かったです。テストは分量が多く(普段パソコンで書くことが多いので)書くのに時間が足りませんでした。

## 歯科指導とアレルギー

カラー印刷などみやすい資料をいただけてありがたいです。

ゲームや実験形式での講習でリラックスしてさらに理解しやすかったです。

栗田先生のご講義で印刷していただけていない場面がありすこし残念でした。

免許更新以外でも最新の課題などについて学ぶことができるとありがたい。

新しい内容ではないが、職務上の知識として再確認できました。ありがとうございました。

いろんな分野の専門性を学べて良かった。

資料も多く、わかりやすい講義だと思った。

色々な先生から色々な視点で話をきくことができ一日あっという間でした。

オリエンテーションの説明をしてくださった担当の方が安心して受講できるためにとっても配慮して話してくださったのでありがたかったです。受講者の気持ちを察しての対応で、有意義な研修が出来ましたありがとうございました。

## 持続可能な社会を求めて

60分／講義は、内容が薄くなってしまい、導入部分しか説明してもらえていない気がする。講師の数を減らし、1講義あたりの時間を長くしてほしい。時間オーバーしている講義もあり、結局、60分では足りないのでは……。資料は、朝の受付時に全て配布してほしい。休み時間に予習ができます。

大変勉強になりました。

今回、水力発電装置を見学させていただくことができました。このような研究の様子を実際に見ることはよかったですと思います。

一日の中で、5人の方の講義は少々厳しいと思います。出来れば、4～3人にさせていただき、その分、90分程度でじっくりとお願いしたい。個々の内容は、それぞれ興味があるが忙しいと思います。

学校の現場との接点を探ろうとしたが、専門的すぎたり、現場の教育的課題とマッチせず、よく分からないままの講義(?)もありました。講習なので、もっと問いかける、考えさせる、など、間があってもよいと思いました。

5名の先生方による講義がありましたが、内容が盛りだくさんで、難しい事もあり、もう少しじっくり一つの内容について勉強できたら良いと思いました。一つ一つの時間が短いので、早口で、駆け足で説明されることもあり、少し残念でした。内容的には、これから授業するうえでもとても大切な内容だと思います。

机上の講義だけでなく、飯野先生のように、研究の内容、成果を見せて頂いたことで、より身近に感じられた。

のは大変です。

進め方の早い講義があったのでもう少しゆっくり進めてほしい。

自分は英語の教員なので、少し話の内容が理解しにくい面がありました。勉強にはなりました。理科のすばらしさを再発見しました。自然の見方を考えさせられました。

非常に興味深い講義もあり、ありがたかったです。ただ、一日で学び、考えるには、あまりに情報量が多く、大変でした。少しのことをじっくり学び考える講義も必要かなと思いました。ありがとうございました。"

授業は興味深い内容が多く良かったと思います。遠くから来るにはどうしても車が必要です。

こういう機会があるのは良いと思うが、今、自分が必要としている講座はほぼない。自分たちが必要とする自主研修の時間、費用を確保してもらえれば、もっと教育改善できる自信はある。本当に何とかしてほしいと思います。

話が難しく、ついていけない時間が多少あった。普段小学校にいと、必ずしも必要とされる内容、指導に生かせる内容ではないかな、と思いました。一個人としては、現代の問題について、参考にはなりました。ただ、中学・高校で理科教育や環境教育をされている方には、活用できる内容だったのでは、とも思います。小・中・高の先生が同じところで学ぶのもいいですが、せっかくの時間なので、各々の現場で紹介したり、生かせたりする内容・講義に分けた方がいいのかな、と思いました。

一時間で一人の先生の講義は忙しかったと思います。



講習内容の量が、大変多く、先生方も早口で、しかも内容も難しかったです。

1 時間ごとの講義となり、あわただしく感じました。それぞれの専門の分野の話でしたので、どれももう少し聞きたいと思いました。

いくつかの講義でテストの内容に関わる説明が不足していたように感じる。

ゴミ等が校舎内に散乱していた。特に校舎の裏には不要な机があり、見苦しい。

雑草が伸びて気になる。雑草は刈り取らないのか。

環境機能工学科の回りのゴミ等がある。環境を研究する学科だが、自分たちの研究場所は「汚くても良いのか」。

60 分の 5 講座ということで講師の先生方も忙しそうでした。こちらも違ったことを多く頭に入れるということで大変でした。もう少し内容を絞ってもらえるとありがたいです。高度な内容のものが多いため教育の現場で役に立つような内容のものを多く扱って頂けるとありがたい。

再生可能エネルギー 循環型社会についての見識を深めることができました。また、普段見ることのできない大学構内、研究室を見学することができました。ありがとうございました。

## 野外での地質観察

信州大学の魅力を存分に味わえる講習でした。静岡県のは月並みなものや座学が多いので、次回も信州大学のものを受講させていただきたいです。

本当に良い講習会でした。もっと聞きたいと思いました。

非常に興味深い内容で足元の地層について考えた一日になりました。

実際に観察したりしながらの講習で充実した内容でした。

大塚先生のわかりやすい語りや、ぞうけいの深いお話、とてもよかったです。

自分が知りたかったことが少し知れて良かった。もっと知りたいと思いました。

飛騨古川盆地は小さな盆地ですか。細長い盆地を境に地質が食い違っており、地下に伏在活断層があると推定されます。断層の見方について、勉強になりました。

## ピーターラビット

講習で私たちが習得するに値する内容としては、半日で十分な量ではないかと思えます。映画など個人的に観てみたいと思いました。

DVD の細切れより、最初から続けてみながら、随所でストップして説明して下さった方が、分かりやすかったのでは、と思いました。

配布資料のミス（ページ飛び）は残念でした。（事務の方の不備なのかもしれませんが・・・）

物語だけでなく、イングランド近辺の文化についての言及があり、大変興味深かったです。映像資料や御自身の体験を交えて、興味深い講義をして下さってありがとうございました。映像、画像を沢山見せて頂いてありがたかったです。

資料をたくさん用意していただいて、ひととき、日常を忘れ、英国の世界に浸ることができました。

英国の現在の諸事象をまじえ、ビアトリクス的人生の概要がよく分かった。また、「ピーターラビット」を英語原文で読んでみようという意識を持つことができ、その意欲を生徒への教材開発を生かそうという気持ちを持たせた。

英語を勉強して、イギリスに旅行に行きたくなりました。また、学ぶ意欲が湧いてきました。

映画や DVD、写真の数々や資料を提供いただき、とても楽しく 1 日を過ごすことができました。

今日は、とても楽しい学びでした。ありがとうございました。

ピーターラビットも英国社会もどちらも全く知識がなかったが、とても興味が持てました。イギリスに行きたくなりました。

おもしろかったです。

映像がたくさん使われていて、わかりやすく、とても楽しかったです。

楽しく学ぶことができました。イギリスへ是非行きたいという気持ちになりました。

様々な工夫がなされ、エンターテインメント性の高い講義でした。

現場の課題と少し距離のある講習内容であることが良かったと思えます。結果を求めすぎるのが現在の教育の弱点だと思うので。

今回の研修の趣旨は心を豊かにする事だと感じた。このような技能の向上を問う評価書は当たっていないと思う。

高校音楽教員ですが、私自身が大学時代にはじめて訪れ一か月滞在した「イギリス」という国が忘れられず、大好きであるので、今日は自分自身の趣味教養を深めたいと思い、参加しました。

自分の専門以外の好きな事を勉強することも、結局は教員である自分という人間の幅を広げたり、どこかで専門にもつながっていくことだと思っています。とても充実した一日でした。

とにかく楽しかったです。映像あり、資料の説明も詳しくして下さい、分かりやすかったです。

とても楽しい講習でした。

様々な資料を通じて、広い情報を得ることができました。個人的に過去の海外生活を思い出せる。写真が大変勉強になりました。

先生のお人柄がにじみ出た、温かなよい講習でした。

DVD ですが、前列の人の陰で字幕の見えにくい所がありました。

もっと難しい内容かと思っておりましたが、とってもわかりやすくてよかったです。

わかりやすく、親しみやすく、教材も多くて、集中できる講座でした。視野を広々して下さりありがとうございます。アナウンスや映像など工夫も多く、自分も行った様な、又、行ってみたい気持ちが高まりました。

映像や画像、文書などの資料をたくさん用意していただきありがとうございました。参考にさせていただきたいと思います。

## 子どもの健康と保健指導 1

本当にためになる 1 日でした。現場ですぐ役立つ内容でありがたかったです。

参考資料の字が小さくて見づらいです！

配布資料の印刷がもう少しはっきりしているとありがたいです。

各講義の内容は良いが、盛りだくさんで聞くことが大変でした。1つの講義をゆっくりとお聞きしたいと思った。

授業の区切りが 1 時間ずつで体が楽でした。

大変充実した 1 日を送ることができました。ありがとうございました。具体的な実践に結び付く研修が増えるとうれしいです。

講義だけでなく、実習や実技があるとよい。

一日の講義数が多い。"

## 有機化学と私たち

自分の中の不明であった箇所が理解できました。

## 地震発生メカニズムと建物の耐震性

とても分かりやすい内容でした。ありがとうございました。

講習の内容に意見はありませんが、聞く一方だけだったので、少し疲れました。

講座により質の差が顕著。意欲を持って参加したが、実りは少なく残念であった。

今回の講義とそれに伴う実験（構造物の強度測定等）があれば、ありがたかった。

スライドはもう少し少ない方が分かりやすい。

スライド良かったです。

## コミュニケーションの障がい疑似体験しよう

体験を通して学べてよかったです。ありがとうございました。

講義中心ではなく体験活動がよかった。

内容の充実をお願いしたい。(講習全般について)

授業の進め方も含めていろいろと勉強になりました。

体験型の講義だったので、積極的に参加することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

疑似体験が苦手なので、ドキドキしました。無事終わりホッとしました。

明日から生かせそうです。

せっかくの機会なので、多くを学ぶ研修にしたいと思っています。学びたい内容の講義に申し込んでも抽選になってしまうのが残念です。

グループ学習が多いので、名札があるといいなと思いました。(今までの講習では配布されていたので)

とてもよい講義でした。

体験型の講習だったので、身に入りやすかったです。

体験型なので、実際に自分で体験し、考えさせる勉強で良かったです。

疑似体験をたくさんさせていただいて、考えさせられたり実感したりすることがたくさんありました。

お世話になりました。どの講義も魅力的で金額はかかりますが様々な講義を受けてみたかったです。

相談会になってしまっても仕方ないのでどういう形なら良いか分かりませんが、もう少し現場の困り感のようなものをやりとりする時間、そのケーススタディをできる時間があつたら良かったかと思いました。

体験が中心だった、“自分から”学ぶことができた。子どもの気持ちになって考えることもできたので、よい研修になった。

講習を聞いているだけでなく、体験もありであきさせず、ユーモアもありで、充実した内容でした。

体験の多い講習で楽しかったです。

"体験型の講習だったので、日頃味わうことのない体験ができて、とても貴重だった。より子どもの気持ちになってよりそう指導に心がけていきたいと思った。

今日の講義は私には新鮮でちょうどよかったのですが、似たようなことをたくさんやっている人とか理論的なことが分かっていない人とかいろいろなレベルの人がいるので、内容の決め出しが大変だろうと思いました。

講義だけでなく体験がたくさんあり、とても有意義でした。

グループワークをする会場としては合っていません。

育休中で、合い間に乳児に授乳をしながらの参加でしたが、相談した所、支援センターの方が授乳場所など、丁寧に相談に乗ってくださったので、ありがたかったです。

今回の免許更新講習の中では、本講座は自分の日常の仕事に直結する部分が多かったので、ありがたかったです。が、人数等の関係で抽選になり、本当に受けたいと思っている講座が取れない現状もあります。自分の専門性を高める意味では、大切だと思うのですが、すぐに使えるものではない場合もあります。校種等も違うので大変ですが、現場での声を聞いて、より現場の課題にそった内容の講座が増えることを望みます。



## 教育の本質と教師の役割

坂本先生の熱の入った講義が聞け、今日は自分にとって良き日であったと思います。

自己を振り返るよい機会になりました。

マンネリ化した教員生活にとってかつを頂きました。

1日お世話になりました。

大変有意義でした。

内容が多く理解するのに大変でしたが、大変勉強になりました。

これまで、坂本先生という先生がこんなに近くにいたことを知らなかったことにとってもショックを受けてしまいました。もっと早くにもっとたくさん先生の話を知りたかったと思いました。そのくらい出会いに感動しました。また、講義を聞けるチャンスがあったらぜひ知らせてほしいです。

参考になり今後に大いに役立てたいと思います。

興味深い講義ありがとうございました。

## 歴史館で教材研究

苦手分野の社会でしたが、1日でとても興味が持てました。児童、生徒も同じだと思っています。歴史館や博物館の活用は大変有効だと感じました。

バックヤード見学は新鮮でした。

とても丁寧に館内の案内をしてもらって非常にためになりました。

とても良い研修でした。

楽しく学習しました。

今回「社会」という教科ではないのですが、受講させていただきました。午後からの演習は、他の先生方にいろいろと教えていただき、ありがたかったです。

大変に有意義な研修ができました。

歴史館のバックヤードの中にも入ることができ、今まで知らない多くの視野から学ぶことができ、本当に充実した一日でした。

## コミュニケーションの障がい疑似体験しよう

午前、午後とも活動中心にすすめていただき、体験的に学習させていただくことができ、とてもありがたかったです。

学校に戻ったら、「コミュニケーションは楽しいものだ!!」というスタンスでクラスや部活動指導等に生かしていきたいと思います。"

実際に経験してみても分かったことが多い講習でした。昨年必修研修を行いました。その際に同じ内容のものを行いました。答えが分かってしまったので少し残念でした。

体験がたくさんあり、とても楽しく受けることができました。実際体験することで、より障害を持っている人の思いや心の働きを考えることができた。

内容も楽しく分かりやすくよかったです。"

実際に体や心で感じる体験がたくさんある授業で楽しかったです。又、子どもの気持ちも考えられました。2学期から生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

他の更新講習にも出させていただいたが、子どもたちによりそった、内容のあるすばらしい講習でした。

疑似体験を多くもて、今まで知っていたつもり、分かっていたつもりのもも再確認することができました。疑似体験として、場、条件等が指示されていたことを無理にすることはつらいことでしたが、そのような体験の学びも必要なのかと思います。

ある障害の一部分を体験しただけであるが、この体験を通して見方が変わったところもある。また、この体験を組み合わせたししながら、想像していくことが大切だと感じた。どの体験も有意義でしたが、アイマスクの体験がよかったです。

体験の時間が多く、聞くだけではない身を持って知ることができたと思う。身を持って何を知れたかということ意外にはっきりしない（言葉化しにくい）が。他の方の感想が聞け、それ補完できた。

体験型は疲れると思っていましたが、負担になるほどではなく学ぶことができました。最も必要なことでした。

体験活動を通して、理論として話されたことが体感として身にしみた内容でした。障がいに対する理解という内容でしたが、ユニバーサルデザイン的な学習環境づくりのみならず、職場の中でのコミュニケーションづくりにも役立つ内容でした。願わくば、体験活動時に見せていただいた資料も後からでもよいのでいただけたらありがたいです。（受講後、HPからDLでもよいので、ご検討いただければありがたいです。）

講義の教室が涼しくて快適でした。講義にグループでの話し合いや自己紹介などを取り入れたことで、まわりの人とコミュニケーションが取れて、この講義全体がまとまりのある温かい雰囲気になりました。まわりの人と心を通じさせる、ということは、その人に自信を持たせやる気を持たせることだと感じました。

疑似体験をさせていただき、貴重な体験になりました。

スライドの内容全て今後活用したいと思いましたが、配布資料にない物があったので、全て印刷して頂きたかったなあと感じました。

体験が午前、午後あり、分かりやすく講義を受けることができた。聴力、視力に障がいのある人がどのような状況にあるのか疑似体験をしたことは、とても有意義でした。大きな講義室での講習でしたが、グループになって体験したり感想交換ができたのでよかったです。

体験が多く取り入れられていて、時間が早く過ぎました。有難うございました。

疑似体験を通して、不安感、恐怖感などを感じるができ、それを取り除くには「どうしたら?」と考えさせられることができました。また、このような研修に参加したいと思

いました。

体験を取り入れる講習がとても良かった。ただ話を聞くだけのものではない方が心に残るものになると思いました。明日からの実践に活かしていきたいです。

今回の疑似体験のように、実際に自分たちが主体となって体感できるものは、印象にも残るし、よい講座であったと思います。学校が以前とどんどん変わり、ギスギスした人間関係（職員間）の中で疲れてしまうこともあります。お互いの気持ちを考えたり、相手意識を高めていくことが、これからの学校の中では、ますます重要視されるべきだと思います。疑似体験学習がメインだったので、身にしみて学ぶことができ、とても有意義でした。今まで”障がい”について理解しようとしていたのは頭だけだったことを痛感し、相手の状態を察して関わるのが大切と学べてよかった。この講義は、免許更新でなくてもとても大切。”

パワーポイントの画面で資料にないものがあつたのは少し残念でしたが、講師の先生がゆっくりと丁寧に説明して下さったので、記録することができました。障がいのある人とならない人とが共生できる社会について、改めて考えさせられました。

たった一日で終了してしまうのではなく、同じメンバーで何日かに分けて講習を受けていく形がいいなあと思いました。現場に持ち帰ってどうだったかななどの話もできるといいなあと思います。

短時間の研修では、なかなか体験できない沢山の疑似体験をさせて頂くことができよかったです。

信大農学部での講習内容がもう少し選択幅があるとよいと思いました。是非履修内容を増やしてください。

コミュニケーションの疑似体験とてもいい体験になりました。あらためてコミュニケーションの大切さ、楽しさを学びました。”

先日の疑似体験が進化していて、先生の向上心に感心させられました。しっかり疑似体験ができて、他の方の感想も共有できてよかったです。

体験が多く、自分で感じ、考えられたので、とても良かったです。ありがとうございました。

障がいのある方の不自由さの一端を体験できて、今後そんな場に置かれた時、少しでも気持ちに沿えるように考えられると思います。

現場に直結する講座、講義でありました。このような現場に直結するような内容を考えていただけると更新講習は大変意味があると思います。講義を受けることだけで、教職への意欲の再喚起につながっていると私は感じます。信大のように現場に直結する講義内容で、意味のある講習を期待しています。

なかなかできない疑似体験ができて良かったです。

支援学級の先生方にも講座が受講できる機会を作ってほしい。それ以外の先生方にも体験してもらいたい。

現場の研修でよく聞いている障がいの内容と視点が違っていたので、とても興味をもてる内容でした。

## アフリカ、森の民のライフサイクルから学ぶ知恵

未知の社会についての講習内容で、興味深く学ぶことができました。室内に流れる音も心地よかったです。

授業内容は大変わかりやすく興味深いものでした。

受講してみたい講習名でした。受講してよかったと思える内容でした。

たいへん興味深い内容でした。できれば質問コーナーやもう少し映像等の紹介がほしかったです。(少しずつで良いので多くの映像が見てみたかった。)

机がゆったりと使用でき、大変よかった。(あまり混んでいると資料を読むのも大変になるので)

出産後間もないのですが、免許更新講習を受ける際に、毎回授乳できるお部屋を準備していただき、大変感謝しています。子どもの心配をせず、安心して学ぶことができます。ありがとうございます。

先生がよかった。話し方がとても分かりやすかった。

文化人類学には以前から興味があったので、興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。

## データ解析の手法を身につけて社会を分析しよう

ノートパソコンについて「ある人は持ってきて下さい。」という表現ではなく、「使う」とか「こんな形で使う」という書きの方が良かったと思います。

ほとんどの内容が、すでに授業で教えているもので、「研修」として実のあるものではありませんでした。パソコンを持参していない者を置き去りにした時間もあり、電卓を使う場面もなく、案内と違うことに不満を感じます。

18人という少ない人数での講座でしたが、「パソコンを持っている方は…」という説明であったので、持参しませんでした。てっきりパソコンをお貸しいただけるのかと思っていました。パソコンがあるのとないのでは、理解にも影響がある講義でしたし、必要であれば講座の説明欄にパソコン持参と書いていただけるとありがたかったです。

楽しい講座でした。

講義のみでなく、実習中心にしていただけると実践に生かせる。パソコン持参必ず又は貸し出し（可能ならば）にするなど改善できるとよいと思います。

データ解析のやり方や考え方の知識は少し理解できた。ただ、実践としてパソコンを使って、データを分析することを多くやってみたかった。解析の理論より実践を期待します。データをどう作成し、どう分析するか理解できました。もう少し演習をしていただき、どう分析するかの実践上の分析があるとよいな、と思いました。資料冊子は、とてもわかりやすいものだと思います。

初歩的な部分から説明してくれたので、とても分かりやすかった。数字が苦手だったが、よく理解できた。

## 認知心理学からのクリティカル・シンキング入門

実例（分かりやすい）を示して下さったことがよかったです。

内容を繰り返すことが多すぎる。時間に対して内容が薄い。プレゼンの問題か。

1日中飽きない興味深いお話しありがとうございました。とても楽しく勉強できました。20年以上、教育の現場で働いていますが、確証バイアスが多々あることを痛感させられました。自分の思いこみや認知で正しいと思って指導していることも実はそこに落とし穴があるかもしれないことに気付いていませんでした。今後の指導に大変役立ちました。人権に関わる内容も含まれていて、さらに興味が湧きました。血液型を気にしすぎる日本人…少し気持ちの悪い集団です。良い社会にしていかなきゃと思います。とても勉強になりました。

久しぶりに学生気分です。自分の教員としての仕事に役立つヒントが得られた。たくさん内容で十分理解できませんでしたが、ものの考え方への新たな視点を知ることができ、よかったです。テストが難しかったです。

それが主ではないにしても、特定の血液型を笑いのネタにしてしまうのはどうかな、と少し嫌な気持ちになりました。一般的にもそうだけれど、やはり終始 B、AB をやり玉にあげる感じがしてしまいました。

1コマが長いので、途中途中でもう少し合間に考え、書き取る時間がないと、最後のまとめに向かうときにまとまらず…言い訳の様ですが…。大変難しい時間となりました。事前にレポートのテーマを伝えてくださると短時間でもまとめやすいのだけれど、と思いました。

小テストの解答時間がもう少し多めにしてほしいと思いました。

午前中最終のまとめの時間、15分はあまりにも短い、時間に追われ、じっくり書けない。子どもと同様、教員にも様々なタイプがいる。

初めて知る言葉が多く、メモがとりきれなかった。もう一度本を読むなりして復習したい。とても分かりやすくお話をしていただき、あっという間に一日が終わりました。

講習の内容が分かりやすかっただけでなく、声もよく響き、聞きやすく、先生の態度も非常に誠実で、気持ちよく学ぶことができました。

どんな講義が受講前は、イメージが湧かなかったが、思ったより面白く、いい学習ができた。この分野に興味を持つことができました。

とても面白かったです。

教員として以上に、一人間としての思考の癖に気付くよいきっかけとなった。様々な場面で状況を判断し、対処する時に是非思い出して活用したい。（教員として、人として、親として）ありがとうございました。

全く言葉もよく分からないような状態での受講でしたが、自分のものの考え方についていろいろ考えることができました。ありがとうございました。

多様な考えをする…という点において内容はよかったが、実際の教育現場で直面する内容に具体的に触れてほしかった。

午前中の講義が分かりやすく、面白かった。

今日は、考え方の癖やクリティカルシンキングについてお聞きでき、とても参考になりました。

した。初めて聞くことだったので、とても理解しきれたとはいえないため、これからも機会があれば勉強したいです。また、説明などもとても分かりやすいもので、演習なども含め、もう少しお話をお聞きしたいと思いました。ありがとうございました。

前半まとめの時間がもう少しいただけるとありがたかった。

説明が速すぎてついていけませんでした。

新聞記事や雑誌広告教材に使われてましたが、一部出典、表記のない物や人名をそのままにして使われていました。著作権・プライバシー面で配慮が必要だと思います。

血液型と性格の関連に関する講義は圧巻でした。メディアリテラシーに関わることも分かり興味深い講義でした。

夏休み明けに学校生活でいかしていきたいと思います。



## 生物学教材としてのカイコと野蚕の利用

私は数学の教師で、専門的な（遺伝とか）内容で、分からないことはありましたが、最初から最後まで興味を持って話をうかがう事ができました。

伝統ある、又特色ある信州大学繊維学部で受講できたこと、又、蚕のお話をたくさんお聞きできたこと、又実験で来たことが大変有意義でありました。様々なご準備・ご配慮下さった講師の先生ありがとうございました。

講義だけでなく、実験をしていただいたことで、素人の私にも興味を持てる内容となっていました。小学校の中で蚕をどう扱うか（生活科、総合など）情報提供などあったら嬉しかったです。

実習準備をしていただき、興味を持って取り組みました。

## 身近な化学から最先端科学の話と実験

楽しかったです。

とても涼しい中で学習ができました。

たくさんの資料、教材準備、ありがとうございました。"

興味もてる内容でした。

私は保健体育科ですが、本講座に興味があり、受講させていただきました。予想以上に専門的でしたが、興味深く受講できました。DNA については、なるほどと思いました。一方で、科学が進歩していることもよく分かりました。

午後の講義の DNA、RNA は、とても難しく、うまく理解できなかった。せっかく準備していただいたのに、残念です。

実験の準備は慣れていない人が多く、大変だったと思う。

聞きなれない化学式が出てはきたが、薬のことや、実験、生物化学など、身近に感じることも重ね合わせながら興味深く講習を受けることができました。

講義だけでなく、実習（実験）があり楽しかった。

実験もあり、大変よい経験をさせていただいた。内容が豊富であったため、1 日で理解するのは難しいですが、復習して理解したいと思います。

長時間本当にありがとうございました。学ぶ喜びを久しぶりに感じました。

新しい知識を持ち帰ることができました。全体的にもう少し考えを整理する時間があればよかったですと感じました。

多岐にわたり化学にまつわる話をお聞きできてありがたかったです。身近な物が例にあがっていて、子どもたちに話をするきっかけとなりそうです。

学ぶべき要素が確認テスト用紙が事前配布されたことにより、集中して話を聞くことができとてもよかった。実験がとにかく興味深いものであり、もっとやりたい程であった。

身近にある例などにも触れられ、興味がわいてきたお話があり、これからの授業に参考に生かしていきたいと思います。

実験時、実験道具、薬品の場所が分からず、段取りを立てながら実験を進めることができなかった。準備が大変だと思うが、分かりやすく場所を指定してもらえるとありがたかった。最新の科学知識にふれたり、興味をもてる実験をさせてもらえたり、大変ためになった講習でした。たえず学び続ける意思を持ち、これからも教壇にたっていきたい、と思いました。

## 衣食住で使用される色材

いろいろと教えていただきありがとうございました。

アイを種から育てて、生葉染めに挑戦してみたいと思いました。

一日の学習量として多いように思いました。

丁寧な資料と分かりやすいお話、ありがとうございました。"

印刷された文字が小さく、読めない箇所があり、残念でした。様々な色材についての学習ができ、大変有意義でした。

先生のお話にもありましたが、草木染めの演習ができると（学校でも実践できるので）良かったです。

草木染めなどは、現場とも関わるのでよかったです。

塗料については、凶工に生かせると思った。

内容が興味深く、勉強になった。

学習活動の際に補足説明できる知識が増えたのでよかったです。

専門でない者にも分かる内容、日常生活に結びつく内容を期待したい。

前半のテストが、後ろからの回収であったが、個々に提出する方がよい。

とてもわかりやすく、聞きやすい口調で、大変ありがたかったです。

これまで参加した選択講習の中でもかなり興味を持って取り組みました。教えてもらったことを子どもに返していきたいです。

資料の文字（配布物の）をもう少し大きくしていただけると有難いです。

とてもわかりやすい学習内容で、興味深いものもありました。ありがとうございました。

化学など忘れてしまったし、受講するまでは講義が理解できるか不安でした。けれども、先生がとても分かりやすく説明して下さったので、とても興味深く、あっという間に時間が過ぎてしまいました。高校生の頃、学部での内容をもっと知っていれば、繊維学部で勉強してみたかったです。それくらい面白かった。繊維学部での貴重な授業、とても勉強になりました。ありがとうございました。

とても分かりやすく説明していただき、素人の私にもよく分かりました。ただ、小学校の教育現場にすぐ生かせるか…と言えばそうとも言えないと感じました。ですが、大変興味深い内容でした。（教養を深めるという点で）

自分が考えていたものと異なったが、新しいことが分かり、色材の幅広さを知るよい機会になりました。

教育に関係するプリンターについてや、染色の仕方（玉ねぎの皮）や、医薬品、医薬部外品、化粧品などの違いなど、たくさんのことを学ばせていただきました。とても内容が楽しかったです。

話がまとまっていて分かりやすかったです。

身近な物事に置きかえて話してくださるなど、とても具体的で関心を持って聞けました。講義中にお話のあった実習が実現すると良いなと思いました。説明等、大変分かりやすく、興味を持って受講できました。ありがとうございました。

「染め」、「織り」に興味があり、岡谷で勉強をはじめたところです。今日は色材についての知識が得られ、大変勉強になりました。

## 子どもの健康と保健指導 2

最新の情報を教えていただいたので、学校に戻ってからも使える内容でとても良かったです。"

人数がちょうどよく、お聞きしたい話がある場で聞けて良かったと思います。

午前・午後通して、ずーっと眠っている人がいました。とっても気になりました。ずーっと寝ているって…どうなのでしょう？

午前中2つの講習があり、内容はどちらも興味深いものだったが、時間が短く、早口での説明で、もっとじっくり聞きたいと思いました。

大変有難い内容で、本当に良かったです。質問させていただき、助かりました。

本講座は仕事をしていく上で新たに認識したことや再確認できたことが沢山あり、とても役に立った。

## 歴史館で教材開発

座学と違って歴史館の中をいろいろ見学させていただき、勉強になりました。  
歴史が大好きなのでとても楽しみにしてきました。普段の見学では見られないバックヤード、聞けないお話が聞くことができ、とても充実した一日でした。  
バックヤード見学もできて非常に有意義でした。  
初めて来館しましたが、興味深く見させていただきました。また機会を作って来てみたいと思いました。  
バックヤードの見学が大変興味深かったです。  
普段見ることのできない博物館のバックヤードを見学させていただき興味深く学習しました。  
それぞれのグループが知恵を出し合い、まとめたワークシートの発表が楽しかったです。  
子どもの引率だけでは気づけなかったことをたくさん教えていただきました。  
体験的、実習的な講習でとても楽しく意欲が湧いてきました。  
閲覧室の宮本先生に資料をたくさん出していただき、ありがとうございました。  
5分で博物館を出てしまう小学生の話がありましたが、教員の持っていく方で変わると、博物館での興味のわく説明を聞いて思いました。これからの教材研究の参考になりました。  
歴史館に初めてきましたが、今後生徒へも来館をすすめていきたいと思います。特にバックヤードツアーはとても興味を持って見学ができました。  
とても役に立つ内容でありがたかったです。  
博物館の裏側が見れて良かった。  
今回で5日目の免許更新講習だが、午後のオリジナルテキストの作成は何を書いて良いのかわからなかった。困りました。他の人の作品を見て、もっと柔軟に考えてもよいわかりました。  
最初は場違いな講座だったかなと思いましたが、心配は30分程度で消えていました。青木先生、暗号ミッションの成功を！！  
野尻湖湖底発掘に参加したこともあり、土器、石器、化石等実物が見られて、とても楽しかったです。また、和算にも興味があるので、古文書の扱いもとても興味深く聞くことができました。  
大変ためになる講習でした。ありがとうございました。  
もう少しゆっくり見学したかった。

## 身近なデジタルカメラの活用

タマネギは鱗片の内側より外側の方が良く染色できると思います。

タマネギは酢酸カーミンで染色します。(中学校)カバーガラスを被せる前に3分ほど待つことが大切です。(参考にして下さい。)

血液は浸透圧を除き未処理を赤血球、白血球と分けたかったです。

教材との感動的な出会いの大切さを改めて感じることができました。時間がたつのを忘れて楽しい講習をうけることができましたありがとうございました。

三位一体観察システムにより、子どもたちに提示しやすく記録も簡単で感動しました。面倒くさい記録(スケッチなど)がないと実験に抵抗がなくなる子もいると思いました。

普段あまり触れることのできない専門的な内容に触れることができました。また、学生の方にも丁寧に教えていただき普段接している生徒たちに進路先の話をする時、具体的に話をさせていただく参考になり有難かったです。大変お世話になりました。ありがとうございました。

肉眼では見られないミクロの世界の美しさに感激した一日でした。子どもたちの学習にもこのような驚きや発見が必要だと改めて思いました。

具体的な指導があってよかったです。

きれいな顕微鏡写真に感動した一日でした。

説明がわかりやすく、また、実際操作が多く楽しめた。自分は生物専攻なのでもっとより多くの顕微鏡実験を行わなければならないと感じた。また、予備実験等の準備がなにより大切と思った。

本職のジャンルとは違うが、とてもおもしろく久しぶりに熱中して学んだ。とてもよい講習と思った。

先生方、助手のみなさんが親切に御指導いただき充実した講習になりました。

各顕微鏡の映像が映せることで、生徒の参加をうながせるのは非常に有効な手法だと思った。

午後の演習は大変難しかったが楽しむことができました。

講習案内の説明書きから想像したものと実際の講習内容が随分違っていたので、もうすこし具体的な説明を事前に知りたかった。

タマネギを切る場面、一人ひとりやってもいいかもしれません。

普段扱わない顕微鏡、デジカメ、モニターが楽しく観察しながら使用できることが理解出来ました。理科が苦手と感じてしまう、特に女性には興味をもつ中でもっと学んでいけるといいなあと思います。

小3で三位一体システムがあれば、モンシロチョウの卵を子どもたちに見せてあげられるので良いと思いました。

午前中、午後ともに実習に十分な時間があり、余裕を持って操作、観察ができて、とてもありがたかったです。ちょっとした疑問にも担当の先生方にていねいに説明していただき、参考になりました。生物以外のミクロの写真にも挑戦できればと思います。

手持ちのデジタルカメラでも撮影ができることは驚きでした。直視分光器でもためしてみたいと思います。

## 認知症から人から見える世界

正直、認知症が教育に役に立つとは思わなかったが、本質的な部分で理解が深まったと思います。

配布されたプリントにその日の日程を入れておいたほうがわかりやすい。午後のディスカッションは講師の方が入っていただいたから良かったものの、かなり無茶だったように思う。

グループはどのような意図であるように分けたのか？ただグループ活動があればいいのではないと思う。午前中は良かっただけに残念であった。「丸投げ」された感があり、西川先生に助けていただき、ほんとうに感謝。

午後のグループディスカッションについては内容、目的など開始にあたり受講者に全て任されているようだったが、もうすこし事前連絡があった方が良かった。

西川先生のお話、大変興味深くききました。ありがとうございます。

今まで自分の中にない新たな考えを引き出すような講習でした。学校教育の中でも大事なことを学んだ講習で二人の先生の説明などとてもわかりやすかった。

大変参考になりました。特に浦島太郎の話については授業(中学校)でやってみたいです。ありがとうございます。

他の先生方とのディスカッション普段は中々できないので新鮮でした。講義の途中廊下が少しうるさい時があり気になりました。

3人の先生方のお話のわかりやすさにとても差がありました。

上野先生の講義は、とてもわかりやすく、ききやすかったと思います。"

この分野への知的好奇心から受講しました。

講師の方々のそれぞれに専門分野の内容をわかりやすく話してくださいました。ただ、毎回感じるのが、こういった更新講習とつながらない。なぜ私たちが、この時期に、このような内容の講習を受け、免許が更新されるのか。まるで学生。まるで予備校生の気分。来週には校内研、生徒指導の資料の準備、校内のプロジェクトの資料づくり。休みの日にやらなければいけないことが山ほどあるのに。

試験時間が内容に比べて短い。

一日の中で3つ試験はきつい、レポート等にしてほしい(まとめて)

専門的で学校現場で役立てられるか疑問

## ものをつくる動物たち

プレゼンテーションが美しく、楽しかった。ただ、講義だけでなく、体験的、技能的な面も行ってほしかった。

「ものをつくる動物たち」というテーマであったので、人間以外の動物が、何か道具等を使ったり、特性があり、何か作り出す活動をしている内容かと思っていたが期待はずれであった。畜産業の現状と課題というテーマの方がわかりやすい。

松井先生の話は、まったく専門過ぎて分かりづらく、学校で生かしようがない。試験もあのような専門的な問題に答える意味が感じられない。感想で十分。免許更新自体形式的なものであり、日々、自分で意識して研修してきている者にとっては、無駄な時間になってしまう。

神先生と上野先生の話は、興味が湧き、学校でも生かせるものであった。

講習会のお題目と、講義の内容が違いすぎるのではないのでしょうか？農大だから仕方ないのでしょか？ものを作る動物ではなく家畜だと・・・。

上野先生のスライド・説明がとてもわかりやすく、楽しめました。

2回目のテストでいつ終わるか分からず焦ってやってテストがグチャグチャになってしまった。

現場の指導力に直結した講座がもっと必要であると考えてます。

知らないことが多く勉強になった。少々ペースが速かったが有意義であった。

失語症でした。特別な配慮をいただき、受講できたこと、感謝申し上げます。「高次脳機能障害」の自覚ができました。

とても面白かった。

牛や馬・豚・鶏が家畜であることももちろん知っているし、普段から食用としていただいているが、こんなに詳しく教えていただいたのは初めてでした。

子どもたちの進路（中3）では、教員である私たちが、色々知らなければ、アドバイスできません。こういう分野の仕事について知る良い1日となりました。

専門ではない教科の講義でしたが、わかりやすい資料を用意してくださり、丁寧に教えていただけだったので、今までになかった知識を得ることができました。

3人の先生の話は、それぞれとてもためになり、視野を広げるのにとっても良かったが、それぞれ20分ずつの試験は、問題を把握し、答えるのには時間が短くてあせりました。講師3人でいいので、試験は1回にさせていただきたい。

高等学校、農業科教員として大変興味を持って聴くことができました。特に、神先生、上野先生の講義がわかりやすく楽しく聴けました。ありがとうございました。

わかり易い内容の講義ですが、その都度試験は必要でしょうか？内容が充実していないので講義を聞いているか試している感じで不愉快です。せめて講義を聞いての感想ぐらいでいいかと思います。

ちょっと内容が多すぎて時間オーバーとなり、量も多かったため、試験時間が焦るものがありました。限られた時間の中で収まるように内容をしばっていただけるとありがたいです。

農業科の教員ということもあって興味深く講習を聞くことができました。普通教科等の先



生方にとっては時々の豆知識的な部分が実は役に立ったのではないかと思います。テストを20分×3でやっていましたが、時間が足りない時がありました。先日社会分野(歴史)の講習を受けたのですが、そちらは60分1本で時間に余裕がありました。したがって、時間を十分確保していただきたいと思いました。(単位がかかっていますので…)私は英語の教員ですが、専門以外の科目でいろいろ見聞を広めることができました。ありがとうございました。

プレゼンテーションの資料を印刷していただけたのですが、全体的に文字が多く細かいのでみにくかった。わかりやすい印刷資料があるとありがたい。

専門性が高く短い時間に消化できないほどの情報量(知識量)でした。3回テストがありましたが1回目は学校現場に活用できるかどうかの視点で出題されたのでこれまでの経験などからなんとか解答できましたが、後の講義は専門的すぎるのではと思いました。

新しい知識が身につくと共に講義を受けながら実際に学校生活にどう活かすかを考えていたら違った視点での味方を持つことができました。

資料の文字が小さくて後で帰って見直す時大変だと思う。

日本の未来を考える上で大切な問題だとは思いますが、ポイントはエネルギー効率、流通システム、食材を拓げるなど、他の工夫の方だと感じた。私は肉より魚のほうが好きだから正直ちょっと興味が薄いのかも…。(カブトムシを食用にできないか?)

勉強できる良い機会をいただきました。

分野違いなので仕方ありませんが…こうした分野違いの講座でも教育現場や生活に近いところで話してくださるとよいと思うのですが(午前、始めの講師はいくらかよかった)ちょっと専門的すぎたかなとおもいました。3人の講師はみな農業家畜に対する思いが強くあるのはよくわかりました。松井講師は時間を守って欲しかったし「～ですね」が多くききにくかったです…でも動物が先生という話、教師も本が先生ではなく、子どもたちが先生、子どもたちが何をしたらいいか教えてくれるという考えが大切と思いました。白板の電気つけてほしかったです。うしろの方、みえにくかったです。

講義内容は興味をひくものであり面白かった。ただ、現場にすぐ活かせるものかどうかはわからないが、大変参考になった。

農学部ということもあり、普段自分たちが食していたり、作っている製品についての生産のことから、又、飼料についても詳しく知識を得ることができました。幼児教育の仲で子どもたちに環境教育、食育を通して、この講義の内容を少しでも伝えていけたらと思います。現在残念ながら家畜を見る機会がほとんどないので、子どもには今日の講義を通して話をしてみたいと思います。

実験や実習があるとよいかと。(難しいかとしれませんが…)

資料の文字が小さくてかなり読みにくい。試験時間が短すぎて考えをまとめられずあせってしまう。上の先生のお話が声量、テンポ等一番聞きやすくてわかりやすかった。試験問題が遠くてよく読めなかった。配布又は印刷してほしい。

試験の時間が短くて落ち着いて出来なかった。

テーマは良いと思います。経済動物以外にももう少しきかせてほしかったです。

神先生と上野先生の授業の仕方、内容については、遠方からわざわざ参加した価値のあるものでした。

講師の先生3名の方がそれぞれ研究されている立場からの講義をお聞きでき大変興味深く聴講できました。

食べるということは命を頂いているんだということを改めて感じ、そういうことを含めた食育をしていきたいと思いました。

小学校5年生の社会、食料自給率に関わる分野、道徳、総合的な活動、食育などの実戦に役立ちそうな講義でした。

だんだんと寒くなる時期、外での実演などするのかと長靴を準備してきましたが、暖かい会場で研修を受けることができ、ありがたかったです。

風邪気味とおっしゃった神先生、ハキハキとされていた上の先生の声はよくきこえたが、マイクを使っただけだとありがたい。

PPがみえづらい。(字のサイズ、色など)・松井先生の講義が伸びた。もちろんやっているのだから文句はいけないと思っているが、次の先生への負担となる。

講義を受けていて、聞きたくなる話(話し方)とそうでないものを改めて感じた。自分の授業にも活かしていこうと思う。

内容がかなり難しく、私自身の知識とすれば多少役に立ちますが、授業などでは使えない感じでした。

## 新聞を活用した教材研究

総合的にとてもいい講習で大満足でした。

すばらしい講師に出会いお話を聞かせていただき本当に感謝しています。日本の世界人に会い心が震えました。

資料が多く消化不良の感があった。講師の先生方の熱意が感じにられた。

めったに聞くことのできない新聞記者のお話、生き生きとされている様子を拝見して、人間としての生きる姿勢も素晴らしいなと思いました。

朝日新聞社の現役のお二人のお話を聞く機会をととても楽しみにしていました。実際にお話をお聞きできてよかったです。欲を言えばもう少し記者の方にお話をいただく時間が長ければよかったですなあとと思います。午後の演習もはじめは難しかったですが、やってみたら、何となく授業の流れができたので今後実践してみたいです。

ゲストティーチャーがよかった。教育界ではない分野で活躍されている方のお話を伺えるのは、学校内でしか生きていない狭い視野・体験の教員達にはとてもよい刺激がある。

正直申しまして、「GLOBE」を読んだことがありませんでした。とても興味深い記事でしたので、今後読んでみたいのはもちろん、バックナンバーも読みたいと思いました。記事をひらがな漢字交じり文に早速やってみたいと思います。

目新しい講習を開講していただきありがとうございました。

講師の三浦さん後藤さんととても興味深い話が多く、楽しい一日でした。学校の枠を超えた講師の方は新鮮でよかったです。

すばらしいゲスト講師を呼んでいただき充実した内容でした。これから受ける人にも勧めたいので、ぜひ来年度以降も続けてください。質問がすぐ出ず、やはり今になって思うことも出てきたので、事前に聞きたいことをまとめてから来るべきであった。

雪の中北信濃からここ松本まで来ることは心配していましたが、この講座が選択講座の中で最も受講したかったです。来た価値がありました。三浦さんや後藤さんのお話を聞き、世界に目を向けることの大切さや意義を感じることができました。今後新聞活用するにあたって、私はデザイナーでありアイデアマンとして子どもたちにチャンスを与えていきたいと思いました。

毎日接する児童を思うと低学年を担当している私にとって、新聞が読めるかなとか、それを先に思ってしまい方向を間違えて考えて提出してしまいました。自分の頭のかたさ、指示の受け取りの理解の甘さを感じました。もっと広く考えてみようと思います。新聞をもっと読み、「コレ!」と思えるセンスをみがきたいです。

自分の頭が凝り固まっているなあとあらためて思いました。明日から、柔らかい頭につながっていきたいと思います。

GLOBE の三浦編集長や後藤記者のお話を直に聞ける機会はとても貴重だった。政治的な話というのは誰でもできるものではないと思ったが、教育に直接関わることなので、今回のようなお話は本当にありがたかった。教師が子どもを導く者ならば、新聞や TV は大人を開眼させ、さらに勉強させる教材だと思う。免許講習の中で最も刺激を受けました。

幼稚園と新聞は結びつかないのではと思いながら参加しましたが、免許の種類に関係なく一社会人として、とてもおもしろい身になる内容の講習でした。

日常生活では接点を持ちにくい仕事に実際に取り組みられている方の具体的なお話を聞くことができ、改めて、新聞記事の価値に気づかせていただきました。最近「考え」が固定的になりがちになっていたので、自分自身にとって、良い刺激をいただきました。このように他業種の方と接する機会は、現場教師にとって少ないのでありがたい。

朝日新聞の GLOBE のことを、この講座で初めて知り、大変参考になった。ぜひこれから注目していきたいと思います。

なかなか話を聞くことのできない朝日新聞 GLOBE の方の話が聞けて良かった。

講師の先生が新聞作成の現場の方を呼んでいただき、新聞作成上の注意やご苦労、新聞の見方を話していただき、非常に参考になった。ふだんは「どうやって授業化しようか」と考えていたが、新しい見方考え方を教えていただき、見方を変えることによって、新しい題材を発見できることを教えていただいた。

講師の先生のお話について、興味深くお聞きすることができました。GLOBE の魅力についてよく知ることができました。新聞雑誌などの活用を実際に体験することができとても役立つ講座でした。

本講座は三浦さん、後藤さんの講義はとてもよかったです。高校の HR で常に新聞から「世界の記事を扱い世界を知る」ということを伝えようと、私が毎日 4 社の新聞を読んでいます。次回は GLOBE を使ってみようと考えています。

内容はとてもよかったです。自分と違う世界のプロの方にたくさん教えていただきました。受講が完了しても、もし空いていたら受けたい講座が受けられるようにしていただきたいです。

たくさんの資料を御準備いただきありがたかったです。本職の方のお話を伺い、新聞を活用する際に今までと違った発想ができる可能性を感じました。全国の先進的な実践例を紹介していただけるとよかったです。すぐに実践につながる講習が有効だと思います。とても忙しいので、新聞の教材化はやりたくても難しくやっていません。実践例が知りたいです。

小学生にとって新聞を活用した授業をするには「読む力」が土台として必要と思った。政治問題等を扱うときに、一社の新聞だけを使うのは気をつけていかなければならないと思った。三浦さんの「反対の意見からも学ぶべきものは載せる。」「極端な意見はよく精査する」考え方は参考になった。

魅力的な外部講師をお呼びしての研修はとても良いことだと思いました。新聞の活用以外にも、言葉の使い方へのこだわりなど、とても参考になることがおおい講座でした。

わざわざ諏訪から来て 6000 円払った価値のある講座でした。

講習内容が免許更新すべき資質向上にどのように結びついているのかをもう少し明確に示していただけるとありがたい。

講師の話に引き込まれた。

(資料 9)

教職教育部と医学部の共同開講の必修講座(G 講座)  
における受講評価の自由記述

## 教育の最新事情 G 1

荒井英治郎先生がお話いただいた「現代教育政策の諸動向」の中で、教員、学校現場がかかえる所諸事情、かかえる問題点と教員が努力し、実践していることやその成果を、どこかで家庭に伝える場や、知らせていく場をつくっていかないと、教員はやるせないです。例えば、自ら、PTA参観日等で教師サイドから発信してもむなしだけなので、第三機関が地域社会、家庭に伝えていく施策を講じていただきたい。これだけゆがみ、ひずむ教育の場は、教員の資質・向上で補うのではなく、家庭の教育力や親の資質を向上させていくことがなによりだと考えます。

先進国では遅れている情報モラル教育を国民に国が提示していく機会をつくっていく必要が緊急課題であると考えています。日本国全体のモラル意識の低下も含めて、インターネット上でのルールづくり、それを使用する国民の意識低下・未学習を、これから、教員に押しつけるようなことはしないようお願いしたい。

今回の講義を（教育の最新事情）を受講して、さらに、環境教育もキャリア教育も感染症も共生社会の構築も、平和学習も、国際理解教育も、人権教育も、すべて新しい学問ではなくて、ホリスティックなアプローチと国民全体に呼びかけ、広めていく手立てが必要であると考えます。学校現場の開拓・免許更新制度で片付けずに、違うアプローチを考えていただけることを切に願っております。どうかよろしく申し上げます。

講座の位置づけ全体のつながりがいまいちわからない。

内容が多岐にわたり、消化不良です。内容を減らして、関心に沿ったものにしてほしい。必修講座に関しては申込みの際には内容について詳細に書かれておらず、研修に対する意欲はわきにくかった。

教員経験のない方への対応が不十分かと思いました。

早口でききとりにくいこともありました。もう少し時間があればと感じてしまいましたが、学ぶことができ、良かったです。ありがとうございました。

内容は直面する問題が多く扱われ為になりました。

一回目の受講なので余計にそう感じたかもしれませんが、学生や生徒に戻ったつもりで受けているので、そんなに先生方に気を使わなくてもよいのでは・・・？と思いました。確かに講習がとれなかったら困りますが、ありがとうございました。

免許更新講習のイメージがうける前後で変わった。今回受講できて良かった。

とても体験を通し、とてもわかりやすい研修ができました。明日からの指導に生かして行きたいと思います。2日間ありがとうございました。

育休中で4年間休みをいただいています。教育現場を離れて長いのですが、取り扱いデータなど最新のものです。現在の状況が分かり大変良かったです。来年、復帰予定ですが、今回の受講で新たに頑張ろうという気持ちになれました。本当に良かったです。ありがとうございました。育休など休みを取っている先生方にとっては大変有効であると感じます。

多くのことを学ばせて頂きました。意義のある研修となりました。

日常とは異なる視点で教育を見つめ、考えさせられること多々ありました。2日間ありがとうございました。

現場の状況と離れている内容であった。中には良い所もあったが、これで更新講習というのではおかしい。全面的な見直しが必要と考える。

講師の先生方のメリハリある話し方、教材の提示の仕方、限られた時間の中でのポイントのまとめ方など素晴らしかったです。あらゆる点から学びの多い2日間でした。ありが

とうございました。

## 教育の最新事情 G 2

講師の方の専門性の高さに感動しました。それが日本の教育行政に生かされれば我々はずっと安心して教育ができると思いました。

体験等取り入れていただき、実感しながらの受講ができてありがたかった。

今後役立つ資料も配布していただき、ありがたかった。”

冷房が効いていて快適に過ごすことができ、ありがたかった。

プレゼン等の分かりやすく有意義な機会となりました。

今まで考えていなかった視点から見ることができ、新鮮でした。どの先生方も工夫されて時間を意識されておりありがたかったです。冷房、ちょっと寒かったです。

写真は大変、リアリティーがあり、本物そっくりで良いと思います。が、私にとって5歳の時に電車事故で見た、くしゃくしゃの遺体を思い出し、気持ちが悪くなりました。盛りだくさんでした。

学校に帰って今回得た内容を実際に生かしていけたらいいと思います。

資料説明に終始した感がある。

分からない部分の講義をきけてよかったです。

今後につながる内容でした。”

退職しておりますので、うめられなかった項目があります。すみません。

今回の講習内容は大変勉強になりました。キャンプ、通知表（終学式）の次の日で、もっと体調がよければ…でも年中そうなので、内容が濃いので、この内容をうすめて、ゆっくり、のんびり、となりと雑談したりしながら、30時間で十分ではないでしょうか？他の講習はいらなないかもしれません。

夏休み中とはいえ、校務で忙しい中の講習でしたが、細部まで行き届いた運営でとても受けやすく、内容も大変よかったです。ありがとうございました。

教員としてどう仕事をしていくのか難しい世の中になってきたと思いました。専門外のことも分担されるようになり、何でもできる教員が必要なのか日々迷い悩んでいます。”講習内容等、工夫していただいて、分かりやすかったです。

## 教育の最新事情 G 3

やはり、講師の話術が、かなり興味関心において、左右されるものがある。

荒井准教授の講義が最も現実的で、資料も富んでいて、ユーモアもあり、おもしろかったです。

意見交換ができる時間をとっていただきたい。

保育士なので、講義内容が難しく、現場への理解度は少ないが、これから教育を考えていく良い機会にはなった。

たくさん資料、情報提供をしていただきありがたかった。”

ペア・グループ等の話し合い活動を多く取り入れて頂き、2日間があつという間でした。

生徒も同じなのかなあ。そのように感じた2日間でした。

視覚障害に対応して教材を用意していただきありがたかった。

自分の仕事を再確認できる良い講習会でした。ありがとうございました。  
教員免許更新という形でなく、教員研修という形でなく、教員研修として必要であると思われる。

ホームページを見て、この講座2日間のくわしい内容や講師の先生などがわかればよいと思った。

(申し込む時に) 自分の勤務する県以外で講習を受けたので、他府県のようすが少しわかった。

もっと情報交換ができる場があってよいと思う。

奈良から信州大学へきてよかったです。とても面白い講座でした。

理論的なことは、難しすぎて、ついていくのが困難でした。

講習は必修科目だったので、どこの大学でも項目(「教育の最新事情」)は同じですが、申し込み時に内容等も少しわかれば良いと思いました。[同じ項目でも扱う学部や担当して下さる講師の先生によって学べる内容(ジャンル?)が異なるようなので。]今回初めての講習でしたが、信州大で受けさせていただいて勉強になりました。ありがとうございました。

始める前は大変忙しい中、不安もありましたが、楽しく充実した時間ができ、有意義でした。ありがとうございました。

熱心に講義・授業をしていただきありがとうございました。

幼稚園教諭にとっても、学べる内容がほしい。(学校の先生方向けであるのは、当然だが・・・自分が保育現場に戻って使えることは少なかった・・・)

小～高の先生対象の講義が多かったので、幼稚園教諭向けの話もあるとよかったです。

ものの見方にはいろいろあることを改めて感じた。

資料が充実しており、振り返りで生かしたいと思います。

小・中・高の先生中心に進められていく講習で正直ついていけなかった。レポートを書くにしても経験が違いすぎて難しい。人数的に傾くことは仕方ないが、かけ離れすぎて戸惑いが多かった。

今日で5日間終わりました！サイエンスマップとか指導案作成を支援するページとか御苦労いただいています。ぜひ、アクセスしてみたいです。ありがとうございました。

普段あまり考えないことなどに気付くことができた。制度そのものには大反対だが、「研修」と考えれば内容的には満足できるものだった。

準備して下さった資料等が使い切れなかったのは、もったいないと思いました。

予定時間内にそれぞれ講義をされていて素晴らしかったです。たくさんの情報、楽しかったです。

2日間ありがとうございました。日常の忙しさにかまけて、目をつぶってきたことに気づかせて頂きました。

勉強になりました。ありがとうございました。

説明が分かりやすかった。新しい知識として説明されたものはもう少し質問タイムがほしかった。

とても分かりやすい講義をありがとうございました。

ネットでこの講座を選んだ時と講師が異なり残念だった。

発達障害について、改めて整理して学ぶことができ、有意義でした。

「これからの環境教育を考える」について。ホリスティックな世界観は生態学的客観性を装いながら、結局は人間中心主義に過ぎないものではないでしょうか？この世界観に



基づいて、差別を考えるとというのは、倫理を自然主義的に正当化するようで問題が多いと思います。

「教師力を考える」では、今まで知らなかった単語が多く、それについての詳しい説明がなかったため、とても難しかった。一つ一つ説明して頂けると共通のベースがあり、より理解が進んだと思う。

#### 教育の最新事情 G 4

医学部の先生の話は普段なかなか聞くことができないので新鮮でした。

この階段状の講義室だと、2人組or3人組・4人組のディスカッションがやりづらかった。また、事前に「ここではあとで2人組の実習を入れます」とことわった上で着席のガイダンスをしてもよかったのではと思います。講義9、10が1番興味がもてました。内容を再考していただき、時数を減らしていただきたい。

発達障害や、特別支援について学びたがっている教職員は多い。現に、それに関する講座には希望が殺到していた。よって、そういった講座も増設してより多くの人々が学び日々の教育実践に役立てることができれば、この免許更新講習の意義も大きなものになると思う。

本当に上記以外の講習が役に立つかわからない。本当に役に立つ内容とは何か？もっと頭の良い人達がいるのだから考えるべき。先生たちのやる気を本当に出させるためのプログラムが必要と思う。

医学部の先生のお話、とってもよかったです。とても大切なことなので、理科の授業でも扱ってみたいです。

教育相談についての講話もとてもよかったです。カウンセリングはとても大切なことだと思います。大切なところを教えていただきました。

環境教育や支援教育についても全体的にとらえて、チームで力を出し合っていく大切さを教えていただきました。

必修以外は全て農学部で受けさせていただき、それはそれで新鮮味がありました。

必修の教育学部系の講習は身に迫るものが感じられ、また日々工夫してがんばっていきこうという気持ちになりました。心よりありがとうございました。

講習内容はわかりやすいものが多く良かったと思います。

講習内容について、すでに理解し、実践している内容で、意欲を喚起するものではなかった。(実践しているという自信がわいたということではよかったが)

学校によって取り組みの差・温度差があるので、事前に学校の状況を調整し、それに即した内容を実施するのが良い。

幼稚園から高校の先生までが受ける必修講習でしたので、様々な職種に合わせて話をするのは大変だったかと思います。幼稚園教諭に授業運営などの話の内容は少し難しかった(内容があわなかった)かのようにも感じましたが…。

対象者が学校関係者が多いため、仕方のないことかと思いますが、幼児教育に関する最新の事情をきくことができたならさらに、良かったかと感じます。アンケートも書くのに苦勞する面もありました。

幼稚園教諭には答えにくいアンケートなどあった。幼稚園教諭に対応している講義が少なかった。自分がスキルアップにはなったが…

それぞれの先生方がとても工夫されて二日間とてもすばらしい勉強ができました。本当

に御世話様になりました。

グループ討論など間にはさんでいただきましたので眠気もとんでたいへん受講しやすかったです。

とても分かりやすい講習となりました。

どの講義もたいへん参考になりました。「授業をうける」という立場でやったので、ある場面では子どもの気持ちになることができました。「そうか…こう思っているな、これはいい、これはマズイ」などと、思いました。(すみません)意義深い二日間でした。

育休復帰したところで、わからないことが増えたと感じました。

資料の字が細かいものが多く苦労しました。

短い時間の中で一通りの知識を扱うので

2日間で様々な領域を扱わなければならない、かけ足でざっくりとした講義になるものもあった。講義する側も1hではそうならざるをえず大変そう。演習や簡単にできる活動が折り込まれていたのは息抜きになりよかった。(2コマ続きのもの)

2日間受講しただけで即実行できるとは思えない。効果もすぐでるとは思えない。時間が必要。知識的には得られても現場ですぐ効果を出すとは思えない。再喚起の一助とはなった。

資料をご準備いただきありがたいのですが、字の小さく読めないものやプロジェクターも小さくて字まで読みづらいものがあり残念です。

## 教育の最新事情 G 5

校種によって抱えている課題や事情は違うと思うので、それをまとめて一斉に講習するよりは分けた方が、より効果的だと思います。

有意義な研修となりました。次の10年目が楽しみなくらいです。その頃には自分もできたらフルタイムでバリバリ学校現場で働いていたいと希望を持っています。

「子供の頭のケガや病気」多田先生のご講義が教養としてとても勉強になりました。必修であっても医学・保健・健康面のご講義がきけて本当に勉強になりました。

「教師力を考える(1)」は資料などたくさん用意していただいたと思いますが、多すぎて、又、先生の説明が早すぎて理解しにくく残念でした。

工夫された講習でした。大変良かったと思います。

質問させてもらえる時間をとってほしい。

荒井英治郎先生の講義はとてもよかった。進め方などもとても勉強になった。

他の講座は一方的な話であったり、発問がポイントとずれており、もう少し工夫してほしいと思った。

先生たちも学びたいという意欲を持っている。講師の質を上げてあきのこないような講義をしてほしい。そうでないと子どもに私たちが同じことをしてしまう。

グループワークなどを取り入れて、他の先生の話もきけてよかった。わかりやすい内容であり、知らないことも(脳のこと)医学的なことも興味を持ってきくことが出来た。

講義1, 2はこれまでの研修にはない視点と捉え方の示唆があり、興味深かった。・文字が小さすぎて見にくいものがあつた。(スクリーン、資料ともに)

スライド数は実際に話せるだけの量で作ってプレゼンされるとよかった。

受講者の発言はマイクがないと聞こえにくい。

「外国は〇〇だ」「こういう傾向は日本ぐらい」というのは世界全体を見た時に性格でな

いと感じた。(先進国のみと比較していると感じた。それならそういう表現をした方がよい。)

幼稚園勤務なので、幅広い教育事情にふれる機会となりよかった。

環境教育はよくわからなかったです。

自分の職について立ち止まり、見直しをする良い機会でした。

今回、脳のことが学べたのはとても良かったです。教育の専門は数多く研修の場があると思いますが、医学的なことなど学べる機会は少ないと思うので。

時間通りの進行で見通しが持てて良かった。実践したい。

現在勤務していない人にもとりくみやすい講座を開設してほしい。

どの講義も様々な工夫がされていて、とても勉強になりました。

グループで話したり、ペアで話したりする演習があり変化があってとても嬉しかった。

グループ討議なども講義中にもりこまれ、一方的な講義に比べて積極的に課題に対してとりくむことができました。

多田先生のお話がきけたのがよかった。

小中と高とでは、課題意識にずいぶんずれがあるのではないのでしょうか。

「キャリア教育の現状・課題と今後」では、スライドと資料の異なる所が目立って役をなさない面が多かった。プレゼンをやるならもっと使い方などを知ってほしい。

講師の方のマイクの使い方 できるだけ、口を近づけていただけるとよりはっきりと聞いたのかなと感じました。

本校では数年前からSST(ソーシャルスキルトレーニング)を全クラスで年間4-6回展開しています。本日の教育相談の講義は聴くスキルの学習の要素がありました。

環境教育はあまりにも通常の授業とかけ離れており、分かりにくかった。

ワークショップを取り入れすぎだと思う。少し、ゆっくり、じっくり講習を聞きたい。・アイスブレイキングも嫌です。特に徳井先生のは抵抗がありました。最後の小山先生の講習はレジュメを十分活用していないように感じました。使用する順にページを組んでいただきたいです。

多田先生の講習は脳に対しての理解が深まり、今後の実戦に役立つと思いました。

2日間とても楽しく有意義な講習で眠くなりませんでした。どの講義もわかり易かったです。

スクリーンにうつし出される文字と資料プリントの文字がともに小さすぎて見えない(読めない)ものが多かった。

免許更新対象者に幼稚園も入っているならば、保育園・幼稚園に適した内容の講義ももう少ししていただきたいと思います。小中高のことを知るきっかけにもなりますが、ただ現実の仕事とかけ離れていて、資質向上に繋がるかは疑問に思うことがあります。専門性を高めるための免許更新ならば、幼保もしくは幼保小対象の必修があると次につなげていけると思います。

先生によってはマイクが遠く、うしろに座っているとほとんど何を言っているのかわからない時がありました。(講義9, 10など)

自分の問題ですが、幼稚園教諭にとっては再喚起も深まりとまではいかなかったので、2をつけてしまいました。どの先生も丁寧に話して下さり、参加しやすかったです。

グループ2・3人のディスカッションが含まれ良かったです。

年々年をとりますと耳が遠くなってきます。声が聞き取りにくい事があり、残念でした。マイクの具合でしょうか。聞き取りにくい講座がいくつかありました。

7名の先生方の講義でしたが、どれも興味深くためになる話が多かったです。特に若い

先生が200名弱を相手に堂々と話しをされていたのが印象的でした。私も負けてはいられないと気持ちを新たにしました。ありがとうございました。

自分が学校の教師ではなく幼稚園の資格を持っている保育士なので内容に難しさを感じる所があったものの、現在の教育現場を知り、幼児教育において大事にしておきたいことを考える、確かめる、良い機会となりました。・暖房の効きを朝の早い内からお願いしたいと思いました。(自分でも準備をしてきたものの1日目は寒かったです。)・話をきくのみではなく、グループワークを行うなど、工夫されていたと思います。DVDの教材もありましたが、1日の長い時間なので、多種にすると学習意欲も高まると思います。

講師の先生方は私たちのために工夫や苦勞をされ講義をしてくださったことがよく伝わりました。それでも、一生懸命やっている教員は自分の時間を犠牲にして日々やっているし、適当にやっている教員、不祥事をおこす教員はいるし、このような講義では解決へとは結びつかないとおもいます。一人ひとりとカウンセリングをして、内面に抱えているものを少しでも吐き出す機会を作ったほうが効果があるのではないのでしょうか。(校長など身近な人との面接では意味が無いので専門家、外部の方と)個々の関わりの方がこちら身が引き締まると思います。

講師によって話の聞き取りやすさ(マイクの音量)が異なった。

配布されたレジュメとパワーポイントの内容が異なり、わかりにくいこともあった。メモを取る時間もなくすすんでしまい、残念だった。

カウンセリングの内容は今後役立てたい。

脳、キャリア等とても役立った。すべて良かった。

パワーポイントの使い方をもう少し工夫してほしかったものがあった。

自分の専門性。興味関心にあったものを聴きたかった。(選択)

最後の講義はマイクも入っておらず(?)スライドの文字も小さく残念でした。理由なく横文字、外国語を多用するのはあまり親切でないように思います。(横文字になっただけで、既存の概念が新しいものに聞こえてしまったり、共通認識が出来なかったりするのです)

幼稚園のことにもっと多くふれてほしい。

(資料10)

専門学部開設講座お受講者評価の平成24年度と平成25年度比較

(実務経験者による事前指導を行った効果)

講座タイトル	年度	定員	受講者数	充足率	講習の内容・方法について		最新の知識・技能の修得	
					よい	不十分	よい	不十分
『博士の愛した数式』(小川洋子著)の中の数学を見てみよう	24	50	69	138.0%	94.2%	5.8%	88.4%	11.6%
	25	50	51	102.0%	100.0%	0.0%	94.1%	5.9%
				前年比	5.8%	-5.8%	5.7%	-5.7%
アフリカ、森の民のライフサイクルから学ぶ知恵	24	50	87	174.0%	90.8%	6.9%	89.7%	10.3%
	25	50	48	96.0%	95.8%	0.0%	95.8%	0.0%
				前年比	5.0%	-6.9%	6.2%	-10.3%
コミュニケーションの障がいを超えて体験しよう	24	100	183	18.3%	82.5%	1.1%	96.7%	1.1%
	25	100	169	169.0%	93.3%	1.2%	90.4%	3.6%
				前年比	10.8%	0.1%	-6.3%	2.5%
ニュースポーツ(フライングディスク)の指導法	24	50	34	68.0%	76.5%	0.0%	97.1%	2.9%
	25	30	31	103.3%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
				前年比	23.5%	0.0%	2.9%	-2.9%
ピーターラビットと英語から英国社会を見る	24	50	95	190.0%	94.7%	4.2%	90.5%	7.4%
	25	50	93	186.0%	88.2%	10.8%	88.2%	10.8%
				前年比	-6.6%	6.5%	-2.4%	3.4%
衣食住で使用される色材	24	50	49	98.0%	67.3%	6.1%	87.8%	12.2%
	25	65	58	89.2%	98.3%	1.7%	93.1%	6.9%
				前年比	30.9%	-4.4%	5.3%	-5.3%
外国籍児童・生徒とともに学ぶ国際交流のあり方	24	50	46	92.0%	84.8%	2.2%	97.8%	0.0%
	25	50	36	72.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
				前年比	15.2%	-2.2%	2.2%	0.0%
漢詩に親しむ	24	50	49	98.0%	67.3%	28.6%	73.5%	24.5%
	25	50	44	88.0%	68.2%	20.5%	70.5%	18.2%
				前年比	0.8%	-8.1%	-3.0%	-6.3%
気候変動のしくみ	24	50	49	98.0%	87.8%	12.2%	89.8%	10.2%
	25	60	32	53.3%	93.8%	6.3%	93.8%	3.1%
				前年比	6.0%	-6.0%	4.0%	-7.1%
子どもの健康と保健指導1	24	50	39	78.0%	94.9%	5.1%	92.3%	7.7%
	25	50	32	64.0%	90.6%	0.0%	90.6%	0.0%
				前年比	-4.2%	-5.1%	-1.7%	-7.7%
子どもの健康と保健指導2	24	50	24	48.0%	91.7%	4.2%	91.7%	0.0%
	25	50	35	70.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
				前年比	8.3%	-4.2%	8.3%	0.0%
子どもの健康管理(歯科指導とアレルギー)	24	50	92	184.0%	81.5%	2.2%	90.2%	4.3%
	25	50	61	122.0%	98.4%	1.6%	95.1%	4.9%
				前年比	16.8%	-0.5%	4.9%	0.6%

歴史館で教材開発	24	100	97	97.0%	98.5%	1.1%	94.9%	5.2%
	25	150	145	96.7%	96.3%	2.1%	95.8%	2.8%
				前年比	-2.4%	1.0%	0.9%	-2.4%
初めてのe-Learning	24	50	36	72.0%	80.6%	8.3%	91.7%	5.6%
	25	50	38	76.0%	97.4%	0.0%	94.7%	5.3%
				前年比	16.8%	-8.3%	3.1%	-0.3%
障がいのある子どもの支援	24	100	234	234.0%	97.0%	1.7%	95.3%	3.8%
	25	100	97	97.0%	96.9%	3.1%	93.8%	6.2%
				前年比	-0.1%	1.4%	-1.5%	2.3%
心理学からのクリティカル・シンキング入門	24	100	158	158.0%	96.2%	2.5%	93.0%	5.7%
	25	100	99	99.0%	88.9%	6.1%	86.9%	7.1%
				前年比	7.3%	-3.5%	6.2%	-1.4%
身の回りにおける化学を発見しよう	24	40	38	95.0%	94.7%	2.6%	92.1%	5.3%
	25	40	37	92.5%	97.3%	2.7%	100.0%	0.0%
				前年比	2.6%	0.1%	7.9%	-5.3%
生物多様性を読み解く(身のまわりの生態学)	24	50	15	30.0%	93.3%	6.7%	80.0%	20.0%
	25	70	29	41.4%	96.6%	3.4%	93.1%	6.9%
				前年比	3.2%	-3.2%	13.1%	-13.1%
地震の発生メカニズムと建物の耐震性	24	50	45	90.0%	91.1%	8.9%	88.9%	11.1%
	25	50	44	88.0%	81.8%	18.2%	90.9%	9.1%
				前年比	-9.3%	9.3%	2.0%	-2.0%
電子教科書って何だろう？	24	50	47	94.0%	51.1%	29.8%	76.6%	19.1%
	25	50	42	84.0%	81.0%	16.7%	81.0%	14.3%
				前年比	29.9%	-13.1%	4.4%	-4.9%
野外での地質観察	24	23	22	95.7%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	25	23	22	95.7%	95.5%	0.0%	100.0%	0.0%
				前年比	-4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
保健教育と学習指導法 保健学習と教育の交差	24	50	18	36.0%	94.4%	5.6%	88.9%	11.1%
	25	50	14	28.0%	92.9%	7.1%	92.9%	7.1%
				前年比	1.6%	-1.6%	-4.0%	4.0%
放射線をはかる	24	50	7	14.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	25	50	10	20.0%	90.0%	10.0%	90.0%	10.0%
				前年比	-10.0%	10.0%	-10.0%	10.0%
ケミストリーはおもしろい！ 周期表と放射性元素	24	50	34	68.0%	67.6%	32.4%	70.6%	29.4%
	25	70	10	14.3%	90.0%	10.0%	90.0%	10.0%
				前年比	22.4%	-22.4%	19.4%	-19.4%
着心地を科学する	24	50	51	102.0%	70.6%	29.4%	74.5%	25.5%
はじめて学ぶ繊維と感性	25	65	47	72.3%	91.5%	8.5%	83.0%	17.0%
				前年比	20.9%	-20.9%	8.5%	-8.5%

[信州大学教員免許更新支援センター研究スタッフ]

赤羽 貞幸	副学長（理事）	（センター長）
土井 進	教育学部 教授	（副センター長）
小山 茂喜	全学教育機構 教授	※
庄司 和史	全学教育機構 教授	
荒井 英治郎	全学教育機構 准教授	
小池 浩子	教育学部 准教授	
田村 徳至	全学教育機構 講師	
宮地 弘一郎	教育学部 講師	

※研究並びに報告書作成責任者

[外部評価委員]

谷田部 玲生	桐蔭横浜大学	スポーツ健康政策学部	教授
田部 俊充	日本女子大学	人間社会学部	教授
二川 正浩	東京家政大学	家政学部	准教授
渡部 竜也	東京学芸大学	教育学部	講師
宇佐美 信	長野市教育センター	所長	

文部科学省委託事業  
「平成25年度免許更新制高度化のための調査研究事業」  
報告書

編著者 信州大学免許更新支援センター

発行者 信州大学免許更新支援センター  
〒390-8621  
長野県松本市旭3-1-1  
TEL 0263-35-4600

発行日 平成26年3月31日

制作 株式会社コンテンツビジョン  
〒380-0836  
長野県長野市南県町680  
TEL 026-238-7272